

博士人材データベース(JGRAD)を用いた
博士課程在籍者・修了者の所属確認と
キャリアパス等に関する意識調査

2016年5月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

篠田 裕美 松澤 孝明

RESEARCH MATERIAL No.250

Affiliation Confirmation and Attitude Survey on Career Choices
of Doctoral Students and Graduates
Using Doctoral Human Resources Database (JGRAD)

Hiromi SHINODA and Takaaki MATSUZAWA

May 2016

1st Policy-Oriented Research Group
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
Japan

<http://doi.org/10.15108/rm250>

本報告書の引用を行う際には、出典を明記願います。

博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程在籍者・修了者の所属確認と キャリアパス等に関する意識調査

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

篠田 裕美、松澤 孝明

要旨

文部科学省 科学技術・学術政策研究所は、博士課程進学者の課程修了後のキャリアパスを把握するための情報基盤プラットフォームとして、博士人材データベース(JGRAD)の構築を進めている。2014年度より、JGRADのデータベースには、登録対象者である博士課程在籍者並びに修了者の属性や教育研究経験等の情報が登録されている。本調査研究は、JGRADを用いて博士課程在籍者・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査を実施し、データベースに登録されている各種情報と、課程修了後のキャリアパス等に関する意識とを統合的に解析することで、今後の大学院教育並びに人材育成に関連する政策形成に役立てることを目的とする。本調査結果を踏まえ、今後のJGRADの改善や更なる利活用についても議論する。また、JGRADの参加単位であるパイロット運用参加大学や、登録者である博士課程在籍者・修了者に調査結果をフィードバックし、今後の大学運営や個人のキャリアパス形成の参考となるよう、JGRADの各ユーザに対する情報インセンティブの提供も狙いに含める。

Affiliation Confirmation and Attitude Survey on Career Choices of Doctoral Students and Graduates using Doctoral Human Resources Database (JGRAD)

1st Policy-Oriented Research Group, National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

Hiromi SHINODA and Takaaki MATSUZAWA

ABSTRACT

The National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) has constructed a doctoral human resources database (JGRAD) as a platform system for tracking the career paths of doctoral students after their graduation. Since FY2014, JGRAD has been collecting attribute information, educational training and research activity information from doctoral students and graduates. In this study, we conducted affiliation confirmation and an attitude survey on career choices against doctoral students and graduates using JGRAD and analyzed integrated data consisting of existing information in JGRAD and the results of this survey in order to contribute to the policy-making processes of higher education and human resources development. Based on these analysis results, we are able to discuss issues on the improvement and further utilization of JGRAD. We also aim to provide and feed-back the results of this survey to both universities and registered persons including doctoral students and graduates as their information incentive for using JGRAD.

目次

概要	i
第 1 章 はじめに	1
1.1 背景と目的	1
第 2 章 材料と方法	3
2.1 調査方法	3
2.2 調査期間	4
2.3 調査対象者	4
2.4 JGRAD の登録項目	5
2.5 所属確認とアンケート調査	5
2.6 データの出力と作成	7
第 3 章 結果	8
3.1 所属確認とアンケート調査の回答状況	8
3.2 アンケート回答者の属性	9
3.3 在籍者・修了者の居住地	19
3.4 在籍者・修了者の博士課程に進学した理由	20
3.5 博士課程修了後に希望するキャリア	22
3.5.1 博士課程修了後に居住を希望する国・地域	22
3.5.2 博士課程修了後に希望するキャリア	24
3.5.3 博士課程修了後に希望する職種	29
3.5.4 博士課程修了後に希望するキャリアと職種	34
3.5.5 博士課程修了後に希望する職業	36
3.6 博士課程プログラムに対する印象	39
3.6.1 博士課程プログラムの満足度	39
3.6.2 博士課程プログラムの印象	43
3.6.3 指導教員に対するキャリアの相談	45
3.6.4 博士号の学位取得	49
3.7 博士課程在籍中の経験	53
3.7.1 博士課程在籍中に身につけたい能力	53
3.7.2 博士課程在籍中の経済的支援	54
3.7.3 博士課程在籍中のインターンシップ経験	56
3.7.4 博士課程在籍中の民間企業との共同研究経験	59
3.8 社会人学生の状況	61
3.9 修了者の状況	62
第 4 章 考察	66
4.1 JGRAD によるアンケート調査の回収率	66
4.2 JGRAD における登録項目のデータの質の向上	67
4.3 JGRAD によるアンケート調査の改善	68

4.4 博士課程修了後のキャリアパス等に対する意識	69
4.5 博士課程プログラムの満足度と印象	69
4.6 指導教員によるキャリアのアドバイス	70
4.7 今後の JGRAD の活用	71
謝辞	73
調査体制	73
引用資料	74
 (参考資料 1) 大学に対する依頼状	77
(参考資料 2) 登録者に対する依頼状 (日本語)	78
(参考資料 3) 登録者に対する依頼状 (英語)	79
(参考資料 4) 手順書 (日本語)	81
(参考資料 5) 手順書 (英語)	85
(参考資料 6) JGRAD の登録項目と選択肢等	89
(参考資料 7) 調査票 (日本語)	100
(参考資料 8) 調査票 (英語)	112

図表目次

図表 1.1.1 JGRAD のパイロット運用参加大学数の推移（2016 年 3 月末現在）	1
図表 2.1.1 所属確認とアンケート調査のフロー	3
図表 2.3.1 調査対象大学と ID 発行数	4
図表 2.3.2 JGRAD の登録状況	5
図表 2.5.1 JGRAD の所属確認画面	6
図表 2.5.2 JGRAD の My Portal 画面	6
図表 2.5.3 JGRAD のアンケート調査画面	7
図表 3.1.1 所属確認とアンケート調査の回答状況	8
図表 3.1.2 調査対象者・アンケート回答者の課程修了・退学状況	8
図表 3.1.3 メールアドレス登録状況	9
図表 3.2.1 アンケート回答者の性別	10
図表 3.2.2 アンケート回答率（在籍者・性別）	10
図表 3.2.3 アンケート回答者の国籍	11
図表 3.2.4 アンケート回答率（在籍者・国籍別）	11
図表 3.2.5 アンケート回答者の年代	12
図表 3.2.6 アンケート回答率（在籍者・年代別）	12
図表 3.2.7 アンケート回答者の研究分野	13
図表 3.2.8 アンケート回答率（在籍者・研究分野別）	14
図表 3.2.9 アンケート回答者の女性比率（在籍者・研究分野別）	14
図表 3.2.10 アンケート回答者の外国人比率（在籍者・研究分野別）	15
図表 3.2.11 アンケート回答者の外国人比率（在籍者・出身大学別）	15
図表 3.2.12 アンケート回答者の課程別	16
図表 3.2.13 アンケート回答者の入学年度（在籍者・博士課程（後期））	17
図表 3.2.14 アンケート回答率（在籍者・課程別）	17
図表 3.2.15 アンケート回答者の自大学出身の該当の有無	18
図表 3.2.16 アンケート回答率（在籍者・出身大学別）	18
図表 3.3.1 アンケート回答者の居住地（2015 年 11 月 1 日現在）	19
図表 3.3.2 アンケート回答者のうち日本在住者の所在（2015 年 11 月 1 日現在）	19
図表 3.4.1 博士課程に進学した理由（在籍者）	20
図表 3.4.2 博士課程に進学した理由（修了者）	20
図表 3.4.3 日本を留学先として選んだ理由（在籍者のうち留学生）	21
図表 3.5.1 博士課程修了後に居住を希望する国・地域	22
図表 3.5.2 博士課程修了後に居住を希望する国・地域（在籍者・国籍別）	23
図表 3.5.3 居住者数と博士課程修了後の居住希望者数（在籍者）	23
図表 3.5.4 博士課程修了後に希望するキャリア	24
図表 3.5.5 博士課程修了後に希望するキャリア（在籍者・男女別）	25
図表 3.5.6 博士課程修了後に希望するキャリア（在籍者・国籍別）	25
図表 3.5.7 博士課程修了後に希望するキャリア（在籍者・年代別）	26

図表 3.5.8	博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・分野別)	27
図表 3.5.9	博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・入学年度別)	27
図表 3.5.10	博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・出身大学別)	28
図表 3.5.11	博士課程修了後に希望する職種	29
図表 3.5.12	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・男女別)	30
図表 3.5.13	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・国籍別)	30
図表 3.5.14	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・年代別)	31
図表 3.5.15	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・分野別)	32
図表 3.5.16	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・入学年度別)	32
図表 3.5.17	博士課程修了後に希望する職種(在籍者・出身大学別)	33
図表 3.5.18	博士課程修了後に希望するキャリア・希望する職種別(在籍者)	34
図表 3.5.19	博士課程修了後に希望する職種・希望するキャリア別(在籍者)	35
図表 3.5.20	博士課程修了後に就職を希望する職業(在籍者)	36
図表 3.5.21	現時点で就職を希望する職業(修了者)	37
図表 3.5.22	博士課程修了後に就職を希望する職業(在籍者・研究分野別)	38
図表 3.6.1	博士課程プログラムの満足度	39
図表 3.6.2	博士課程プログラムの満足度(在籍者・男女別)	40
図表 3.6.3	博士課程プログラムの満足度(在籍者・国籍別)	40
図表 3.6.4	博士課程プログラムの満足度(在籍者・研究分野別)	41
図表 3.6.5	博士課程プログラムの満足度(在籍者・入学年度別)	42
図表 3.6.6	博士課程の満足度(在籍者・出身大学別)	42
図表 3.6.7	博士課程プログラムの印象(在籍者)	43
図表 3.6.8	博士課程プログラムの印象(修了者)	44
図表 3.6.9	博士課程プログラムの印象(入学年度別)	45
図表 3.6.10	指導教員に対するキャリア相談の有無	45
図表 3.6.11	指導教員に対するキャリア相談の有無(在籍者・入学年度別)	46
図表 3.6.12	指導教員によるキャリア構築のアドバイス	47
図表 3.6.13	博士課程修了後のキャリアについての不安	48
図表 3.6.14	博士課程修了後のキャリアについての不安(在籍者・入学年度別)	48
図表 3.6.15	修了後のキャリアについての不安と博士課程プログラムの満足度(在籍者)	49
図表 3.6.16	標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者)	50
図表 3.6.17	標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者・入学年度別)	50
図表 3.6.18	標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者・研究分野別)	51
図表 3.6.19	学位取得の見込みと博士課程プログラムの満足度(在籍者)	51
図表 3.6.20	学位取得の見込みとキャリアについての不安(在籍者)	52
図表 3.6.21	標準年限以内での博士号の学位取得(修了者)	52
図表 3.6.22	標準年限以内での博士号の学位取得と博士課程プログラムの満足度(修了者)	53
図表 3.7.1	博士課程在籍中に身につけたい能力(在籍者)	53
図表 3.7.2	博士課程在籍中に身につけたかった能力(修了者)	54

図表 3.7.3 給付型資金の受給状況	54
図表 3.7.4 給付型資金の額	55
図表 3.7.5 インターンシップの経験	56
図表 3.7.6 インターンシップの期間(在籍者・経験有)	57
図表 3.7.7 インターンシップ受け入れ企業の業種(在籍者・経験有)	57
図表 3.7.8 受け入れ先企業と自身の研究分野との関連性(在籍者・経験有)	58
図表 3.7.9 インターンシップ経験と博士課程修了後のキャリア・職種についての希望(在籍者)	58
図表 3.7.10 民間企業との共同研究の経験	59
図表 3.7.11 共同研究先の民間企業の業種(在籍者・経験有)	59
図表 3.7.12 共同研究先企業と自身の研究分野との関連性(在籍者・経験有)	60
図表 3.7.13 共同研究経験と博士課程修了後のキャリア・職種についての希望(在籍者)	60
図表 3.8.1 収入を伴う仕事の状況(2015 年 11 月 1 日現在)	61
図表 3.8.2 社会人学生の職業(2015 年 11 月 1 日時点)	61
図表 3.8.3 社会人学生の現在の仕事と博士課程プログラムとの関連性	62
図表 3.8.4 社会人学生の年間収入(2014 年 11 月 1 日～2015 年 10 月 31 日まで)	62
図表 3.9.1 修了者の現在の仕事の状況(2015 年 11 月 1 日現在)	63
図表 3.9.2 修了者の職業(2015 年 11 月 1 日現在)	63
図表 3.9.3 修了者の仕事と博士課程プログラムとの関連性	64
図表 3.9.4 修了者の仕事の状況(2015 年 11 月 1 日現在)	64
図表 3.9.5 修了者の年間収入(2014 年 11 月 1 日～2015 年 10 月 31 日まで)	65
図表 4.1.1 メールアドレス登録率	66
図表 4.2.1 アンケート回答者の JGRAD 登録項目の入力率	67
図表 4.3.1 複数選択の回答状況	68

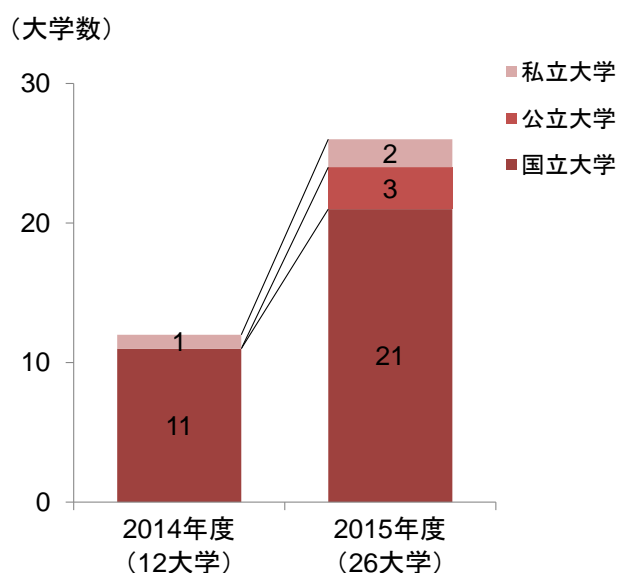
概 要

概 要

1. 調査目的

文部科学省 科学技術・学術政策研究所(以下、「NISTEP」という)は、博士課程進学者の課程修了後のキャリアパスを把握するための情報基盤プラットフォームとして、博士人材データベース(以下、「JGRAD」という)の構築を進めている。JGRAD構築のため、NISTEPは12大学の参画を得て、2014年度よりJGRADのパイロット運用を開始した[1]。2015年度はJGRADパイロット運用への参加大学が拡大し、2016年3月末現在、国立21大学、公立3大学、私立2大学の計26大学¹の協力により、JGRADの試験的な運用を継続している(概要図表1)。

概要図表1 JGRADのパイロット運用参加大学数の推移 (2016年3月末現在)



2014年度より、JGRADのデータベースには、登録対象者である博士課程在籍者並びに修了者の属性や教育研究経験等の情報が登録されている。JGRADは「第5期科学技術基本計画」[2]において、「科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進」に向けた「博士人材のデータベースの整備・活用等を推進する」ための具体的な取り組みとして位置付けられており、我が国の科学技術イノベーションを支える人材力の強化に対する貢献が期待されているところである。

そのため、本調査研究は、JGRADを用いて博士課程在籍者・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査を実施し、データベースに登録されている各種情報と、課程修了後のキャリア

¹(国立 21 大学)北海道大学・東北大学・筑波大学・東京大学・東京医科歯科大学・東京農工大学・東京工業大学・お茶の水女子大学・電気通信大学・信州大学・豊橋技術科学大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・奈良女子大学・奈良先端科学技術大学院大学・岡山大学・広島大学・九州大学・長崎大学・熊本大学、(公立 3 大学)大阪府立大学・大阪市立大学・兵庫県立大学、(私立 2 大学)慶應義塾大学・東京理科大学

パス等に関する意識とを統合的に解析することで、今後の大学院教育並びに人材育成に関連する政策形成に役立てることを目的とする。本調査結果を踏まえ、今後のJGRADの改善や更なる利活用についても議論する。また、JGRADの参加単位であるパイロット運用参加大学や、登録者である博士課程在籍者・修了者に調査結果をフィードバックし、今後の大学運営や個人のキャリアパス形成の参考となるよう、JGRADの各ユーザに対する情報インセンティブの提供も狙いに含める。

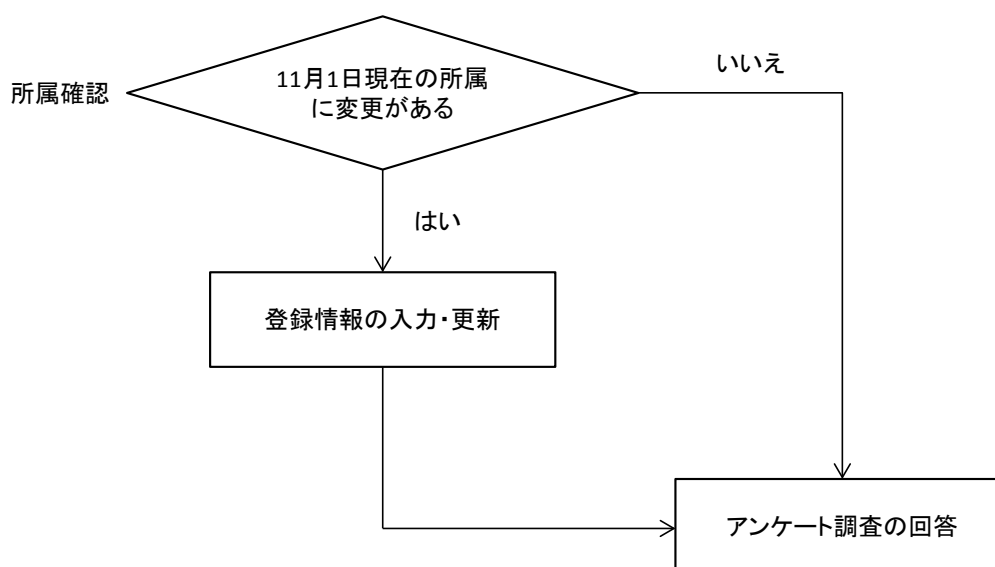
NISTEPでは、2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」[3]や、2012年度に国内の大学・公的研究機関に在籍していたポストドクター等を対象とした「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査」[4]を実施している。これらは、全ての大学や機関を調査対象とした悉皆調査である。一方、JGRADを用いた本調査は、JGRADパイロット運用参加大学の在籍者並びに修了者が調査対象であるため、国全体の状況を把握するための既存の調査研究と異なる性質を持つ。

2. 調査対象と方法

2.1. 調査方法

2015年11月中旬に、JGRADのパイロット運用参加大学及びJGRAD登録者に対して調査依頼を実施した。調査対象者は、JGRADのWebサイト²にアクセスしてログインした後、まずは所属確認（2015年11月1日現在）を行い、JGRADに登録されている情報に変更がない者はアンケート調査に回答し、変更がある者は該当する登録項目の情報を入力・更新した後にアンケート調査に回答する仕組みとした（概要図表2）。

概要図表2 所属確認とアンケート調査のフロー



2.2. 調査期間

2015年11月30日（月）～2016年1月29日（金）

² JGRAD Web サイト <https://hr.nistep.go.jp>

2.3. 調査対象者

調査期間中に、JGRADの博士IDが発行されていた博士課程在籍者及び修了者・退学者の大学別の総数を概要図表3に示す。パイロット運用に参加していた22大学(2015年11月1日現在)のうち18大学が該当し、JGRAD登録対象者は合計して12,151人である。なお、大学によっては、発行されたIDが必ずしも全ての学生に配付されていない点について留意されたい。

概要図表3 調査対象大学とID発行数

大学名	パイロット運用参加研究科	ID発行年度	ID発行数
北海道大学	生命科学院	2014・2015	83
東北大学	全研究科	2015	2,604
筑波大学	人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合学研究科、図書館情報メディア研究者(希望者のみ)	2014・2015	196
東京大学	理学系研究科(修了生のみ)	2015	150
東京農工大学	全研究科	2014・2015	601
東京工業大学	理工学研究科:電気電子工学専攻、電子物理工学専攻、集積システム専攻、通信情報工学専攻	2014・2015	86
お茶の水女子大学	全研究科	2014・2015	467
豊橋技術科学大学	全研究科	2015	106
京都大学	薬学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、生命科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科(3回生以上)・総合生存学館(3回生以上)	2015	1,108
大阪大学	一部	2015	11
神戸大学	全研究科	2014・2015	1,896
奈良女子大学	全研究科	2015	162
岡山大学	全研究科	2014・2015	1,462
広島大学	全研究科(修了生のみ)	2015	2,095
九州大学	経済学府、工学府、統合新領域学府	2014・2015	256
奈良先端科学技術大学院大学	全研究科	2014・2015	191
慶應義塾大学	理工学研究科	2014・2015	389
東京理科大学	全研究科	2015	288
計			12,151

JGRAD登録対象者である博士課程在籍者及び修了者・退学者12,151人のJGRADへの登録状況を概要図表4に示す。個人に配付されたJGRADのIDと初期パスワードでJGRADにログインを実施した者(アクティベーション)は3,434人で、アカウント発行者全体の28.3%となっている。JGRADにおいてアクティベーションを実施している3,434人を本アンケート調査の対象者とする。

概要図表4 JGRADの登録状況

	人数	率(%)
ID発行	12,151	-
アクティベーション実施	3,434	28.3%

2.4. JGRADの登録項目

JGRADの登録項目は、「A. 基本情報」、「B. 課程在籍時の情報」、「C. 課程修了時の情報」、「D. 課程修了後のキャリア情報」の4種類に分類される。

「A. 基本情報」として、性別、生年月、国籍等、「B. 課程在籍時の情報」として、課程別、入学年月、研究分野等、「C. 課程修了時の情報」として、学位取得の有無、課程在籍時の経験、業績、経済的支援、進路情報等、「D. 課程修了後のキャリア情報」として、所在、所属機関、職種・職位、雇用期間等により構成されている。これらの登録項目の一部を本調査の集計と分析に使用した。

JGRADの登録項目と選択肢等の詳細については、参考資料6を参照されたい。

2.5. 所属確認とアンケート調査

JGRADは、国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして開発しているコミュニティウェアのNetCommons³を用いて開発されており、博士課程修了後のキャリア追跡のために開発したJGRAD独自のモジュールと、サイト上でアンケートの実施が可能な汎用のアンケートモジュールを備えている。JGRAD上で、登録者による所属確認とアンケート調査のフロー（概要図表2）を達成するにあたり、既存のアンケートモジュールを拡張した新たなアンケート方式をJGRADにおいて開発・実装した。

アンケート調査の内容として、所在、進学理由、進路希望、能力・スキルに対する意識、博士課程の満足度、博士課程修了後の職業等の状況等に関する質問項目を設定した。アンケート調査の質問文と選択肢は日本語と英語の両言語で作成し、前述のアンケートモジュールを用いて、JGRAD上で回答可能なWeb形式のアンケート調査票を作成した。

調査票の詳細については、参考資料7・8（日本語・英語）を参照されたい。

2.6. データ出力と作成

調査対象者のJGRAD登録項目の入力情報とアンケート調査の回答結果は、JGRADのデータベースサーバに保持される。調査期間終了後、それぞれのデータをJGRAD管理者用のWebサイトよりcsv形式で出力し、ファイルをダウンロードした。perl（v5.20.1）⁴により独自のプログラムを作成し、アンケート調査の回答結果を分析可能な形式に変換した上で、IDの情報をもとに、JGRADの登録項目の入力情報とアンケート調査の回答結果のデータを連結し、各種集計に用いた。

3. 結果

3.1. 所属確認とアンケート調査の回答状況

アクティベーションが実施されているJGRAD登録者3,434人を調査対象として、アンケート調査に対する回答状況を概要図表5に示す。JGRAD登録者のうち、JGRADの登録項目である「メールアドレス」を入力した者は2,647人（77.1%）、所属確認に回答した者は1,082人（31.5%）、アンケート調査に回答した者は1,051人となり、本アンケート調査の回収率は30.6%であった。

³ NetCommons 公式サイト <http://www.netcommons.org/>

⁴ Perl.org(<http://www.perl.org>)より入手

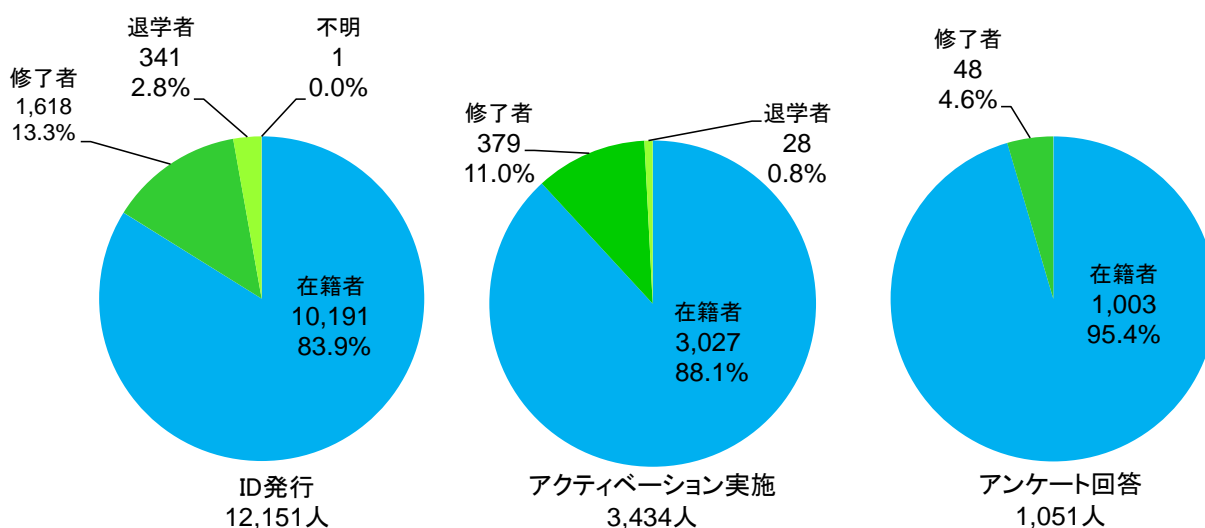
概要図表5 所属確認とアンケート調査の回答状況

	人数	率 (%)
アクティベーション実施	3,434	-
メールアドレス登録	2,647	77.1%
所属確認	1,082	31.5%
アンケート調査の回答	1,051	30.6%

NISTEPは大学の協力を得て、JGRADのIDを発行したJGRAD登録対象者に関して、2015年10月末までの博士課程修了の有無（退学を含む）の情報を取得している。JGRAD登録対象者12,151人のうち、在籍者は10,191人、修了者は1,618人、退学者は341人であり、JGRAD登録対象者全体の83.9%を在籍者が占める。一方、アンケート回答者1,051人のうち、在籍者は1,003人、修了者は48人となり、アンケート回答者の95.4%を在籍者が占めていた。博士課程修了の有無別にアンケート回収率をみると、在籍者が33.1%、修了者は12.7%となり、在籍者と比べて修了者のアンケート回収率は低かった。また、退学者からのアンケートの回答はなかった（概要図表6）。

概要図表6 調査対象者・アンケート回答者の課程修了・退学状況

	ID発行		アクティベーション実施		アンケート回答		回収率
	人数 (a)	比率 (%)	人数 (b)	比率 (%)	人数 (c)	比率 (%)	c/b (%)
在籍者	10,191	83.9%	3,027	88.1%	1,003	95.4%	33.1%
修了者	1,618	13.3%	379	11.0%	48	4.6%	12.7%
退学者	341	2.8%	28	0.8%	0	0.0%	0.0%
不明	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
計	12,151	100.0%	3,434	100.0%	1,051	100.0%	30.6%

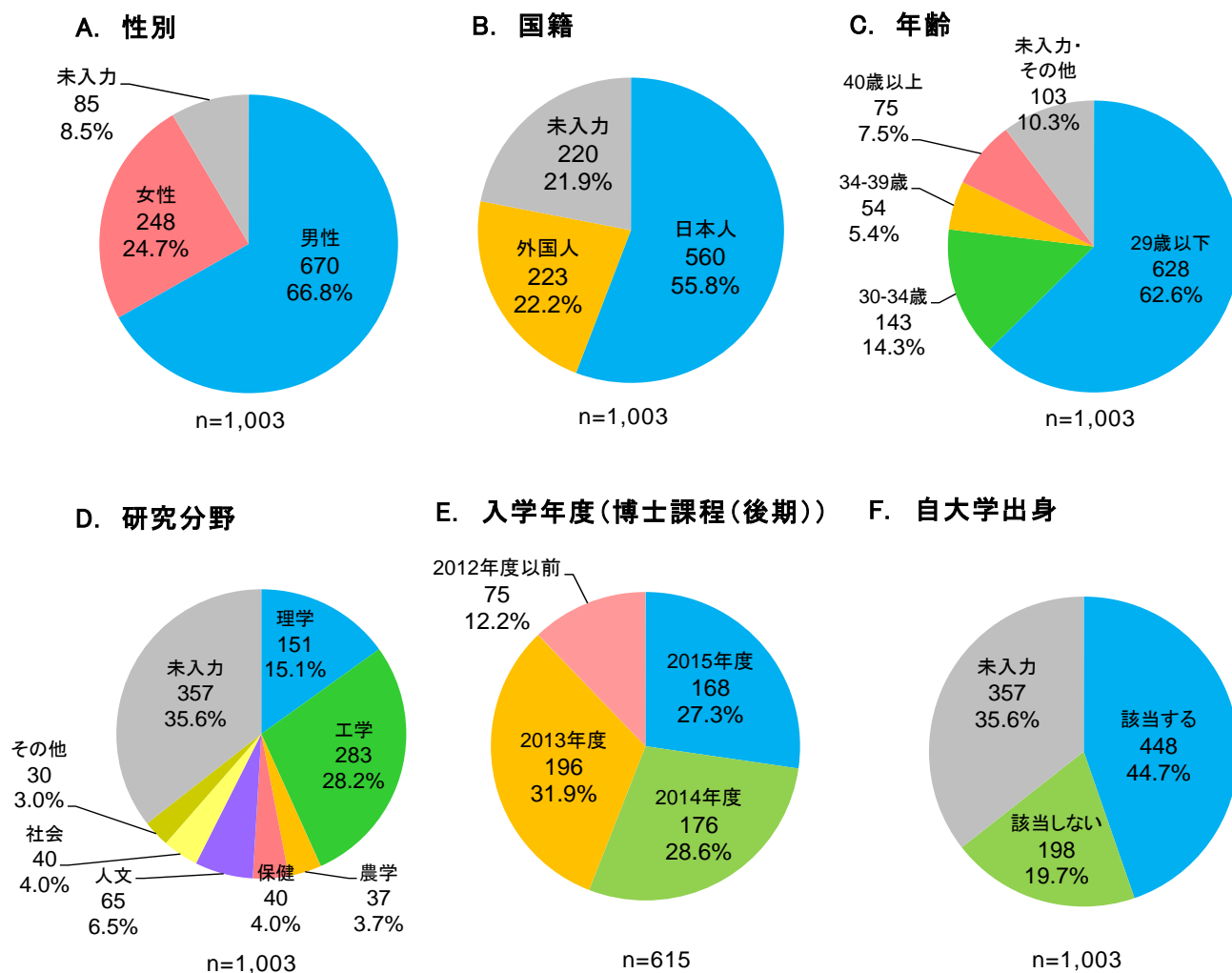


3.2. アンケート回答者の属性

アンケート回答者1,051人に関して、アンケート回答結果に付加されるJGRADのID情報にもとづき、JGRADに登録されている情報をアンケート結果に連結して集計した。集計に利用したJGRADの登録情報は、「A. 基本情報」の「性別」、「国籍」、「生年（※年齢に換算）」、「B. 博士課程在籍時

の情報」の「課程別」、「研究分野」、「自大学出身⁵」である。また、「入学年度」については、各大学より取得したデータを分析に使用した。なお、修了者は回答者のサンプル数が少ないため、主に在籍者に関して属性別のクロス集計を実施した。在籍者のアンケート回答者の属性を概要図表7に示す。これらの項目は、JGRADにおいて必須の登録項目であるものの、アンケートに回答した者であっても、JGRADに情報を登録していない者がいるため、未入力の方が存在する。

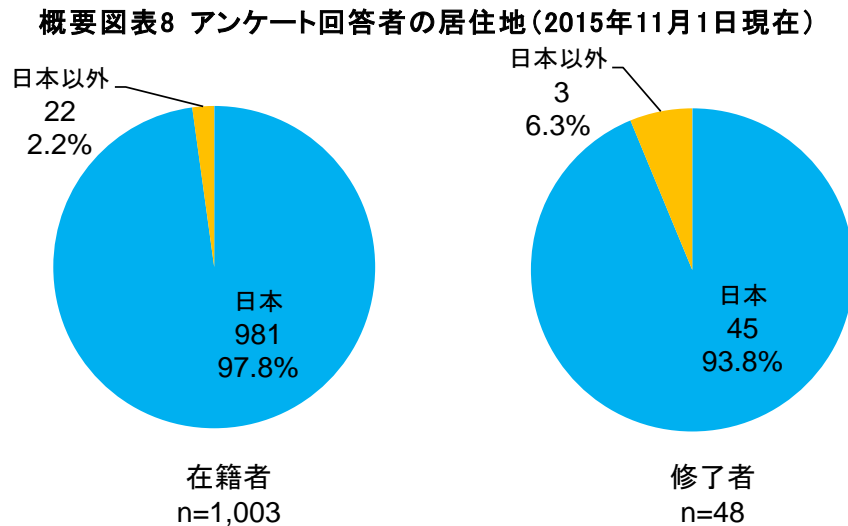
概要図表7 アンケート回答者の属性(在籍者)



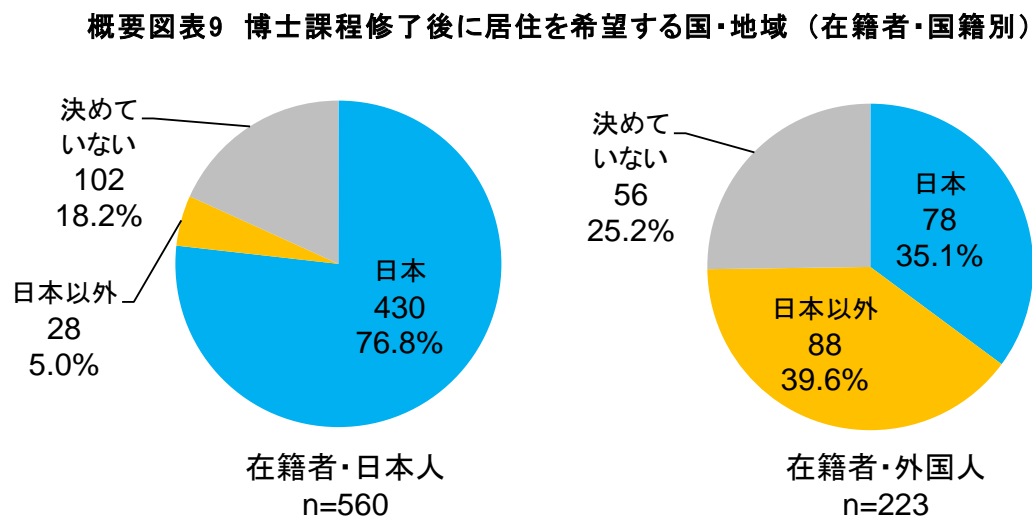
⁵博士課程(後期)では現在の所属大学と同じ修士課程又は博士課程(前期)を修了した場合、博士課程(一貫)では現在の所属大学の学部を卒業した場合に「自大学出身」に該当する。

3.3. アンケート調査の結果

JGRADでは、課程修了後の居住地の情報を「C. 修了後の進路情報」において取得しているが、登録者の現在の居住地の情報を取得する登録項目を設定していない。そのため、本アンケート調査において、在籍者及び修了者の居住地をみたところ、大半は日本国内に在住していることが分かった(概要図表8)。

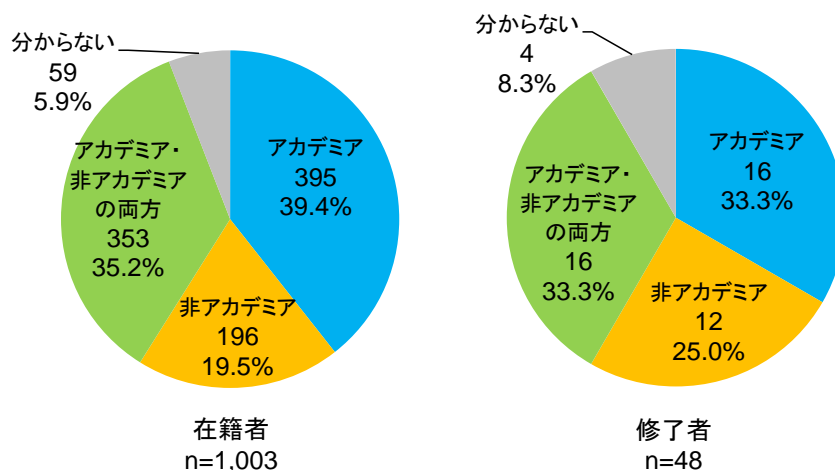


博士課程修了後の意識として、居住を希望する国・地域をたずねたところ、在籍者の65.2%は日本国内の居住を希望しており、日本以外の国・地域に居住を希望する者は13.9%であった。一方、修了者は72.9%が日本国内の居住を希望しており、日本以外の国・地域居住を希望する者は12.5%であった。アンケート回答者のうち在籍者について、国籍別に希望する居住地をみると、日本人の76.8%は日本国内の居住を希望しており、日本国内の居住を希望する外国人は35.1%であった。また、日本以外の国・地域に居住を希望する日本人は5.0%であり、外国人の39.6%は日本以外の国・地域に居住を希望していた(概要図表9)。



博士課程修了後に希望するキャリアをみると、アンケート回答者のうち在籍者の39.4%は「アカデミア」を希望しており、「非アカデミア」を希望する者は19.5%、「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者は35.2%であった。一方、修了者の33.3%は「アカデミア」を希望しており、「非アカデミア」を希望する者は25.0%、「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者は33.3%であった。修了者において「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者が一定数おり、博士課程修了後も両方のキャリアの選択肢を残していることがうかがわれる(概要図表10)。

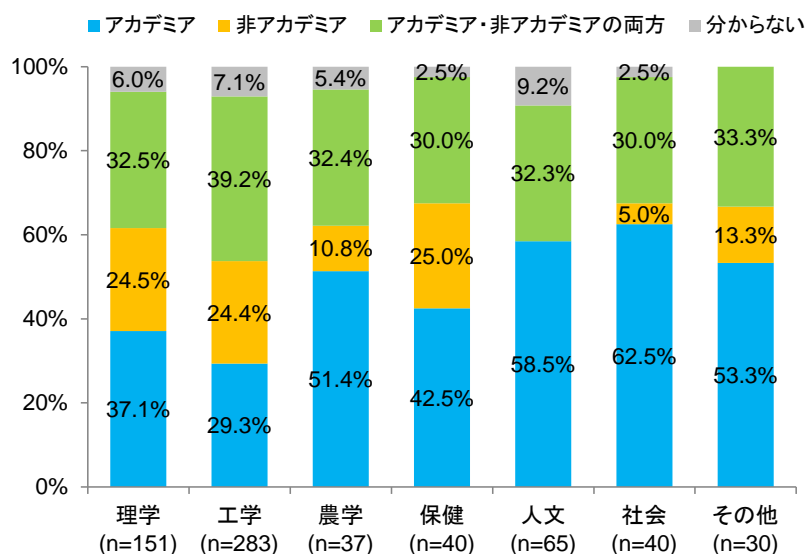
概要図表10 博士課程修了後に希望するキャリア



注) 修了者は現時点で希望するキャリア

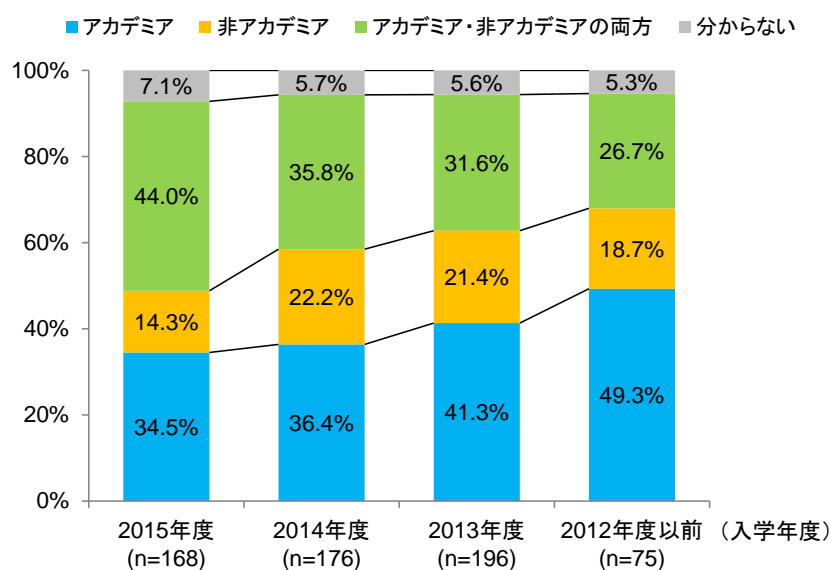
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを分野別にみると、アカデミアを希望する者は「社会」で最も高く62.5%であり、次いで「人文」が58.5%であった。一方、非アカデミアを希望する者は「保健」で最も高く25.0%であり、次いで「理学」が24.5%、「工学」が24.4%であった(概要図表11)。博士課程修了後に希望するキャリアは分野により異なる傾向がみられたが、ただし、JGRADパイロット運用に一部の研究科のみが参加している大学があり、また、分野によってはアンケート回答者が特定の大学に集中している場合があるため、注意が必要である。

概要図表11 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・分野別)



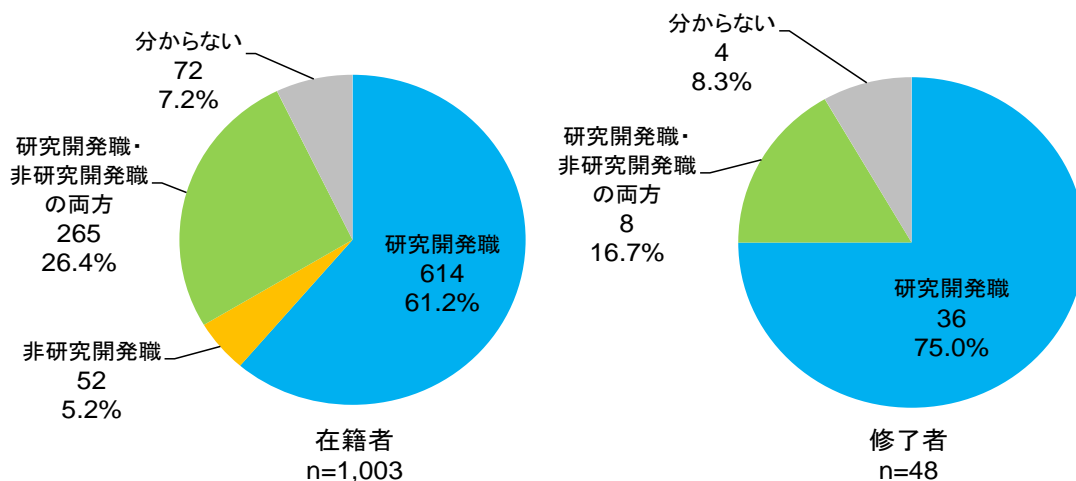
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程（後期）」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報に基づき回答者を分類した。博士課程修了後に希望するキャリアを入学年度別にみると、入学年度からの年数経過につれて、アカデミアを希望する者の割合が高まっており、希望するキャリアパスを確定している様子が見えてくる。また、今回のアンケート結果からは、博士課程入学2年目に「アカデミア・非アカデミア」から「非アカデミア」に希望を変更した者が多く、博士課程入学3年目に「アカデミア・非アカデミア」から「アカデミア」に希望を変更した者が多いことが推察される（概要図表12）。

概要図表12 博士課程修了後に希望するキャリア（在籍者・入学年度別）



博士課程修了後に希望する職種をみると、アンケート回答者のうち在籍者の61.2%は「研究開発職」を希望しており、「非研究開発職」を希望する者は5.2%であった。一方、修了者の75.0%は「研究開発職」を希望していた（概要図表13）。

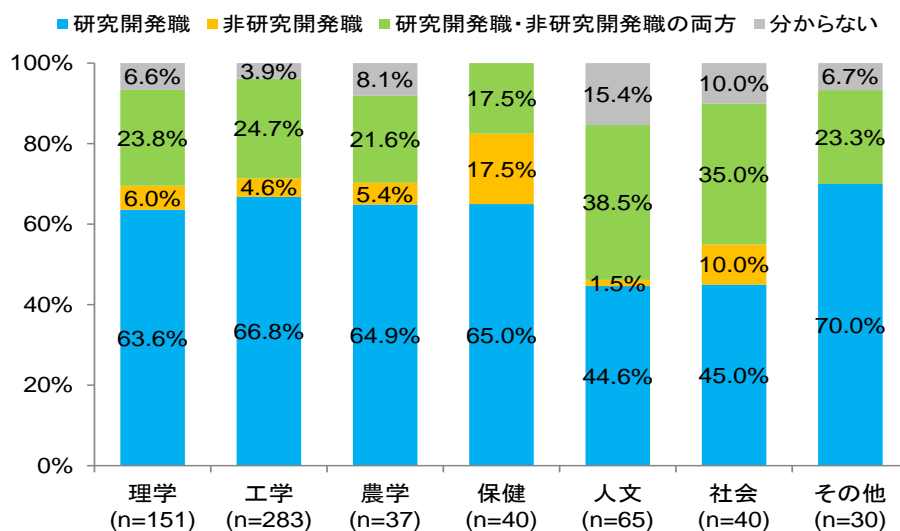
概要図表13 博士課程修了後に希望する職種



注) 修了者は現時点で希望する職種

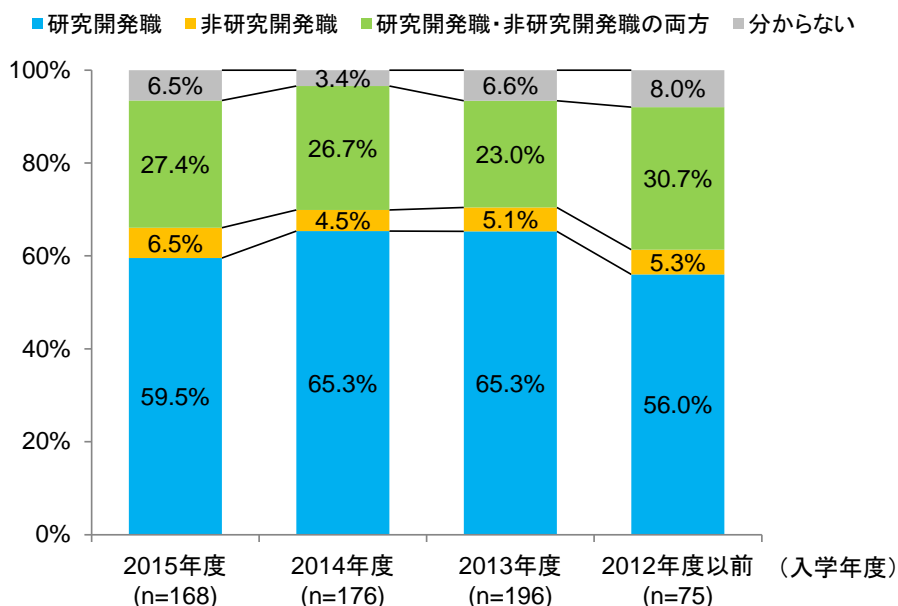
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を分野別にみると、「研究開発職」を希望する者は「工学」で66.8%と最も高く、「保健」が65.0%、「農学」が64.9%、「理学」が63.6%と、理工系で高い傾向にあった。一方、「人文」と「社会」において「研究開発職・非研究開発職の両方」を希望する者の割合が高く、他の分野と比べて修了後の職種を決めかねている状況がうかがわれる。また、「保健」において「非研究開発職」を希望する者の割合が高く、医師・歯科医師・薬剤師等の職種が該当するものと思われる(概要図表14)。

概要図表14 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・分野別)



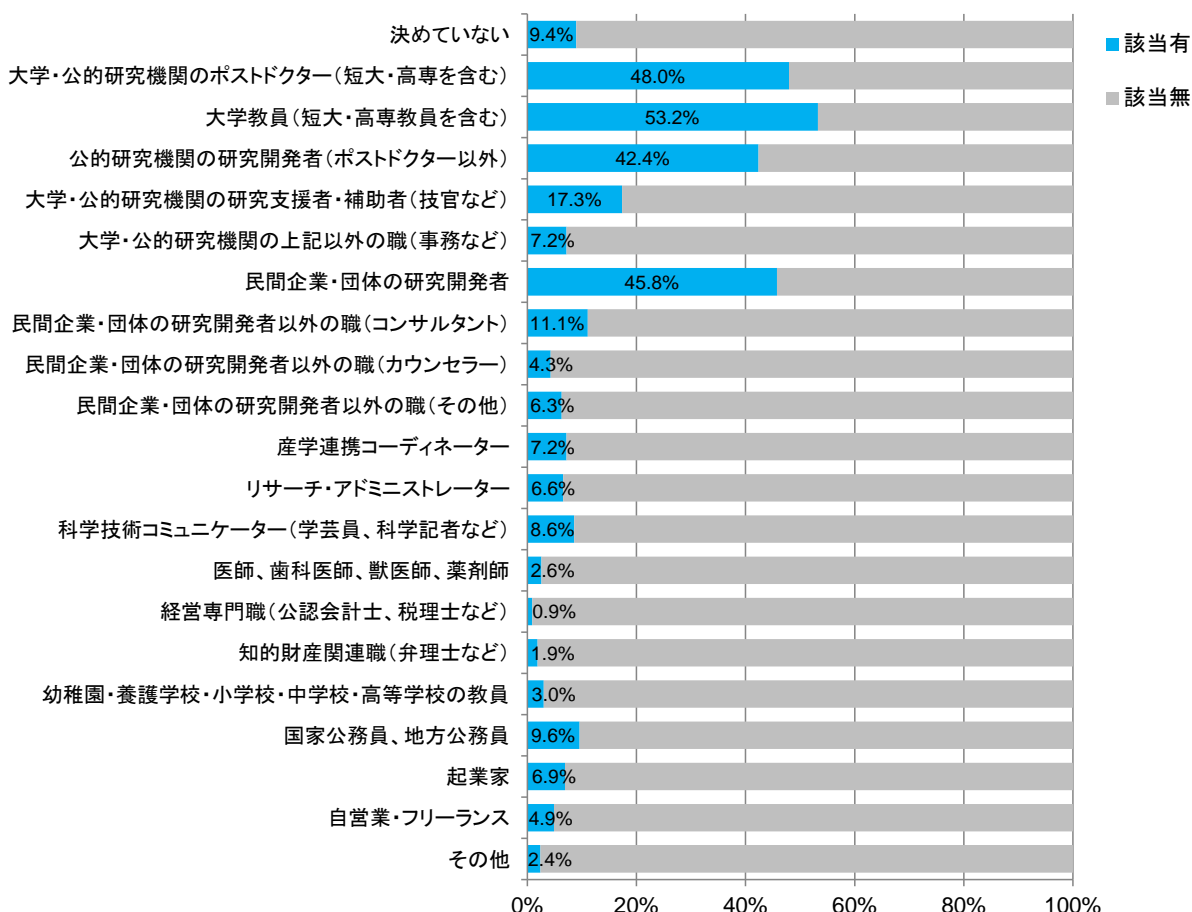
JGRADの登録項目である「入学年度」の情報に基づき回答者を分類した。博士課程修了後に希望する職種を入学年度別にみると、博士課程入学3年目までは「研究開発職」を希望する者の割合は大きくは変わらないが、博士課程入学4年目以降に「研究開発職・非研究開発職の両方」を希望している者の割合が大きくなっている(概要図表15)。

概要図表15 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・入学年度別)



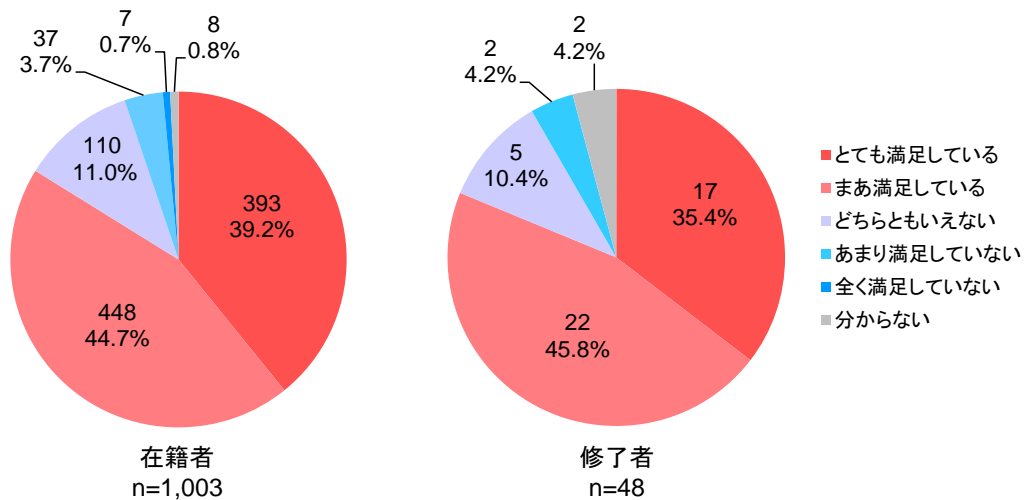
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に就職を希望する職業についてみたところ、「大学教員（短大・高専教員を含む）」を希望する者の割合が最も高く53.2%であり、「大学・公的研究機関のポストドクター（短大・高専を含む）」が48.0%、「民間企業・団体の研究開発者」が45.8%、「公的研究機関の研究開発者（ポストドクター以外）」が42.4%と続いている。上位4つの職業以外については、就職を希望すると選択した者が2割以下であった（概要図表16）。

概要図表16 博士課程修了後に就職を希望する職業（在籍者）



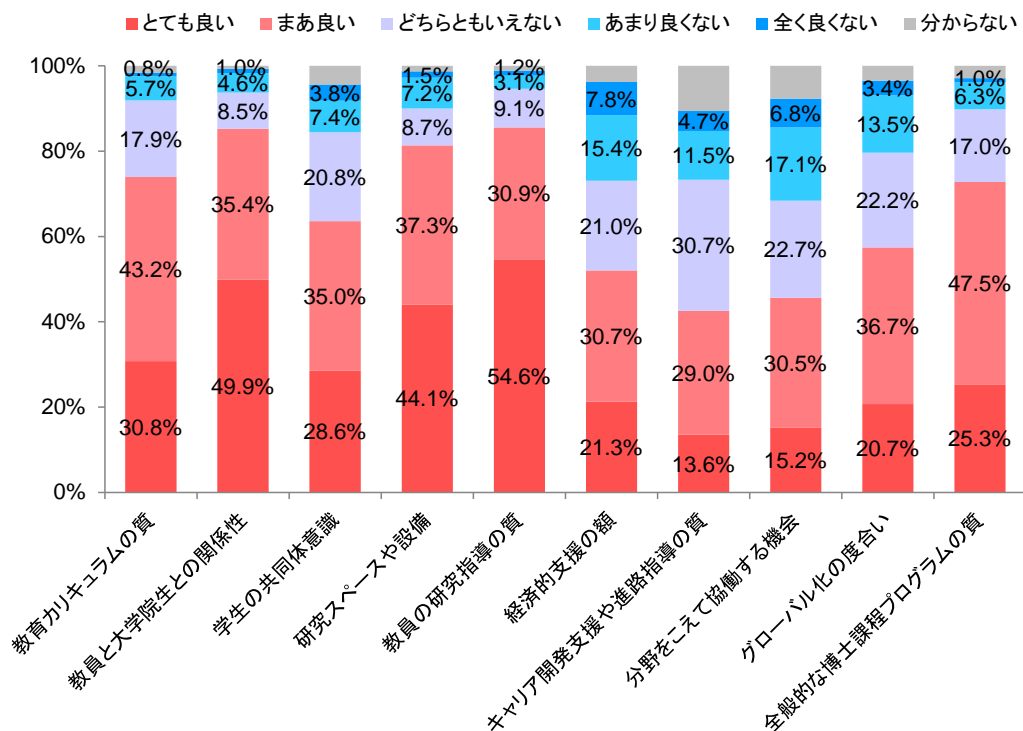
アンケート回答者の博士課程プログラムの満足度をみると、在籍者・修了者ともに「とても満足している」あるいは「まあ満足している」を選択した者が8割以上であり、NISTEPによる2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」における、8割程度の修了者が博士課程に満足しているという調査結果[3]と同様の傾向がみられた（概要図表17）。

概要図表17 博士課程プログラムの満足度



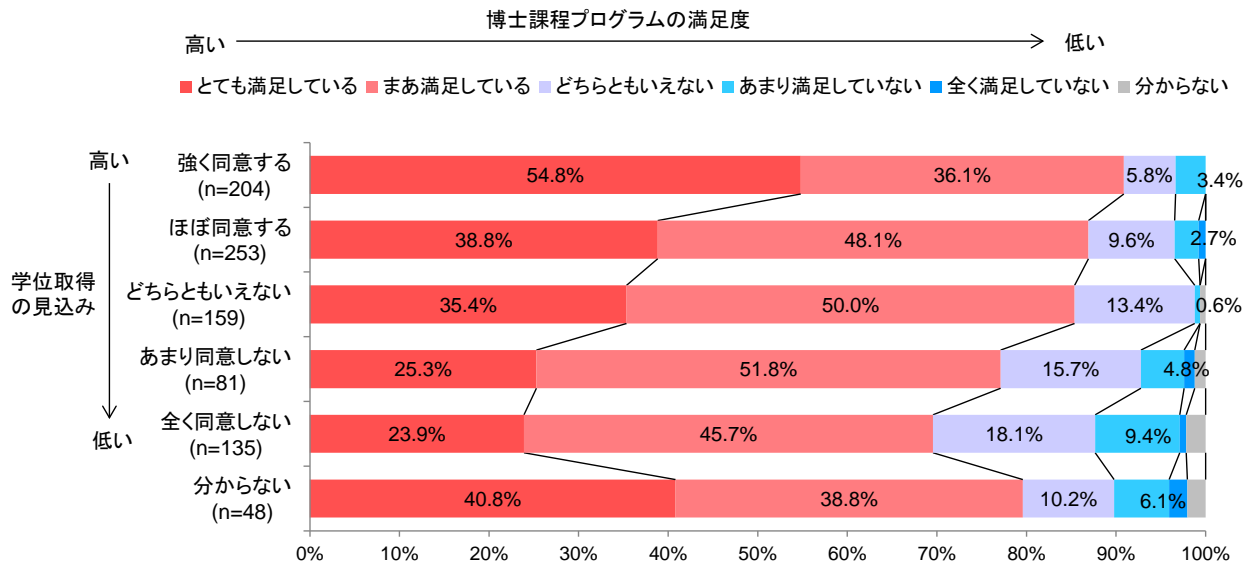
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程プログラムの印象をみた。設定した10項目のうち、「教員の研究指導の質」、「教員と大学院生の関係性」、「研究スペースや設備」を「とても良い」あるいは「まあ良い」を選択した者が8割を超えており、研究環境について良いと感じている傾向がみられた。一方で、「キャリア開発支援や進路指導の質」、「経済的支援の額」、「分野をこえて協働する機会」、「グローバル化の度合い」を「とても良い」あるいは「まあ良い」を選択した者は6割未満と、大学等によるサポート体制や外部との連携・ネットワーク展開について、一定の課題があることが推察される(概要図表18)。

概要図表18 博士課程プログラムの印象(在籍者)



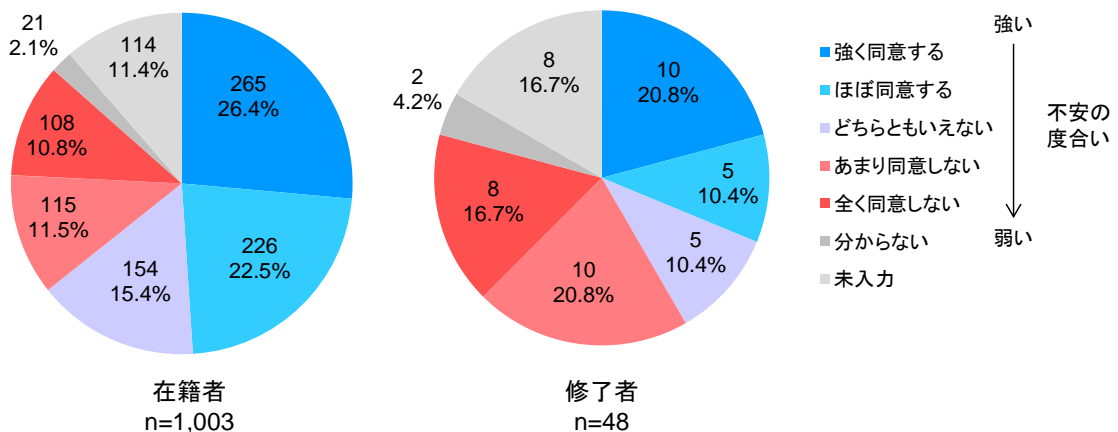
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士号の学位取得の見込みと博士課程プログラムの満足度についての関連性をみたところ、学位取得の見込みが高いと答えた者ほど、博士課程プログラムの満足度が高い傾向がみられた(概要図表19)。

概要図表19 学位取得の見込みと博士課程プログラムの満足度(在籍者)



博士課程修了後のキャリアについての不安をみると、アンケート回答者のうち在籍者の26.4%は不安を感じることに「強く同意する」と回答しており、「ほぼ同意する」と回答した者は22.5%と、約半数の在籍者が不安を感じていた。一方、アンケート回答者のうち修了者の20.8%は不安を感じることに「強く同意する」と回答しており、「ほぼ同意する」と回答した者は10.4%と、不安を感じている修了者は約3割であった(概要図表20)。

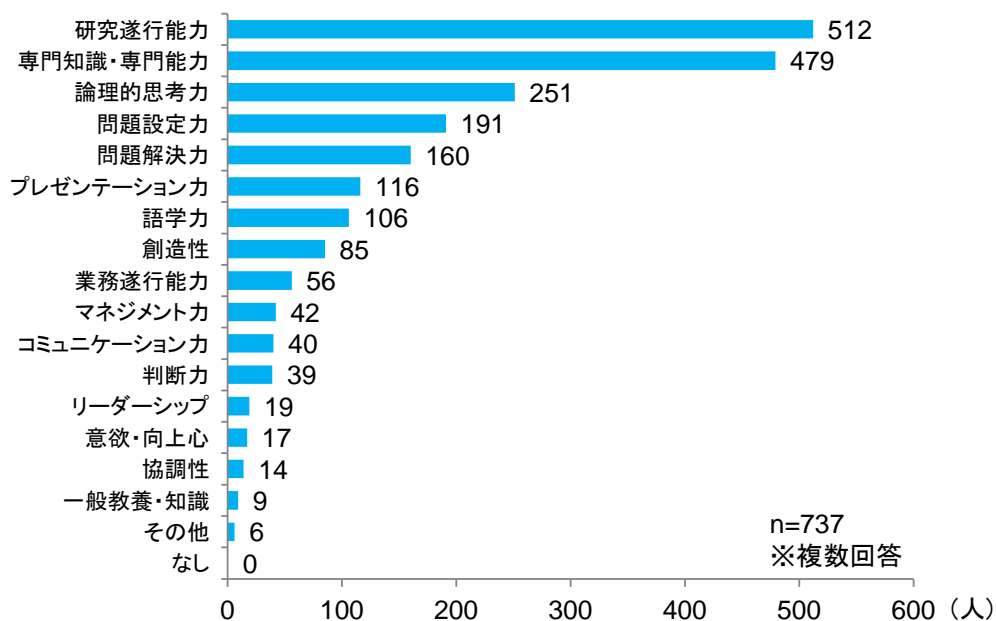
概要図表20 博士課程修了後のキャリアについての不安



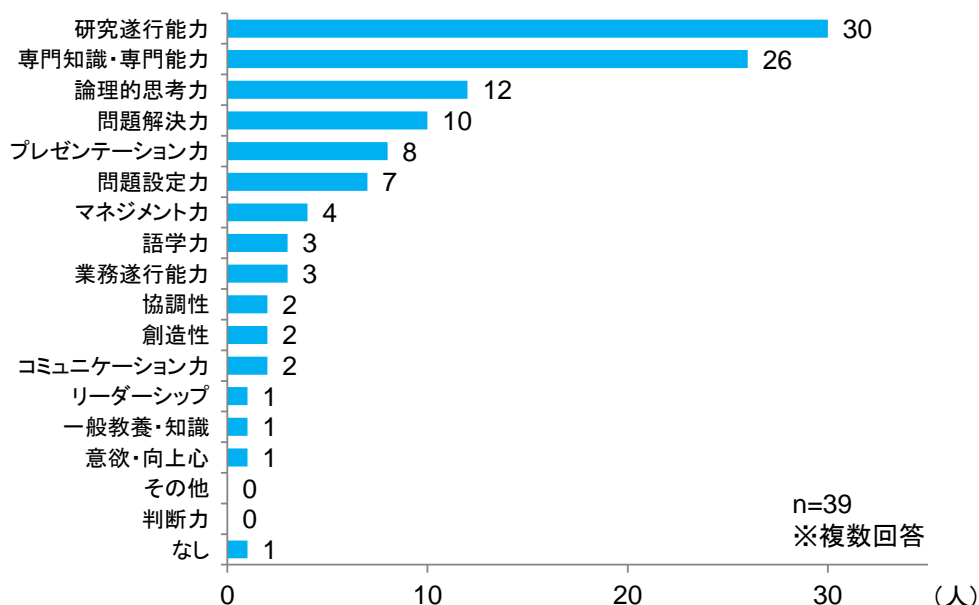
注) 修了者に対しては現時点でのキャリアについての不安をたずねている

アンケート回答者のうち在籍者に対して、「博士課程在籍中に身につけたい能力」として16項目を設定してたずねたところ、「研究遂行能力」を選んだ者が最も多く、「専門知識・専門能力」、「論理的思考力」の順で多く選択されていた。修了者に対しては、「博士課程在籍中に身につけたかった能力」をたずねたところ、「研究遂行能力」、「専門知識・専門能力」、「論理的思考力」の順で多く選択されており、能力に対する意識について、在籍者と修了者との大きな違いはみられなかった(概要図表21、概要図表22)。

概要図表21 博士課程在籍中に身につけたい能力(在籍者)

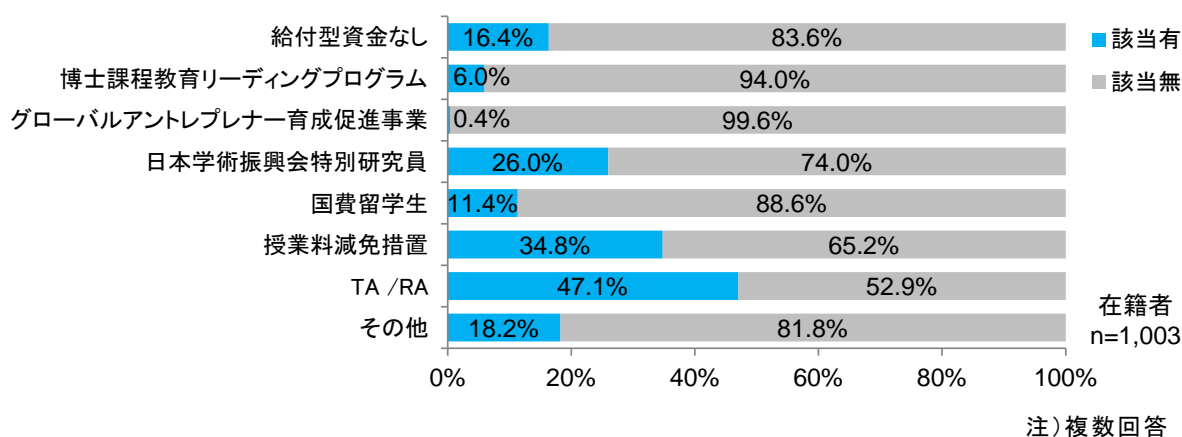


概要図表22 博士課程在籍中に身につけたかった能力(修了者)



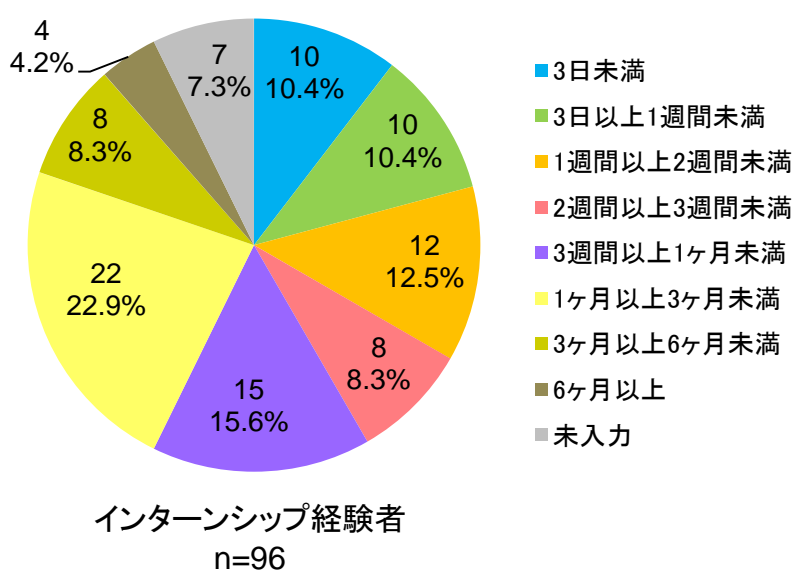
アンケート回答者のうち在籍者に対して、博士課程を継続するために利用した給付型資金について調べたところ、「TA/RA」を利用している者が最も多く、47.1%であった。「授業料減免措置」が34.8%、「日本学術振興会特別研究員」が26.0%、「国費留学生」が11.4%であり、「博士課程教育リーディングプログラム」には6.0%の者が該当していた。また、「給付型資金なし」と回答した者は16.4%であった(概要図表23)。

概要図表23 給付型資金の受給状況(在籍者)



アンケート回答者の在籍時の経験として、インターンシップ経験の有無と共同研究経験の有無についてみたところ、在籍者1,003人のうち、1社・機関以上でのインターンシップ経験がある者は96人で全体の9.6%、共同研究経験が有る者は217人で全体の21.6%を占めていた。また、在籍者のうちインターンシップの経験が有る者に対して、インターンシップの期間を調べたところ、「1ヶ月以上3ヶ月未満」が最も多く22.9%であった(概要図表24)。

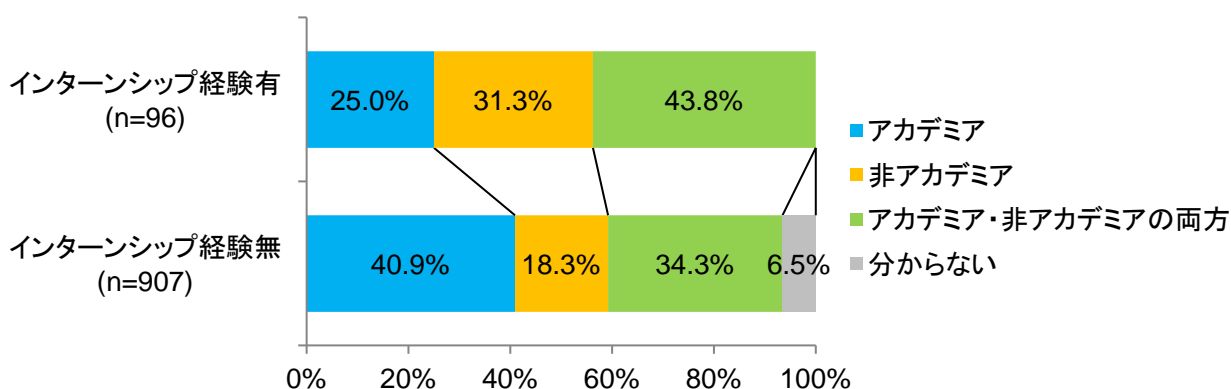
概要図表24 インターンシップの期間(在籍者・経験有)



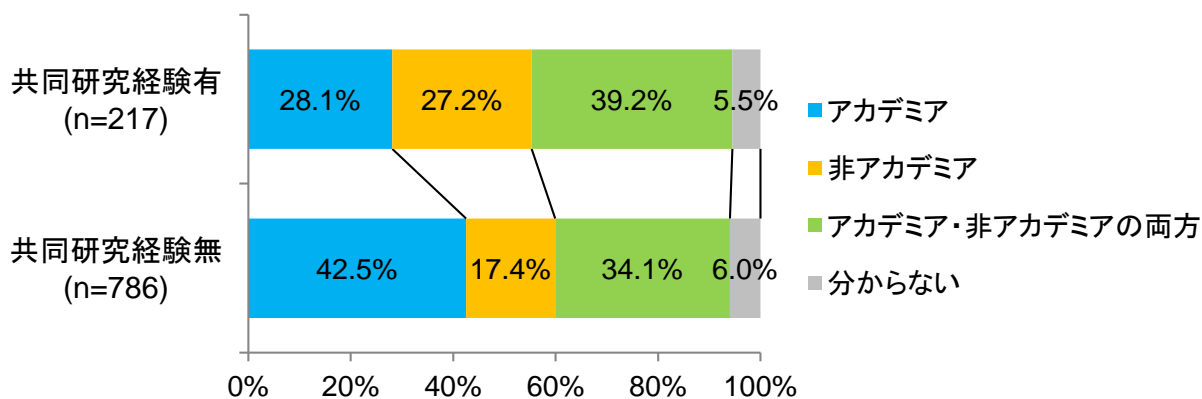
インターンシップ経験及び共同研究経験の有無と、博士課程修了後のキャリアの意識に関連性があるか調べたところ、インターンシップ経験が有る者の方が、博士課程修了後のキャリアパスとして「非アカデミア」を希望する者の割合が高く(概要図表25A)、同様に、共同研究経験が有る者の方が、博士課程修了後のキャリアパスとして「非アカデミア」を希望する者の割合が高かった(概要図表25B)。

概要図表25 在籍時の経験と博士課程修了後のキャリアについての希望(在籍者)

A. 博士課程修了後に希望するキャリア・インターンシップ経験別

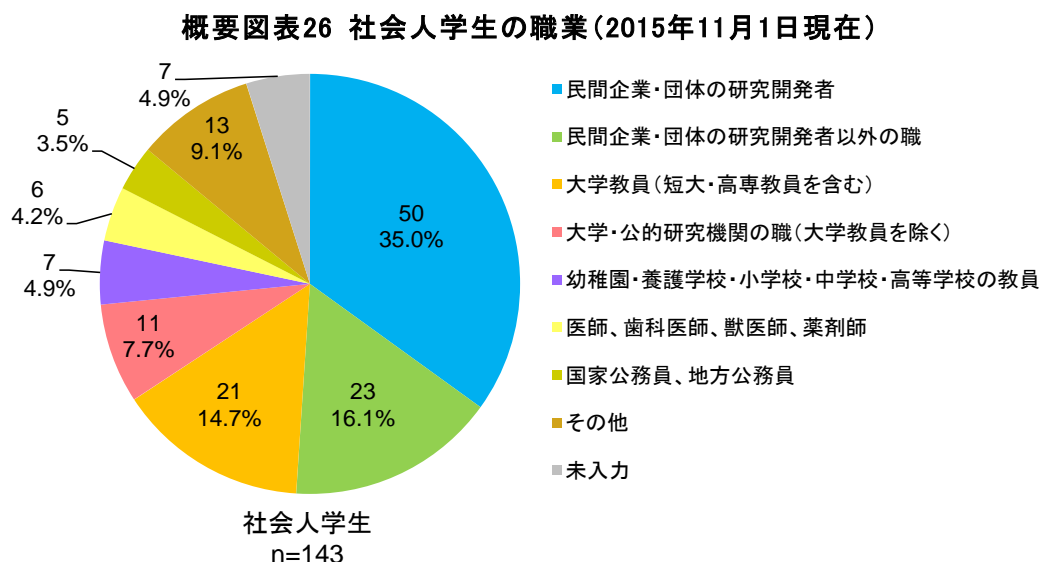


B. 博士課程修了後に希望するキャリア・共同研究経験別



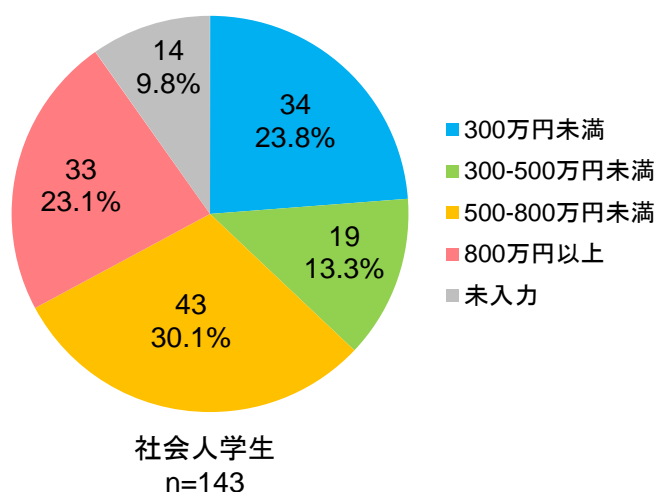
本調査の結果は、将来のキャリアとして「非アカデミア」を希望する者が、博士課程在籍中にインターンシップや共同研究に積極的に取り組んでいるとも考えられるものの、これらの経験が在籍者のキャリア形成の意識に影響を与える可能性が示唆されることから、博士課程進学者が修了後に多様なキャリアを構築できる環境を整備するため、大学と産業界等との連携をより強化していく必要があるだろう。

社会人学生⁶の2015年11月1日現在の職業をみると、「民間企業・団体の研究開発者」が最も多く35.0%であり、「民間企業・団体の研究開発者以外の職」が16.1%、「大学教員（短大・高専教員を含む）」が14.7%で続いている（概要図表26）。



社会人学生の年間収入（2014年11月1日～2015年10月31日まで）をみると、「500-800万円未満」と答えた者の割合が30.1%と最も高かった（概要図表27）。

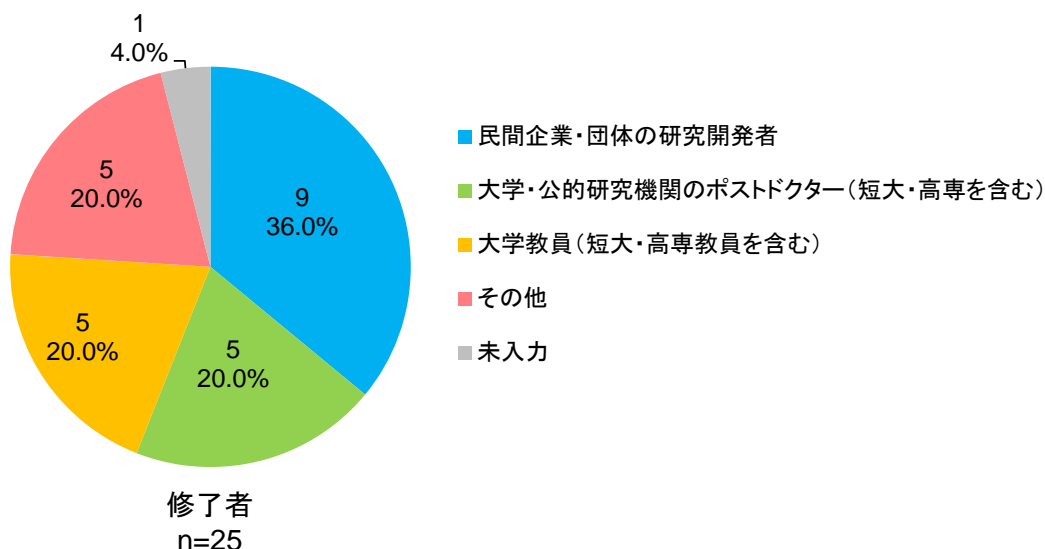
概要図表27 社会人学生の年間収入（2014年11月1日～2015年10月31日まで）



⁶ 質問に回答した者を「社会人学生」とみなしている。

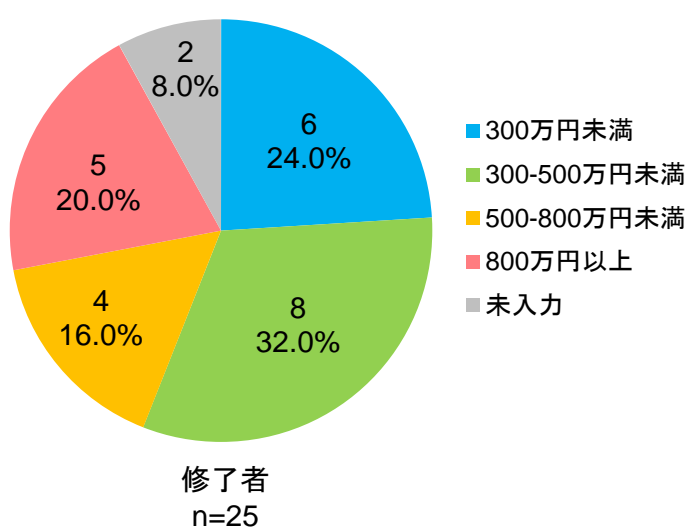
修了者の2015年11月1日現在の職業をみると、「民間企業・団体の研究開発者」と答えた者の割合が最も高く36.0%であった(概要図表28)。

概要図表28 修了者の職業(2015年11月1日現在)



修了者の年間収入(2014年11月1日～2015年10月31日まで)をみると、「300-500万円未満」と答えた者の割合が32.0%と最も高かった。NISTEPによる2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」においても、修了者の労働所得について300-500万円の所得層が最も多いという結果が得られており[3]、今回のアンケート調査はサンプル数が少ないものの、同様の傾向がみられた(概要図表29)。

概要図表29 修了者の年間収入(2014年11月1日～2015年10月31日まで)

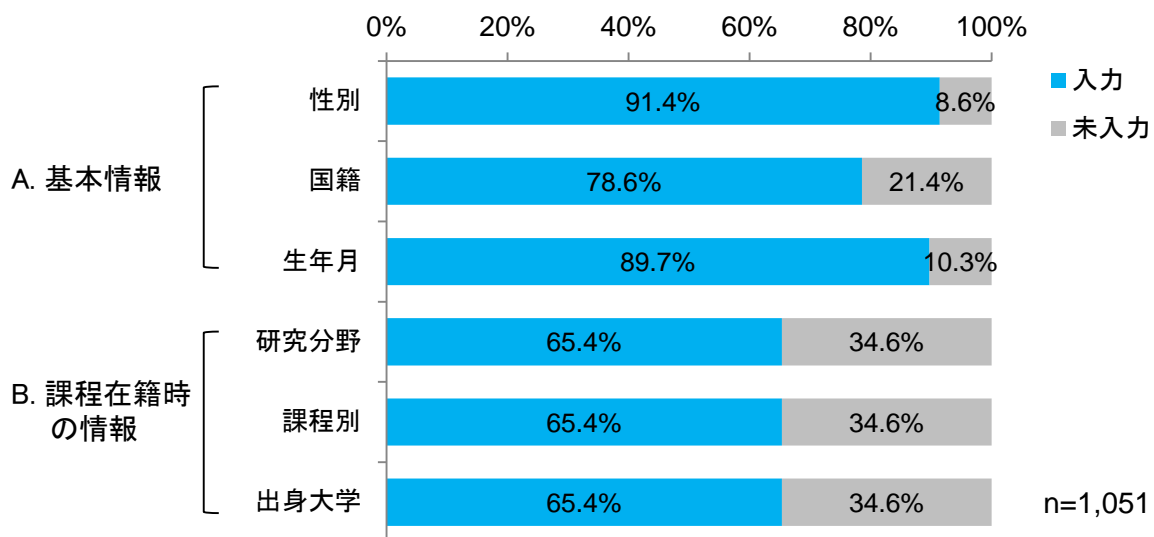


4. JGRADの改善と今後の展望

4.1. JGRADにおける登録項目のデータの質の向上

今回のアンケート調査結果を分析するにあたり、調査対象者の属性の情報についてJGRADの登録情報を用いた。2015年度よりパイロット運用に参加している京都大学は、JGRAD登録項目のうち、全登録者の「性別」、一部の登録者の「生年月」と「国籍」の情報をシステムに一括でインポートしている。そのため、アンケート回答者におけるこれらの項目の未入力者の割合は他の項目に比べて低いことが分かる(概要図表30)。今後、アンケートの集計結果をより精緻なものとするために、登録項目によっては、大学によるデータインポートの拡大が有効であると考えられる。

概要図表30 アンケート回答者のJGRAD登録項目の入力率



JGRADにおいて、「性別」、「国籍」、「生年月」の登録項目は「A.基本情報」に設置されており、「研究分野」、「課程別」、「出身大学」の登録項目は「B.課程在籍時の情報」に設置されている(概要図表30)。2015年度のJGRADのシステム改修により、登録者が「A.基本情報」を入力した後に「B.課程在籍時の情報」に強制的に遷移するように改善したため、今後、「B.課程在籍時の情報」の登録項目の充足率の向上が期待される。

今回の調査システムにおいては、JGRADの登録項目に情報を入力しなくともアンケートに回答できるようになっており、4人に1人はアンケート調査には回答するものの、データベースに登録を行っていないことが分かった。そのため、JGRADの登録項目に情報が入力されたことを確認してからアンケートに回答可能な仕組みとするなど、システム改修による改善を検討したい。

また、JGRADの「B.課程在籍時の情報」には、「社会人経験」の登録項目が設置されている。しかし、2015年11月に実装されたJGRADのシステム改修により新規に設けられたことから、今回の調査時点では十分な入力情報が得られず、集計には利用できなかった。今後、既にJGRADに入力している登録者に対しても、新しい登録項目の入力依頼を実施し、登録項目の充足率を高めていく必要がある。

4.2. 今後のJGRADの活用

JGRADは、博士課程修了後のキャリアパス追跡が可能な情報プラットフォームであり、大学は管理者として自大学のデータを参照することができる。「第5期科学技術基本計画」[2]において、「大学改革の主体は大学自身であり、自らの理念に基づき教育研究の現場に改革を実装していく責務を持っている。このため、国は、自らの強み、特色を最大限生かしつつ自己改革に積極的に取り組む国立大学を重点支援し、グローバルな視点から大学間競争を活性化する。」と述べられている。今回のアンケート調査では、大学別の回答数は少ないため、大学間比較を行うことが困難であったが、今後の回収率等の向上により、大学間比較に耐えうるデータが得られることが予想される。大学は全体の傾向との比較に加え、大学同士の連携等により主体的に大学間のベンチマーキングを実施するなど、大学自らがJGRADを用いたアンケート調査の結果を活用していくことを推奨したい。

また、科学技術イノベーションを担う人材力の強化に向けて、「第5期科学技術基本計画」[2]は、「科学技術イノベーション人材が、社会の多様な場において適材適所で活躍できるように促していくことも重要であり、産学官が科学技術イノベーション活動を共に進める中で、多様な職種のキャリアパスの確立と人材の育成・確保を進める。」と指摘している。博士課程在籍者や修了者が博士課程修了後の多様なキャリアパスを自ら切り拓いていくためにも、JGRADにより得られた博士課程在籍者及び修了者の教育研究経験などの全体的な傾向や、キャリアパス等に関する意識についての調査結果が今後もフィードバックされることで、個人が自身のキャリアを形成していく上での判断材料に資するようなプラットフォームとなることが期待される。

引用資料

- [1] 科学技術・学術政策研究所「持続可能な博士人材データベースの構築及び運用」、調査資料-242（2015）
- [2] 「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定）
- [3] 科学技術・学術政策研究所「「博士人材追跡調査」第1次報告書 ―2012年度博士課程修了者コホート―」、NISTEP REPORT No.165（2015）
- [4] 科学技術・学術政策研究所「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査 ―大学・公的研究機関への全数調査（2012年度実績）―」、調査資料-232（2014）

本 編

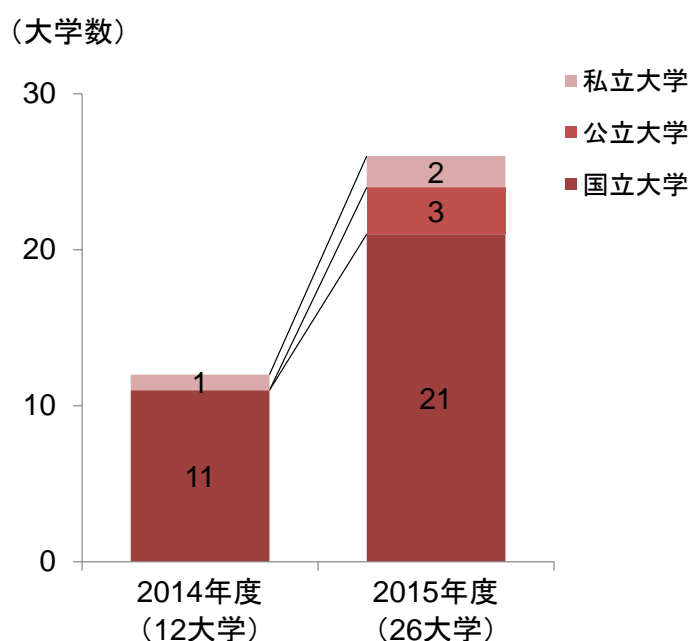
第1章 はじめに

1.1 背景と目的

文部科学省 科学技術・学術政策研究所(以下、「NISTEP」という)は、博士課程進学者の課程修了後のキャリアパスを把握するための情報基盤プラットフォームとして、2011年度より博士人材データベース(以下、「JGRAD」という)の設計と構築を進めている[1]。JGRADのシステム試行を実施するにあたり、NISTEPは有識者と7大学の関係者を集めたシステム試行に関するワーキング・グループを設置し、調査項目の設定や、蓄積されるデータの有効な活用方法を検討した[2]。これらの議論をもとに、NISTEPは12大学(国立11大学、私立1大学)の参画を得て、2014年度よりJGRADのパイロット運用を開始した[3]。

2015年度はJGRADパイロット運用への参加大学が拡大し、2016年3月末現在、国立21大学、公立3大学、私立2大学の計26大学⁷の協力により、JGRADの試験的な運用を継続している(図表1.1.1)。

図表 1.1.1 JGRAD のパイロット運用参加大学数の推移 (2016 年 3 月末現在)



2016年1月22日に閣議決定された「第5期科学技術基本計画」[4]において、我が国の科学技術イノベーションの基盤的な力を強化する上での課題として、「科学技術イノベーション活動を担う人

⁷(国立 21 大学) 北海道大学・東北大学・筑波大学・東京大学・東京医科歯科大学・東京農工大学・東京工業大学・お茶の水女子大学・電気通信大学・信州大学・豊橋技術科学大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・奈良女子大学・奈良先端科学技術大学院大学・岡山大学・広島大学・九州大学・長崎大学・熊本大学、(公立 3 大学) 大阪府立大学・大阪市立大学・兵庫県立大学、(私立 2 大学) 慶應義塾大学・東京理科大学

材に関して、若手が能力を十分に発揮できる環境が整備されていない、高い能力を持つ学生等が博士課程進学を躊躇しているといった問題点もある。今後、我が国の若年人口の更なる減少が想定される中で、科学技術イノベーション活動を担う人材を巡る諸問題の解決は喫緊の課題である。」と認識されており、このような現状を改善するために、「大学等における若手研究者の育成と活躍促進のための取組を強力かつ速やかに推進する。」とともに、「科学技術イノベーション人材が、社会の多様な場において適材適所で活躍できるように促していくことも重要であり、産学官が科学技術イノベーション活動を共に進める中で、多様な職種のキャリアパスの確立と人材の育成・確保を進める。」ことを提言している。

このような背景の中で、JGRADは「第5期科学技術基本計画」[4]において、「科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進」に向けた「博士人材のデータベースの整備・活用等を推進する」ための具体的な取り組みとして位置付けられており、我が国の科学技術イノベーションを支える人材力の強化に対する貢献が期待されている。

2014年度より、JGRADのデータベースには、登録対象者である博士課程在籍者並びに修了者の属性や教育研究経験等の情報が登録されている。本調査研究は、JGRADを用いて博士課程在籍者・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査を実施し、データベースに登録されている各種情報と、課程修了後のキャリアパス等に関する意識とを統合的に解析することで、今後の大学院教育並びに人材育成に関連する政策形成に役立てることを目的とする。本調査結果を踏まえ、今後のJGRADの改善や更なる利活用についても議論する。

また、今回の試行研究は、JGRADのパイロット運用参加大学や、登録者である博士課程在籍者・修了者に調査結果をフィードバックし、今後の大学運営や個人のキャリアパス形成の参考となるよう、JGRADの各ユーザに対する情報インセンティブの提供も狙いに含める。

NISTEPでは、2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」[5]や、2012年度に国内の大学・公的研究機関に在籍していたポストドクター等を対象とした「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査」[6]を実施している。これらは、全ての大学や機関を調査対象とした悉皆調査である。一方、JGRADを用いた本調査は、JGRADパイロット運用参加大学の在籍者並びに修了者が調査対象であるため、国全体の状況を把握するための既存の調査研究と異なる性質を持つ。

第2章 材料と方法

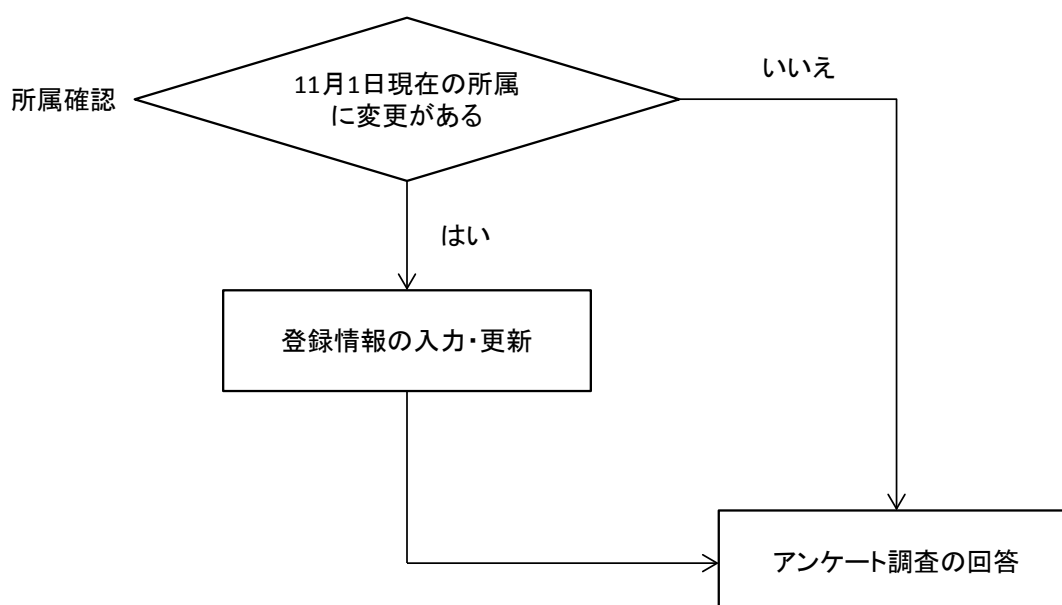
2.1 調査方法

2015年11月中旬に、JGRADのパイロット運用に参加している18大学に対し、『「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」について(依頼)』と題した依頼状(参考資料1)を株式会社 野村総合研究所(以下、「NRI」という)より通知した。この中で、各大学より、JGRADのアカウントを配付している在学生に対し、本調査についての告知を依頼メール等により実施して頂くようお願いしている。また、2015年12月下旬に、各大学に対して、在学生に向けた回答の督促の実施を依頼している。

JGRAD登録者に対しては、NISTEPが本調査に関する依頼事項をNISTEPのWebサイト⁸上に掲載し、『「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」について(依頼)』と題した依頼状(参考資料2・3)と回答の手順書(参考資料4・5)をダウンロードできるようにした。そして、2015年11月下旬に、JGRADのBBS機能を用いて、JGRADの基本情報にメールアドレスを登録している者(以下、「BBS配信対象者」という。)に対して、メール配信による調査依頼の周知をNRIが実施した。

調査対象者は、JGRADのWebサイト⁹にアクセスし、個別のID若しくは登録メールアドレスとパスワードでJGRADにログインした後、回答の手順書(参考資料4・5)に従って、まずは所属確認(2015年11月1日現在)を行い、JGRADに登録されている情報に変更がない者はアンケート調査に回答し、変更がある者は該当する登録項目の情報を入力・更新した後にアンケート調査に回答する仕組みとした(図表 2.1.1)。

図表 2.1.1 所属確認とアンケート調査のフロー



⁸ NISTEP Web サイト <http://www.nistep.go.jp>

⁹ JGRAD Web サイト <https://hr.nistep.go.jp>

BBS配信対象者については、2015年12月下旬と2016年1月下旬に、JGRADのBBS機能を用いて、メール配信による回答の督促をNRIが実施した。なお、JGRAD登録者には外国人が含まれるため、依頼状(参考資料2・3)と回答の手順書(参考資料4・5)は日本語と英語の両言語で作成し、調査の依頼や回答の督促も両言語で実施した。

2.2 調査期間

2015年11月30日(月)～2016年1月29日(金)

(当初、2015年12月25日を回答の締め切り日としていたが、大学からの要請もあり、2016年1月29日まで調査期間を延長した。)

2.3 調査対象者

調査期間中に、JGRADの博士IDが発行されていた博士課程在籍者及び修了者・退学者の大学別の総数を図表 2.3.1に示す。パイロット運用に参加していた22大学(2015年11月1日現在)のうち18大学が該当し、JGRAD登録対象者は12,151人である。なお、大学によっては、発行されたIDが必ずしも全ての学生に配付されていない点について留意されたい。

図表 2.3.1 調査対象大学とID発行数

大学名	パイロット運用参加研究科	ID発行年度	ID発行数
北海道大学	生命科学院	2014・2015	83
東北大学	全研究科	2015	2,604
筑波大学	人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合学研究科、図書館情報メディア研究者(希望者のみ)	2014・2015	196
東京大学	理学系研究科(修了生のみ)	2015	150
東京農工大学	全研究科	2014・2015	601
東京工業大学	理工学研究科:電気電子工学専攻、電子物理工学専攻、集積システム専攻、通信情報工学専攻	2014・2015	86
お茶の水女子大学	全研究科	2014・2015	467
豊橋技術科学大学	全研究科	2015	106
京都大学	薬学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、生命科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科(3回生以上)・総合生存学館(3回生以上)	2015	1,108
大阪大学	一部	2015	11
神戸大学	全研究科	2014・2015	1,896
奈良女子大学	全研究科	2015	162
岡山大学	全研究科	2014・2015	1,462
広島大学	全研究科(修了生のみ)	2015	2,095
九州大学	経済学府、工学府、統合新領域学府	2014・2015	256
奈良先端科学技術大学院大学	全研究科	2014・2015	191
慶應義塾大学	理工学研究科	2014・2015	389
東京理科大学	全研究科	2015	288
計			12,151

JGRAD登録対象者である博士課程在籍者及び修了者・退学者12,151人のJGRADへの登録状況を図表 2.3.2に示す。個人に配付されたJGRADのIDと初期パスワードでJGRADにログインを実施した者(アクティベーション)は3,434人で、アカウント発行者全体の28.3%となっている。JGRADにおいてアクティベーションを実施している3,434人を本アンケート調査の対象者とする。

図表 2.3.2 JGRAD の登録状況

	人数	率 (%)
ID発行	12,151	-
アクティベーション	3,434	28.3%

2.4 JGRADの登録項目

JGRADの登録項目は、「A. 基本情報」、「B. 課程在籍時の情報」、「C. 課程修了時の情報」、「D. 課程修了後のキャリア情報」の4種類に分類される。

「A. 基本情報」として、性別、生年月、国籍等、「B. 課程在籍時の情報」として、課程別、入学年月、研究分野、社会人経験等、「C. 課程修了時の情報」として、学位取得の有無、課程在籍時の経験(海外研究活動経験・インターンシップ経験等)・業績(査読付論文数等)・経済的支援(日本学術振興会の特別研究員、学費の免除等)、進路情報(所在、所属先機関、職種・職位、雇用期間等)等、「D. 課程修了後のキャリア情報」として、所在、所属機関、職種・職位、雇用期間等により構成されている。これらの登録項目のうち、一部を本調査の集計と分析に使用した。

JGRADの登録項目と選択肢等の詳細については、参考資料6を参照されたい。

2.5 所属確認とアンケート調査

JGRADは、国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして開発しているコミュニティウェアのNetCommons¹⁰を用いて開発されており、博士課程修了後のキャリア追跡のために開発したJGRAD独自のモジュールと、サイト上でアンケートの実施が可能なアンケートモジュールを備えている。JGRAD上で、登録者による所属確認とアンケート調査のフロー(図表 2.1.1)を達成するにあたり、既存のモジュールを拡張した新たなアンケート方式をJGRADに開発・実装した。

アンケート調査の内容として、所在、進学理由、進路希望、能力・スキルに対する意識、博士課程の満足度、博士課程修了後の職業等の状況等に関する質問項目を設定した。アンケート調査の質問文と選択肢は日本語と英語の両言語で作成し、前述のアンケートモジュールを用いて、JGRAD上で回答可能なWeb形式のアンケート調査票を作成した。調査票の詳細については、参考資料7・8(日本語・英語)を参照されたい。

調査対象者の回答の流れとして、まず、JGRAD登録者がJGRADにログインすると、調査期間中は2015年11月1日現在の所属を確認する画面(図表 2.5.1)が表示される。所属確認画面においては、博士課程在籍者の場合はJGRADに登録されている「所属先」が表示され、博士課程修了者の場合は2015年11月1日時点の所属として、「所属先」、「職種・職位」、「所定労働時間」、「雇用

¹⁰ NetCommons 公式サイト <http://www.netcommons.org/>

期間」が表示される。

図表 2.5.1 JGRADの所属確認画面

所属確認	
<2015年11月1日時点の所属>	
所属先	科学技術・学術政策研究所
職種・職位	ポスドクター等 (ポスドクター等)
所定労働時間	週40～30時間程度
雇用期間	1年以上

2015年11月1日現在、上記の情報に変更はありますか？

JGRADの所属確認画面(図表 2.5.1)において、所属の情報等に変更がある場合は「変更あり」をクリックすると、JGRADのMy Portal画面(図表 2.5.2)に遷移し、JGRADの各種登録情報を変更するようになっている。

図表 2.5.2 JGRADのMy Portal画面

My Portal

A.基本情報 B.課程在籍時の情報 C.課程修了時の情報 D.課程修了後のキャリア情報

A.基本情報

*印の項目は必須入力項目です。

ID user001 性別* ☒ 男性 ☐ 女性

ハンドル* Akira Shina 生年月* 西暦 1978 年 7 月

氏名 姓 権名 名 品 国籍* 日本

フリガナ 姓 シイナ 名 アキラ 日本

英字 姓 shina 名 akira パスワード パスワード変更はこちら

ミドルネーム セキュリティを保つため、初期パスワードは変更して下さい。

旧姓

旧姓(フリガナ)

メールアドレス* user001@nistep.go.jp

修了後も使えるようなgmail等入力

メールアドレス確認*

メールアドレス2 (予備メール) nistep_user01@nistep.go.jp

決定 キャンセル

「My Portal」にて登録情報の編集が終わった者、あるいは、所属に変更がなくJGRADの所属確認画面にて「変更なし」をクリックした者は、JGRAD内に設置されたアンケート調査画面(図表 2.5.3)に遷移し、Web形式のアンケート調査票に回答して終了という手順となっている。

図表 2.5.3 JGRADのアンケート調査画面

The screenshot shows a web interface for a survey. On the left is a green sidebar with navigation links: 'トップ' (Top), 'お知らせ' (Notice), 'お問合せ' (Contact), '個人情報取扱い' (Privacy Policy), 'My Portal' (highlighted), and 'Group' (with sub-links 'ALL', 'NISTEP', 'NISTEP UNIV'). Below these is a 'Change language:' section with a dropdown set to '日本語'. The main content area is titled 'My Portal' and contains the 'アンケート調査' (Survey) section. It includes four questions: Question 1 asks where the user lived on Nov 1, 2015, with a dropdown menu and a red asterisk indicating it is mandatory. Question 2 asks if the living place was the home country, with radio button options 'はい - Yes', 'いいえ - No', and '該当しない - Not Applicable', also marked as mandatory. Question 3 asks for a prefecture in Japan, with a dropdown menu and a red asterisk. Question 4 asks for the main research field during the doctoral program, with a red asterisk. The interface is clean with a light green background and clear text.

2.6 データの出力と作成

調査対象者のJGRADの登録項目の入力情報とアンケート調査の回答結果は、JGRADのデータベースサーバに保持される。調査期間終了後、それぞれのデータをJGRAD管理者用のWebサイトよりcsv形式で出力し、ファイルをダウンロードした。perl (v5.20.1)¹¹により独自のプログラムを作成し、アンケート調査の回答結果を分析可能な形式に変換した上で、IDの情報をもとに、JGRADの登録項目の入力情報とアンケート調査の回答結果のデータを連結し、各種集計に用いた。

¹¹ Perl.org(<http://www.perl.org>)より入手

第3章 結果

3.1 所属確認とアンケート調査の回答状況

アクティベーションが実施されているJGRAD登録者3,434人を調査対象として、所属確認とアンケート調査に対する回答状況を図表 3.1.1に示す。JGRAD登録者のうち、JGRADの登録項目である「メールアドレス」を入力した者は2,647人(77.1%)、所属確認に回答した者は1,082人(31.5%)、アンケート調査に回答した者は1,051人となり、本アンケート調査の回収率は30.6%であった。

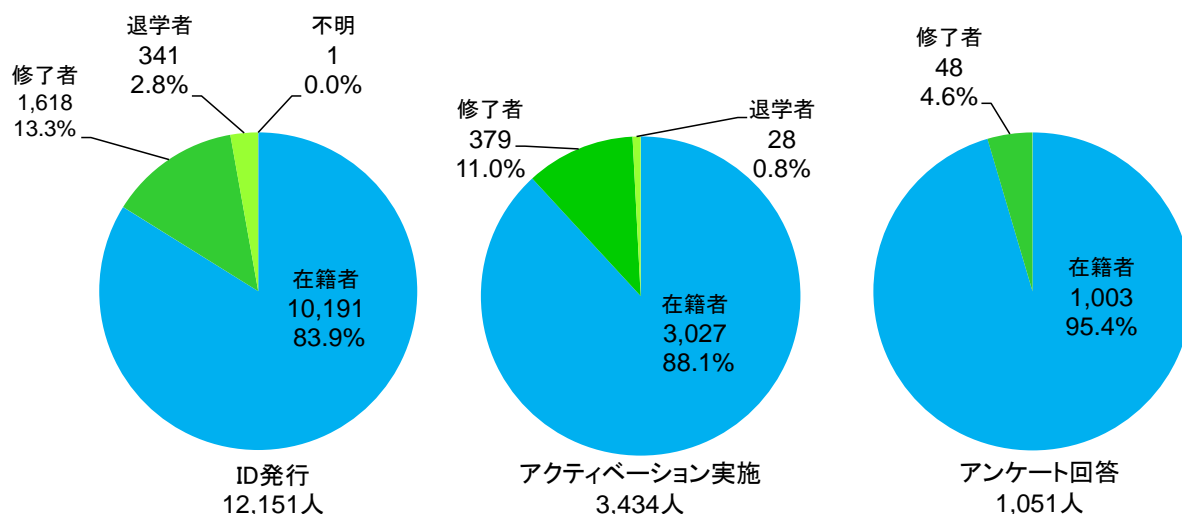
図表 3.1.1 所属確認とアンケート調査の回答状況

	人数	率 (%)
アクティベーション	3,434	-
メールアドレス登録	2,647	77.1%
所属確認	1,082	31.5%
アンケート調査の回答	1,051	30.6%

NISTEPは大学の協力を得て、JGRADのIDを発行したJGRAD登録対象者に関して、2015年10月末までの博士課程修了の有無(退学を含む)の情報を取得している。JGRAD登録対象者12,151人のうち、在籍者は10,191人、修了者は1,618人、退学者は341人であり、JGRAD登録対象者全体の83.9%を在籍者が占める。一方、アンケート回答者1,051人のうち、在籍者は1,003人、修了者は48人となり、アンケート回答者の95.4%を在籍者が占める。博士課程修了の有無別にアンケート回収率をみると、在籍者が33.1%、修了者は12.7%となり、修了者のアンケート回収率は低かった。また、退学者からのアンケートの回答はなかった(図表 3.1.2)。

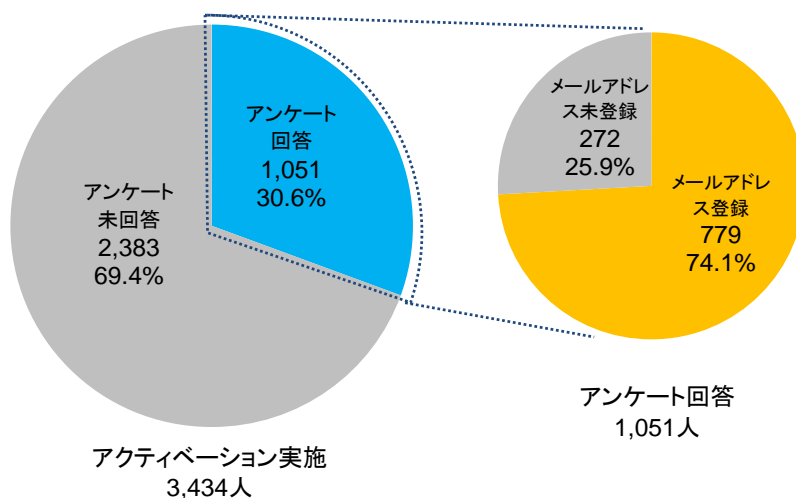
図表 3.1.2 調査対象者・アンケート回答者の課程修了・退学状況

	ID発行		アクティベーション実施		アンケート回答		回収率
	人数 (a)	比率 (%)	人数 (b)	比率 (%)	人数 (c)	比率 (%)	c/b (%)
在籍者	10,191	83.9%	3,027	88.1%	1,003	95.4%	33.1%
修了者	1,618	13.3%	379	11.0%	48	4.6%	12.7%
退学者	341	2.8%	28	0.8%	0	0.0%	0.0%
不明	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
計	12,151	100.0%	3,434	100.0%	1,051	100.0%	30.6%



今回の調査システムにおいては、JGRADの登録項目に情報を入力しなくともアンケートに回答できるようになっている。アンケート調査の回答者1,051人のうち、JGRAD上にメールアドレスを登録していない者が272人と25.9%を占め、4人に1人はアンケート調査には回答するものの、データベースに登録を行っていないことが分かった(図表 3.1.3)。

図表 3.1.3 メールアドレス登録状況



3.2 アンケート回答者の属性

アンケート回答者1,051人に関して、アンケート回答結果に付加されるJGRADのID情報にもとづき、JGRADに登録されている情報をアンケート結果に連結して集計した。集計に利用したJGRADの登録情報は、「A. 基本情報」の「性別」、「国籍」、「生年(※年齢に換算¹²⁾」、「B. 博士課程在籍の情報」の「課程別」、「研究分野」、「自大学出身¹³⁾」である。これらの項目は、JGRADにおいて必

¹²⁾ JGRAD は「生年」が登録項目であるため、集計においては JGRAD に登録されている「生年」の情報から 2015 年 12 月 31 日時点の年齢を算出している。

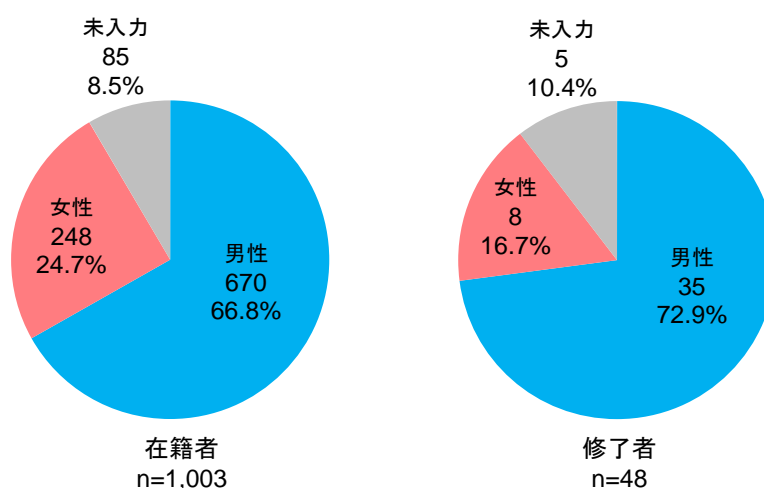
¹³⁾ 博士課程(後期)では現在の所属大学と同じ修士課程又は博士課程(前期)を修了した場合、博士課程(一貫)では現在の所属大学の学部を卒業した場合に「自大学出身」に該当する。

須の登録項目であるものの、アンケートに回答した者であっても、データベースに情報を登録していない者がいるため、未入力の方が存在する。また、「博士課程修了の有無」と「入学年度」については、各大学より取得したデータを分析に使用した。

アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者のJGRADに登録されている「性別」をみると、在籍者では「男性」が66.8% (670人) を占め、修了者では「男性」が72.9% (35人) を占める(図表 3.2.1)。未入力者を除くと、在籍者の男性比率は72.9%、修了者の男性比率は81.4%である。

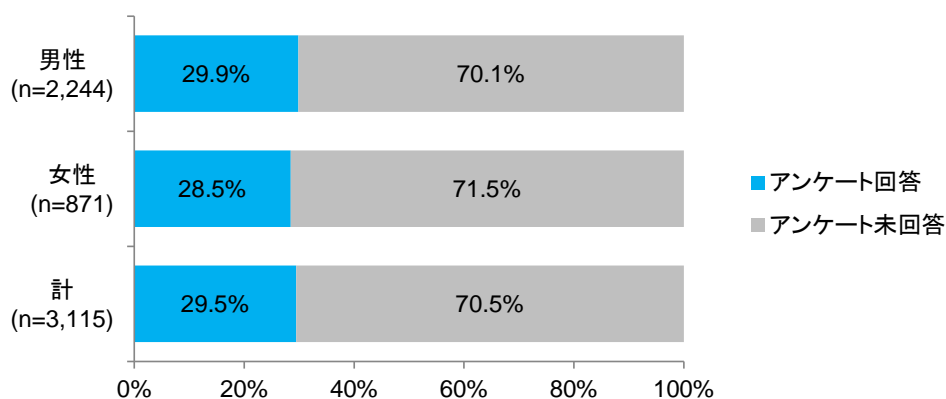
図表 3.2.1 アンケート回答者の性別

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
男性	670	66.8%	35	72.9%
女性	248	24.7%	8	16.7%
未入力	85	8.5%	5	10.4%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



JGRADに性別が登録されている在籍者のアンケート回答率を男女別にみると、回答率はそれぞれ約30%となり、性別による大きな違いはみられなかった(図表 3.2.2)。

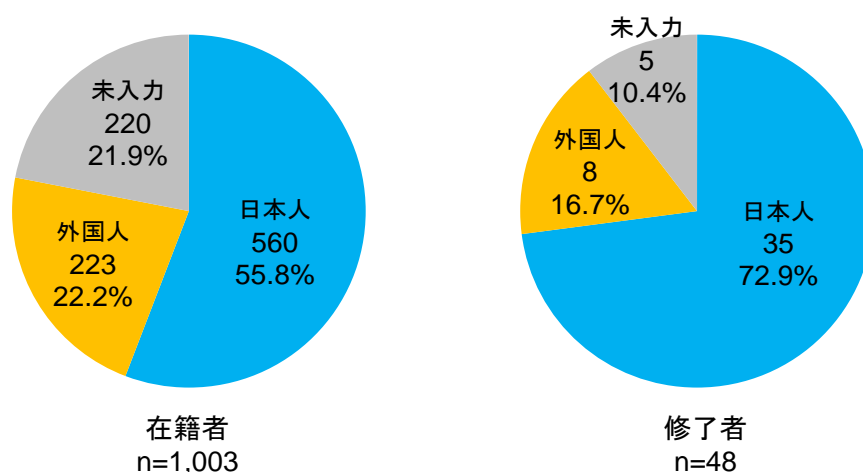
図表 3.2.2 アンケート回答率(在籍者・性別)



アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者のJGRADに登録されている「国籍」をみると、在籍者では「日本人」が55.8%(560人)を占め、修了者では「日本人」が72.9%(35人)を占める(図表 3.2.3)。未入力者を除くと、在籍者の外国人比率は28.5%、修了者の外国人比率は18.6%であった。

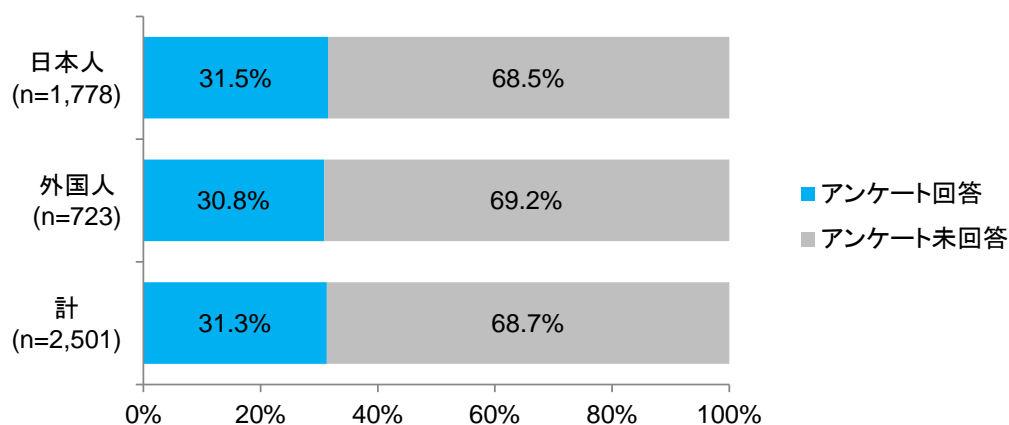
図表 3.2.3 アンケート回答者の国籍

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
日本人	560	55.8%	35	72.9%
外国人	223	22.2%	8	16.7%
未入力	220	21.9%	5	10.4%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



JGRADに国籍が登録されている在籍者のアンケート回答率を国籍別にみると、回答率はそれぞれ約30%となり、国籍による大きな違いはみられなかった(図表 3.2.4)。

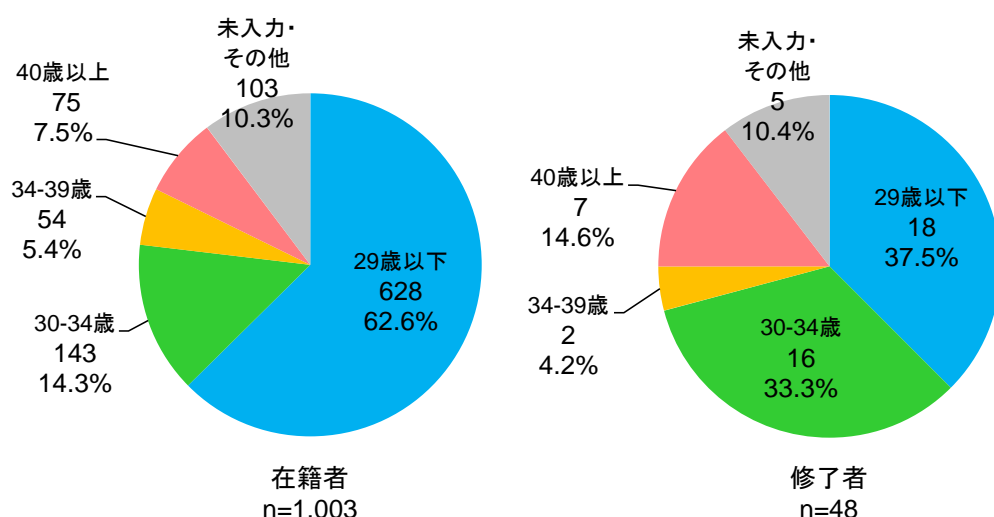
図表 3.2.4 アンケート回答率(在籍者・国籍別)



アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者の年代をみると、在籍者では「29歳以下」が62.6%(628人)を占め、次いで「30-34歳」が14.3%(143人)を占める。一方、修了者に占める「29歳以下」の割合は37.5%(18人)であり、「30-34歳」の割合は33.3%(16人)と同程度であった(図表 3.2.5)。

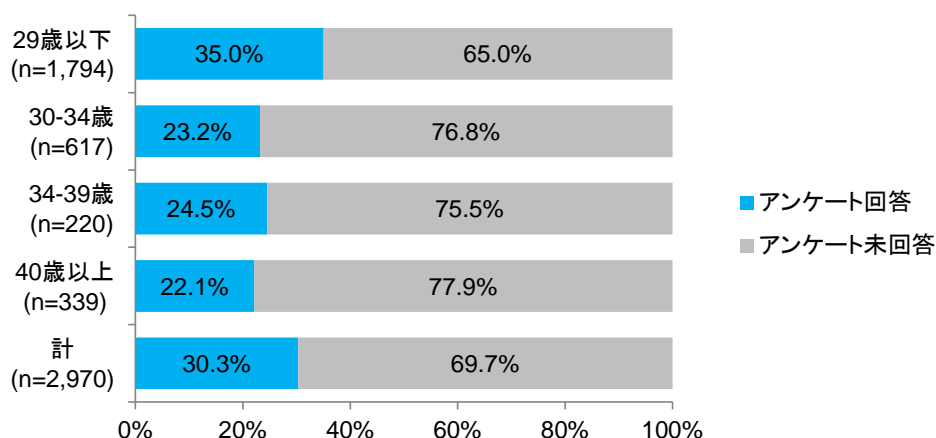
図表 3.2.5 アンケート回答者の年代

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
29歳以下	628	62.6%	18	37.5%
30-34歳	143	14.3%	16	33.3%
34-39歳	54	5.4%	2	4.2%
40歳以上	75	7.5%	7	14.6%
未入力・その他	103	10.3%	5	10.4%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



JGRADに生年が登録されている在籍者のアンケート回答率を年代別にみると、「29歳以下」の回答率は35.0%である一方、「30歳-34歳」は23.2%、「34-39歳」は24.5%、「40歳以上」は22.1%となり、29歳以下と比べて30歳以上の回答率は低い傾向にあった(図表 3.2.6)。

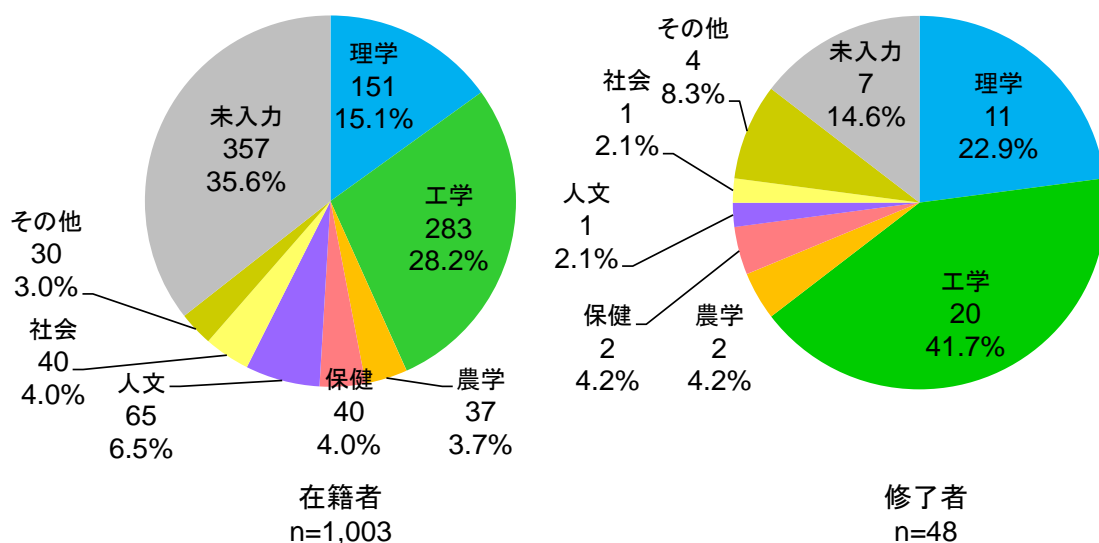
図表 3.2.6 アンケート回答率(在籍者・年代別)



アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者のJGRADに登録されている研究分野をみると、在籍者では「工学」が28.2%(283人)と最も高く、「理学」が15.1%(151人)と次いでいる。修了者も同様に、「工学」が41.7%(20人)と最も高く、「理学」が22.9%(11人)と次いでいる。工学・理学以外の分野は、在籍者・修了者ともに全体の5%前後を占める(図表 3.2.7)。

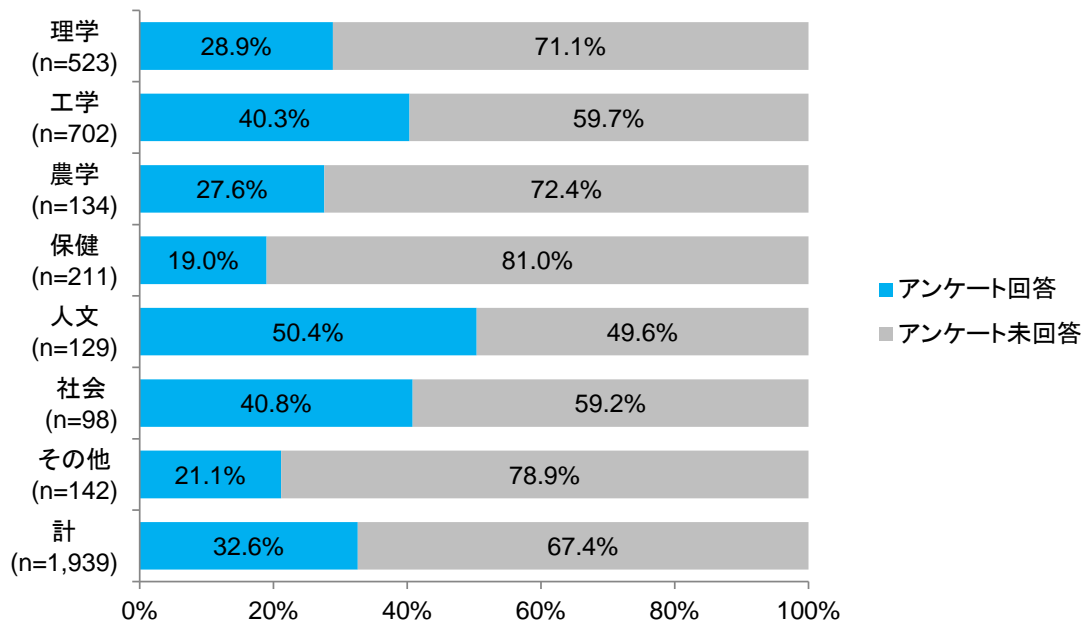
図表 3.2.7 アンケート回答者の研究分野

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
理学	151	15.1%	11	22.9%
工学	283	28.2%	20	41.7%
農学	37	3.7%	2	4.2%
保健	40	4.0%	2	4.2%
人文	65	6.5%	1	2.1%
社会	40	4.0%	1	2.1%
その他	30	3.0%	4	8.3%
未入力	357	35.6%	7	14.6%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



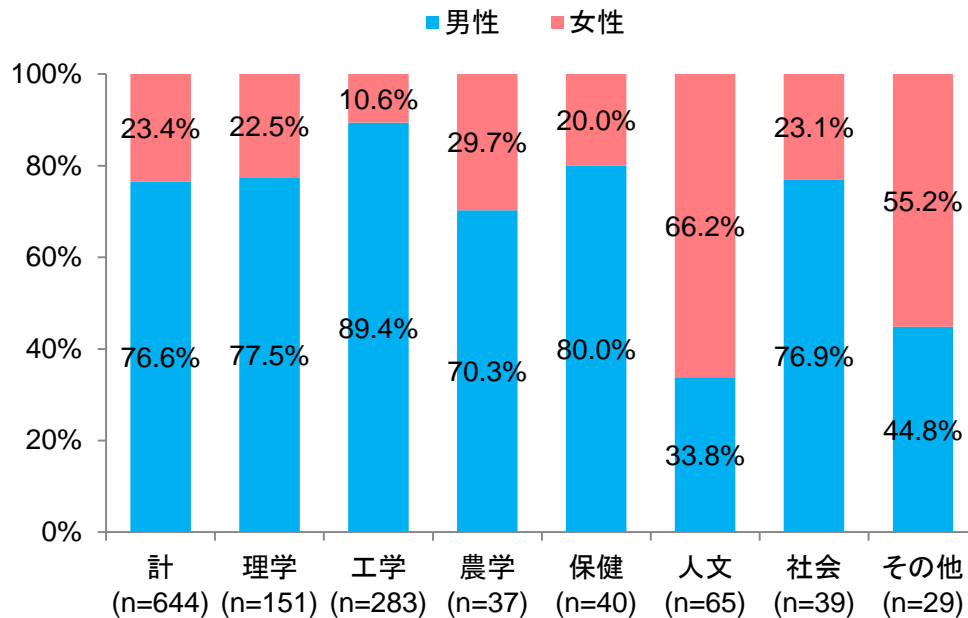
JGRADに研究分野が登録されている在籍者のアンケート回答率を研究分野別にみると、「人文」の回答率が50.4%と最も高く、次いで「社会」の回答率が40.8%と人社系の回答率が高かった(図表 3.2.8)。

図表 3.2.8 アンケート回答率(在籍者・研究分野別)



アンケート回答者における在籍者を対象に、JGRADに登録されている研究分野別で女性比率をみると、全体の女性比率が23.4%であるところ、「人文」が66.2%と最も高く、「その他」が55.2%と次いでいる。一方、「工学」は女性比率が10.6%と最も低い(図表 3.2.9)。

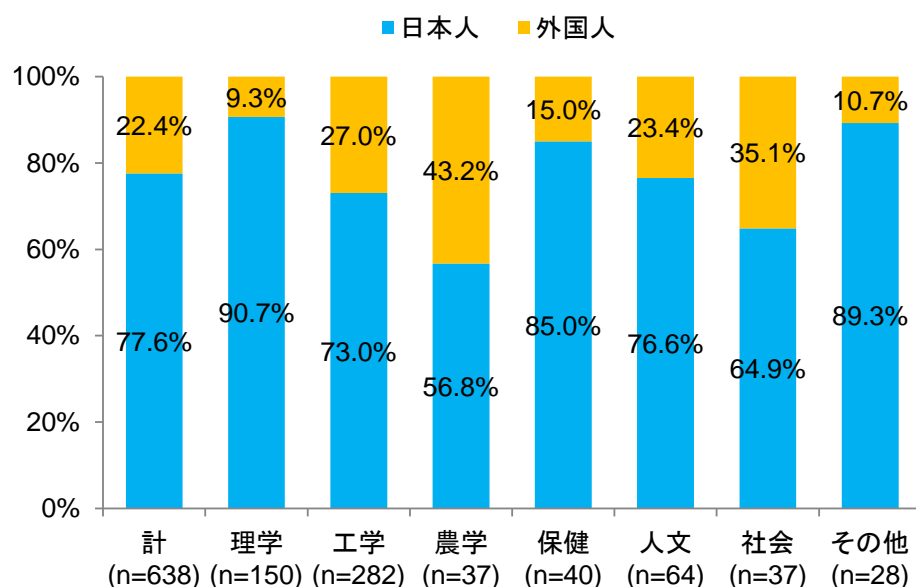
図表 3.2.9 アンケート回答者の女性比率(在籍者・研究分野別)



注) 性別の未入力者を除く

アンケート回答者における在籍者を対象に、研究分野別で外国人比率をみると、全体の外国人比率が22.4%であるところ、「農学」が43.2%と最も高く、「社会」が35.1%、「工学」が27.0%と次いでいる。一方、「理学」は外国人比率が9.3%と最も低い(図表 3.2.10)。

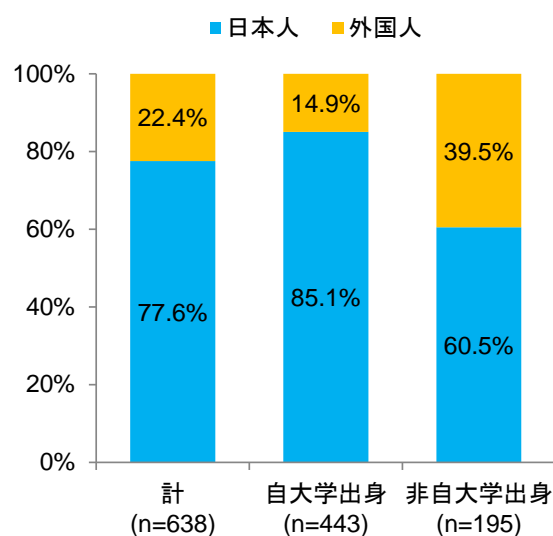
図表 3.2.10 アンケート回答者の外国人比率(在籍者・研究分野別)



注) 国籍の未入力者を除く

アンケート回答者における博士課程在籍者を対象に、JGRADに登録されている出身大学別で外国人比率をみると、全体の外国人比率が22.4%であるところ、「自大学出身」の外国人比率は14.9%、「非自大学出身」の外国人比率は39.5%であった(図表 3.2.11)。

図表 3.2.11 アンケート回答者の外国人比率(在籍者・出身大学別)

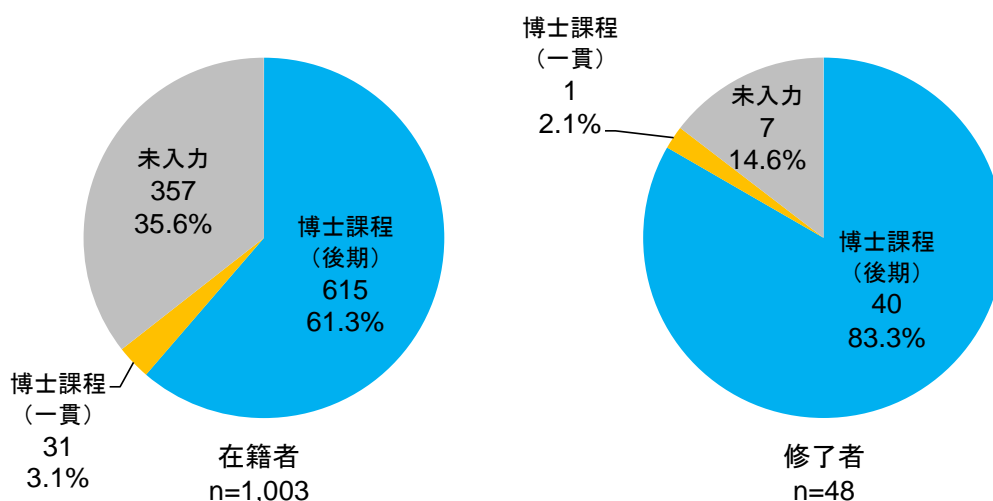


注) 国籍の未入力者を除く

アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者のJGRADに登録されている博士課程の種別をみると、在籍者では「博士課程（後期）」が61.3%（615人）と最も多くを占め、同じく修了者においても「博士課程（後期）」が83.3%（40人）を占める（図表 3.2.12）。未入力者を除くと、在籍者の博士課程（後期）の比率は95.2%、修了者は97.6%である。

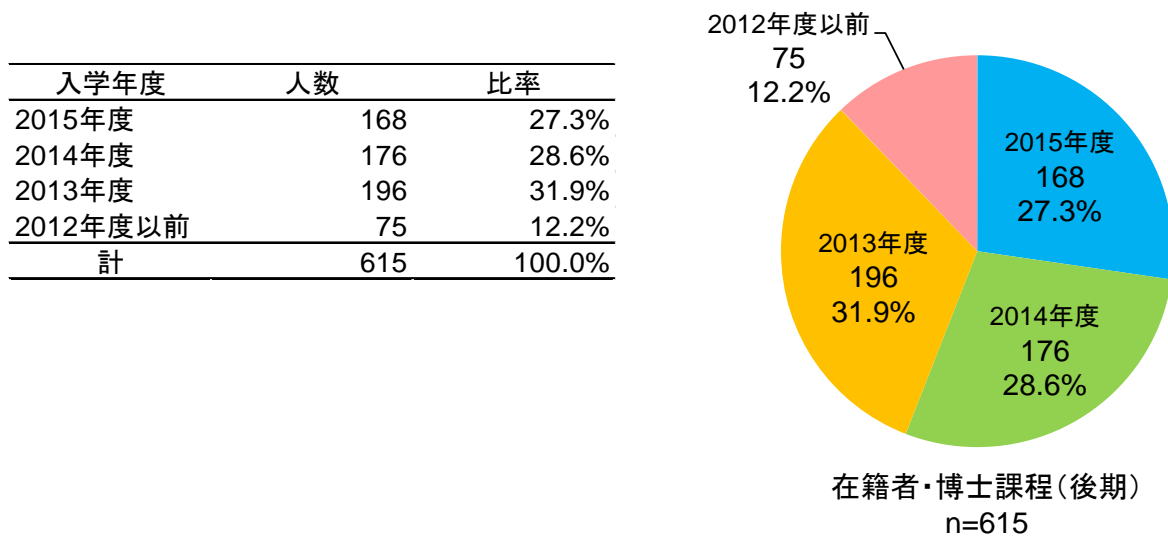
図表 3.2.12 アンケート回答者の課程別

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
博士課程（後期）	615	61.3%	40	83.3%
博士課程（一貫）	31	3.1%	1	2.1%
未入力	357	35.6%	7	14.6%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



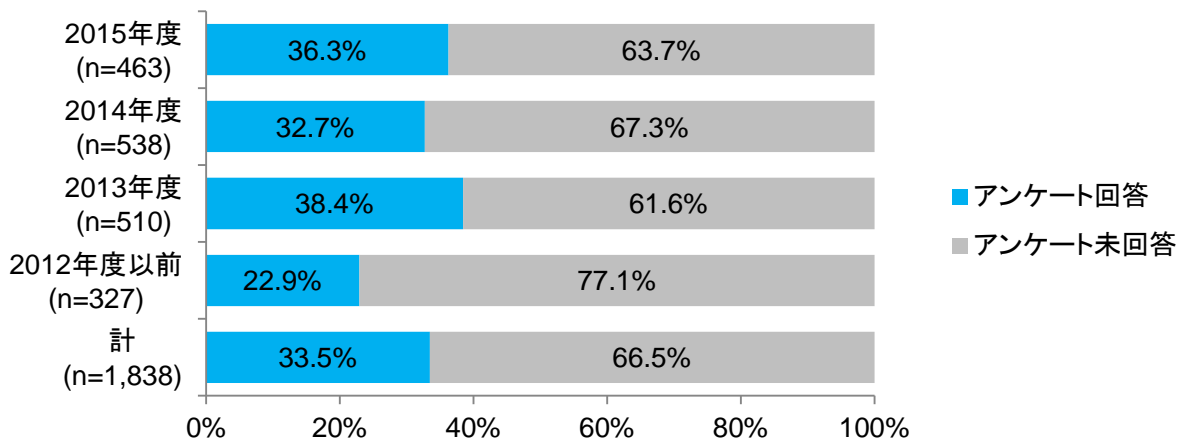
今回のアンケート調査では、在籍者の学年を調査項目として設定しなかったため、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程（後期）」が選択されているアンケート回答者を抽出し、同じくJGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。結果、博士課程（後期）在籍者のアンケート回答者の中では、2013年度入学者の割合が31.9%（196人）、2014年度入学者は28.6%（176人）、2015年度入学者は27.3%（168人）となり、2013年度から2015年度に入学した者は同程度の比率であった（図表 3.2.13）。

図表 3.2.13 アンケート回答者の入学年度（在籍者・博士課程（後期））



「課程別」において「博士課程（後期）」が選択されている在籍者のアンケート回答率を入学年度別にみると、2013年度から2015年度に入学した者の回答率は30%以上であるところ、2012年度以前に入学した者の回答率は22.9%と顕著に低かった（図表 3.2.14）。

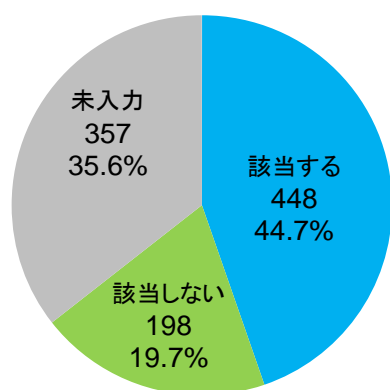
図表 3.2.14 アンケート回答率（在籍者・課程別）



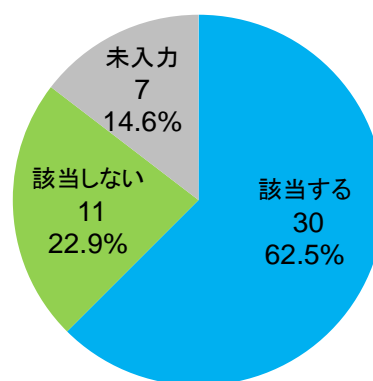
アンケート回答者における博士課程在籍者及び修了者のJGRADに登録されている「自大学出身」をみると、在籍者では該当する者が44.7%（448人）である一方、修了者では該当する者が62.5%（30人）と修了者に占める自大学出身者の比率が高い（図表 3.2.15）。

図表 3.2.15 アンケート回答者の自大学出身の該当の有無

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
該当する	448	44.7%	30	62.5%
該当しない	198	19.7%	11	22.9%
未入力	357	35.6%	7	14.6%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



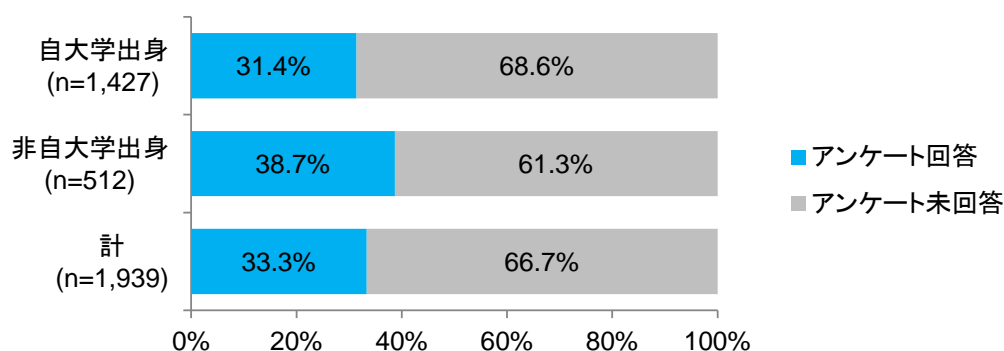
在籍者
n=1,003



修了者
n=48

JGRADに「自大学出身」の情報が登録されている在籍者のアンケート回答率を自大学出身の該当の有無別にみると、自大学出身者の回答率が31.4%であるところ、非自大学出身者の回答率は38.7%と高い(図表 3.2.16)。

図表 3.2.16 アンケート回答率(在籍者・出身大学別)

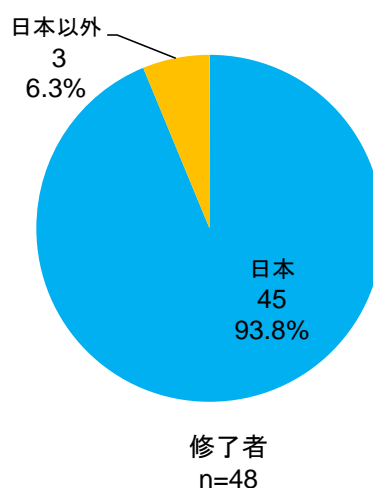
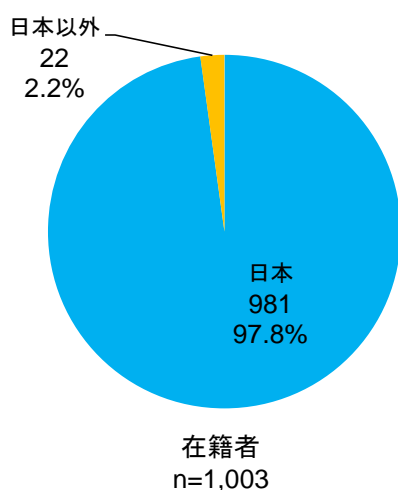


3.3 在籍者・修了者の居住地

JGRADでは、課程修了後の居住地の情報を「C. 修了後の進路情報」において取得しているが、登録者の現在の居住地の情報を取得する登録項目を設定していない。そのため、本アンケート調査において、居住地に関する質問を設けた。結果、アンケート調査に回答した在籍者、修了者の大半は日本に在住していることが分かった(図表 3.3.1)。

図表 3.3.1 アンケート回答者の居住地(2015年11月1日現在)

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
日本	981	97.8%	45	93.8%
日本以外	22	2.2%	3	6.3%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



日本に居住する者に関して居住する都道府県について調べたところ、アンケート回答者のうち在籍者においては、近畿地方に居住する者の割合が46.9%(470人)と最も高かった。一方、修了者については、関東に居住する者が41.7%(20人)と最も多かった(図表 3.3.2)。

図表 3.3.2 アンケート回答者のうち日本在住者の所在(2015年11月1日現在)

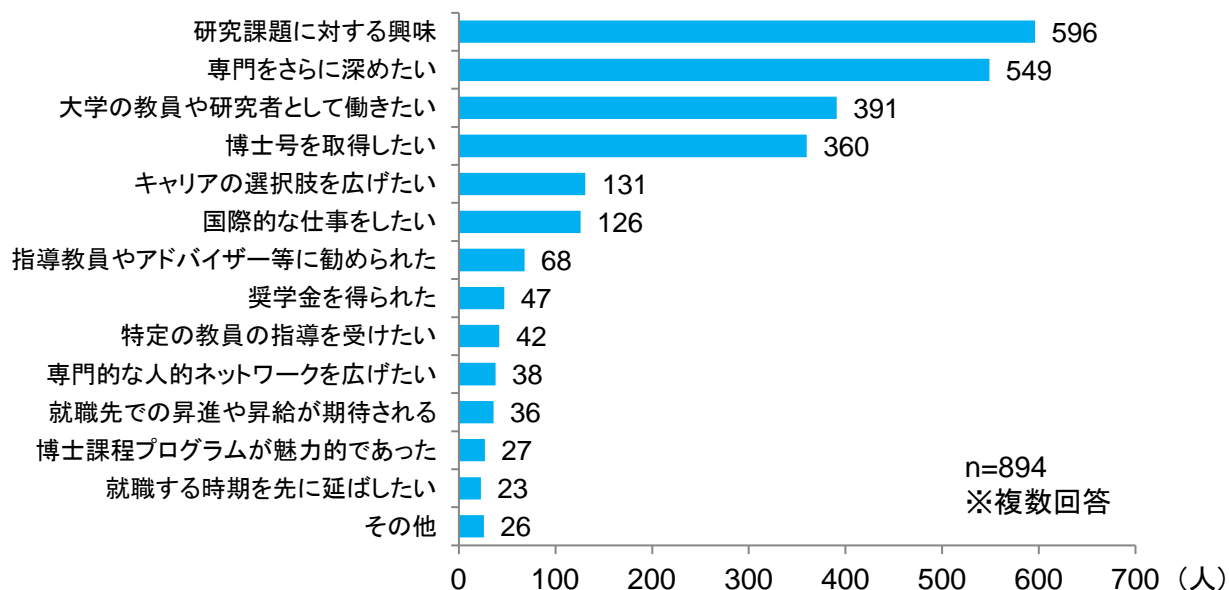
	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
北海道	22	2.2%	1	2.1%
東北	84	8.4%	6	12.5%
関東	291	29.0%	20	41.7%
中部	29	2.9%	2	4.2%
近畿	470	46.9%	14	29.2%
中国・四国	15	1.5%	1	2.1%
九州	42	4.2%	2	4.2%
未入力	50	5.0%	2	4.2%
計	1,003	100.0%	48	100.0%

3.4 在籍者・修了者の博士課程に進学した理由

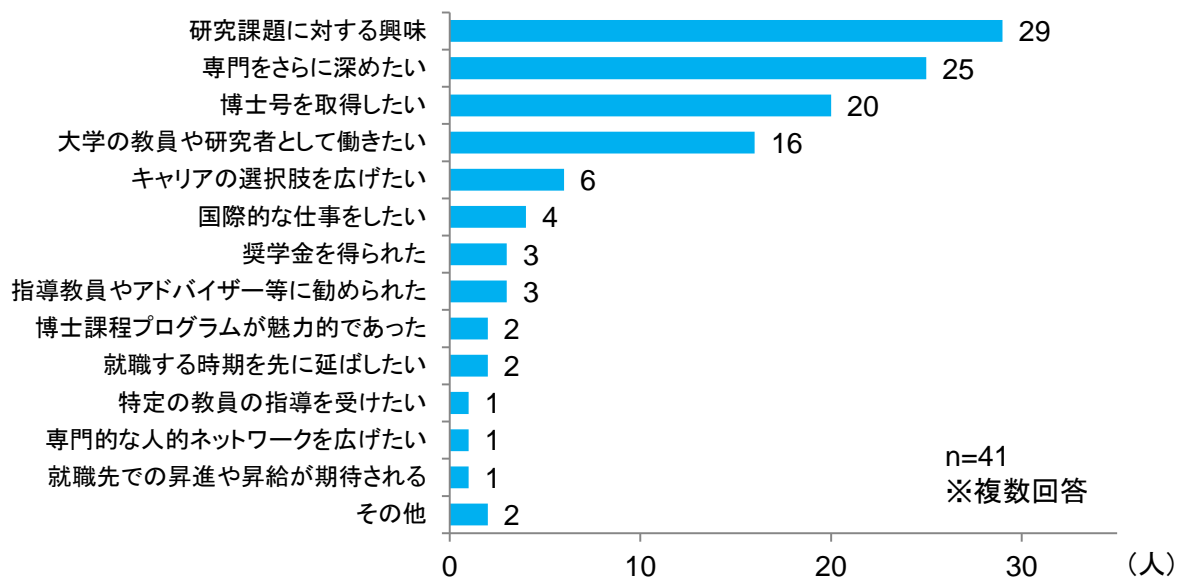
JGRADの登録項目は、登録者の属性や課程在籍時の経験及び課程修了後のキャリア情報を収集するために設計されており、登録者の意識を把握する項目はない。そのため、本アンケート調査により、登録者のキャリアパス等に対する意識調査を試行的に実施した。

アンケート回答者の博士課程に進学した理由をみると、在籍者においては「研究課題に対する興味」を選択した者が最も多く、「専門をさらに深めたい」、「大学の教員や研究者として働きたい」、「博士号を取得したい」と続く。修了者では、順番の違いはあるものの、在籍者との大きな差異はみられなかった(図表 3.4.1、図表 3.4.2)。

図表 3.4.1 博士課程に進学した理由（在籍者）

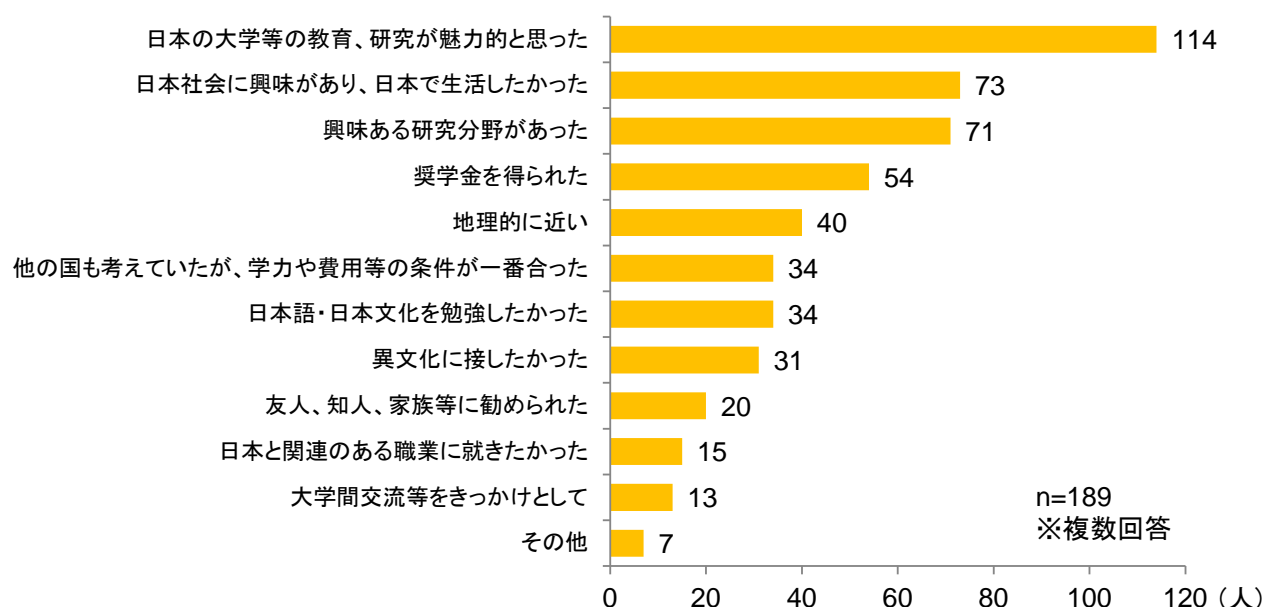


図表 3.4.2 博士課程に進学した理由（修了者）



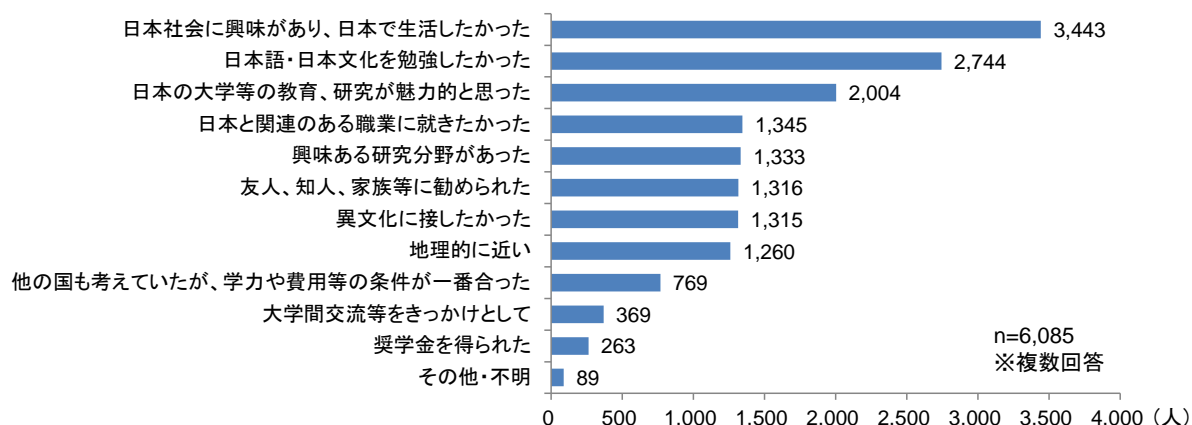
アンケート回答者のうち、留学生の日本を留学先として選んだ理由をみると、「日本の大学等の教育、研究が魅力的と思った」を選択した者が114人(60.3%)と最も多く、次いで、「日本社会に興味があり、日本で生活したかった」を選択した者が73人(38.6%)であった(図表 3.4.3)。

図表 3.4.3 日本を留学先として選んだ理由（在籍者のうち留学生）



なお、本質問項目と選択肢は、独立行政法人日本学生支援機構の「平成25年私費外国人留学生生活実態調査」の質問項目Q4に準じており、私費外国人留学生生活実態調査の結果では、参考図表1に示すとおり、「日本社会に興味があり、日本で生活したかった」が最も多く、「日本語・日本文化を勉強したかった」が次いでいる[7]。私費外国人留学生の調査対象には、大学(大学院を含む。)、短期大学、専修学校(専門課程)、準備教育機関及び日本語教育機関の私費外国人留学生が含まれる。

参考図表1 日本を留学先として選んだ理由



出典：「平成25年私費外国人留学生生活実態調査」[7]をもとに、NISTEPが作成

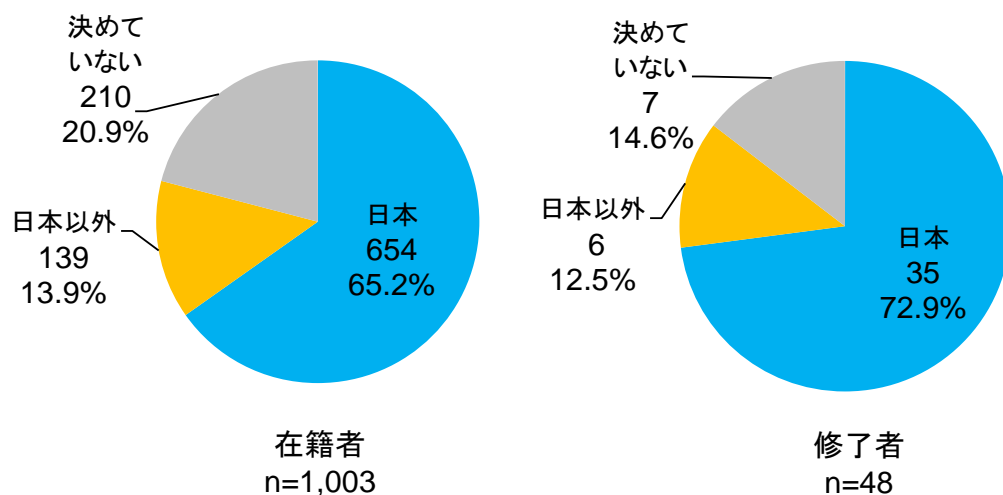
3.5 博士課程修了後に希望するキャリア

3.5.1. 博士課程修了後に居住を希望する国・地域

JGRAD登録者の博士課程修了後のキャリアに関する意識を調べるため、博士課程修了後に希望する居住地・キャリア・職種・職業に関する質問項目を設定した。修了者に対しては、現時点での希望を調査した。

まず、アンケート回答者が博士課程修了後に希望する居住地をみると、在籍者の65.2%(654人)は日本国内の居住を希望しており、日本以外の国・地域に居住を希望する者は13.9%(139人)であった。一方、修了者は72.9%(35人)が日本国内の居住を希望しており、日本以外の国・地域居住を希望する者は12.5%(6人)であった(図表 3.5.1)。なお、在籍者と修了者における外国人比率については、在籍者の方が外国人比率が高いことに留意されたい(図表 3.2.3参照)。

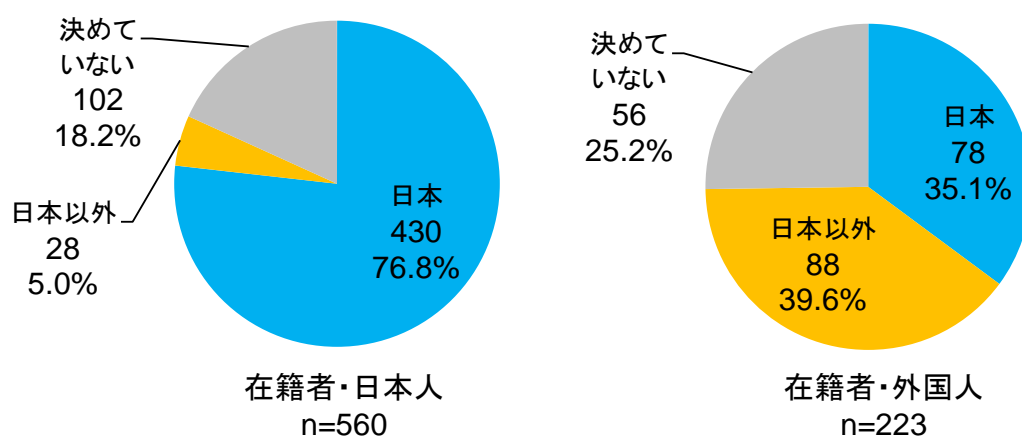
図表 3.5.1 博士課程修了後に居住を希望する国・地域



注) 修了者は現時点で居住を希望する国・地域

アンケート回答者のうち在籍者について、国籍別に希望する居住地をみると、日本人の76.8%(430人)は日本国内の居住を希望しており、日本国内の居住を希望する外国人は35.1%(78人)であった。また、日本以外の国・地域に居住を希望する日本人は5.0%(28人)であり、外国人の39.6%(88人)は日本以外の国・地域に居住を希望していた(図表 3.5.2)。外国人において、日本以外の国・地域に居住を希望する者は、母国で居住を希望する者と、日本・母国以外の第3国での居住を希望する者とに分かれる。

図表 3.5.2 博士課程修了後に居住を希望する国・地域（在籍者・国籍別）



博士課程修了後に日本国内に居住を希望する在籍者に対して、居住を希望する都道府県について調べたところ、アンケート回答者のうち在籍者においては、関東地方に居住を希望する者の割合が27.7%(181人)と最も高かった。一方、2015年11月1日現在の状況では、近畿地方に居住する者が46.2%(302人)と最も多い(図表 3.5.3)。博士課程修了後に現在の居住地からの移住を希望する者が一定数いることがうかがわれる。

図表 3.5.3 居住者数と博士課程修了後の居住希望者数(在籍者)

	居住		居住希望	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
北海道	8	1.2%	7	1.1%
東北	56	8.6%	22	3.4%
関東	207	31.7%	181	27.7%
中部	21	3.2%	19	2.9%
近畿	302	46.2%	144	22.0%
中国・四国	10	1.5%	12	1.8%
九州	26	4.0%	23	3.5%
未入力	24	3.7%	191	29.2%
決めていない	NA	NA	55	8.4%
計	654	100.0%	654	100.0%

注1) 博士課程修了後に日本居住を希望する在籍者

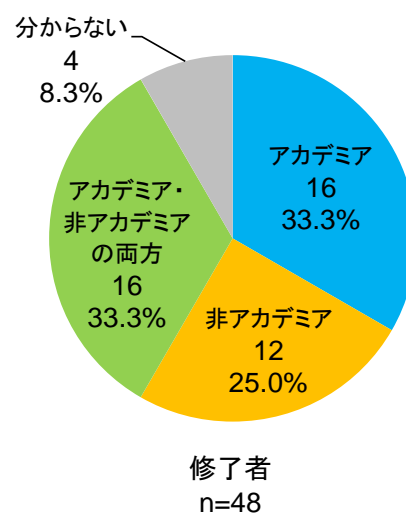
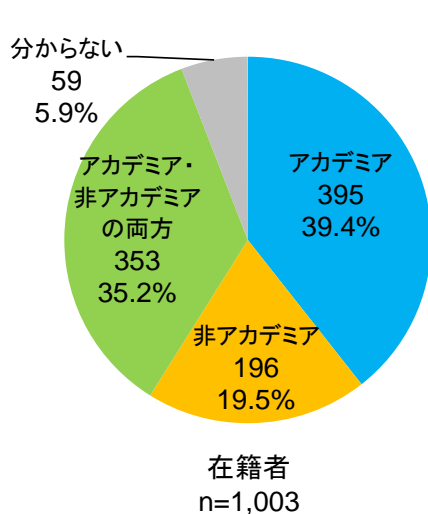
注2) 居住は2015年11月1日現在に居住する都道府県の情報をもとに分類

3.5.2. 博士課程修了後に希望するキャリア

博士課程修了後に希望するキャリアをみると、アンケート回答者のうち在籍者の39.4%(395人)は「アカデミア」を希望しており、「非アカデミア」を希望する者は19.5%(196人)、「アカデミア・非アカデミア」の両方を希望する者は35.2%(353人)であった。一方、修了者の33.3%(16人)は「アカデミア」を希望しており、「非アカデミア」を希望する者は25.0%(12人)、「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者は33.3%(16人)であった。修了者において「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者が一定数おり、博士課程修了後も両方のキャリアの選択肢を残していることがうかがわれる(図表 3.5.4)。

図表 3.5.4 博士課程修了後に希望するキャリア

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	395	39.4%	16	33.3%
非アカデミア	196	19.5%	12	25.0%
アカデミア・非アカデミアの両方	353	35.2%	16	33.3%
分からない	59	5.9%	4	8.3%
計	1,003	100.0%	48	100.0%

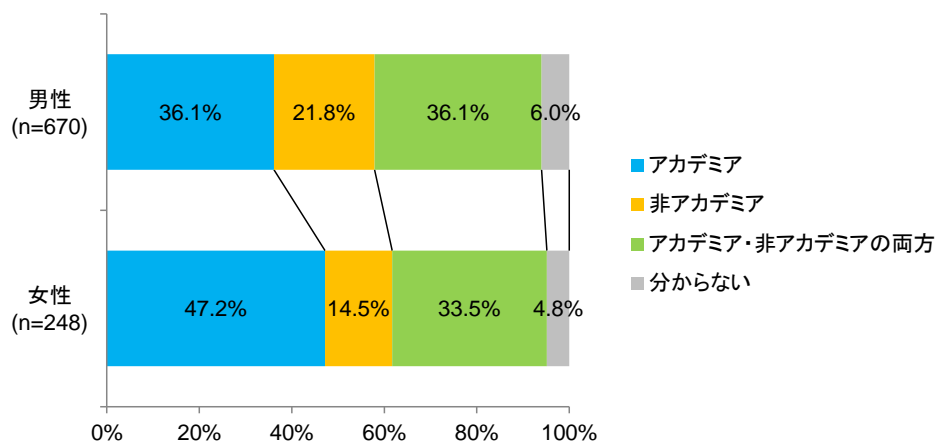


注) 修了者は現時点で希望するキャリア

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを男女別にみると、男性で「アカデミア」を希望する者は36.1%(242人)であり、女性で「アカデミア」を希望する者は47.2%(117人)と、本アンケート調査では、男性よりも女性の方が「アカデミア」を希望する者の割合が11ポイント高い結果が得られた。また、「非アカデミア」を希望する者は男性で21.8%(146人)、女性で14.5%(36人)と、女性よりも男性の方が7ポイント高く「非アカデミア」を希望していた(図表 3.5.5)。

図表 3.5.5 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・男女別)

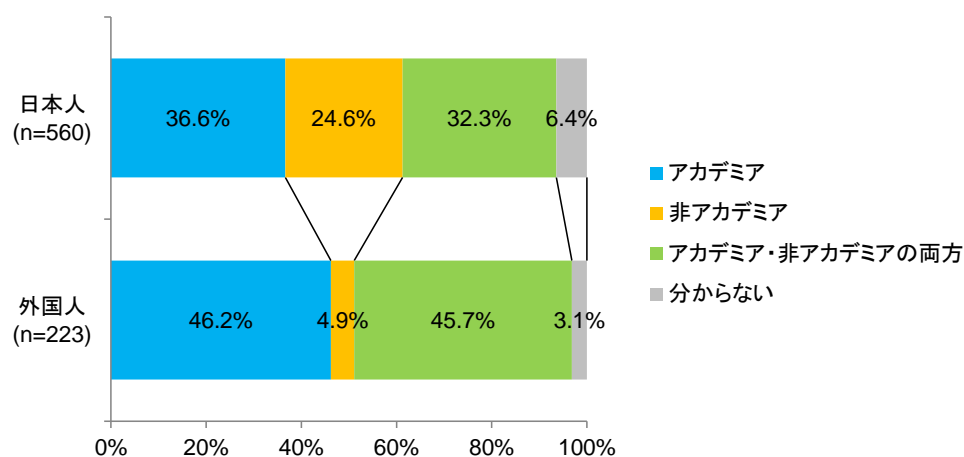
	男性		女性	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	242	36.1%	117	47.2%
非アカデミア	146	21.8%	36	14.5%
アカデミア・非アカデミアの両方	242	36.1%	83	33.5%
分からない	40	6.0%	12	4.8%
計	670	100.0%	248	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを国籍別にみると、日本人で「アカデミア」を希望する者は36.6% (205人)であり、外国人で「アカデミア」を希望する者は46.2% (103人)と、本アンケート調査では、日本人よりも外国人の方が「アカデミア」を希望する者の割合が10ポイント高かった。また、「非アカデミア」を希望する者は日本人で24.6% (138人)、外国人で4.9% (11人)と、外国人で「非アカデミア」を希望する者の割合が日本人と比べて著しく低かった(図表 3.5.6)。

図表 3.5.6 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・国籍別)

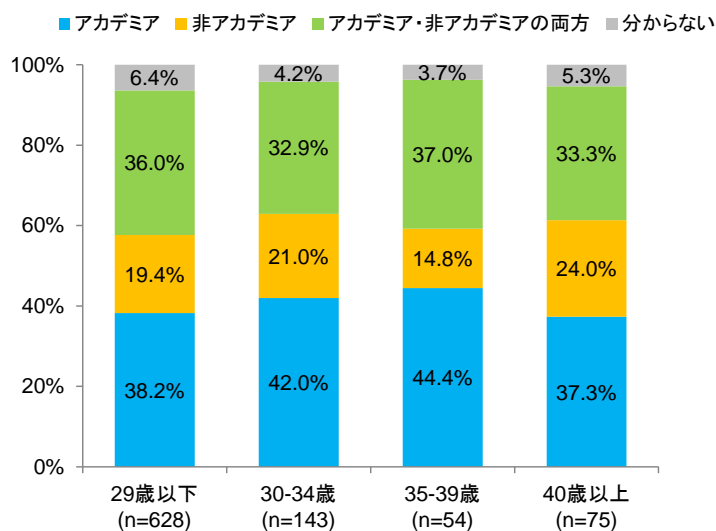
	日本人		外国人	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	205	36.6%	103	46.2%
非アカデミア	138	24.6%	11	4.9%
アカデミア・非アカデミアの両方	181	32.3%	102	45.7%
分からない	36	6.4%	7	3.1%
計	560	100.0%	223	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを年代別にみると、30-34歳で「アカデミア」を希望する者は42.0%(60人)、35-39歳で44.4%(24人)と、これらの年代のアンケート回答者は全体よりも「アカデミア」を希望する者の割合が高かった(図表 3.5.7)。

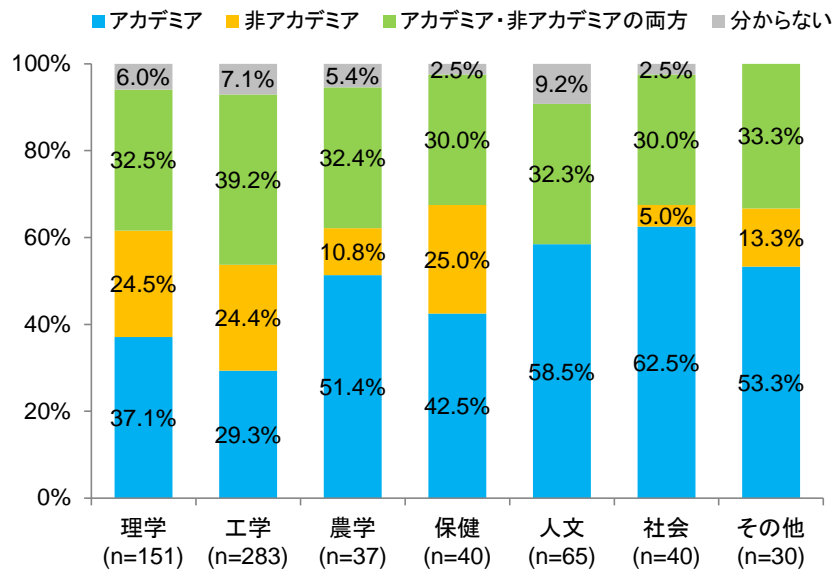
図表 3.5.7 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・年代別)

	29歳以下		30-34歳		35-39歳		40歳以上	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	240	38.2%	60	42.0%	24	44.4%	28	37.3%
非アカデミア	122	19.4%	30	21.0%	8	14.8%	18	24.0%
アカデミア・非アカデミアの両方	226	36.0%	47	32.9%	20	37.0%	25	33.3%
分からない	40	6.4%	6	4.2%	2	3.7%	4	5.3%
計	628	100.0%	143	100.0%	54	100.0%	75	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを分野別にみると、「アカデミア」を希望する者は「社会」で最も高く62.5%であり、次いで「人文」が58.5%であった。一方、「非アカデミア」を希望する者は「保健」で最も高く25%であり、次いで「理学」が24.5%、「工学」が24.4%であった(図表 3.5.8)。博士課程修了後に希望するキャリアは分野により異なる傾向がみられたが、ただし、JGRADパイロット運用に一部の研究科のみが参加している大学があり、また、分野によってはアンケート回答者が特定の大学に集中している場合があるため、注意が必要である。

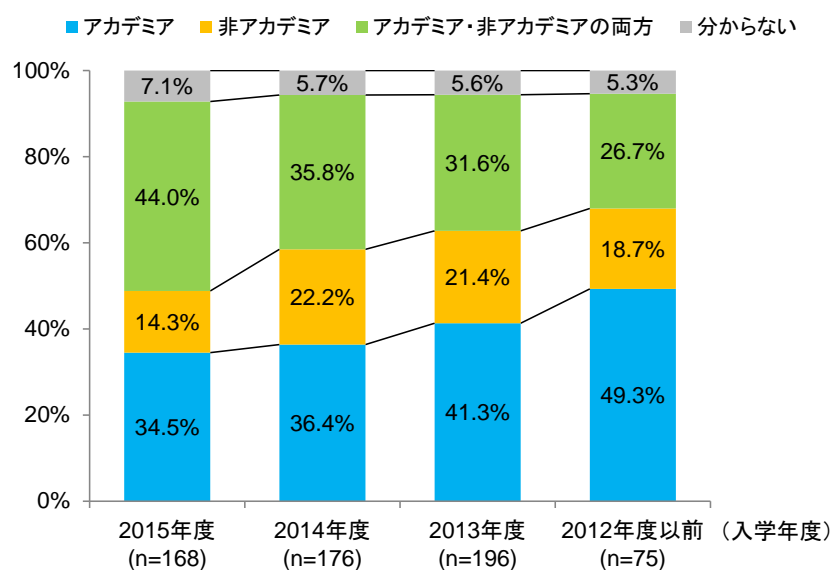
図表 3.5.8 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・分野別)



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程(後期)」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報に基づき分類した。博士課程修了後に希望するキャリアを入学年度別にみると、「アカデミア」を希望する者は、2015年度入学者で34.5%(58人)、2014年度入学者で36.4%(64人)、2013年度入学者で41.3%(81人)、2012年度以前の入学者で49.3%(37人)と、入学年度からの年数経過につれて、「アカデミア」を希望する者の割合が高まっている。これは、「アカデミア・非アカデミアの両方」と回答した者が、2015年度入学者で44.0%(74人)のところ、2014年度入学者で35.8%(63人)、2013年度入学者で31.6%(62人)、2012年度以前の入学者で26.7%(20人)と、博士課程入学からの年数を経るにつれて、博士課程修了後のキャリアを選択している様子が見えてくる。また、今回のアンケート結果からは、博士課程入学2年目に「アカデミア・非アカデミア」から「非アカデミア」に希望を変更した者が多く、博士課程入学3年目に「アカデミア・非アカデミア」から「アカデミア」に希望が変更した者が多いことが推察される(図表 3.5.9)

図表 3.5.9 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・入学年度別)

	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	58	34.5%	64	36.4%	81	41.3%	37	49.3%
非アカデミア	24	14.3%	39	22.2%	42	21.4%	14	18.7%
アカデミア・非アカデミアの両方	74	44.0%	63	35.8%	62	31.6%	20	26.7%
分からない	12	7.1%	10	5.7%	11	5.6%	4	5.3%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%

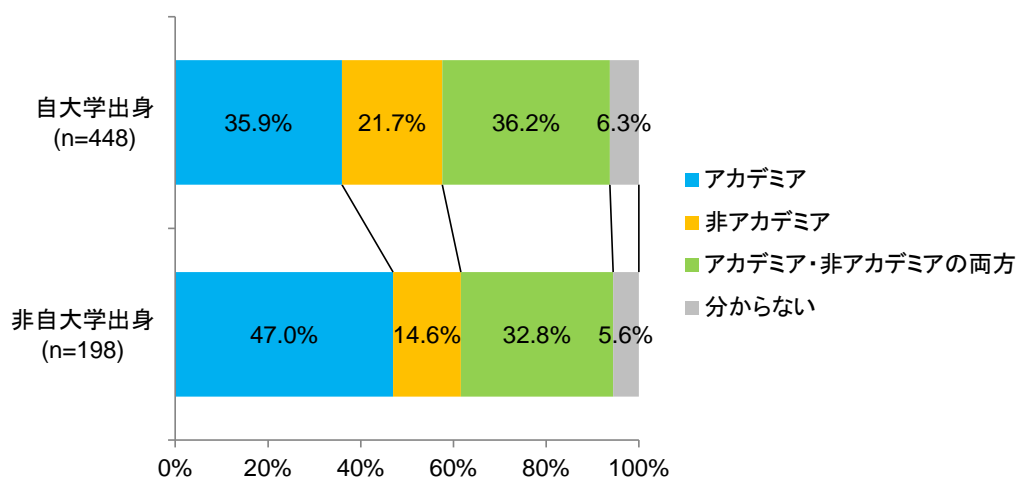


注) 在籍者のうち博士課程(後期)

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを出身大学別にみると、自大学出身で「アカデミア」を希望する者は35.9%(161人)であり、非自大学出身者で「アカデミア」を希望する者は47.0%(93人)と、本アンケート調査では、自大学出身者よりも非自大学出身者の方が「アカデミア」を希望する者の割合が11ポイント高かった。また、「非アカデミア」を希望する者は自大学出身者で21.7%(97人)、非自大学出身者で14.6%(29人)と、自大学出身者で「非アカデミア」を希望する者の割合が非自大学出身者と比べて高かった(図表 3.5.10)。

図表 3.5.10 博士課程修了後に希望するキャリア(在籍者・出身大学別)

	自大学出身		非自大学出身	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
アカデミア	161	35.9%	93	47.0%
非アカデミア	97	21.7%	29	14.6%
アカデミア・非アカデミアの両方	162	36.2%	65	32.8%
分からない	28	6.3%	11	5.6%
計	448	100.0%	198	100.0%

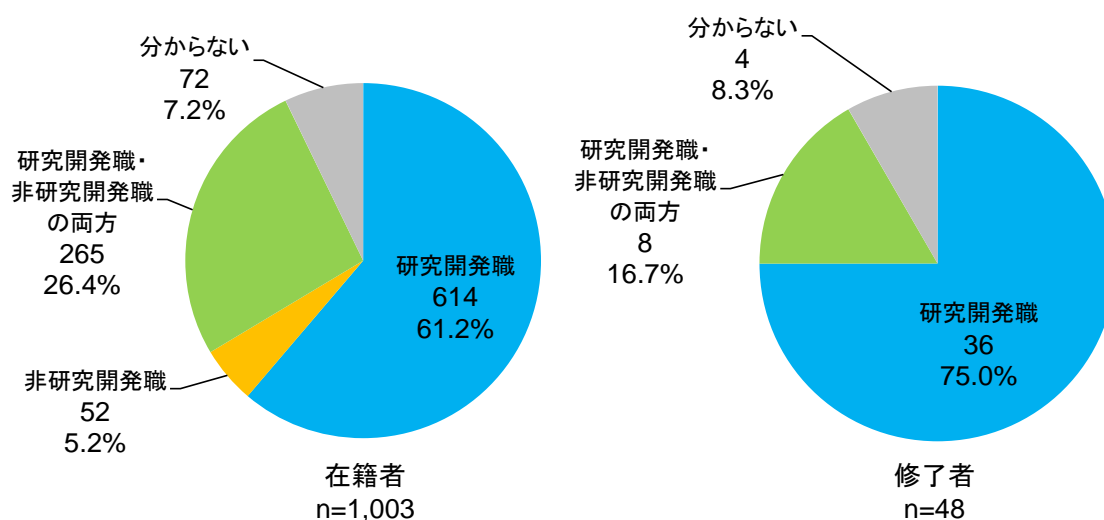


3.5.3. 博士課程修了後に希望する職種

博士課程修了後に希望する職種をみると、アンケート回答者のうち在籍者の61.2%(614人)は「研究開発職」を希望しており、「非研究開発職」を希望する者は5.2%(52人)、「研究開発職・非研究開発職の両方」を希望する者は26.4%(265人)であった。一方、修了者の75.0%(36人)は「研究開発職」を希望しており、「研究開発職・非研究開発職の両方」を希望する者は16.7%(8人)、「非研究開発職」を希望する者はいなかった。在籍者と比べると、修了者において「研究開発職」を希望する者の割合が高かった(図表 3.5.11)。修了者の現在の職業については後述するが、「民間企業・団体の研究開発者」、「大学・公的研究機関のポストドクター(短大・高専を含む)」、「大学教員(短大・高専教員を含む)」と答えた者が、回答者全体の4分の3程度を占める(図表 3.9.2)。

図表 3.5.11 博士課程修了後に希望する職種

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	614	61.2%	36	75.0%
非研究開発職	52	5.2%	0	0.0%
研究開発職・非研究開発職の両方	265	26.4%	8	16.7%
分からない	72	7.2%	4	8.3%
計	1,003	100.0%	48	100.0%

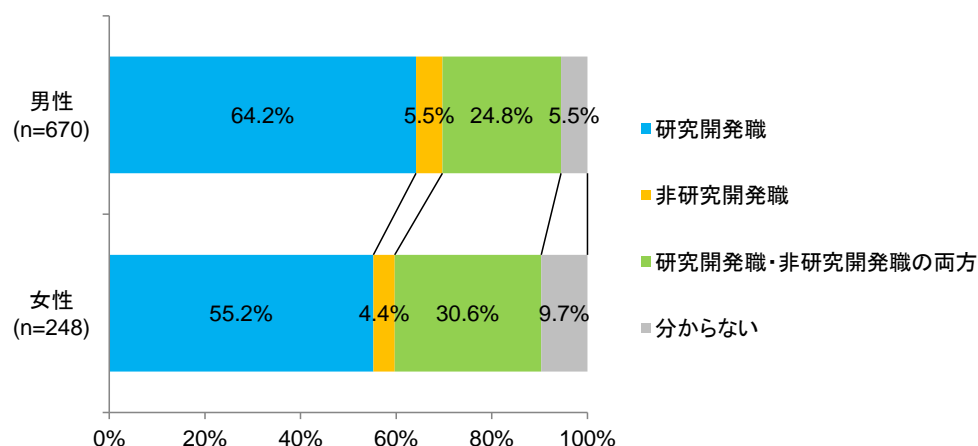


注) 修了者は現時点で希望する職種

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を男女別にみると、男性で「研究開発職」を希望する者は64.2%(430人)であり、女性で「研究開発職」を希望する者は55.2%(137人)と、女性よりも男性の方が「研究開発職」を希望する者の割合が9ポイント高い結果が得られた。また、「非研究開発職」を希望する者は男性で5.5%(37人)、女性で4.4%(11人)と、性別による差はあまりみられなかった(図表 3.5.12)。

図表 3.5.12 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・男女別)

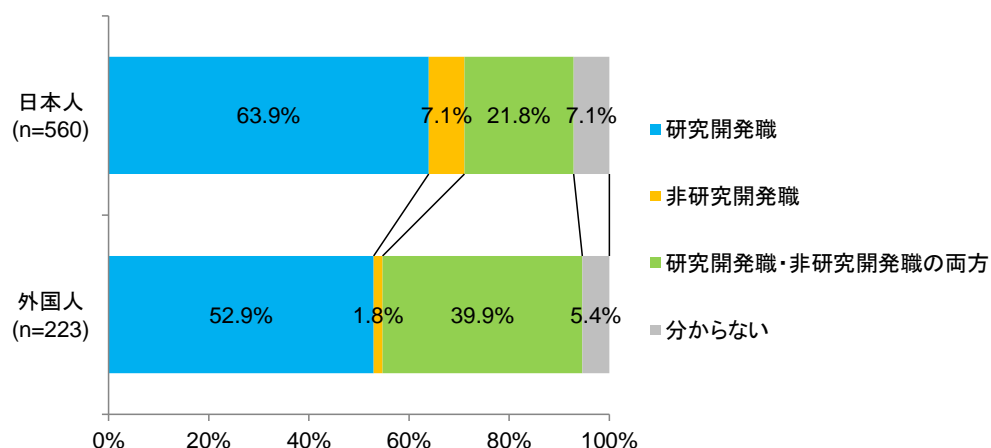
	男性		女性	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	430	64.2%	137	55.2%
非研究開発職	37	5.5%	11	4.4%
研究開発職・非研究開発職の両方	166	24.8%	76	30.6%
分からない	37	5.5%	24	9.7%
計	670	100.0%	248	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を国籍別にみると、日本人で「研究開発職」を希望する者は63.9%(358人)であり、外国人で「研究開発職」を希望する者は52.9%(118人)と、外国人よりも日本人の方が「研究開発職」を希望する者の割合が11ポイント高かった。また、「非研究開発職」を希望する者は日本人で7.1%(40人)、外国人で1.8%と(4人)と、外国人で「非研究開発職」を希望する者の割合が日本人と比べて低かった(図表 3.5.13)。

図表 3.5.13 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・国籍別)

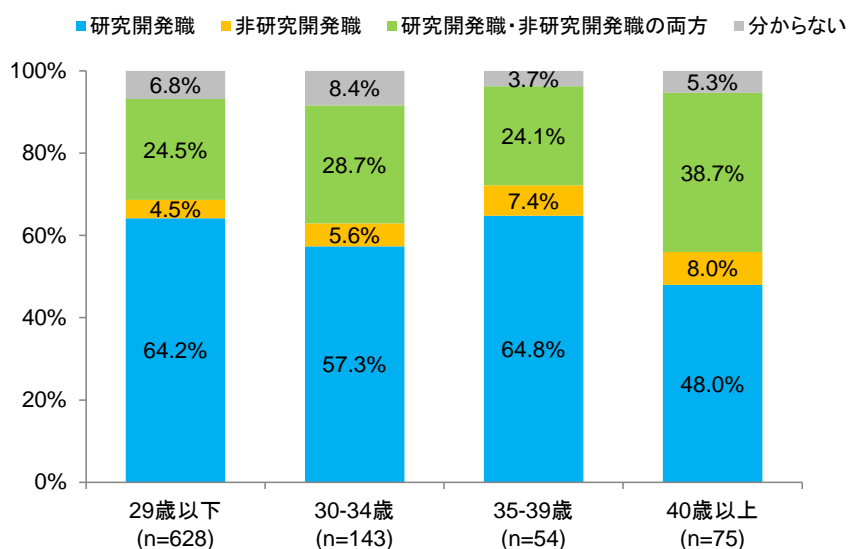
	日本人		外国人	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	358	63.9%	118	52.9%
非研究開発職	40	7.1%	4	1.8%
研究開発職・非研究開発職の両方	122	21.8%	89	39.9%
分からない	40	7.1%	12	5.4%
計	560	100.0%	223	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を年代別にみると、40歳以上で「研究開発職」を希望する者が48.0%(36人)と全体に比べて低い以外は、特段の特徴はみられなかった(図表 3.5.14)。

図表 3.5.14 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・年代別)

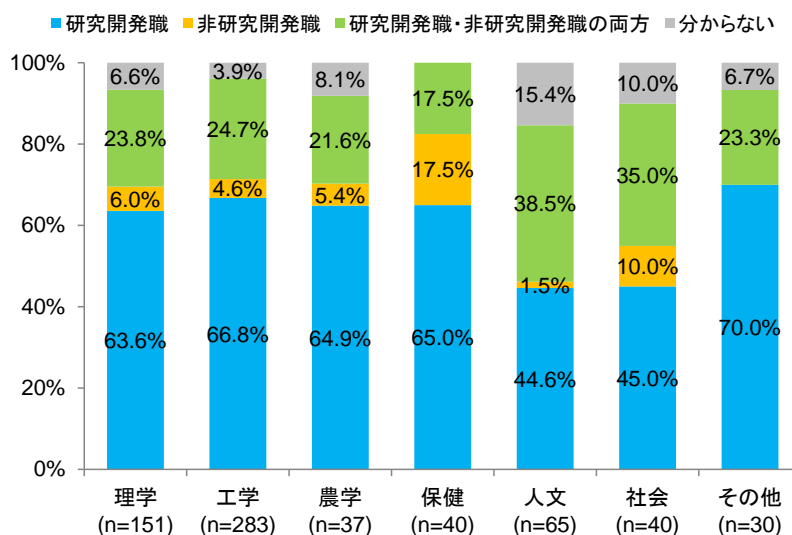
	29歳以下		30-34歳		35-39歳		40歳以上	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	403	64.2%	82	57.3%	35	64.8%	36	48.0%
非研究開発職	28	4.5%	8	5.6%	4	7.4%	6	8.0%
研究開発職・非研究開発職の両方	154	24.5%	41	28.7%	13	24.1%	29	38.7%
分からない	43	6.8%	12	8.4%	2	3.7%	4	5.3%
計	628	100.0%	143	100.0%	54	100.0%	75	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を分野別にみると、「研究開発職」を希望する者は「工学」で最も高く66.8%であり、「保健」が65.0%、「農学」が64.9%、「理学」で63.6%と、理工系で高い傾向にあった。一方、「人文」と「社会」において「研究開発職・非研究開発職の両方」を希望する者の割合が高く、他の分野と比べて修了後の職種を決めかねてい

る状況がうかがわれる。また、「保健」において「非研究開発職」を希望する者の割合が高く、医師・歯科医師・薬剤師等の職種が該当するものと思われる(図表 3.5.15)。

図表 3.5.15 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・分野別)

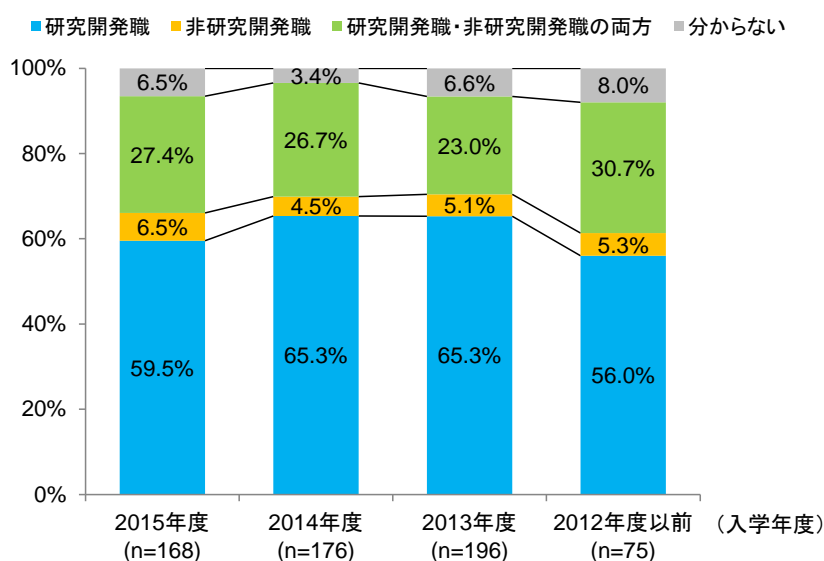


アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程(後期)」が選択されているアンケート回答者を抽出し、同じくJGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。その上で、博士課程修了後に希望する職種を入学年度別にみると、「研究開発職」を希望する者は、2015年度入学者で59.5%(100人)、2014年度入学者で65.3%(115人)、2013年度入学者で65.3%(128人)、2012年度以前の入学者で56.0%(42人)であり、博士課程修了後に希望するキャリアの結果(図表 3.5.9)でみられたような、入学年度からの年数経過につれて特定の希望する職種の割合が高まる傾向はみられなかった。

また、「研究開発職・非研究開発職の両方」と回答した者が、2015年度入学者で27.4%(46人)、2014年度入学者で26.7%(47人)、2013年度入学者で23.0%(45人)と、博士課程入学からの年数を経るにつれて、職種を選択している様子が見えてくるが、2012年度以前の入学者では30.7%(23人)と、「2015年度入学者」より「研究開発職・非研究開発職の両方」を選択した者の割合が高かった(図表 3.5.16)

図表 3.5.16 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・入学年度別)

	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	100	59.5%	115	65.3%	128	65.3%	42	56.0%
非研究開発職	11	6.5%	8	4.5%	10	5.1%	4	5.3%
研究開発職・非研究開発職の両方	46	27.4%	47	26.7%	45	23.0%	23	30.7%
分からない	11	6.5%	6	3.4%	13	6.6%	6	8.0%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%

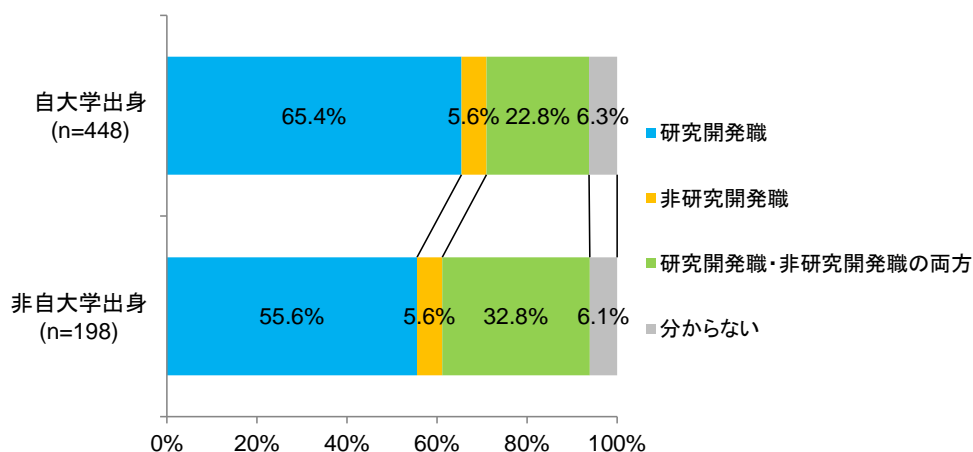


注) 在籍者のうち博士課程(後期)

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を出身大学別にみると、自大学出身者で「研究開発職」を希望する者は65.4%(293人)であり、非自大学出身者で「研究開発職」を希望する者は55.6%(110人)と、非自大学出身者よりも自大学出身者の方が「研究開発職」を希望する者の割合が10ポイント高かった。これは、非自大学出身者の方が「研究開発職・非研究開発職の両方」を選択した者の割合が自大学出身者より高いことが影響していると推察される(図表 3.5.17)。

図表 3.5.17 博士課程修了後に希望する職種(在籍者・出身大学別)

	自大学出身		非自大学出身	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
研究開発職	293	65.4%	110	55.6%
非研究開発職	25	5.6%	11	5.6%
研究開発職・非研究開発職の両方	102	22.8%	65	32.8%
分からない	28	6.3%	12	6.1%
計	448	100.0%	198	100.0%

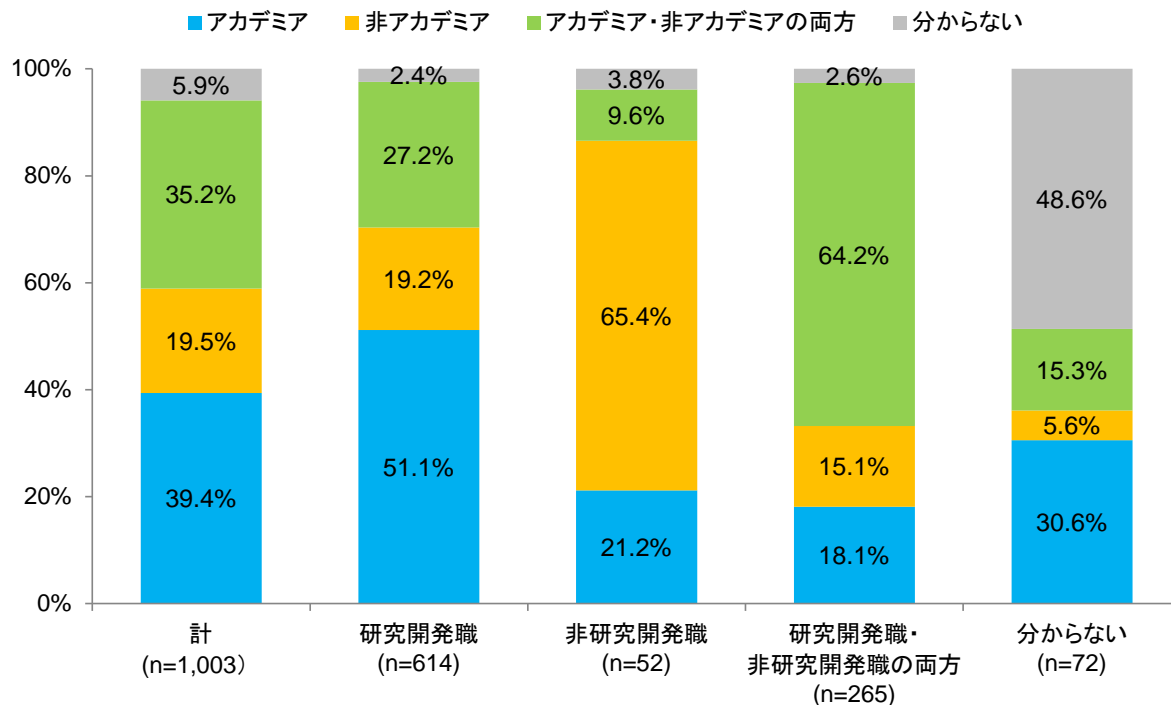


3.5.4. 博士課程修了後に希望するキャリアと職種

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望するキャリアを希望する職種別にみたところ、「研究開発職」を希望する者の51.1%(314人)は「アカデミア」を希望しており、「非アカデミア」を希望する者は19.2%(118人)であった。一方、「非研究開発職」を希望する者の21.2%(11人)が「アカデミア」を希望するところ、「非アカデミア」を希望する者は65.4%(34人)であった。「アカデミア・非アカデミアの両方」を選択した者は、職種についても「研究開発職・非研究開発職の両方」を選択した者の割合が最も高く、64.2%(170人)であった(図表 3.5.18)。

図表 3.5.18 博士課程修了後に希望するキャリア・希望する職種別(在籍者)

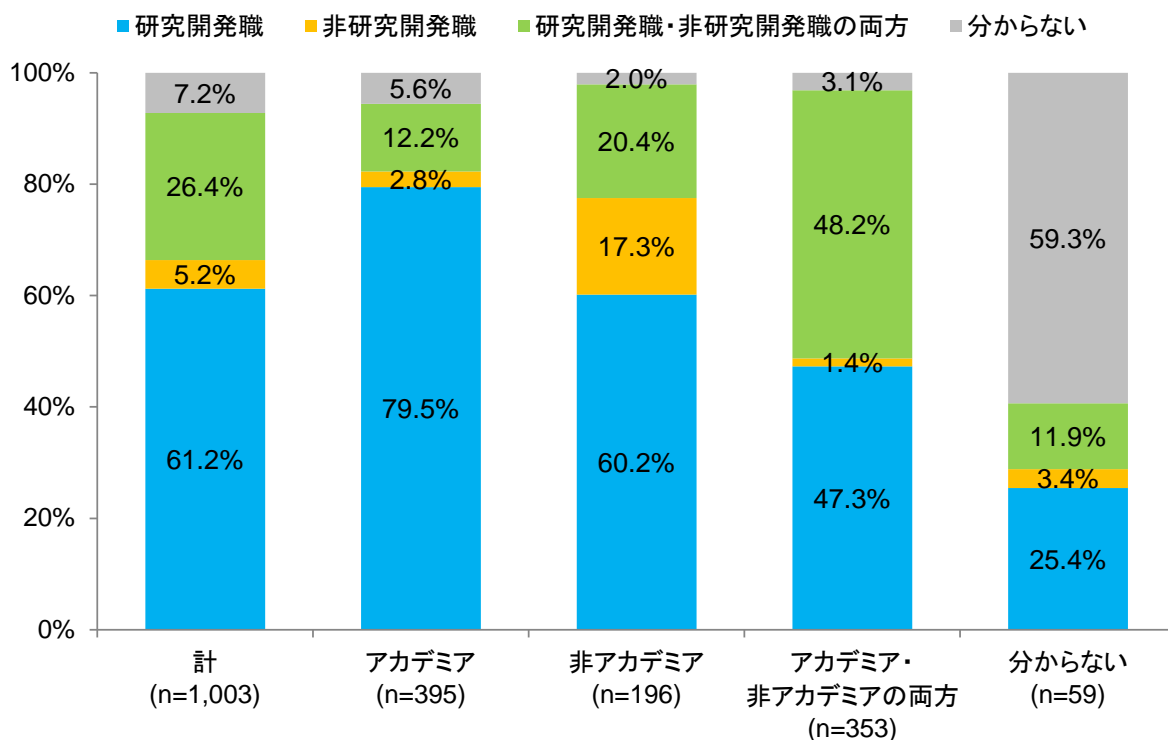
	研究開発職	非研究開発職	研究開発職・非研究開発職の両方	分からない	計
アカデミア	314 51.1%	11 21.2%	48 18.1%	22 30.6%	395 39.4%
非アカデミア	118 19.2%	34 65.4%	40 15.1%	4 5.6%	196 19.5%
アカデミア・非アカデミアの両方	167 27.2%	5 9.6%	170 64.2%	11 15.3%	353 35.2%
分からない	15 2.4%	2 3.8%	7 2.6%	35 48.6%	59 5.9%
計	614 100.0%	52 100.0%	265 100.0%	72 100.0%	1,003 100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に希望する職種を、希望するキャリア別にみたところ、「アカデミア」を希望する者の79.5%(314人)は「研究開発職」を希望しており、「非研究開発職」を希望する者の割合は2.8%(11人)であった。「非アカデミア」を希望する者のうち、60.2%(118人)は「研究開発職」を希望しており、「非研究開発職」を希望する者は17.3%(34人)であった。「アカデミア・非アカデミアの両方」を選択している者であっても、職種については47.3%(167人)の者が「研究開発職」を希望していた(図表 3.5.19)。

図表 3.5.19 博士課程修了後に希望する職種・希望するキャリア別(在籍者)

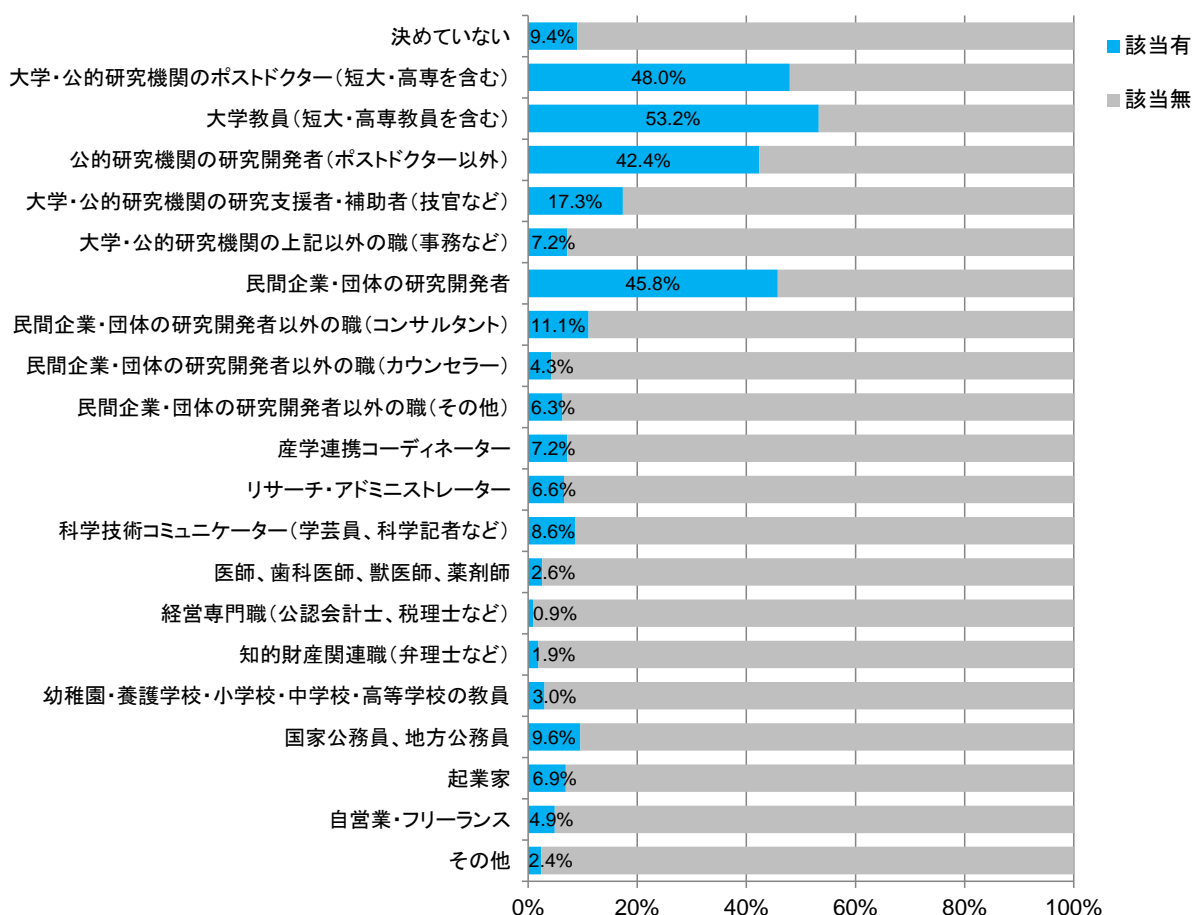
	アカデミア	非アカデミア	アカデミア・ 非アカデミアの両方	分らない	計
研究開発職	314 79.5%	118 60.2%	167 47.3%	15 25.4%	614 61.2%
非研究開発職	11 2.8%	34 17.3%	5 1.4%	2 3.4%	52 5.2%
研究開発職・非研究開発職の両方	48 12.2%	40 20.4%	170 48.2%	7 11.9%	265 26.4%
分らない	22 5.6%	4 2.0%	11 3.1%	35 59.3%	72 7.2%
計	395 100.0%	196 100.0%	353 100.0%	59 100.0%	1,003 100.0%



3.5.5. 博士課程修了後に希望する職業

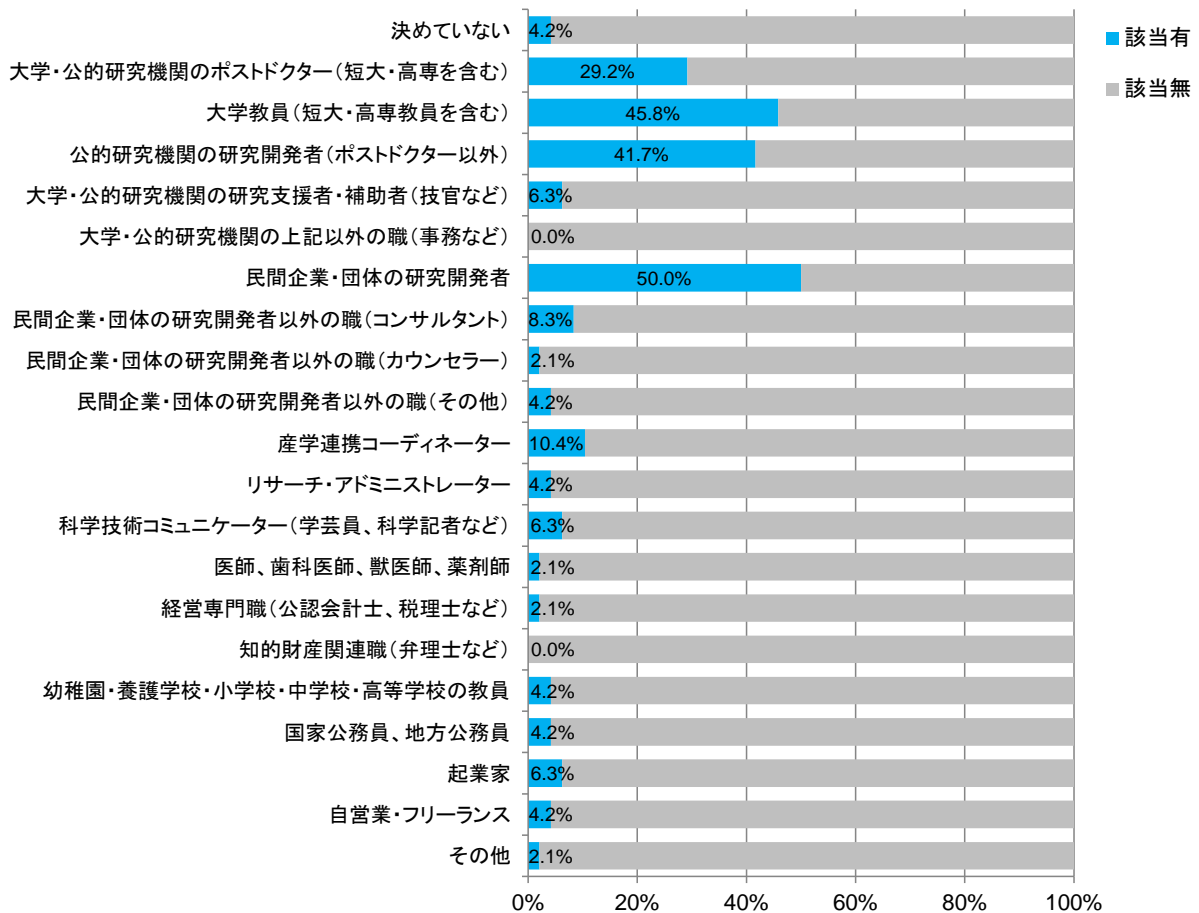
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に就職を希望する職業についてみたところ、アンケート回答者のうち在籍者においては「大学教員(短大・高専教員を含む)」を希望する者の割合が最も高く53.2%であり、「大学・公的研究機関のポストドクター(短大・高専を含む)」が48.0%、「民間企業・団体の研究開発者」が45.8%、「公的研究機関の研究開発者(ポストドクター以外)」が42.4%と続いている。上位4つの職業以外については、就職を希望すると選択した者が2割以下であった(図表 3.5.20)。また、平均すると1人あたり3.0個の希望する職業を選択していた。

図表 3.5.20 博士課程修了後に就職を希望する職業(在籍者)



一方、修了者においては「民間企業・団体の研究開発者」を希望する者の割合が最も高く50.0%であり、「大学教員(短大・高専教員を含む)」が45.8%、「公的研究機関の研究開発者(ポストドクター以外)」が41.7%と続いている。また、修了者においては「大学・公的研究機関のポストドクター(短大・高専を含む)」を希望する者の割合が29.2%と、在籍者の48.0%と比べて約19ポイント低い結果が得られた(図表 3.5.21)。また、平均すると1人あたり2.7個の希望する職業を選択していた。

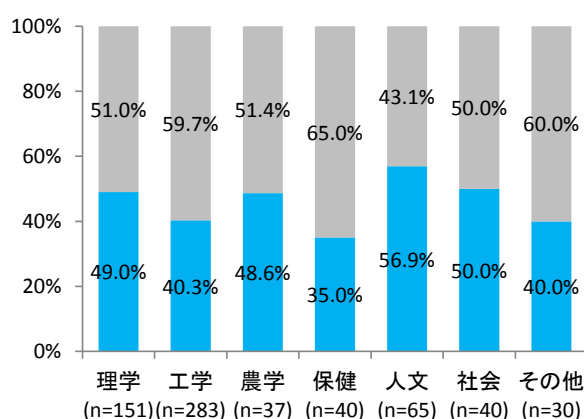
図表 3.5.21 現時点で就職を希望する職業(修了者)



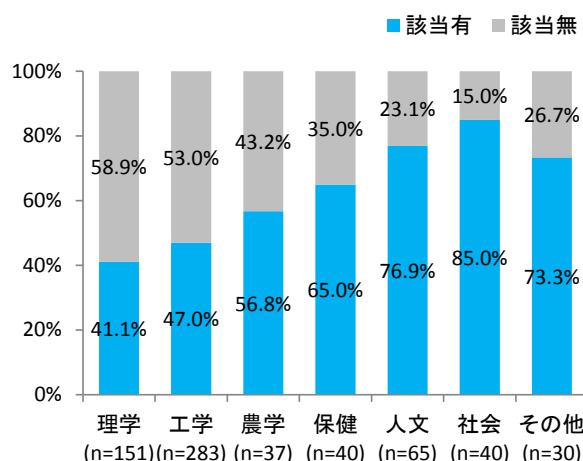
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後に就職を希望する特定の職業について研究分野別にみた。「大学・公的研究機関のポストドクター」としての就職を希望する者の割合は、「保健」で35.0%と低い割合を示した(図表 3.5.22 A)。「大学教員」としての就職を希望する者の割合は、「理学」が最も低く41.1%である一方、「社会」で85.0%、「人文」で76.9%と、人社系が理工系と比べて高かった。また、理工系の中では「保健」が65.0%と最も高い割合を示した(図表 3.5.22 B)。「公的研究機関の研究開発者(ポストドクター以外)」としての就職を希望する者の割合は、「農学」が62.2%と高い割合を示した(図表 3.5.22 C)。そして、「民間企業・団体の研究開発者」としての就職を希望する者の割合は、「工学」で60.4%と最も高い値を示しており、一方で、「人文」は16.9%、「社会」は27.5%という結果となり、研究分野間の意識の差が最も顕著であった(図表 3.5.22 D)。

図表 3.5.22 博士課程修了後に就職を希望する職業(在籍者・研究分野別)

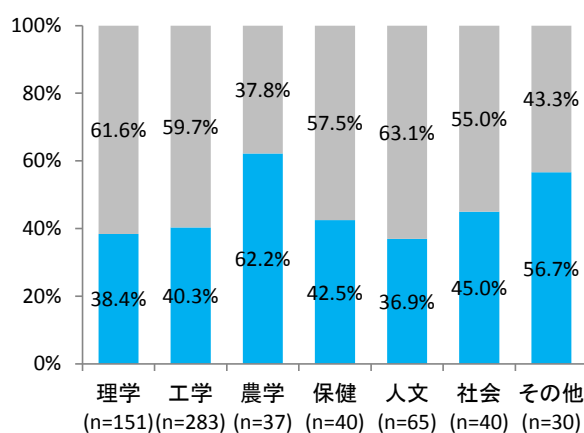
A. 大学・公的研究機関のポストドクター



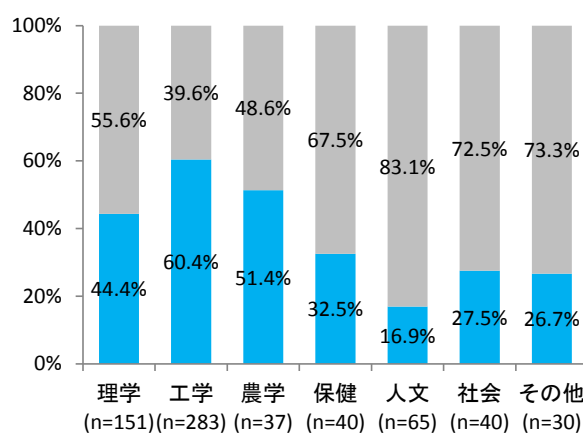
B. 大学教員



C. 公的研究機関の研究開発者
(ポストドクター以外)



D. 民間企業・団体の研究開発者



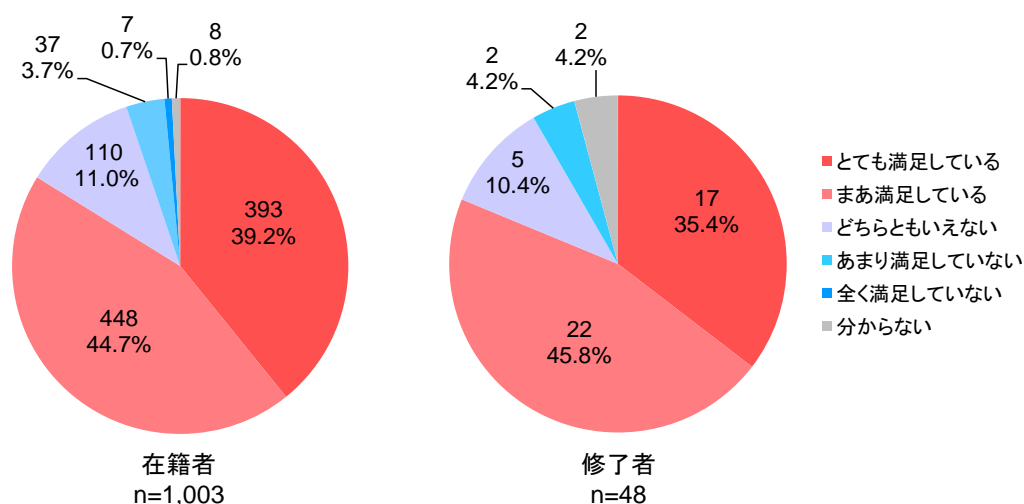
3.6 博士課程プログラムに対する印象

3.6.1. 博士課程プログラムの満足度

アンケート回答者のうち在籍者の博士課程プログラムの満足度をみると、「とても満足している」を選択した者が39.2%(393人)、「まあ満足している」を選択した者が44.7%(448人)、両者を合計すると83.8%(841人)となり、8割以上の者が博士課程プログラムに満足していた。また、修了者の博士課程プログラムの満足度をみると、「とても満足している」と答えた者が35.4%(17人)、「まあ満足している」と答えた者が45.8%(22人)、両者を合計すると81.2%(39人)となり、在籍者と同様に8割以上の者が博士課程プログラムに満足していた(図表 3.6.1)。

図表 3.6.1 博士課程プログラムの満足度

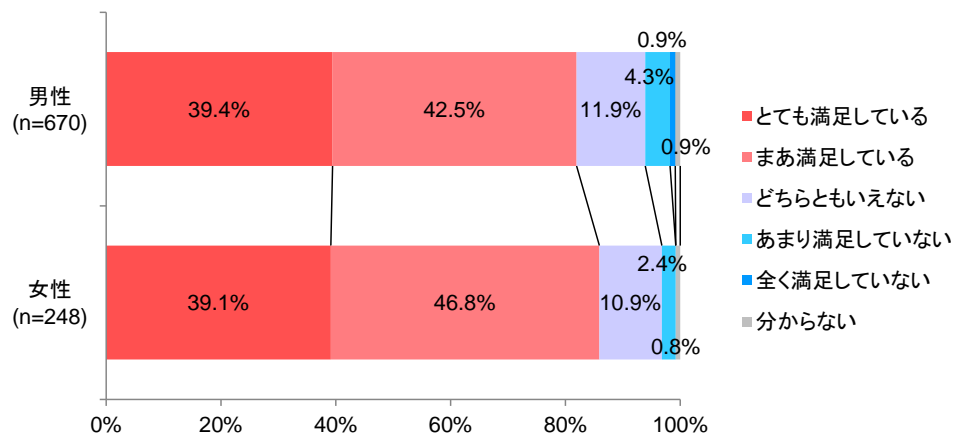
	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
とても満足している	393	39.2%	17	35.4%
まあ満足している	448	44.7%	22	45.8%
どちらともいえない	110	11.0%	5	10.4%
あまり満足していない	37	3.7%	2	4.2%
全く満足していない	7	0.7%	0	0.0%
分からない	8	0.8%	2	4.2%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者の博士課程プログラムの満足度を男女別にみると、「とても満足している」を選択した男性が39.4%(264人)、「まあ満足している」を選択した男性が42.5%(285人)、両者を合計すると81.9%(549人)となり、8割以上の男性が博士課程プログラムに満足していた。また、女性の博士課程プログラムの満足度をみると、「とても満足している」と答えた者が39.1%(97人)、「まあ満足している」と答えた者が46.8%(116人)、両者を合計すると85.9%(213人)となり、男性と同様に8割以上の者が博士課程プログラムに満足していた(図表 3.6.2)。

図表 3.6.2 博士課程プログラムの満足度(在籍者・男女別)

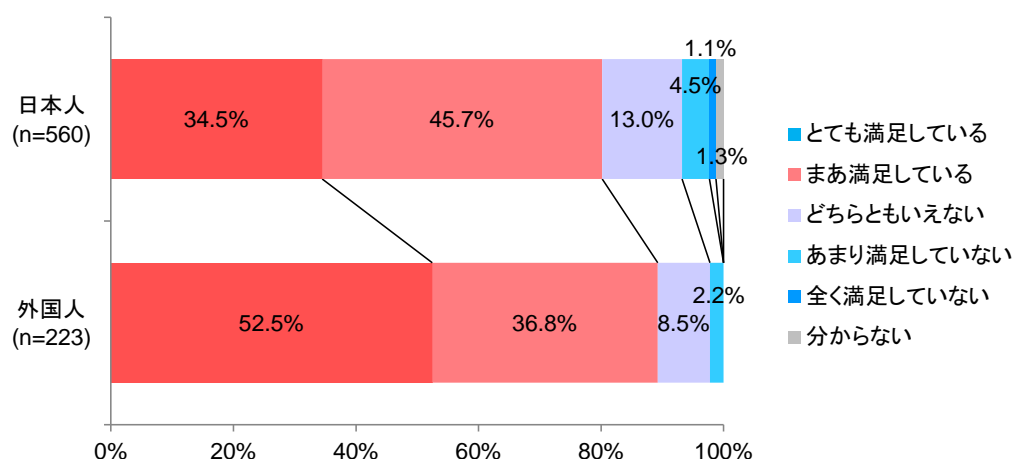
	男性		女性	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
とても満足している	264	39.4%	97	39.1%
まあ満足している	285	42.5%	116	46.8%
どちらともいえない	80	11.9%	27	10.9%
あまり満足していない	29	4.3%	6	2.4%
全く満足していない	6	0.9%	0	0.0%
分からない	6	0.9%	2	0.8%
計	670	100.0%	248	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者の博士課程プログラムの満足度を国籍別にみると、「とても満足している」を選択した日本人が34.5%(193人)、「まあ満足している」を選択した日本人が45.7%(256人)、両者を合計すると80.2%(449人)となり、8割以上の日本人が博士課程プログラムに満足していた。また、外国人の博士課程プログラムの満足度をみると、「とても満足している」と答えた者が52.5%(117人)、「まあ満足している」と答えた者が36.8%(82人)、両者を合計すると89.2%(199人)となり、9割程度の外国人が博士課程プログラムに満足していた(図表 3.6.3)。

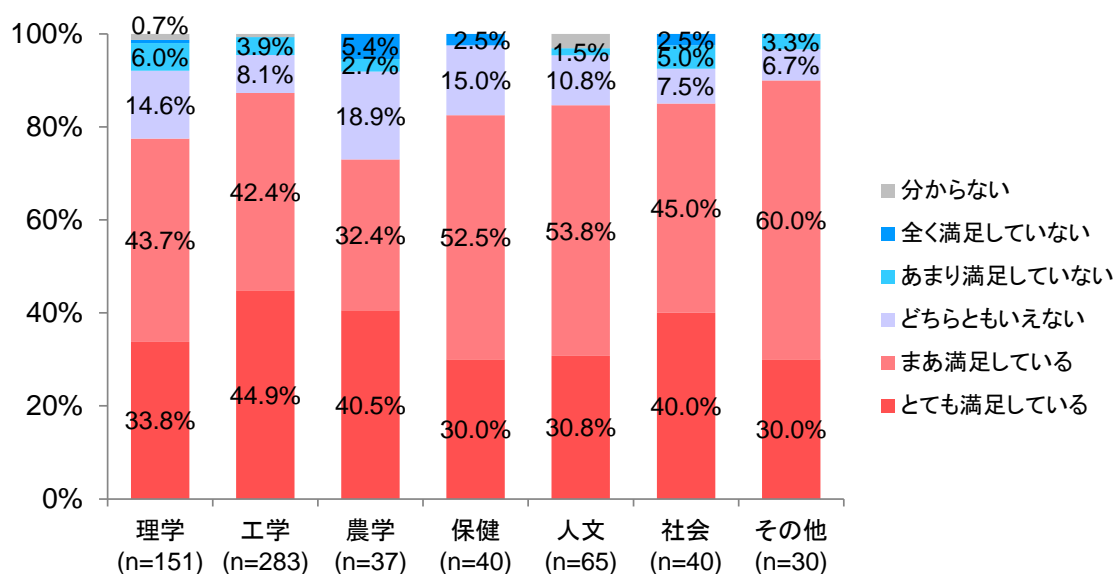
図表 3.6.3 博士課程プログラムの満足度(在籍者・国籍別)

	日本人		外国人	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
とても満足している	193	34.5%	117	52.5%
まあ満足している	256	45.7%	82	36.8%
どちらともいえない	73	13.0%	19	8.5%
あまり満足していない	25	4.5%	5	2.2%
全く満足していない	6	1.1%	0	0.0%
分からない	7	1.3%	0	0.0%
計	560	100.0%	223	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程プログラムの満足度を研究分野別にみると、「とても満足している」あるいは「まあ満足している」と答えた者の割合は、「その他」で最も高く90.0%であり、「工学」が87.3%、「社会」が85.0%と続いている(図表 3.6.4)。

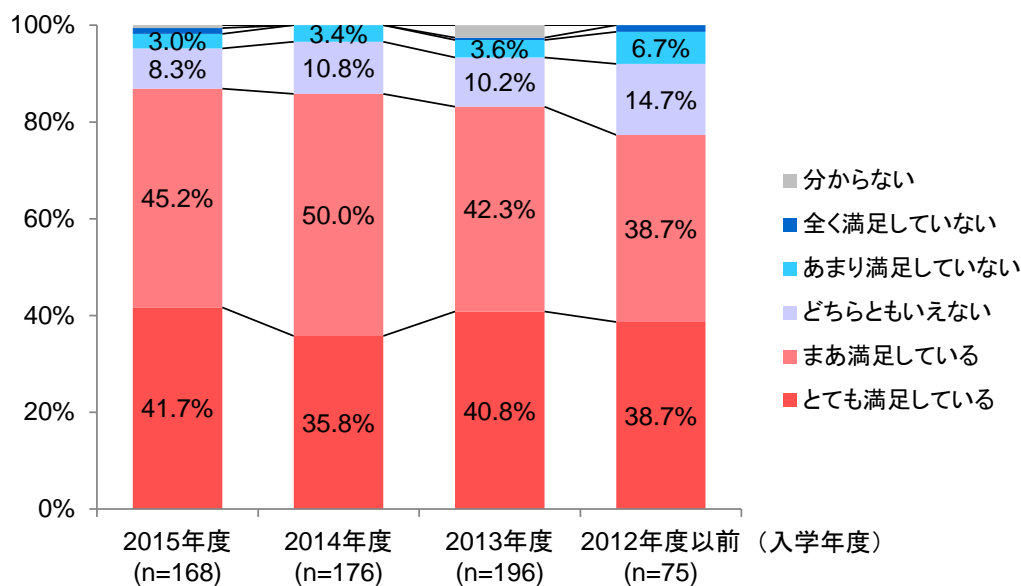
図表 3.6.4 博士課程プログラムの満足度(在籍者・研究分野別)



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程(後期)」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。博士課程プログラムを入学年度別にみると、「とても満足している」あるいは「まあ満足している」を選択した者の合計の割合が、2015年度の86.9%(146人)、2014年度入学者で85.8%(151人)、2013年度入学者で83.2%(163人)、2012年度以前の入学者で77.3%(58人)であり、入学年度からの年数経過につれて博士課程プログラムに満足している者の割合が低下する傾向がみられた(図表 3.6.5)。

図表 3.6.5 博士課程プログラムの満足度(在籍者・入学年度別)

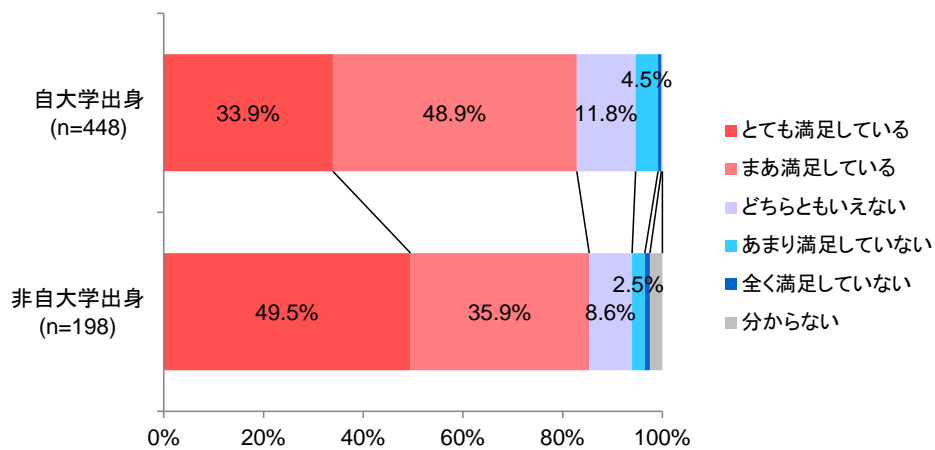
	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
とても満足している	70	41.7%	63	35.8%	80	40.8%	29	38.7%
まあ満足している	76	45.2%	88	50.0%	83	42.3%	29	38.7%
どちらともいえない	14	8.3%	19	10.8%	20	10.2%	11	14.7%
あまり満足していない	5	3.0%	6	3.4%	7	3.6%	5	6.7%
全く満足していない	2	1.2%	0	0.0%	1	0.5%	1	1.3%
分からない	1	0.6%	0	0.0%	5	2.6%	0	0.0%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程プログラムの満足度を出身大学別にみると、「とても満足している」を選択した自大学出身者が33.9% (152人)、「まあ満足している」を選択した自大学出身者が48.9% (219人)、両者を合計すると82.8% (371人)となり、8割以上の自大学出身者が博士課程プログラムに満足していた。また、非自大学出身者の博士課程プログラムの満足度をみると、「とても満足している」と答えた者が49.5% (98人)、「まあ満足している」と答えた者が35.9% (71人)、両者を合計すると85.4% (169人)となり、自大学出身者と同様に8割以上の者が博士課程プログラムに満足していた(図表 3.6.6)。

図表 3.6.6 博士課程の満足度(在籍者・出身大学別)

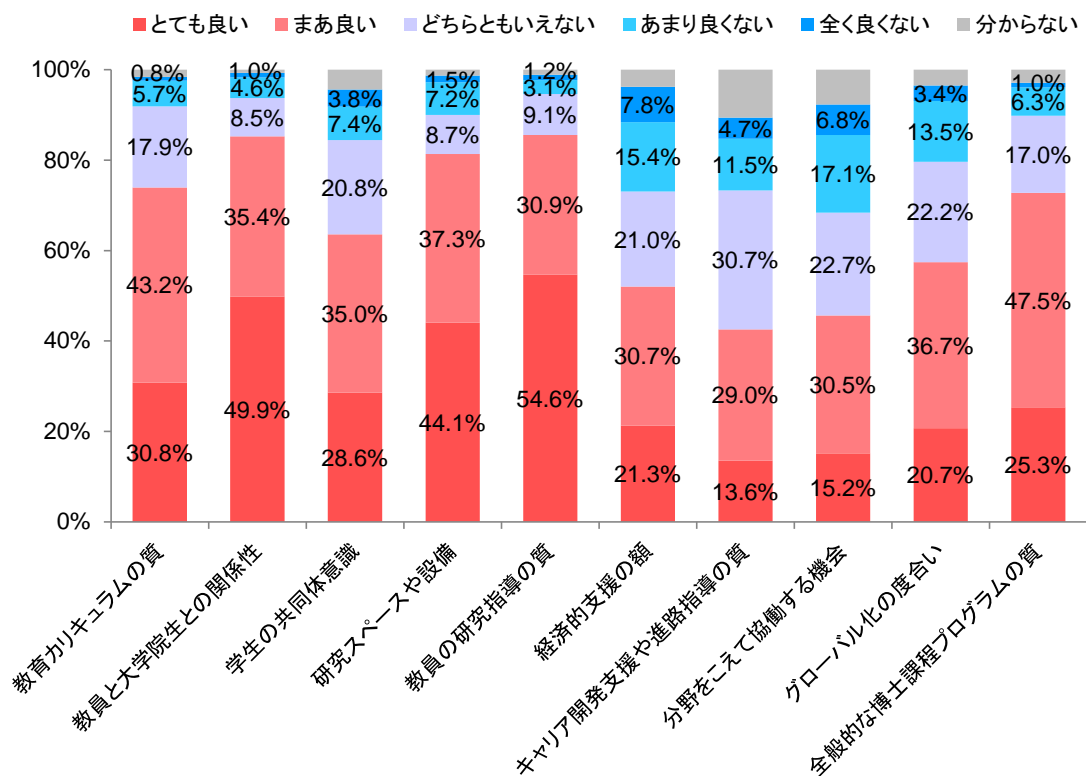
	自大学出身		非自大学出身	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
とても満足している	152	33.9%	98	49.5%
まあ満足している	219	48.9%	71	35.9%
どちらともいえない	53	11.8%	17	8.6%
あまり満足していない	20	4.5%	5	2.5%
全く満足していない	3	0.7%	2	1.0%
分からない	1	0.2%	5	2.5%
計	448	100.0%	198	100.0%



3.6.2. 博士課程プログラムの印象

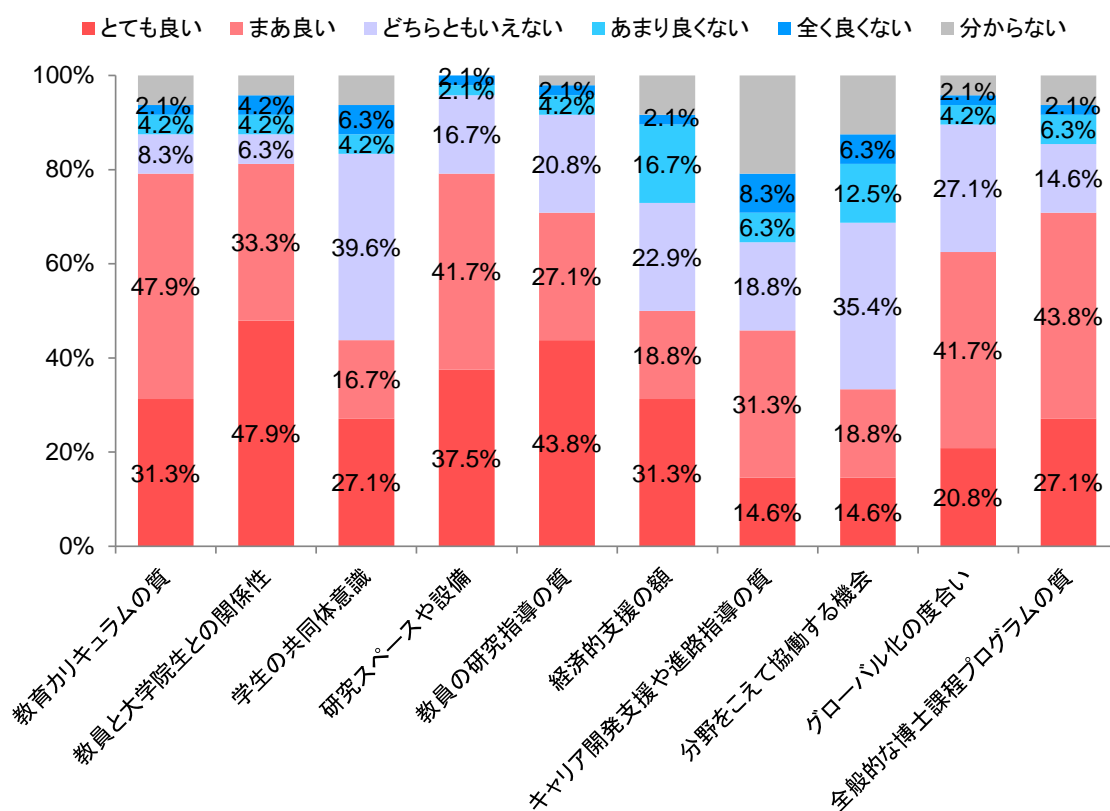
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程プログラムの印象をみた。設定した10項目のうち、「教員の研究指導の質」を「とても良い」あるいは「まあ良い」を選択した者が85.5%であり、「教員と大学院生との関係性」は85.2%、「研究スペースや設備」は81.4%と、研究環境について良いと感じている傾向がみられた。一方で、「キャリア開発支援や進路指導の質」を「とても良い」あるいは「まあ良い」と選択した者は42.6%、「経済的支援の額」は52.0%、「分野をこえて協働する機会」は45.7%、「グローバル化の度合い」は57.4%と良いと答えた者の割合は6割未満であり、研究以外の大学等によるサポート体制や外部との連携・ネットワーク展開について、一定の課題があることが推察される(図表 3.6.7)。

図表 3.6.7 博士課程プログラムの印象(在籍者)



アンケート回答者のうち修了者を対象として、博士課程プログラムの印象をみた。設定した10項目のうち、「教員と大学院生の関係性」を「とても良い」あるいは「まあ良い」を選択した者が81.3%であり、「研究スペースや設備」は79.2%と、これらの2項目に関しては、在学生と同じく良い印象がもたれていた。また、「キャリア開発支援や進路指導の質」を「とても良い」あるいは「まあ良い」と選択した者は45.8%、「経済的支援の額」は50.0%と他の項目に比べて低く、在籍者のこれらの項目に対する印象との差異はあまりなかった。一方で、「教員の研究指導の質」を「とても良い」あるいは「まあ良い」と選択した者は70.8%、「分野をこえて協働する機会」は33.3%、「学生の共同体意識」は43.8%となっており、在籍者による印象と比べると修了者において低い傾向にあった(図表 3.6.8)。

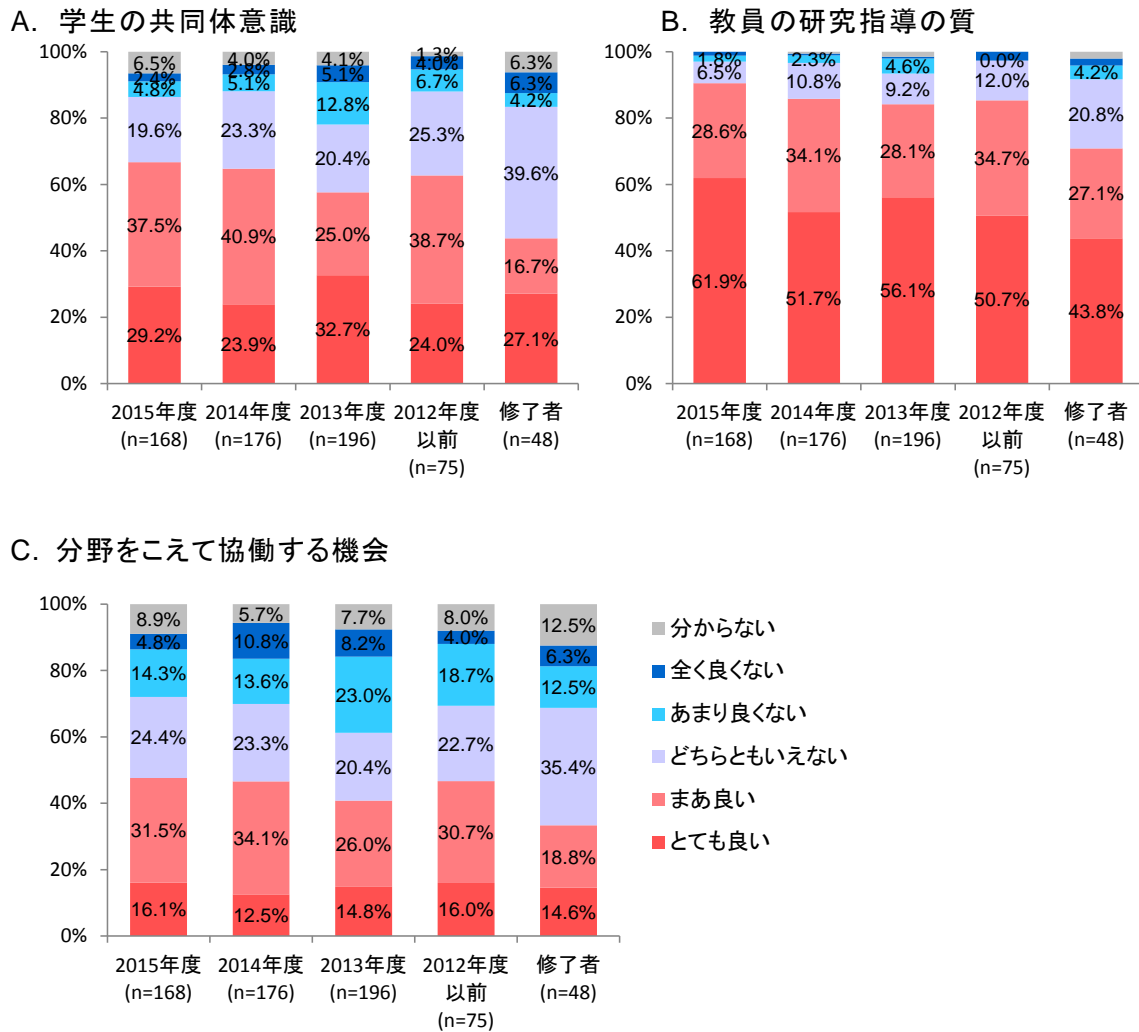
図表 3.6.8 博士課程プログラムの印象(修了者)



博士課程在籍者や修了者の博士課程プログラムに対する印象を左右する要因について、本アンケート調査結果のみからでは分からない点が多いため、より深く考察するためには、在籍者や修了者を対象としたインタビュー調査等を平行して実施することが有効であると考えます。

博士課程プログラムの印象に関して、在籍者と修了生との間で差がみられた3項目についての学年別の傾向をみるため、アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程(後期)」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。その結果、今回のアンケート調査では、「学生の共同体意識」、「教員の研究指導の質」、「分野をこえて協働する機会」に関して、2015年度入学者が最も良い印象を受けていることが分かった(図表 3.6.9)。

図表 3.6.9 博士課程プログラムの印象(入学年度別)

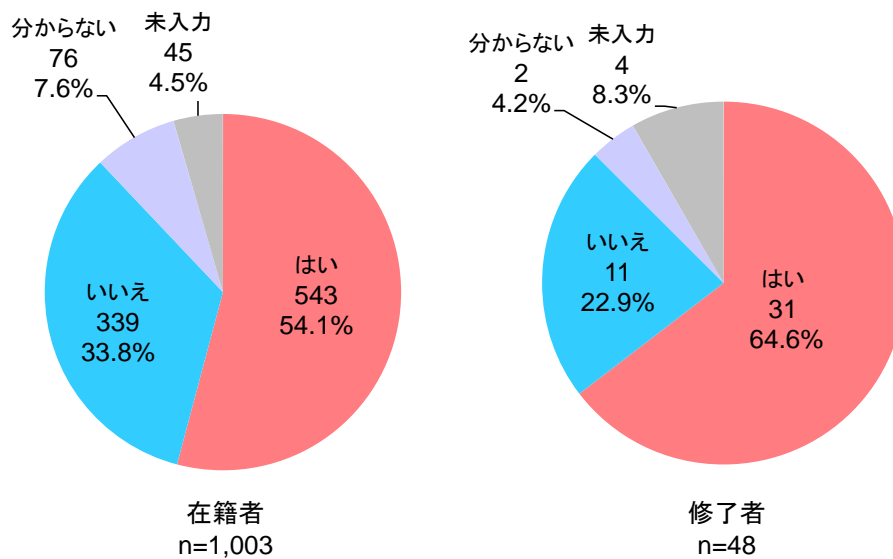


3.6.3. 指導教員に対するキャリアの相談

博士課程在籍中における指導教員に対するキャリアの相談の有無をみると、アンケート回答者のうち在籍者の54.1%(543人)は指導教員に対してキャリアの相談をしており、33.8%(339人)はキャリアの相談をしていなかった。一方、修了者の64.6%(31人)は指導教員に対してキャリアの相談をしており、22.9%(11人)はキャリアの相談をしていなかった(図表 3.6.10)。

図表 3.6.10 指導教員に対するキャリア相談の有無

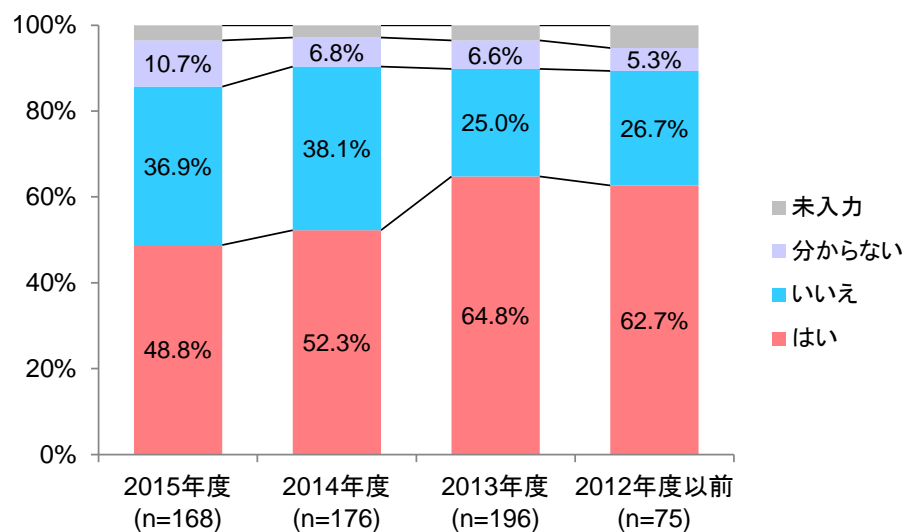
	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
はい	543	54.1%	31	64.6%
いいえ	339	33.8%	11	22.9%
分からない	76	7.6%	2	4.2%
未入力	45	4.5%	4	8.3%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程（後期）」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。博士課程在籍中における指導教員に対するキャリア相談の有無を入学年度別にみると、キャリアの相談をした者の割合は、2015年度入学者で48.8%（82人）、2014年度入学者で52.3%（92人）、2013年度入学者で64.8%（127人）、2012年度以前の入学者で62.7%（47人）となっており、博士課程（後期）入学から3年目以降になると、指導教員に対してキャリアの相談をした者の割合が高まることが分かった（図表 3.6.11）。

図表 3.6.11 指導教員に対するキャリア相談の有無（在籍者・入学年度別）

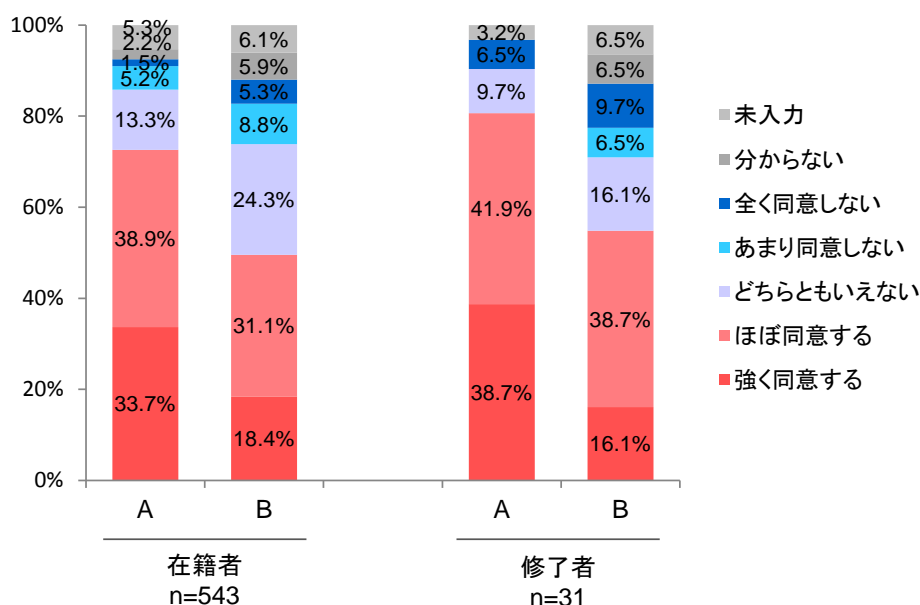
	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
はい	82	48.8%	92	52.3%	127	64.8%	47	62.7%
いいえ	62	36.9%	67	38.1%	49	25.0%	20	26.7%
分からない	18	10.7%	12	6.8%	13	6.6%	4	5.3%
未入力	6	3.6%	5	2.8%	7	3.6%	4	5.3%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%



博士課程在籍中におけるキャリア構築に関する指導教員の関与の度合いを把握するため、米国のマサチューセッツ工科大学（MIT）が博士課程修了者に対して定期的の実施している「Doctoral Student Exit Survey」の質問票[8]を参考に、アカデミアと非アカデミアにおけるキャリア構築に対して、それぞれ指導教員より適切なアドバイスが得られたかどうかをたずねる設問を設置した。その上で、アンケート回答者の在籍者と修了者のうち、指導教員に対してキャリア相談をしたことのあると回答した者を抽出し、傾向をみた。

結果、アカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに「強く同意する」あるいは「ほぼ同意する」を選択した者の割合は、在籍者で72.6%（394人）、修了者で80.6%（25人）であった。一方、非アカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに「強く同意する」あるいは「ほぼ同意する」を選択した者の割合は、在籍者で49.5%（269人）、修了者で54.8%（17人）であった。アカデミアでの結果と比較すると、非アカデミアでのキャリア構築について指導教員より適切なアドバイスを得られたことに同意する者の割合が低いことが分かった（図表 3.6.12）。

図表 3.6.12 指導教員によるキャリア構築のアドバイス

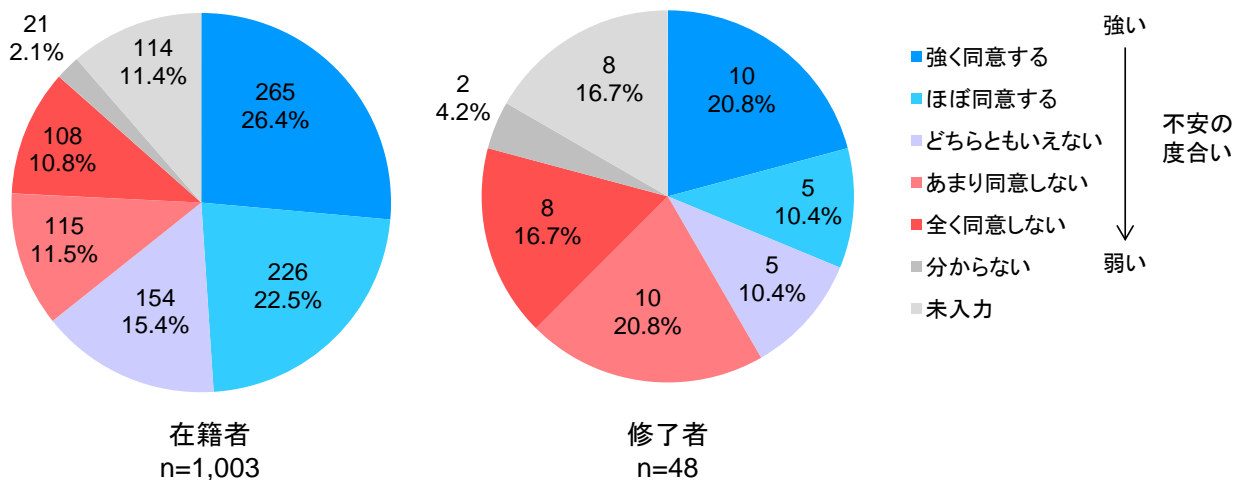


注) キャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに対する同意の度合いをたずねている

博士課程修了後のキャリアについての不安をみると、アンケート回答者のうち在籍者の26.4%（265人）は不安を感じることに「強く同意する」と回答しており、「ほぼ同意する」と回答した者は22.5%（226人）と、約半数の在籍者が不安を感じていた。一方、アンケート回答者のうち修了者の20.8%（10人）は不安を感じることに「強く同意する」と回答しており、「ほぼ同意する」と回答した者は10.4%（5人）と、不安を感じている修了者は約3割であった。在籍者の方が修了者よりも博士課程修了後のキャリアについて不安を感じる者の割合が高かった（図表 3.6.13）。

図表 3.6.13 博士課程修了後のキャリアについての不安

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
強く同意する	265	26.4%	10	20.8%
ほぼ同意する	226	22.5%	5	10.4%
どちらともいえない	154	15.4%	5	10.4%
あまり同意しない	115	11.5%	10	20.8%
全く同意しない	108	10.8%	8	16.7%
分からない	21	2.1%	2	4.2%
未入力	114	11.4%	8	16.7%
計	1,003	100.0%	48	100.0%

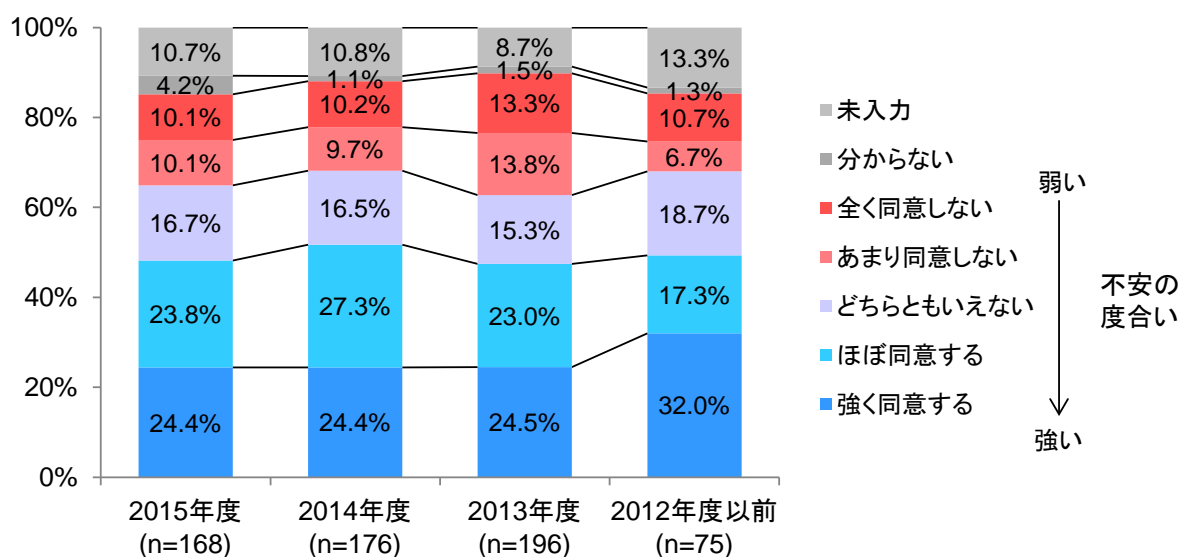


注) 修了者に対しては現時点でのキャリアについての不安をたずねている

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、JGRADの登録項目である「課程別」において「博士課程(後期)」が選択されているアンケート回答者を抽出した上で、JGRADの登録項目である「入学年度」の情報により分類した。博士課程修了後のキャリアについての不安を入学年度別にみると、2013年度から2015年度入学者については、不安を感じることに「強く同意する」と回答した者が同程度で推移していた。一方、2012年度以前の入学者については、博士課程修了後のキャリアについて不安を感じることに「強く同意する」と回答した者の割合が32.0%(24人)と、2013年度以降の入学者と比べて不安を感じている者の割合が高い傾向にあった(図表 3.6.14)。

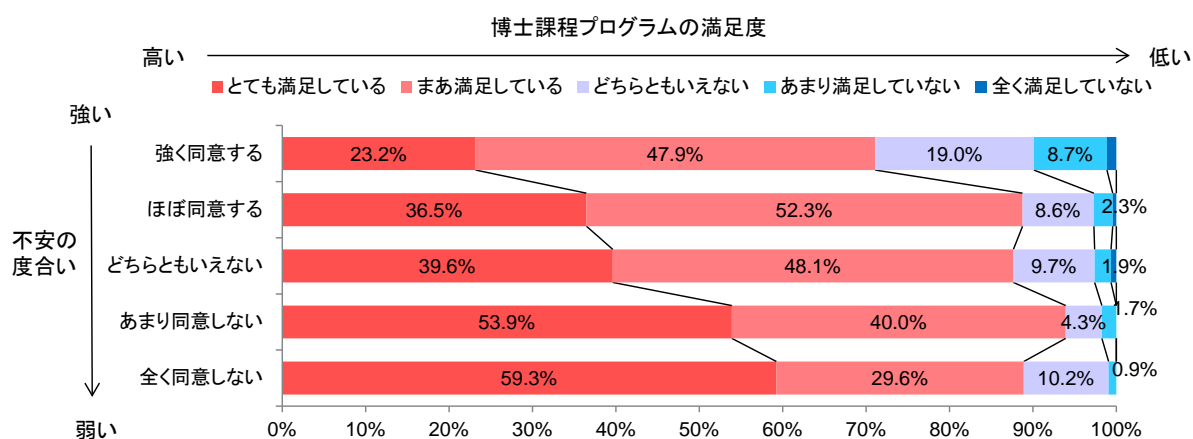
図表 3.6.14 博士課程修了後のキャリアについての不安(在籍者・入学年度別)

	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
強く同意する	41	24.4%	43	24.4%	48	24.5%	24	32.0%
ほぼ同意する	40	23.8%	48	27.3%	45	23.0%	13	17.3%
どちらともいえない	28	16.7%	29	16.5%	30	15.3%	14	18.7%
あまり同意しない	17	10.1%	17	9.7%	27	13.8%	5	6.7%
全く同意しない	17	10.1%	18	10.2%	26	13.3%	8	10.7%
分からない	7	4.2%	2	1.1%	3	1.5%	1	1.3%
未入力	18	10.7%	19	10.8%	17	8.7%	10	13.3%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士課程修了後のキャリアについての不安と博士課程プログラムの満足度との関連性をみたところ、キャリアについての不安の度合いが弱い者ほど、博士課程プログラムに「とても満足している」と答える傾向にあることが分かった(図表 3.6.15)。

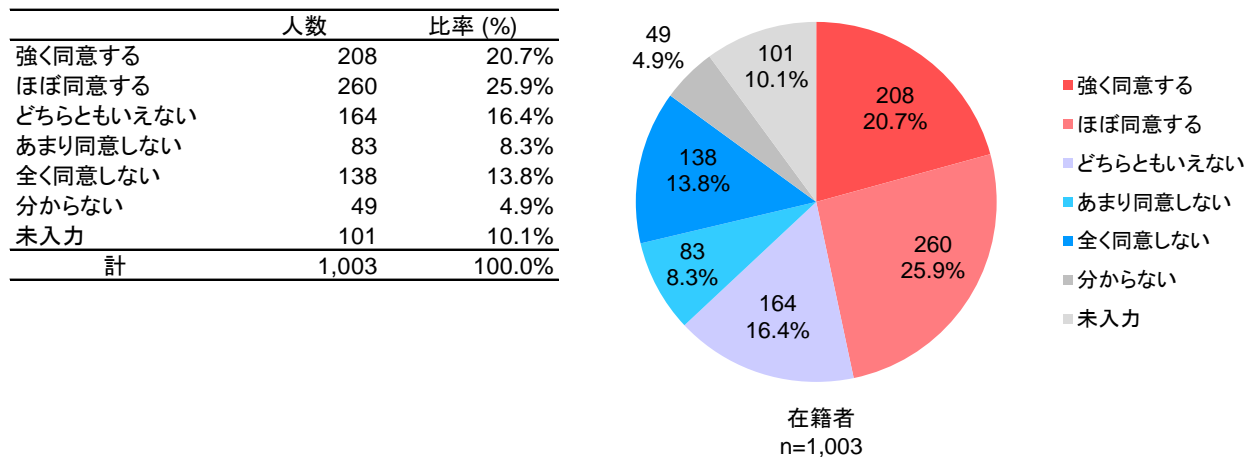
図表 3.6.15 修了後のキャリアについての不安と博士課程プログラムの満足度(在籍者)



3.6.4. 博士号の学位取得

アンケート回答者のうち在籍者を対象として、標準年限以内での博士号の学位取得の見込みについてみたところ、標準年限以内に学位を取得できることに「強く同意する」あるいは「ほぼ同意する」と答えた者の割合は46.7%(468人)と、アンケート回答者全体の半数程度を占めていた(図表 3.6.16)。

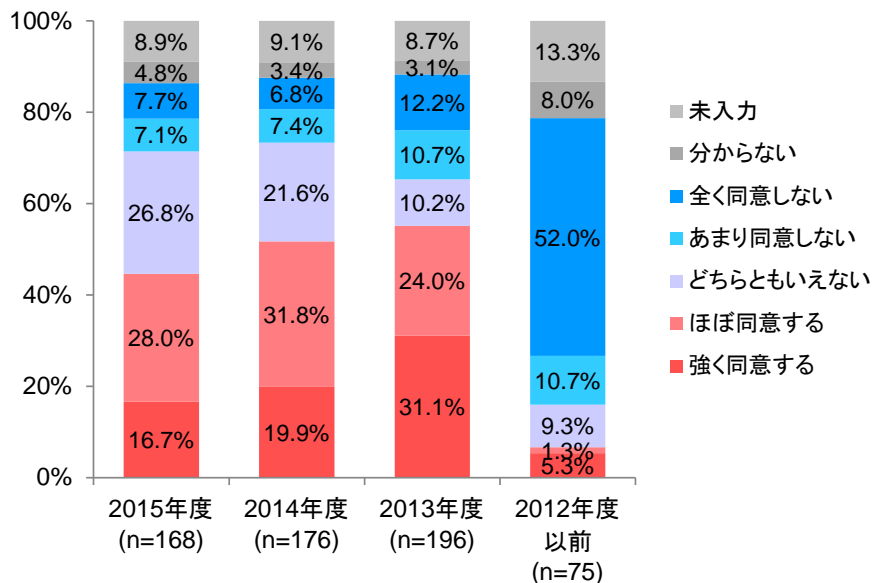
図表 3.6.16 標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者)



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、標準年限以内での博士号の学位取得の見込みについて学年別にみたところ、標準年限以内に学位を取得できることに「強く同意する」あるいは「ほぼ同意する」と答えた者の割合は、2015年度入学者で44.6%(75人)、2014年度入学者で51.7%(91人)、2013年度入学者で55.1%(108人)となっていた。また、「どちらともいえない」と答えた者の割合は、2015年度入学者で26.8%(45人)、2014年度入学者で21.6%(38人)、2013年度入学者で10.2%(20人)となっており、入学当初は博士号の学位取得が不明瞭なものの、年数を経るにつれて明瞭になっている状況がうかがわれる(図表 3.6.17)。

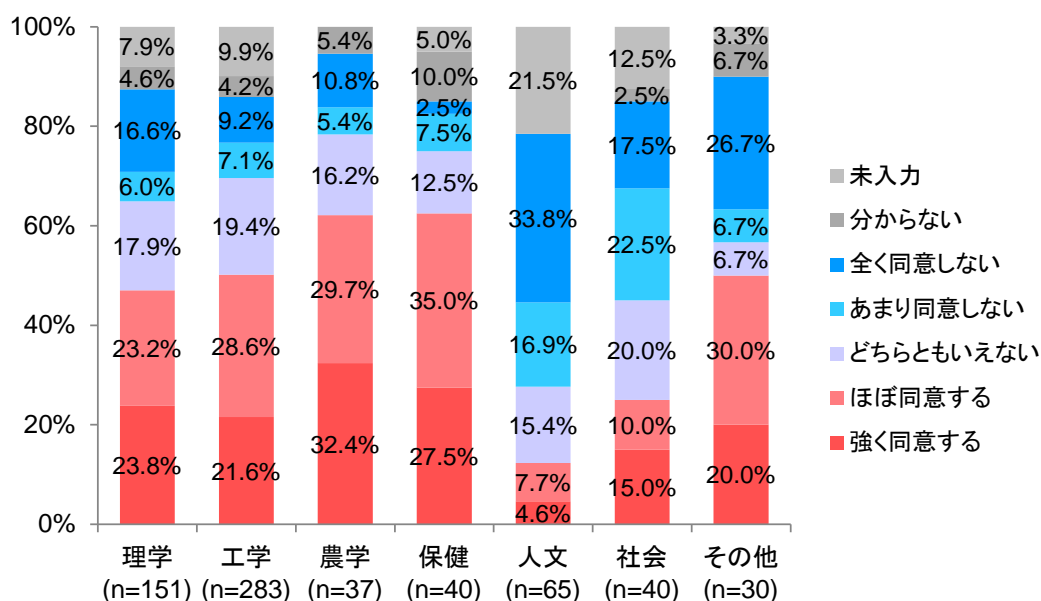
図表 3.6.17 標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者・入学年度別)

	2015年度		2014年度		2013年度		2012年度以前	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
強く同意する	28	16.7%	35	19.9%	61	31.1%	4	5.3%
ほぼ同意する	47	28.0%	56	31.8%	47	24.0%	1	1.3%
どちらともいえない	45	26.8%	38	21.6%	20	10.2%	7	9.3%
あまり同意しない	12	7.1%	13	7.4%	21	10.7%	8	10.7%
全く同意しない	13	7.7%	12	6.8%	24	12.2%	39	52.0%
分からない	8	4.8%	6	3.4%	6	3.1%	6	8.0%
未入力	15	8.9%	16	9.1%	17	8.7%	10	13.3%
計	168	100.0%	176	100.0%	196	100.0%	75	100.0%



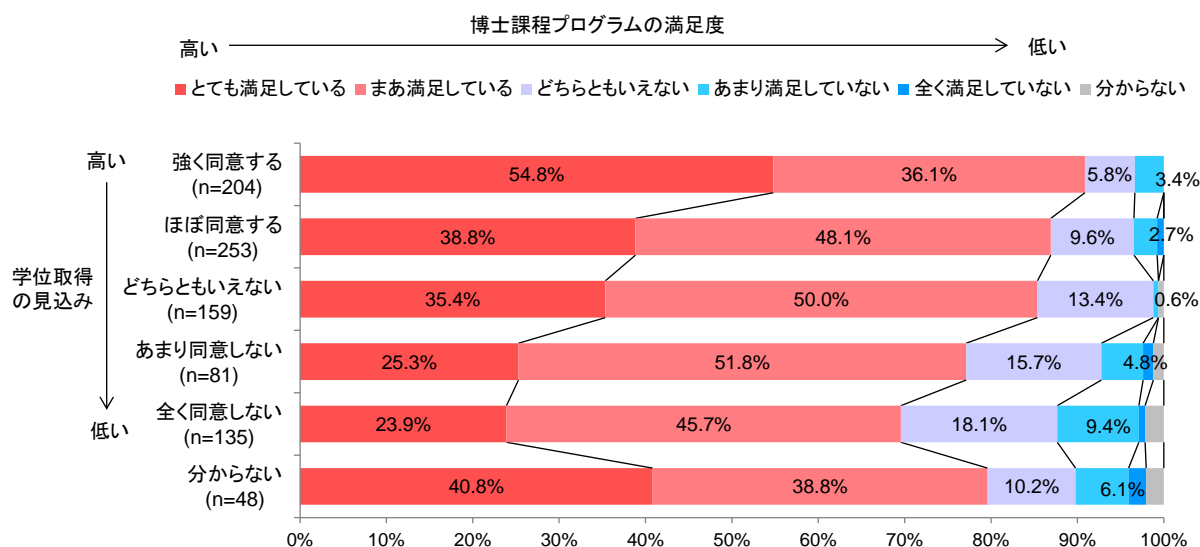
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、標準年限以内での博士号の学位取得の見込みについて研究分野別にみたところ、標準年限以内に学位を取得できることに「強く同意する」あるいは「ほぼ同意する」と答えた者の割合は、「保健」で最も高く62.5%であり、「農学」が62.2%と次いでいる。一方、「人文」は12.3%、「社会」は25.0%となっており、標準年限以内に学位を取得できる見込みを感じている者の割合が理工系の在籍者よりも低かった(図表 3.6.18)。

図表 3.6.18 標準年限以内での博士号の学位取得の見込み(在籍者・研究分野別)



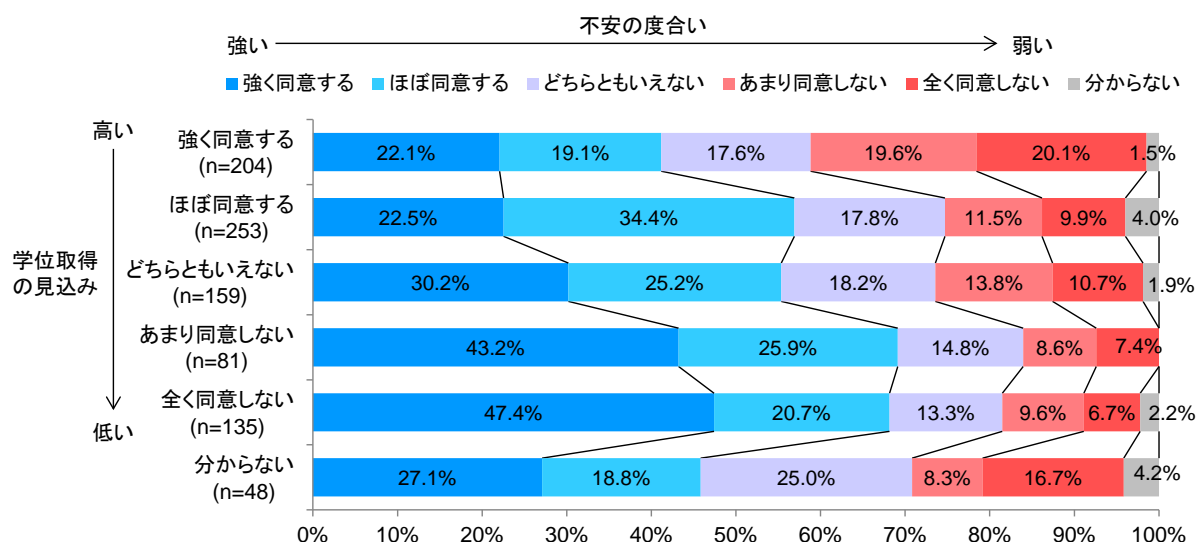
アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士号の学位取得の見込みと博士課程プログラムの満足度についての関連性をみたところ、学位取得の見込みが高いと答えた者ほど、博士課程プログラムの満足度が高い傾向がみられた(図表 3.6.19)。

図表 3.6.19 学位取得の見込みと博士課程プログラムの満足度(在籍者)



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、博士号の学位取得の見込みと博士課程修了後のキャリアについての不安との関連性をみたところ、学位取得の見込みが低いと答えた者ほど、博士課程修了後のキャリアについて強い不安を感じている傾向がみられた(図表 3.6.20)。

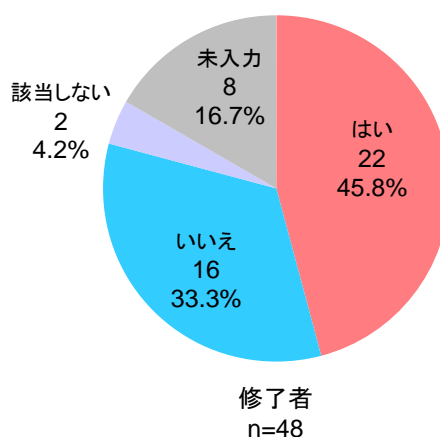
図表 3.6.20 学位取得の見込みとキャリアについての不安(在籍者)



アンケート回答者のうち修了者を対象として、標準年限以内での博士号の学位取得についてみたところ、標準年限以内で学位を取得した者は45.8%(22人)と全体の半数程度であった(図表 3.6.21)。

図表 3.6.21 標準年限以内での博士号の学位取得(修了者)

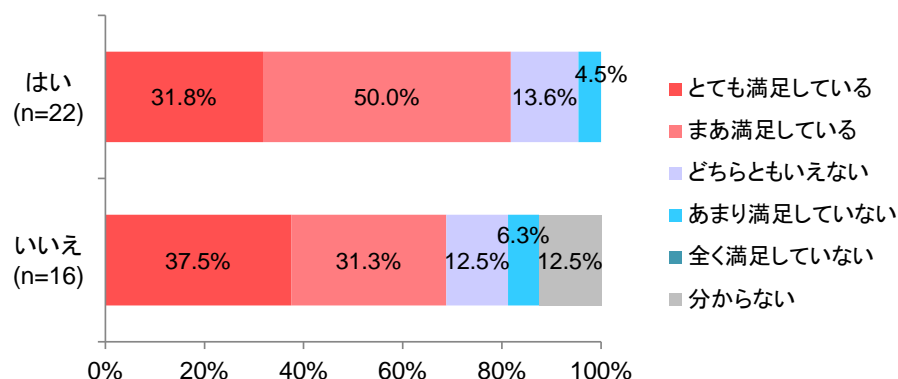
	人数	比率 (%)
はい	22	45.8%
いいえ	16	33.3%
該当しない	2	4.2%
未入力	8	16.7%
計	48	100.0%



アンケート回答者のうち在籍者を対象として、標準年限以内の博士号の学位取得の有無と博士課程プログラムの満足度についての関連性をみたところ、自身の博士課程プログラムについて「とても満足している」を選択した者の割合は、標準年限以内で博士号の学位を取得した者は31.8%、学位を取得していない者で37.5%であり、標準年限以内で学位を取得していない者の方が高かった。「とても満足している」あるいは「まあ満足している」を選択した者の割合は、標準年限以内に学位を

取得した者の方が高かった(図表 3.6.22)。

図表 3.6.22 標準年限以内での博士号の学位取得と博士課程プログラムの満足度(修了者)

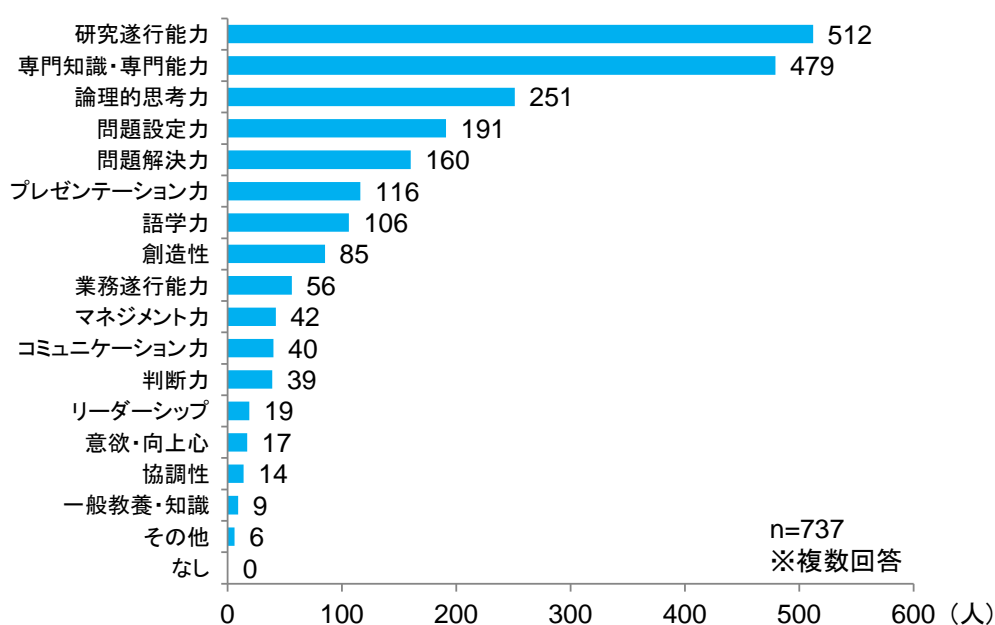


3.7 博士課程在籍中の経験

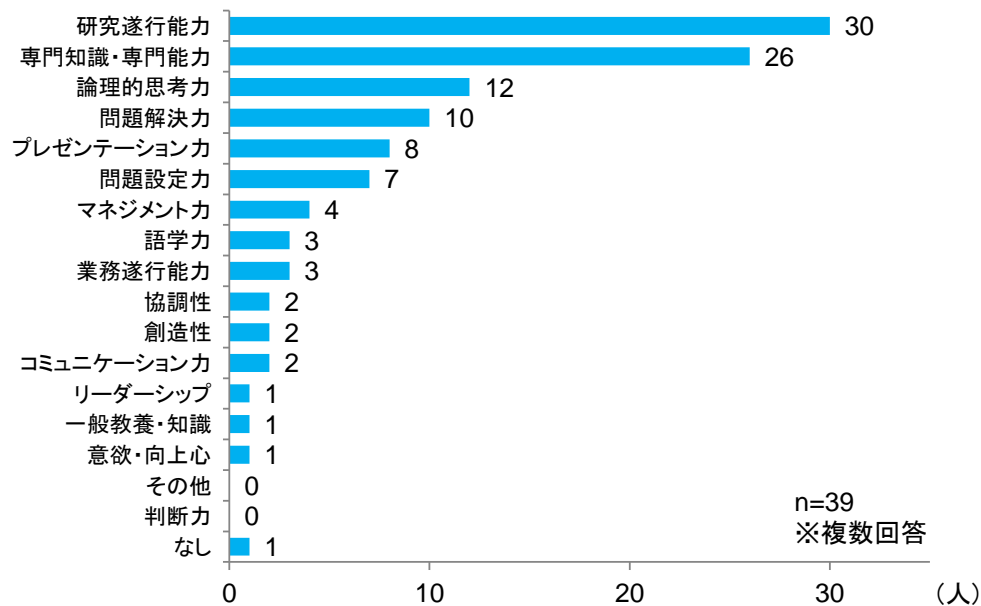
3.7.1. 博士課程在籍中に身につけたい能力

アンケート回答者のうち在籍者に対して、「博士課程在籍中に身につけたい能力」として16項目を設定してたずねたところ、「研究遂行能力」を選んだ者が最も多く、「専門知識・専門能力」、「論理的思考力」の順で多く選択されていた。修了者に対しては、「博士課程在籍中に身につけたかった能力」をたずねたところ、「研究遂行能力」、「専門知識・専門能力」、「論理的思考力」の順で多く選択されており、能力に対する意識について、在籍者と修了者との大きな違いはみられなかった(図表 3.7.1、図表 3.7.2)。

図表 3.7.1 博士課程在籍中に身につけたい能力(在籍者)



図表 3.7.2 博士課程在籍中に身につけたかった能力(修了者)

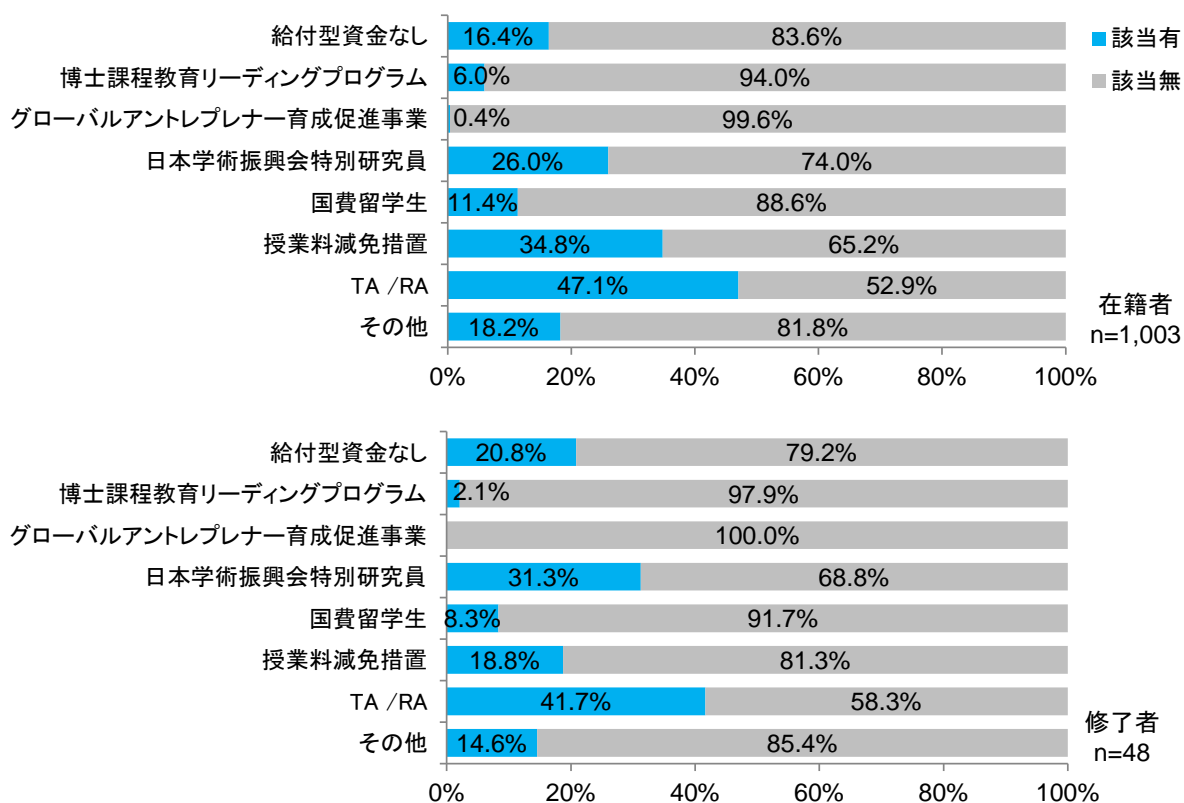


3.7.2. 博士課程在籍中の経済的支援

アンケート回答者のうち在籍者に対して、博士課程を継続するために利用した給付型資金について調べたところ、「TA/RA」を利用している者が最も多く、47.1% (472人)であった。「授業料減免措置」が34.8% (349人)、「日本学術振興会特別研究員」が26.0% (261人)、「国費留学生」が11.4% (114人)であり、「博士課程教育リーディングプログラム」には6.0% (60人)の者が該当していた。また、「給付型資金なし」と回答した者は16.4% (164人)であった。アンケート回答者のうち修了者の給付型研究資金をみると、在籍者と同様に「TA/RA」を利用していた者が41.7% (20人)、「日本学術振興会特別研究員」が31.3% (15人)、「給付型資金なし」が20.8% (10人)であった(図表 3.7.3)。

図表 3.7.3 給付型資金の受給状況

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
給付型資金なし	164	16.4%	10	20.8%
博士課程教育リーディングプログラム	60	6.0%	1	2.1%
グローバルアントレプレナー育成促進事業	4	0.4%	0	0.0%
日本学術振興会特別研究員	261	26.0%	15	31.3%
国費留学生	114	11.4%	4	8.3%
授業料減免措置	349	34.8%	9	18.8%
TA/RA	472	47.1%	20	41.7%
その他	183	18.2%	7	14.6%

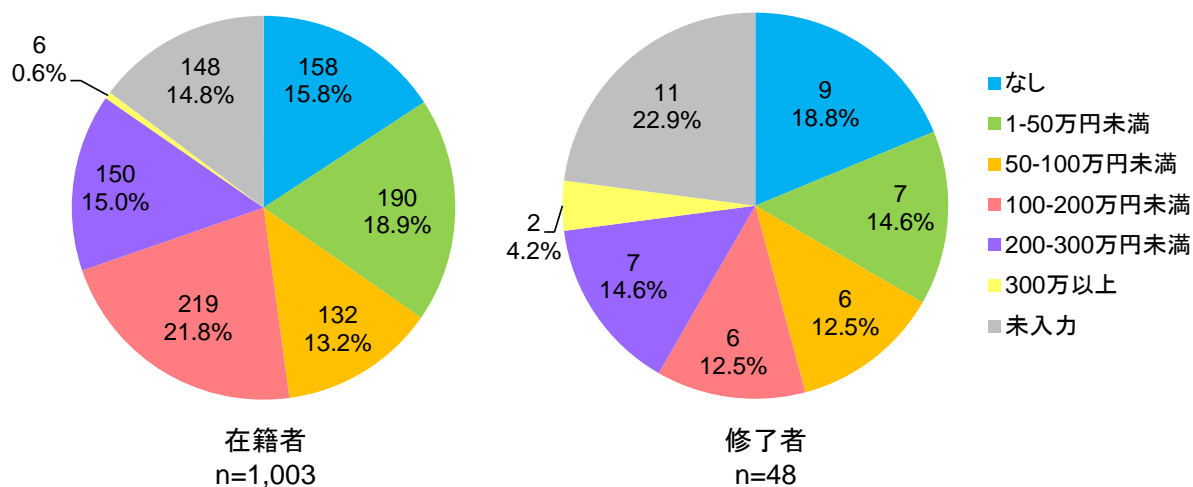


注) 複数回答

アンケート回答者のうち在籍者に対して、2014年11月1日～2015年10月31日までの給付型資金の額をたずねたところ、「100-200万円未満」を選択した者の割合が21.8% (219人)と最も高く、「1-50万円未満」を選択した者の割合が18.9% (190人)と次いでいる。修了者をみると、「なし」と答えた者の割合が18.8% (9人)と最も高く、「1-50万円未満」と「200-300万円未満」を選択した者の割合が14.6% (7人)と次いでいる(図表 3.7.4)。

図表 3.7.4 給付型資金の額

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
なし	158	15.8%	9	18.8%
1-50万円未満	190	18.9%	7	14.6%
50-100万円未満	132	13.2%	6	12.5%
100-200万円未満	219	21.8%	6	12.5%
200-300万円未満	150	15.0%	7	14.6%
300万以上	6	0.6%	2	4.2%
未入力	148	14.8%	11	22.9%
計	1,003	100.0%	48	100.0%

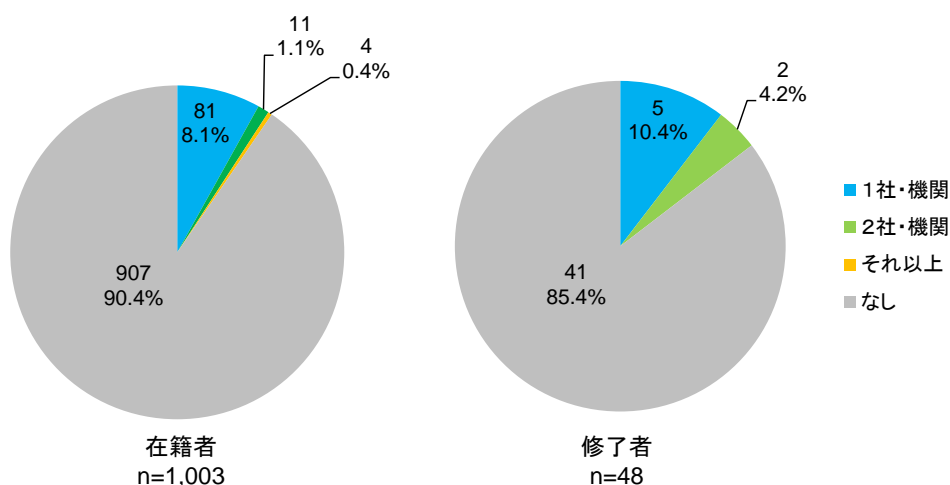


3.7.3. 博士課程在籍中のインターンシップ経験

アンケート回答者のうち在籍者と修了者に対して、博士課程在籍中の民間企業・団体におけるインターンシップの経験についてたずねたところ、インターンシップの経験がある者の割合は在籍者で9.6%(96人)、修了者で14.6%(7人)であった(図表 3.7.5)。

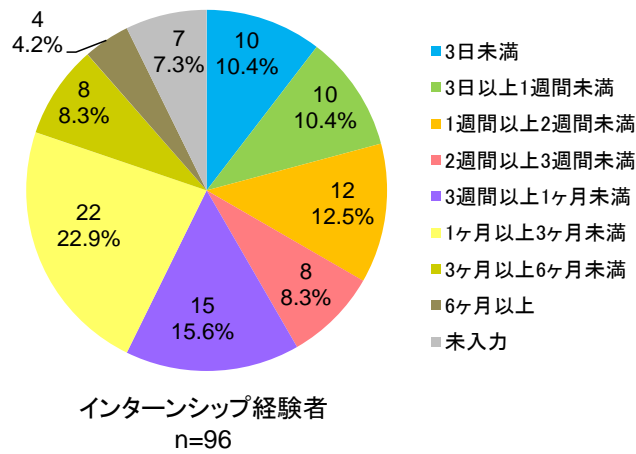
図表 3.7.5 インターンシップの経験

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1社・機関	81	8.1%	5	10.4%
2社・機関	11	1.1%	2	4.2%
それ以上	4	0.4%	0	0.0%
なし	907	90.4%	41	85.4%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



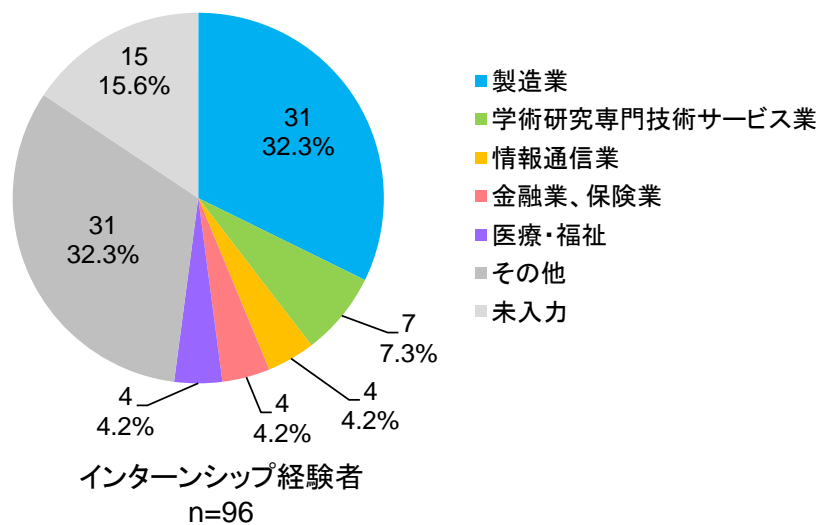
アンケート回答者の在籍者のうち、インターンシップの経験がある者に対して、インターンシップの期間を調べたところ、「1ヶ月以上3ヶ月未満」が最も多く22.9%(22人)を占めていた(図表 3.7.6)。

図表 3.7.6 インターンシップの期間（在籍者・経験有）



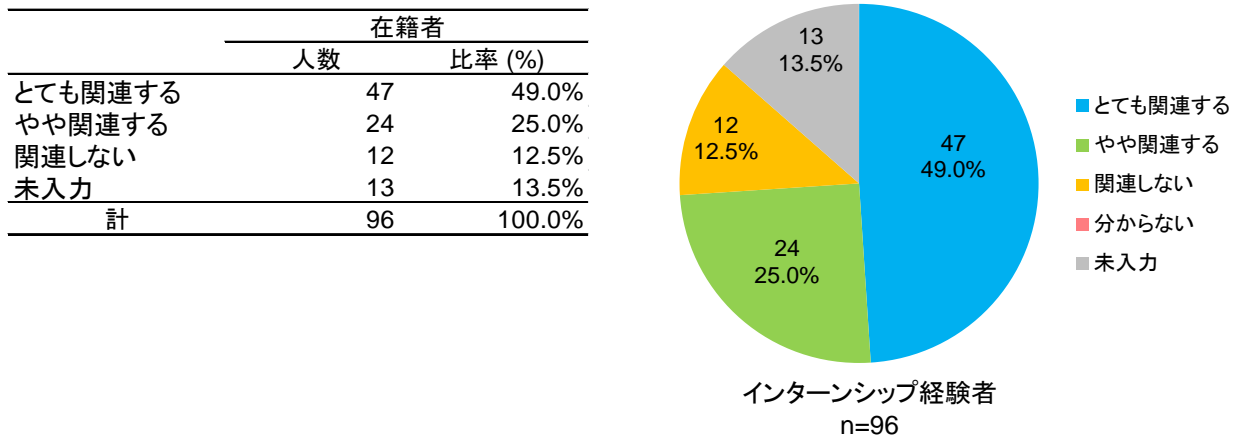
アンケート回答者の在籍者のうち、インターンシップの経験がある者に対して、インターンシップ受け入れ企業の業種をたずねたところ、製造業が最も多く32.3%（31人）を占めていた（図表 3.7.7）。

図表 3.7.7 インターンシップ受け入れ企業の業種（在籍者・経験有）



アンケート回答者の在籍者のうち、インターンシップの経験がある者に対して、インターンシップの受け入れ企業と自身の研究分野との関連性をたずねたところ、「とても関連する」と答えた者が最も多く49.0%（47人）であり、「やや関連する」と合わせると4分の3程度を占める（図表 3.7.8）。

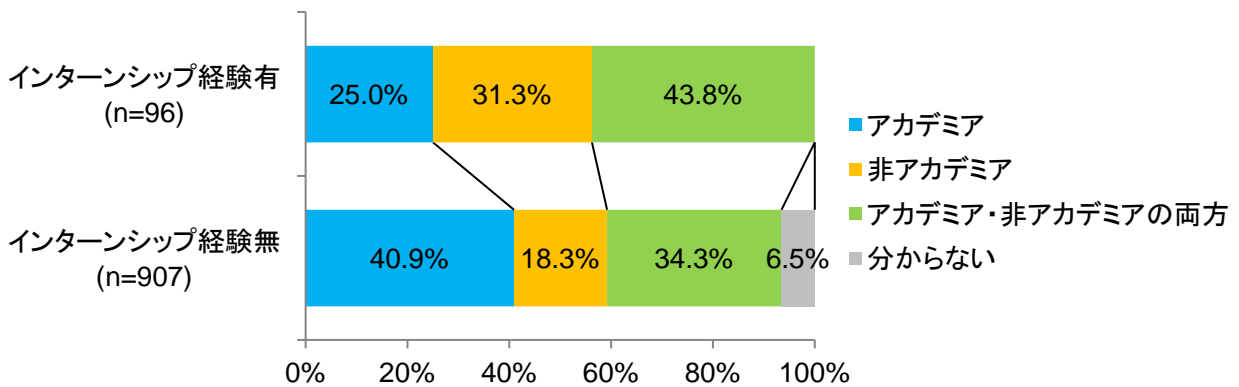
図表 3.7.8 受け入れ先企業と自身の研究分野との関連性（在籍者・経験有）



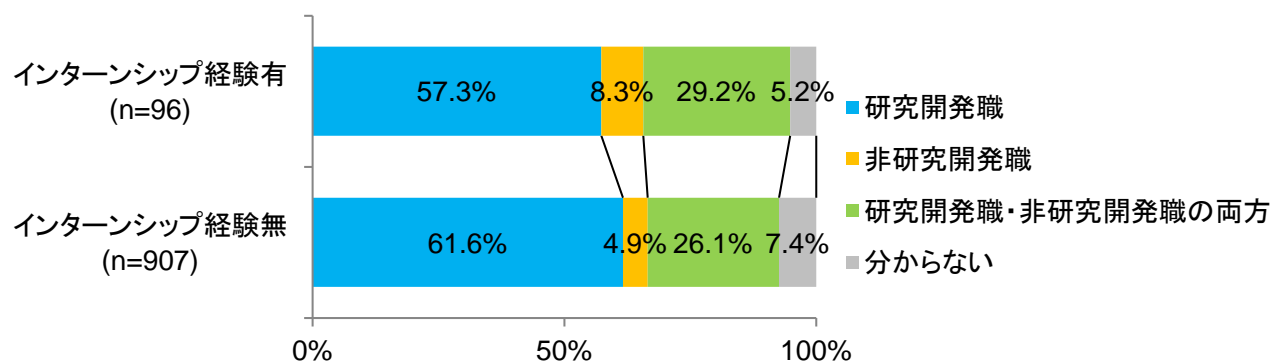
インターンシップ経験の有無と博士課程修了後のキャリアの意識に関連性があるか調べたところ、インターンシップ経験が有る者の方が、博士課程修了後のキャリアパスとして「非アカデミア」を希望する者の割合が高く（図表 3.7.9A）、「非研究開発職」を希望する者の割合も同様に高かった（図表 3.7.9B）。

図表 3.7.9 インターンシップ経験と博士課程修了後のキャリア・職種についての希望（在籍者）

A. 博士課程修了後に希望するキャリア



B. 博士課程修了後に希望する職種

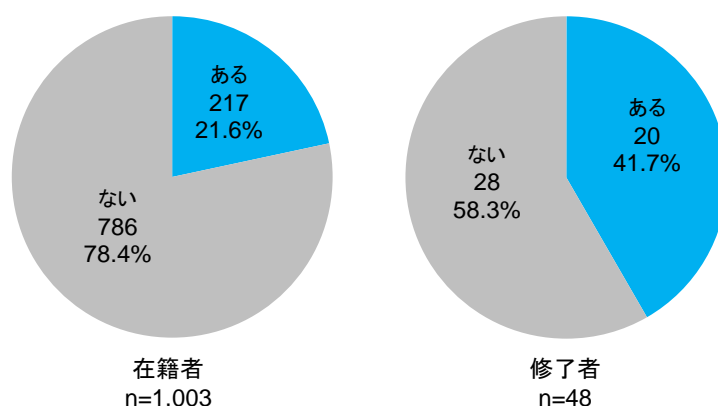


3.7.4. 博士課程在籍中の民間企業との共同研究経験

アンケート回答者のうち在籍者と修了者に対して、博士課程在籍中の民間企業との共同研究の経験についてたずねたところ、共同研究の経験がある者の割合は在籍者で21.6%(217人)、修了者で41.7%(20人)であった(図表 3.7.10)。

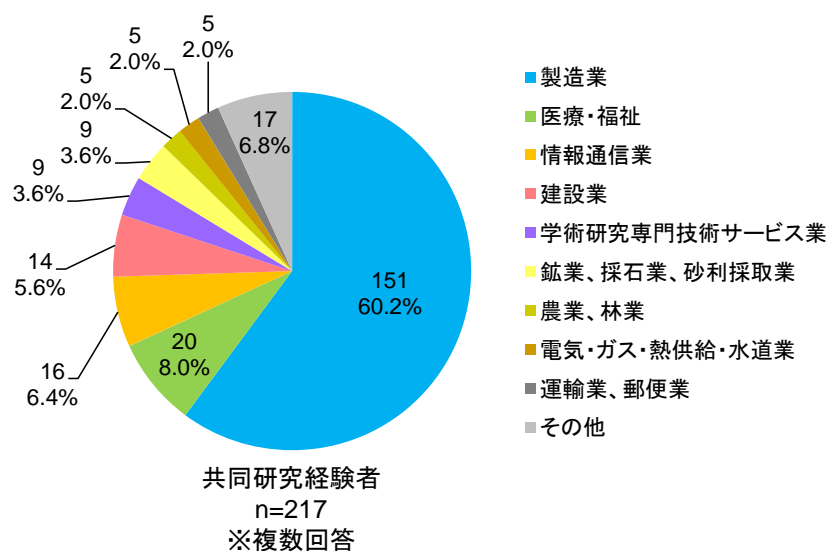
図表 3.7.10 民間企業との共同研究の経験

	在籍者		修了者	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
はい	217	21.6%	20	41.7%
いいえ	786	78.4%	28	58.3%
計	1,003	100.0%	48	100.0%



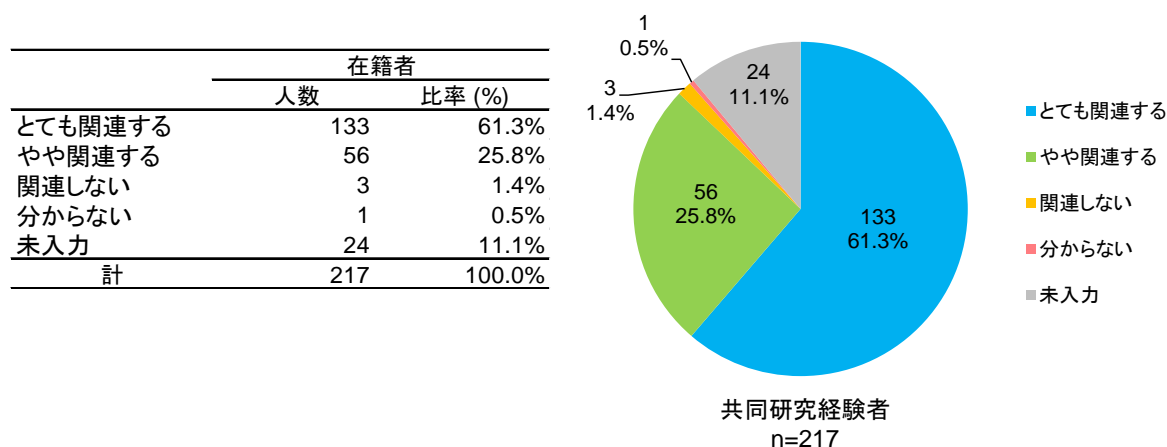
アンケート回答者の在籍者のうち、共同研究の経験がある者に対して、共同研究先の民間企業の業種をたずねたところ、「製造業」が最も多く60.2%(151人)を占めており、「医療・福祉」が8.0%(20人)、「情報通信業」が6.4%(16人)と次いでいる。製造業の中では、「化学工業、石油・石炭製品製造業」が13.1%(33人)、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が10.8%(27人)、「輸送用機械器具製造業」及び「その他の製造業」が9.2%(23人)となっている(図表 3.7.11)。

図表 3.7.11 共同研究先の民間企業の業種(在籍者・経験有)



アンケート回答者の在籍者のうち、共同研究の経験がある者に対して、共同研究先の企業と自身の研究分野との関連性をたずねたところ、「とても関連する」と答えた者が最も多く61.3%(133人)であり、「やや関連する」と合わせると約9割を占める(図表 3.7.12)。

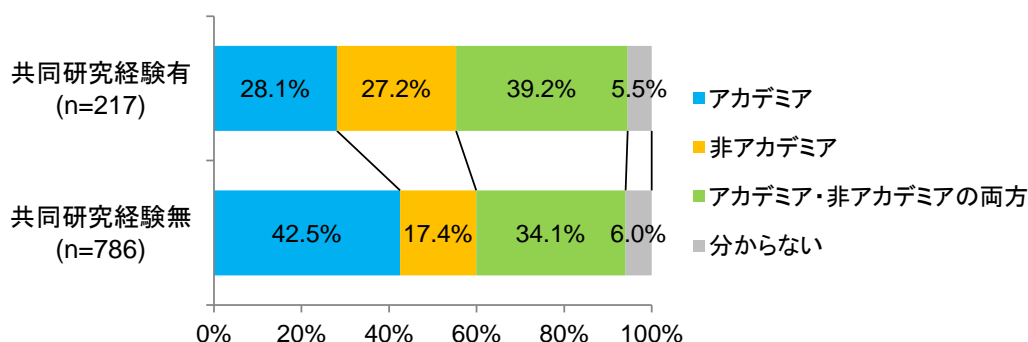
図表 3.7.12 共同研究先企業と自身の研究分野との関連性(在籍者・経験有)



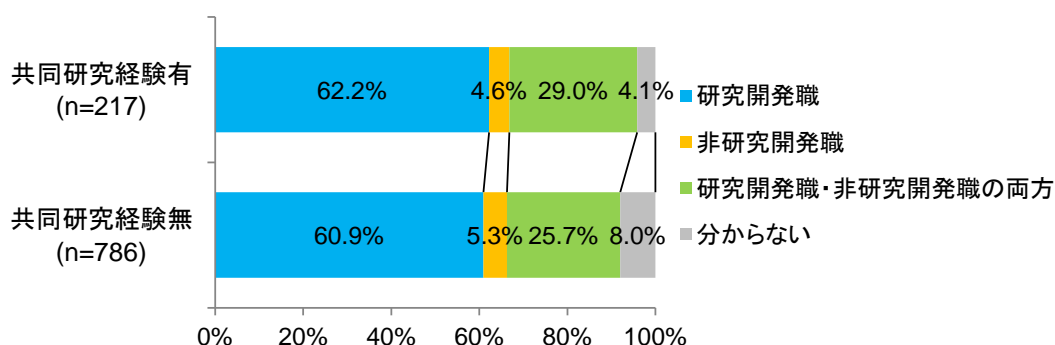
共同研究経験の有無と博士課程修了後のキャリアの意識に関連性があるか調べたところ、共同研究経験が有る者の方が、博士課程修了後のキャリアパスとして「非アカデミア」を希望する者が高かった(図表 3.7.13A)。一方、博士課程修了後に希望する職種については共同研究経験の有無による大きな違いはみられなかった(図表 3.7.13B)。

図表 3.7.13 共同研究経験と博士課程修了後のキャリア・職種についての希望(在籍者)

A. 博士課程修了後に希望するキャリア



B. 博士課程修了後に希望する職種



3.8 社会人学生の状況

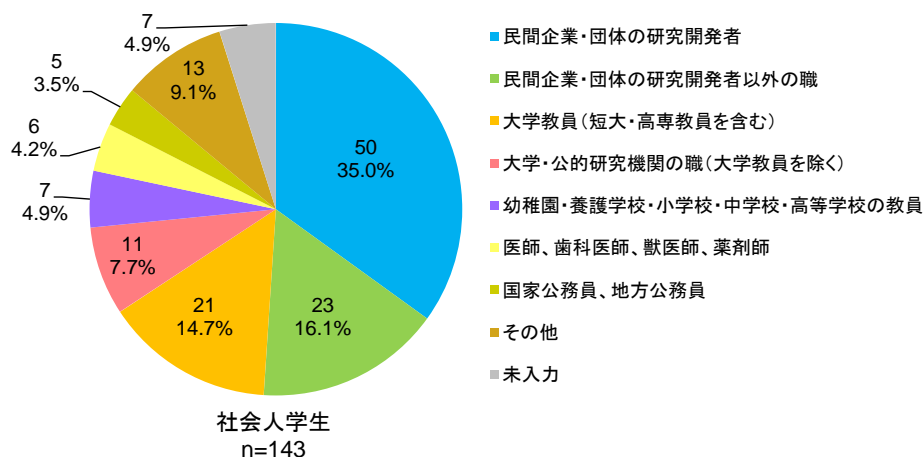
アンケート回答者の在籍者のうち、社会人学生を対象とした設問により、収入をともなう仕事の状況(2015年11月1日現在)の回答状況をみたところ、「おもに仕事」を選択した者が65.2%(107人)を占めていた(図表 3.8.1)。

図表 3.8.1 収入を伴う仕事の状況(2015年11月1日現在)

	在籍者(社会人学生)	
	人数	比率(%)
おもに仕事	107	65.2%
通学のかたわらに仕事	30	18.3%
家事などのかたわらに仕事	3	1.8%
仕事を休んでいる	3	1.8%
仕事を探している	1	0.6%
通学	17	10.4%
家事など	2	1.2%
その他(高齢者など)	1	0.6%
計	164	100.0%

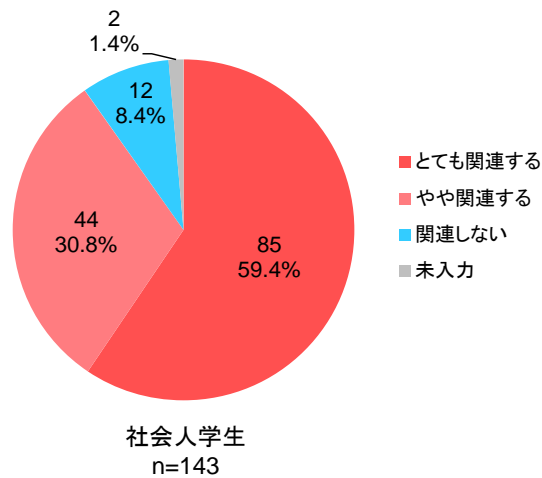
このうち、「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」、「家事のかたわらに仕事」、「仕事を休んでいる」を選択した者の2015年11月1日現在の職業をみたところ、「民間企業・団体の研究開発者」が最も多く35.0%(50人)であり、「民間企業・団体の研究開発者以外の職」が16.1%(23人)、「大学教員(短大・高専教員を含む)」が14.7%(21人)が続いている(図表 3.8.2)。

図表 3.8.2 社会人学生の職業(2015年11月1日時点)



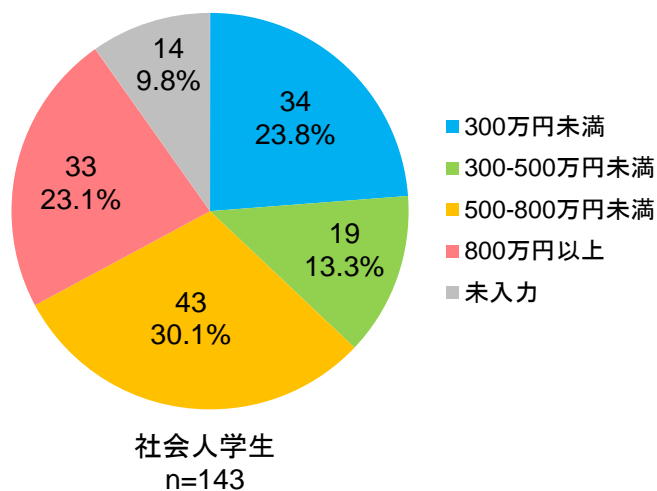
「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」、「家事のかたわらに仕事」、「仕事を休んでいる」を選択した者の現在の仕事と博士課程プログラムとの関連性をみたところ、現在の仕事と博士課程プログラムとが「とても関連する」あるいは「やや関連する」と答えた者が90.2%(129人)と9割以上を占めていた(図表 3.8.3)。

図表 3.8.3 社会人学生の現在の仕事と博士課程プログラムとの関連性



「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」、「家事のかたわらに仕事」、「仕事を休んでいる」を選択した者の年間収入をみると、「500-800万円未満」と答えた者の割合が30.1%(43人)と最も高かった(図表 3.8.4)。

図表 3.8.4 社会人学生の年間収入(2014年11月1日～2015年10月31日まで)



3.9 修了者の状況

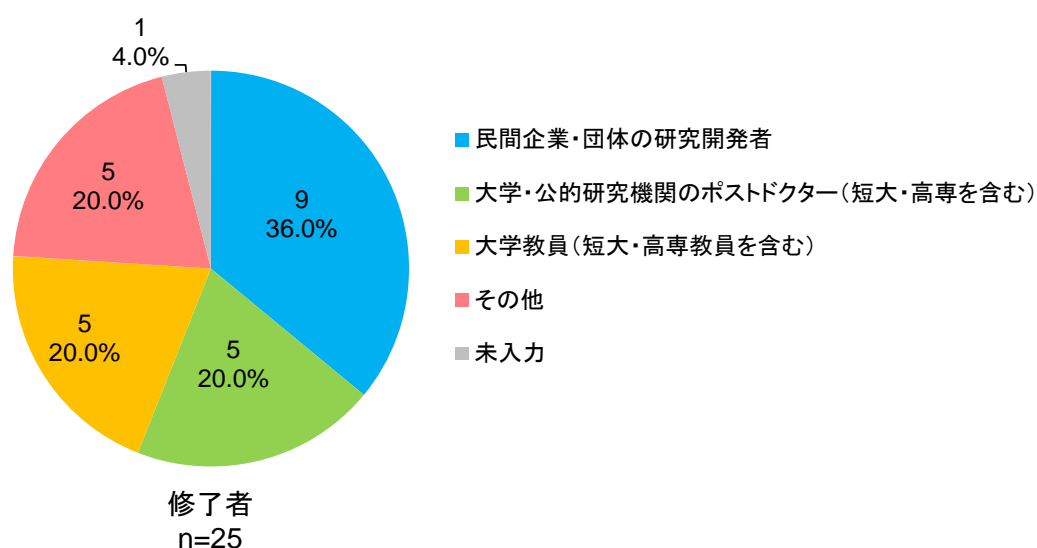
アンケート回答者のうち修了者を対象として、収入をとまなう仕事の状況(2015年11月1日現在)の回答状況をみたところ、「おもに仕事」を選択した者が47.9%(23人)であり、次いで「未入力」が37.5%(18人)と割合が高かった(図表 3.9.1)。

図表 3.9.1 修了者の現在の仕事の状況(2015年11月1日現在)

	人数	比率 (%)
おもに仕事	23	47.9%
通学のかたわらに仕事	2	4.2%
家事などのかたわらに仕事	0	0.0%
仕事を休んでいる	1	2.1%
仕事を探している	2	4.2%
通学	2	4.2%
家事など	0	0.0%
その他(高齢者など)	0	0.0%
未入力	18	37.5%
計	48	100.0%

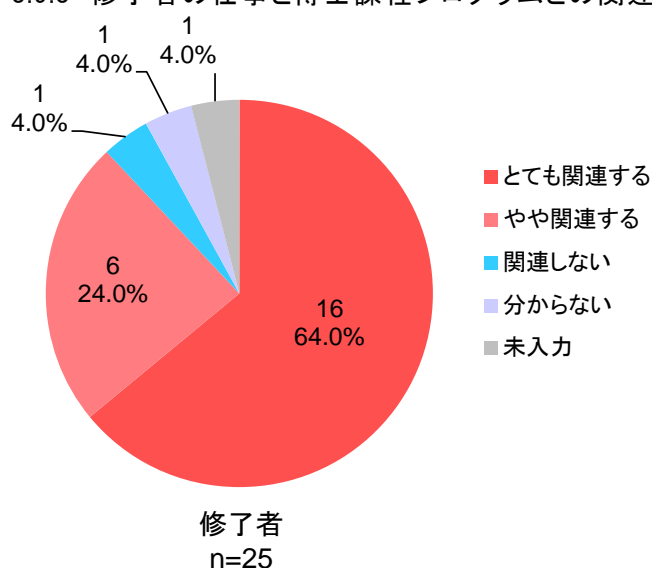
このうち、「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」と回答した修了者についての2015年11月1日現在の職業をみると、「民間企業・団体の研究開発者」と答えた者の割合が最も高く36.0%(9人)であった(図表 3.9.2)。

図表 3.9.2 修了者の職業(2015年11月1日現在)



同様に、「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」と回答した修了者の現在の仕事と博士課程プログラムとの関連性をみたところ、現在の仕事と博士課程プログラムとが「とても関連する」あるいは「やや関連する」と答えた者が88.0%(22人)と約9割を占めていた(図表 3.9.3)。

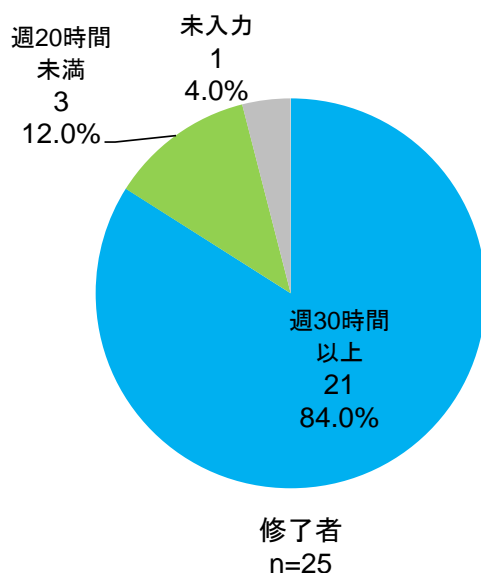
図表 3.9.3 修了者の仕事と博士課程プログラムとの関連性



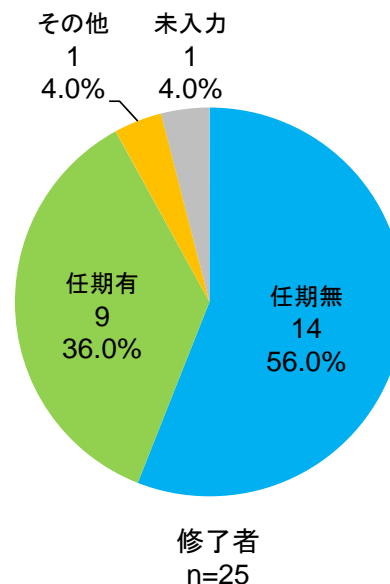
続いて、「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」と回答した修了者の現在の仕事の状況として、労働時間と雇用形態についてみると、労働時間が「週30時間以上」の者が84.0%(21人)を占めており、仕事をしていると答えた修了者の8割以上はフルタイムで働いていることが分かる(図表 3.9.4A)。また、雇用形態の比率は「任期無」が56.0%(14人)、「任期有」が36.0%(9人)であり、「任期無」と答えた者の方が多かった(図表 3.9.4B)。

図表 3.9.4 修了者の仕事の状況(2015年11月1日現在)

A. 労働時間



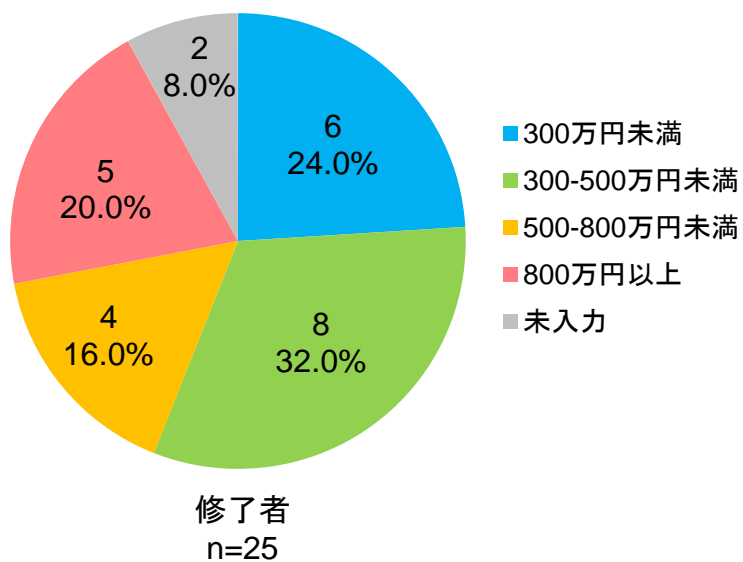
B. 雇用形態



さらに、「おもに仕事」、「通学のかたわらに仕事」と回答した修了者の年間収入(2014年11月1日～2015年10月31日まで)をみると、「300-500万円未満」と答えた者の割合が32.0%(8人)と最も高かった。NISTEPによる2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」においても、

修了者の労働所得について300-500万円の所得層が最も多いという結果が得られており[5]、今回のアンケート調査はサンプル数が少ないものの、同様の傾向がみられた(図表 3.9.5)。

図表 3.9.5 修了者の年間収入(2014年11月1日～2015年10月31日まで)



第4章 考察

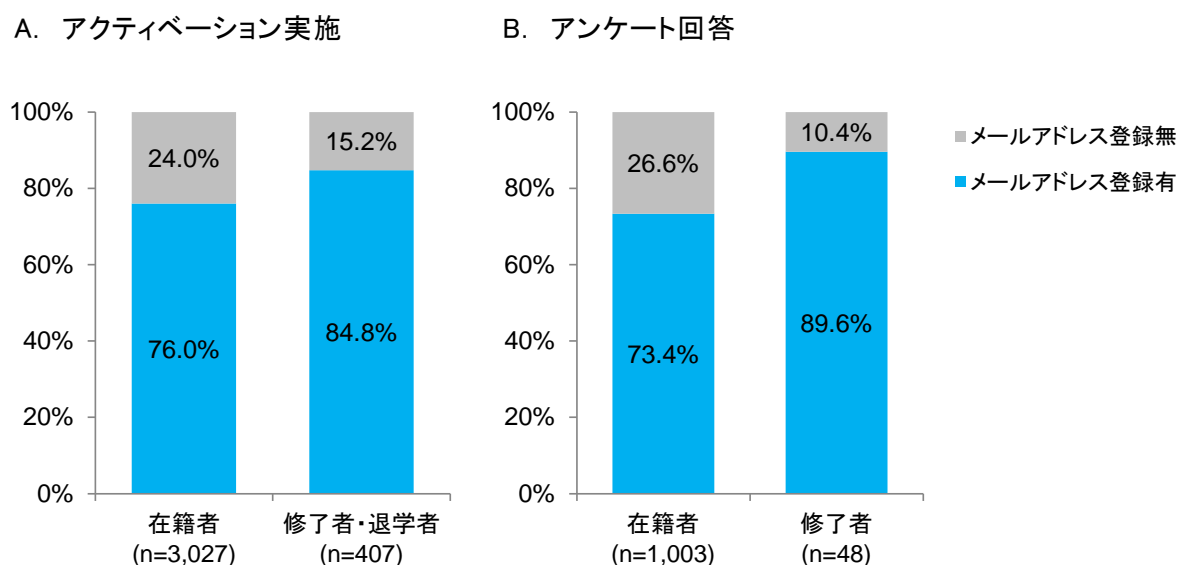
4.1 JGRADによるアンケート調査の回収率

今回のアンケート調査の調査対象者は、JGRAD上でアクティベーションを実施していた3,434人であり、回答者数1,051人、回収率は30.6%であった。また、JGRADに登録されている博士課程修了の有無別の回収率をみると、在籍者の回収率は33.1%、修了者は12.7%であり、修了者のアンケート回収率は低かった(図表 3.1.2)。

JGRADによる調査の周知にあたり、JGRADに設置されている掲示板への投稿により、JGRADに登録されている全登録者のメールアドレス宛に通知することで、調査の回答依頼を実施した。在籍者については、大学に在籍中のため協力大学からのコンタクトが可能であり、JGRADからの通知に加えて協力大学の協力を得て調査の周知が実施できる一方で、修了者については、JGRADを通じたメール通知に限られる。

今回のアンケート調査対象者であるアクティベーション実施者のメールアドレス登録率を在籍者と修了者に分けてみたところ、在籍者のメールアドレス登録率は76.0%、修了者は84.8%であった(図表 4.1.1A)。同様に、アンケート回答者におけるメールアドレス登録率を在籍者と修了者に分けてみたところ、在籍者のアンケート回答者のメールアドレス登録率は73.4%、修了者は89.6%となっていた(図表 4.1.1B)。両者ともに、修了者の方がメールアドレスを登録している者の割合が高かった。

図表 4.1.1 メールアドレス登録率

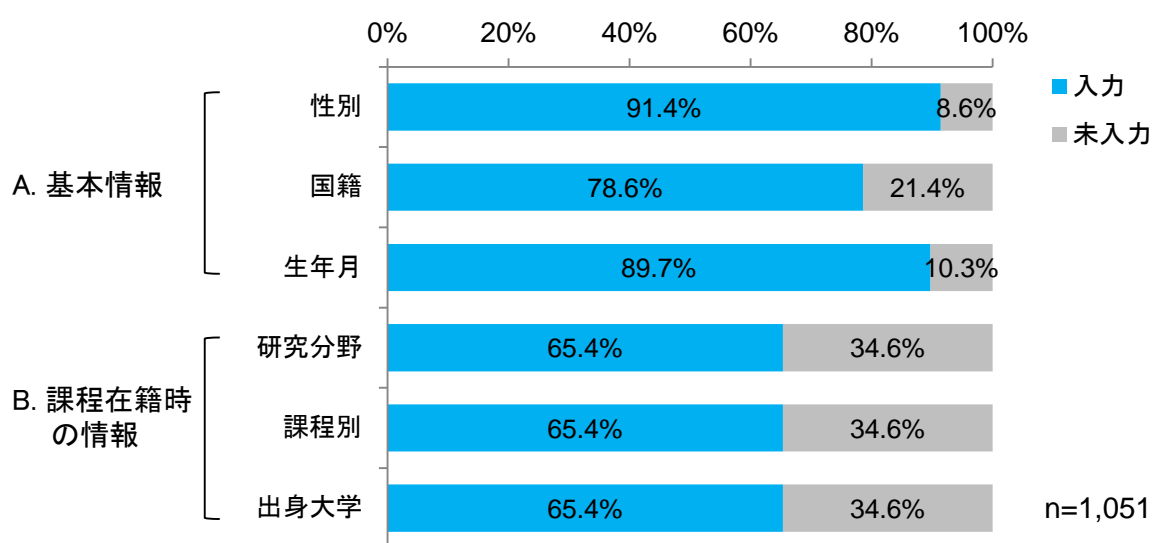


これらの結果を受け、特に修了者についてはJGRADに登録されたメールアドレスを用いたコンタクトが調査の周知方法として重要であることから、2015年度のJGRADのシステム改修により、アクティベーション時に入力されるメールアドレスをデータベースの登録情報として保持するように改善した。そのため、今後のアンケート調査の回収率の向上が期待される。

4.2 JGRADにおける登録項目のデータの質の向上

今回のアンケート調査結果を分析するにあたり、調査対象者の属性の情報についてはJGRADの登録情報を用いた。2015年度よりパイロット運用に参加している京都大学は、JGRAD登録項目のうち、全登録者の「性別」、一部の登録者の「生年月」と「国籍」の情報をシステムに一括でインポートしている。そのため、アンケート回答者におけるこれらの項目の未入力者の割合は他の項目に比べて低いことが分かる(図表 4.2.1)。今後、アンケートの集計結果をより精緻なものとするために、登録項目によっては、大学によるデータインポートの拡大策が有効であると考えられる。

図表 4.2.1 アンケート回答者のJGRAD登録項目の入力率



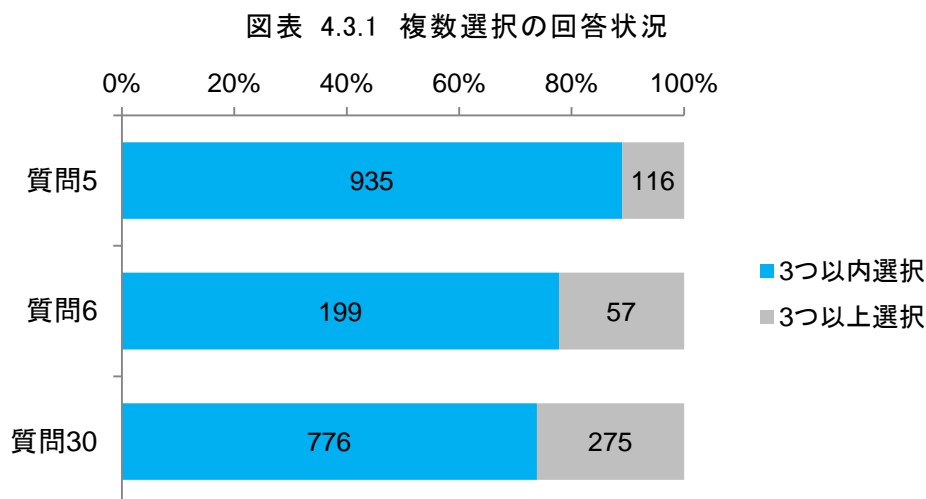
JGRADにおいて、「性別」、「国籍」、「生年月」の登録項目は「A.基本情報」に設置されており、「研究分野」、「課程別」、「出身大学」の登録項目は「B.課程在籍時の情報」に設置されている(図表 4.2.1)。2015年度のJGRADのシステム改修により、登録者が「A.基本情報」を入力した後に「B.課程在籍時の情報」に強制的に遷移するように改善したため、今後、「B.課程在籍時の情報」の登録項目の充足率の向上が期待される。

今回の調査システムにおいては、JGRADの登録項目に情報を入力しなくともアンケートに回答できるようになっており、4人に1人はアンケート調査には回答するものの、データベースに登録を行わないことが分かった(図表 3.1.3)。そのため、JGRADの登録項目に情報が入力されたことを確認してからアンケートに回答可能な仕組みとするなど、システム改修による改善を検討したい。

また、JGRADの「B.課程在籍時の情報」には、「社会人経験」の登録項目が設置されている。しかし、2015年11月に実装されたJGRADのシステム改修により新規に設けられたことから、今回の調査時点では十分な入力情報が得られず、集計には利用できなかった。今後、既にJGRADに入力している登録者に対しても、新しい登録項目の入力依頼を実施し、登録項目の充足率を高めていく必要がある。

4.3 JGRADによるアンケート調査の改善

NetCommonsに標準で備えられているアンケートモジュールは、複数回答を選択する場合に、選択の上限を設定することができないため、3つまで複数回答可とした質問5、6、30(参考資料7・8)に調査対象者が回答するにあたり、3つ以上の回答を選択している者が多く、これらの質問に関しての有効回答数が減少した(図表 4.3.1)。今後のアンケート調査においては、複数回答数の制限を設けないような質問項目と選択肢とするか、複数回答数の条件を設定できるようにJGRADが備えているアンケートモジュールの機能を改善する必要がある。



また、今回のアンケート調査では、留学生や社会人学生を対象とした質問項目を設定しているが、JGRADでアンケート回答者の属性の判別に利用できる登録項目がないため、質問に回答した者を留学生あるいは社会人とみなしている。また、アンケート回答者のうち在籍者の学年については、JGRADの登録項目のうち課程別と入学年度の情報をもとに、博士課程(後期)が選択されている者に関して、入学年度別の集計結果を算出することで対応した。今後のJGRADの登録項目の見直しにあたり、本アンケート調査の集計や分析に必要な属性をJGRADの登録項目として検討すると同時に、JGRADの登録項目に含まれない属性に関しては、アンケート調査の設計段階において考慮し、該当する属性を質問する項目を設置することが必要である。

また、本アンケート調査を実施するにあたり、JGRADのWebシステムにおける所属確認とアンケート調査のモジュールの設置箇所の制限があり、アンケート調査票を在籍者と修了者に分けることができないことから、質問文に該当の者のみ回答との記述を設けるに留まった。また、同様の理由から、調査票の使用言語を日本語と英語に分けることができないため、全ての質問項目と選択肢に関して、日本語と英語の併記の形を取らざるを得なかった。さらには、JGRADが備えているアンケートモジュールには、回答内容により次の質問項目を分岐する機能や、マトリクス形式で回答するような質問項目と選択肢を作成できないため、調査設計が単純質問に限られた。今後、JGRADの登録者に対するアンケート調査を設計するにあたり、質問項目と選択肢の内容によっては、JGRADが備えているアンケートモジュールの機能を拡張する、もしくは、外部のアンケート調査用サービスを利用することも一考である。

4.4 博士課程修了後のキャリアパス等に対する意識

JGRAD登録者の博士課程修了後のキャリアパス等に対する意識を把握するにあたり、博士課程修了後に居住を希望する国・地域について調べたところ、今回のアンケート回答者のうち日本人在籍者に関しては、博士課程修了後に居住を希望する国・地域として「決めていない」を選択した者を除くと、93.9%が日本国内の居住を希望しており、6.1%が日本以外の居住を希望していた。また、外国人在籍者をみると、47.0%が日本国内の居住を希望しており、53.0%が日本以外の居住を希望していることが分かった(図表 3.5.2)。NISTEPの2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」第1次報告書によると、現在の所在国に関して、課程修了1年半後の日本人修了者の94.7%が日本に在住し、5.3%が海外に在住していること、また、外国人修了者の46.4%が日本に在住し、53.6%が海外に在住していることが報告されている[5]。今回のアンケート調査と博士人材追跡調査とは、母集団が大きく異なるものの、博士課程修了後の居住の希望と実態に関して、似たような傾向がみられたことは興味深い。

アンケート回答者のうち在籍者において、博士課程修了後に希望するキャリアとして「アカデミア」を希望する傾向は、男性より女性、日本人より外国人、理工系より人社系、自大学出身者より非自大学出身者の方が強い。NISTEPによる2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」において、男女別に修了者の課程修了後の雇用先をみたところ、女性の雇用先がアカデミアである比率が男性より高かった[5]。博士人材追跡調査とアンケート調査の母集団は異なるものの、在籍中の段階から性別によるキャリア意識が異なり、実際の雇用先も意識に準じる傾向にあることが示唆される(図表 3.5.5)。

また、博士課程修了後に希望するキャリアを入学年度別にみると、入学年度からの年数経過につれて、「アカデミア」を希望する者の割合が高まり、「アカデミア・非アカデミアの両方」を希望する者の割合が減少していることから、博士課程入学からの年数を経るにつれて、博士課程修了後のキャリアが選択されている様子がうかがわれる。今後、JGRAD登録者に対して継続的にキャリアパス等の意識に関するアンケート調査を実施することで、博士課程に入学してから博士課程を修了するまでの意識の変化を経時的に追うことが可能である。

博士課程修了後のキャリアパス等に対する意識と、博士課程在籍時のインターンシップ経験と共同研究経験との関連性についてみたところ、インターンシップ経験のある者や共同研究経験のある者は、経験のない者より「非アカデミア」を希望する者の割合が高いことが分かった(図表 3.7.9、図表 3.7.13)。「第5期科学技術基本計画」[4]は、科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成と活躍促進に向け、「学生等が多様な経験を積み、様々なキャリアパスに対する展望を持てるようにするための産学官協働による大学・大学院教育改革を促進する。」と述べている。本調査の結果は、将来のキャリアとして「非アカデミア」を希望する者が、博士課程在籍中にインターンシップや共同研究に積極的に取り組んでいるとも考えられるものの、これらの経験が在籍者のキャリア形成の意識に影響を与える可能性が示唆されることから、博士課程進学者が修了後に多様なキャリアを構築できる環境を整備するため、大学と産業界等との連携をより強化していく必要があるだろう。

4.5 博士課程プログラムの満足度と印象

本アンケート調査において、JGRAD登録者の博士課程プログラムの満足度を調べたところ、アン

ケート回答者のうち8割以上の博士課程在籍者と修了者が自身の博士課程プログラムに「満足している」ことが分かり、NISTEPによる2012年度博士課程修了者を調査対象とした「博士人材追跡調査」における、8割程度の修了者が博士課程に満足しているという調査結果[5]と同様の傾向がみられた(図表 3.6.1)。博士課程プログラムの満足度は、英国高等教育統計機関(The Higher Education Academy: HESA)による英国の122高等教育機関を対象として実施された「PRES2013: Results from the Postgraduate Research Experience Survey」[9]において類似の調査結果が報告されており、調査に回答した48,401人の大学院生のうち、研究学位プログラムに満足している者が81.7%、どちらでもない者が9.6%、満足していない者が8.7%であり、今回のアンケート調査結果と満足の度合いは同程度であった。MITが博士課程在籍者に対して実施している「Graduate Enrolled Student Survey」[10]、博士課程修了者に対して実施している「Doctoral Student Exit Survey」[8]においては、MITの大学院生であることに対する満足度がたずねられており、「とても満足している」と答えた在籍者は41.7%、「まあ満足している」と答えた在籍者は43.3%であり、「とても満足している」と答えた修了者は57.1%、「まあ満足している」と答えた修了者は33.0%であった。MITの大学院生であることに満足している修了者は9割を超えており、MITの博士課程修了者の満足度は非常に高いようである。

博士課程プログラムの満足度を入学年度別にみると、入学年度からの年数経過につれて博士課程プログラムに満足している者の割合が低下する傾向がみられた(図表 3.6.5)。キャリアパス等の意識と同様、博士課程プログラムの満足度に関するアンケート調査を定期的に実施することで、入学年度からの年数経過と博士課程プログラムの満足度との関連性を検証することが将来的に可能である。

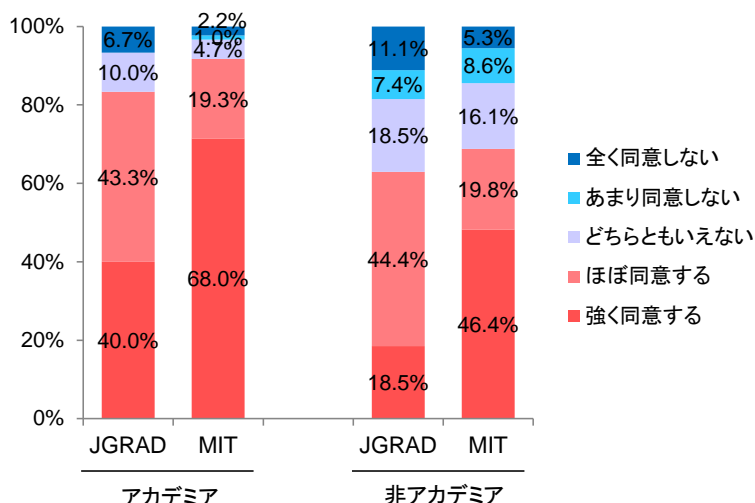
博士課程プログラムの印象をみると、設置した10項目のうち在籍者が「とても良い」あるいは「まあ良い」を選択した者が8割を超えていた項目は、「教員の研究指導の質」、「教員と大学院生の関係性」、「研究スペースや設備」の3項目であった(図表 3.6.7)。博士課程プログラムの満足度と同じく8割を超えているこれらの項目は、主に研究環境の質に関するものであるため、いかに良い研究を行えるかが、博士課程プログラムの満足度につながっていると推察される。また、在籍者の博士課程プログラムの満足度の構成要因として、標準年限内での学位取得の見込みとの関連性をみたところ、学位取得の見込みが高いと答えた者ほど、博士課程プログラムの満足度が高い傾向がみられた(図表 3.6.19)。標準年限内での学位取得の見込みが高いということは、うまく研究活動に取り組んでいると考えられる。また、博士課程修了後のキャリアの不安と博士課程プログラムの満足度との関連性をみたところ、キャリアについての不安の度合いが低い者ほど、博士課程プログラムに「とても満足している」と答える傾向にあった(図表 3.6.15)。学生の満足度を向上させるためには、標準年限内の学位取得を可能とする良好な研究環境を提供することに加え、修了後のキャリアの不安を軽減するための支援策が有効だと思われる。

4.6 指導教員によるキャリアのアドバイス

博士課程修了後のキャリア構築に対する指導教員の関与の度合いを把握するため、アカデミアと非アカデミアにおけるキャリア構築に対して、それぞれ指導教員より適切なアドバイスが得られたかどうかをたずねる設問を設置した。この質問と選択肢は、MITが博士課程修了者に対して定期的に行っている「Doctoral Student Exit Survey」の質問票[8]をもとにしているため、本調査結果のう

ち修了者の結果とMITの調査結果とを比較する。結果、アカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに「強く同意する」を選択した者の割合及び非アカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに「強く同意する」を選択した者の割合は、本アンケート調査結果(JGRAD)よりMITの方が非常に高い値を示している(参考図表2)。本アンケート調査における修了者のサンプル数が少ないため、JGRAD登録者のうち修了者全体の傾向とは必ずしも言えないものの、指導教員によるキャリア構築のアドバイスについて改善の余地があることが示唆される。

参考図表2 指導教員によるキャリア構築のアドバイス(JGRAD・MIT)



注1) キャリア構築について適切なアドバイスをくれたことに対する同意の度合いをたずねている

注2) JGRADは未入力者を除く

4.7 今後のJGRADの活用

博士課程修了者のキャリアパス把握に関し、中央教育審議会大学分科会が2015年9月15日に公表した「未来を牽引する大学院教育改革 ～社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成～(審議まとめ)」[11]は、「大学院修了者の進路状況や、その後の社会での活躍状況を適切に把握することは、教育機関として求められる責務であるだけでなく、これらの情報は大学院の教育課程等の見直しや学生の大学院進学判断材料として生かすことができる貴重な情報である。」との認識を示した上で、「各大学院においては、課程・専攻別に入学者数・修了者数を公表するとともに、修了者の進路やその後の活躍状況等に関する情報も適切に把握して、学生や社会に広く公表することが求められる。また、国としても、認証評価制度において大学院修了者の進路状況が評価されるように促進策を検討することや、博士課程修了者の進路状況を全国的に把握するための調査を継続的に実施するとともに、博士課程教育リーディングプログラムの成果を含め、大学院修了者の活躍状況を社会に分かりやすく広報することが必要である。」と指摘している。

今回のアンケート調査では、博士課程在籍中の経済的支援に関して調べており、アンケート回答者の在籍者のうち、「日本学術振興会特別研究員」を受給している者が26.0%、「国費留学生」が11.4%、「博士課程教育リーディングプログラム」には6.0%の者が該当していた(図表 3.7.3)。独立行政法人日本学術振興会は、特別研究員採用後の就職状況調査として、「特別研究員－DCの

就職状況調査結果について」[12]の中で、特別研究員採用者の常勤の研究職への就職状況について公表している。国費留学生については、文部科学省は「国費外国人留学制度の成果・効果に関する調査研究」において、国費留学生に対するオンライン調査を実施しており、都道府県別の生活満足度、留学動機、将来の進路やその理由の回答を分析している[13]。また、文部科学省と日本学術振興会は、博士課程リーディングプログラムに参加している学生に対するアンケート調査を実施し、得られた意見をプログラムの評価や改善に役立てるとしている[14]。これらいずれの調査も、各給付型資金の受給者が調査対象者であるため、非受給者との比較ができない。一方、JGRADは給付型資金の受給者と非受給者の両者が登録されているデータベースであるため、ある特定の施策や補助金の効果をみる上で、対照群を置くことが可能である。

JGRADは、博士課程修了後のキャリアパス追跡が可能な情報プラットフォームであり、大学は管理者として自大学のデータを参照することができる。「第5期科学技術基本計画」[4]において、「大学改革の主体は大学自身であり、自らの理念に基づき教育研究の現場に改革を実装していく責務を持っている。このため、国は、自らの強み、特色を最大限生かしつつ自己改革に積極的に取り組む国立大学を重点支援し、グローバルな視点から大学間競争を活性化する。」と述べられている。今回のアンケート調査では、大学別の回答数は少ないため、大学間比較を行うことが困難であったが、今後の回収率等の向上により、大学間比較に耐えうるデータが得られることが予想される。大学は全体の傾向との比較に加え、大学同士の連携等により主体的に大学間のベンチマーキングを実施するなど、大学自らがJGRADを用いたアンケート調査の結果を活用していくことを推奨したい。NISTEPは、136大学の研究論文を対象として大学別の研究力についての分析結果を報告しており[15]、このような他の大学別のデータと組み合わせることで考察・議論することも、将来的に可能になると思われる。

さらに、JGRADを用いた意識調査の強みとして、博士人材に定期的にアプローチできることが挙げられる。NISTEPは、「科学技術の状況に係る総合意識調査(NISTEP定点調査)」として、産官学の研究者や有識者に対する意識調査を年に1回の頻度で実施しており、同一の調査対象者より回答を得ることで、科学技術やイノベーションに対する印象の変化をモニタリングして報告している[16]。JGRADを用いた意識調査についても同様に、調査対象の一部は同一の在籍者並びに修了者となるため、博士人材の置かれている状況や意識についての時系列変化を追うことが可能である。今回はキャリアパス等についての意識を中心に質問したが、例えば、科学技術やイノベーションについての意識を調査することで、若手研究者を取り巻く課題について、より詳細に把握することも可能であろう。今後のJGRADの活用により、政策立案側と現場とをつなげる情報プラットフォームとして、JGRADは大いに貢献できると思われる。

また、科学技術イノベーションを担う人材力の強化に向けて、「第5期科学技術基本計画」[4]は、「科学技術イノベーション人材が、社会の多様な場において適材適所で活躍できるように促していくことも重要であり、産学官が科学技術イノベーション活動を共に進める中で、多様な職種のキャリアパスの確立と人材の育成・確保を進める。」と指摘している。博士課程在籍者や修了者が博士課程修了後のキャリアパスを自ら切り拓いていくためにも、JGRADにより得られた博士課程在籍者及び修了者の教育研究経験などの全体的な傾向や、キャリアパス等に関する意識についての調査結果が今後もフィードバックされることで、個人が自身のキャリアを形成していく上での判断材料に資するようなプラットフォームとなることが期待される。

謝辞

本調査は、平成27年度博士人材データベース(JGRAD)パイロット運用に参加された18大学のJGRAD登録者より、JGRADの入力と登録情報の確認・更新、そして、アンケート調査に対する御回答を頂いた。本調査の周知や回答の督促に御協力を頂いた大学の担当者の皆様方、本調査の回答に御協力を頂いたJGRAD登録者の皆様方に、心より御礼を申し上げます。また、本調査の実施につき、科学技術・学術政策研究所のWEBページを作成頂いた科学技術・学術政策研究所の笠掛明日香氏、企画課の皆様方、JGRADのシステム改修とデータベースの整備を担当頂いた株式会社アローズネクストの皆様方、株式会社ウィズ・ワンの皆様方に、この場をお借りして感謝の意を表したい。

調査体制

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ（調査実施主体）

- | | | |
|----------------------|---|-------------|
| ◆ 調査設計 | ： | 篠田 裕美、松澤 孝明 |
| ◆ 依頼状・手順書の作成 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ 調査依頼 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ 調査実施・回答の督促 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ 調査回答の回収 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ データのクリーニング・回答内容の確認 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ データの集計・分析 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ 報告書の作成 | ： | 篠田 裕美 |
| ◆ 報告書の確認 | ： | 篠田 裕美、松澤 孝明 |

株式会社 野村総合研究所（調査実施補助）

- | | | | |
|--------------|---|------------|-------------------|
| ◆ 調査設計 | ： | 霜越 直哉 | （科学技術・学術政策研究所と共同） |
| ◆ 依頼状・手順書の作成 | ： | 霜越 直哉 | （科学技術・学術政策研究所と共同） |
| ◆ 調査依頼 | ： | 霜越 直哉、今井 恒 | （科学技術・学術政策研究所と共同） |
| ◆ 調査実施・回答の督促 | ： | 霜越 直哉、今井 恒 | （科学技術・学術政策研究所と共同） |
| ◆ 調査回答の回収 | ： | 今井 恒 | （科学技術・学術政策研究所と共同） |

引用資料

- [1] 科学技術政策研究所「博士課程修了者の状況把握のシステム設計－博士人材データベースの構築背景および海外の博士課程修了者調査－」、調査資料-216 (2012)
- [2] 科学技術・学術政策研究所「博士人材データベースの設計と活用の在り方に関する検討」、調査資料-231 (2014)
- [3] 科学技術・学術政策研究所「持続可能な博士人材データベースの構築及び運用」、調査資料-242 (2015)
- [4] 「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月22日閣議決定)
- [5] 科学技術・学術政策研究所「「博士人材追跡調査」第1次報告書－2012年度博士課程修了者コホート－」、NISTEP REPORT No.165 (2015)
- [6] 科学技術・学術政策研究所「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査－大学・公的研究機関への全数調査(2012年度実績)－」、調査資料-232 (2014)
- [7] 独立行政法人日本学生支援機構「平成25年度 私費外国人留学生生活実態調査」(2014)
- [8] MIT Institutional Research, Office of the Provost「2015 Doctoral Student Exit Survey」(2015)
- [9] The Higher Education Academy「PRES: 2013 Results from the Postgraduate Research Experience Survey」(2013)
- [10] MIT Institutional Research, Office of the Provost「2015 Graduate Enrolled Student Survey」(2015)
- [11] 中央教育審議会大学分科会「未来を牽引する大学院教育改革～社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成～(審議まとめ)」(2015)
- [12] 独立行政法人日本学術振興会「特別研究員－DCの就職状況調査結果について」(2014)
- [13] 文部科学省「国費外国人留学制度の成果・効果に関する調査研究」(2011)
- [14] 独立行政法人日本学術振興会 博士課程教育リーディングプログラム委員会事務局「博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度採択プログラム中間評価 アンケート調査結果」(2015)
- [15] 科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015－大学の個性活かし、国全体としての水準を向上させるために－」、調査資料-243 (2015)
- [16] 科学技術・学術政策研究所「科学技術の状況に係る総合意識調査(NISTEP定点調査)報告書」、NISTEP REPORT No.166 (2016)

参考資料

(依頼状・手順書・登録項目・調査票)

(参考資料1) 大学に対する依頼状

事務連絡

平成 27 年 11 月 18 日

各位

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第 1 調査研究グループ

「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の
所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」について(依頼)

文部科学省 科学技術・学術政策研究所(以下、「NISTEP」)は、博士課程修了後のキャリアパスを把握するための情報基盤プラットフォームとして、博士人材データベース(以下、「JGRAD」)の構築を進めています。平成 26 年度より JGRAD のパイロット運用を開始し、平成 27 年度現在、22 大学の御協力を得て、試験的な運用を継続しています。

このたび NISTEP は、JGRAD より得られた博士人材の研究活動や職業等の状況に関する情報を分析し、JGRAD の登録者である博士課程在籍者並びに修了者の皆様へのフィードバックを通じて、今後のキャリアパス形成等に御活用いただくため、「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」を実施いたします。本調査では、Web システムを用いて、博士課程在籍者並びに修了者の皆様の所属情報を確認させていただくとともに、博士課程在籍時の経験、満足度、キャリアに対する意識や博士課程修了後の現状等に関するアンケート調査をお願いするものです。

- ① 調査期間:2015 年 11 月 30 日(月)～2015 年 12 月 25 日(金)
- ② 依頼事項:JGRAD のアカウントを配付している在学生に対し、本調査についての告知を依頼メール等によりお願いいたします。
- ③ 調査事項:所属情報、進路希望、能力・スキルに対する意識、博士課程修了後の職業等の状況 等

皆様からの御回答は、個人情報の保護を遵守しつつ、今後の JGRAD の改善に役立てるとともに、科学技術政策及び人材育成政策の立案のための基礎データとして活用します。また、本調査による集計結果は、御回答くださいました皆様及びパイロット運用参加大学に対しまして、2015 年度の博士課程学生・修了者のキャリア動向に関する情報として、JGRAD の Web サイト等より御提供します。

本調査への御理解と御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問合せ先

内容について:文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第 1 調査研究グループ 博士人材 DB 担当

****@nistep.go.jp

システムについて:株式会社野村総合研究所(事業受託者)

****@hr2.nistep.go.jp

(参考資料2) 登録者に対する依頼状（日本語）

事務連絡

平成 27 年 11 月 18 日

博士人材データベース登録者 各位

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ

「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の
所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」について(依頼)

文部科学省 科学技術・学術政策研究所(以下、「NISTEP」)は、博士課程修了後のキャリアパスを把握するための情報基盤プラットフォームとして、博士人材データベース(以下、「JGRAD」)の構築を進めています。平成 26 年度より JGRAD のパイロット運用を開始し、平成 27 年度現在、22 大学の御協力を得て、試験的な運用を継続しています。

このたび NISTEP は、JGRAD より得られた博士人材の研究活動や職業等の状況に関する情報を分析し、JGRAD の登録者である博士課程在籍者並びに修了者の皆様へのフィードバックを通じて、今後のキャリアパス形成等に御活用いただくため、「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程学生・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」を実施いたします。本調査では、Web システムを用いて、博士課程在籍者並びに修了者の皆様の所属情報を確認させていただくとともに、博士課程在籍時の経験、満足度、キャリアに対する意識や博士課程修了後の現状等に関するアンケート調査をお願いするものです。

- ① 調査期間: 2015 年 11 月 30 日(月)～2015 年 12 月 25 日(金)
- ② 依頼事項: JGRAD の Web サイト(<https://hr.nistep.go.jp/>)にアクセスし、別添の手順書に従って、登録情報の更新並びにアンケートへの御回答をお願いします。
- ③ 調査事項: 所属情報、進路希望、能力・スキルに対する意識、博士課程修了後の職業等の状況 等

皆様からの御回答は、個人情報の保護を遵守しつつ、今後の JGRAD の改善に役立てるとともに、科学技術政策及び人材育成政策の立案のための基礎データとして活用します。また、本調査による集計結果は、御回答くださいました皆様及びパイロット運用参加大学に対しまして、2015 年度の博士課程学生・修了者のキャリア動向に関する情報として、JGRAD の Web サイト等より御提供いたします。

本調査への御理解と御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問合せ先

内容について:文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ 博士人材 DB 担当
*****@nistep.go.jp
システムについて:株式会社野村総合研究所(事業受託者)
*****@hr2.nistep.go.jp

(参考資料3) 登録者に対する依頼状（英語）

Administrative Notice

November 18, 2015

Dear Registered Members of the Doctoral Human Resources Database,

National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP),
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

Regarding "Doctoral Student and Graduate Affiliation Confirmation and Attitude Survey on Career Paths, etc. Using the Doctoral Human Resources Database (JGRAD)" (Request)

We, the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, are currently working on the Doctoral Human Resources Database (JGRAD) as an information platform for tracking the career paths of doctoral graduates. The JGRAD, the pilot operation of which began in FY2014, is continuing to operate on a trial basis as of FY2015 with the cooperation of 22 universities.

We are conducting the "Doctoral Student and Graduate Affiliation Confirmation and Attitude Survey on Career Paths, etc. Using the Doctoral Human Resources Database (JGRAD)" in order to analyze information on research activities, occupation and other status of doctoral human resources obtained via the JGRAD and provide a feedback of the results to you, the doctoral students and graduates who are registered members, so that you may utilize the information to, among other things, plan your future career path. We strongly encourage you to complete the Web-based survey consisting of confirmation of your affiliation information and a questionnaire on your experience, level of satisfaction and thoughts regarding your career path during doctoral studies, and on your status following completion of doctoral studies if applicable.

- (1) Survey Period: November 30, 2015 (Monday) ~ December 25, 2015 (Friday)
- (2) Request: Please access the JGRAD Web site (<https://hr.nistep.go.jp/>) to update the previously registered information and answer the questionnaire in accordance with the attached instruction manual.
- (3) Subject of Survey: Affiliation information, desired career path, awareness on competence and skills, employment following completion of doctoral studies, etc.

Your answers, which will be handled in strict compliance with the privacy protection requirements, will be utilized as basic data in formulating policies on science and technology as well as on human resource development, in addition to being used for future improvement of the JGRAD. The survey results, upon compilation, will be provided as information on the career trends of FY2015 doctoral students and graduates via the JGRAD Web site and/or by other means to those who kindly answered the questionnaire and the universities participating in the pilot operation.

Your understanding and cooperation regarding this survey is greatly appreciated.

Contact

Inquiries on the contents:

National Institute of Science and Technology Policy

****@nistep.go.jp

Inquiries on the DB system:

Nomura Research Institute, Ltd. (Project Consignee)

****@hr2.nistep.go.jp

(参考資料4) 手順書（日本語）

「博士人材データベースを用いた博士課程学生・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」 回答の手順

1 ログイン

- <https://hr.nistep.go.jp> にアクセスしてください。
- トップページが表示される前にBasic認証が求められます。**Basic認証用のID・パスワード**を入力してください。
 - ✓ Basic認証用ID・パスワードと、ログイン用ID・パスワード(後述)は異なります。
 - ✓ Basic認証用ID・パスワードは、大学からのアカウント通知文に記載されています。わからない場合は大学または事務局に問い合わせてください。
- トップページが表示された後、画面右上にある「博士IDの方はこちら」をクリックし、**ログイン用のID(または登録したメールアドレス)とパスワード**を入力してください。
 - ✓ ログイン用のパスワードがわからない場合は、同画面上にある「再発行」をクリックし、再発行手続きをしてください。



トップページ右上の「博士IDの方はこちら」をクリックし、ログイン用のID(または登録したメールアドレス)とパスワードを入力する

2 アクティベーション

- (すでにアクティベーション済みの方は、3に進んでください。)
- 今回、初めてログインする方は、画面上の案内の通りアクティベーション(利用開始設定)を行ってください。
 - ✓ 表示される画面の同意事項を読んだ上で、メールアドレスを入力し、「同意」をクリックする。
 - ✓ 上記で入力したメールアドレスに、アクティベート用のURLが通知されたら、そのURLをクリックする。
 - ✓ 初期パスワードを変更する。

3 所属確認

- ログイン後の最初の画面(My Portal)で、以下のような「所属確認」の画面が表示されます。
- 未入力・変更がある場合には「変更あり」をクリックし、以降の画面において必須項目の情報の入力をお願いします。

「所属確認」に表示された情報に変更がある場合、または情報が表示されない場合は「変更あり」をクリックし、以降の画面において必須項目の情報を入力する

4 アンケート回答

- 所属確認で「変更なし」をクリックした後、または「変更あり」をクリックしデータ入力・修正を済ませ、「決定」をクリックした後に、[アンケート回答画面](#)に移ります。回答にかかる所要時間は15分程度となりますので、御回答をお願いします。
- ✓ データ入力・修正後、どうしてもアンケート回答画面に移れない場合は、[My Portal](#)の「所属確認」画面においていったん「変更なし」をクリックした上でアンケートにご回答ください。回答後、My Portalの「編集」をクリックいただき、先ほどの修正内容が反映されているかご確認ください。

5 各種情報の入力・修正

- アンケート回答後、My Portal画面に移ります。
- 各種情報を入力していない、または修正事項がある方は、「編集」をクリックし、入力・更新をお願いします。
- 2015年10月29日～11月6日に実施したメンテナンスにともない、JGRADのデータ項目について、下記の変更があるため、既にデータを入力された方におかれましても、再度のデータの入力をお願いします。
 - ① 「B.課程在籍時の情報」:「社会人経験」の選択肢が変更
 - ② 「B.課程在籍時の情報」:「在職・休職・離職」の選択肢が変更
 - ③ 「C.課程修了時の情報」:「留学生」の項目が追加
 - ④ 「C.課程修了時の情報」:「仕事の状況」の項目が追加
 - ⑤ 「C.課程修了時の情報」:「居住地」の項目が追加
 - ⑥ 「C.課程修了時の情報」:「所属先機関規模」の項目が追加
 - ⑦ 「D.課程修了後のキャリア情報」:「所属先機関規模」の項目が追加

The screenshot shows the 'My Portal' interface. On the left is a green sidebar with navigation links: トップ, お知らせ, お問い合わせ, 個人情報取扱い, My Portal (selected), Group (ALL, NISTEP, NISTEP UNIV), and a language selector (日本語). The main content area is titled 'My Portal' and contains a '所属確認' (Affiliation Confirmation) section with fields for 所属先 (Science Technology Policy Research Institute), 職種・職位 (Postdoctoral Fellow), 所定労働時間 (40-30 hours/week), and 雇用期間 (1 year or more). Below this is a red warning message: '2015年11月1日現在、上記の情報に変更はありますか?' (As of November 1, 2015, is there any change to the above information?). At the bottom of this section is a button labeled '編集' (Edit), which is circled in red. Below the 'Edit' button is a '脱離書' (Degree Certificate) section with fields for ID, ハンドル (Akira Shine), 所属大学院・研究科 (University of Tokyo, Graduate School of Arts and Sciences), 学位授与年月 (March 2015), and 取得学位 (Doctorate in Law).

「My Portal」画面の「Edit」をクリックする

The screenshot shows the 'My Portal' 'Edit' form. At the top, there are four tabs: A.基本情報 (Basic Information), B.課程在籍時の情報 (Information during the course), C.課程修了時の情報 (Information at the time of course completion), and D.課程修了後のキャリア情報 (Career information after course completion). These tabs are highlighted with a red rectangle. The 'A.基本情報' tab is active, showing a form with fields for ID (user001), ハンドル (Akira Shine), 氏名 (Name), フリガナ (Kana), 英字 (English), 旧姓 (Former Surname), 旧姓(フリガナ) (Former Surname (Kana)), メールアドレス (Email Address), and メールアドレス2 (予備メール) (Backup Email Address). There are also fields for 性別 (Gender), 生年月 (Date of Birth), 国籍 (Nationality), and パスワード (Password). A red warning message at the bottom right states: 'パスワード変更はこちら' (Click here to change password), 'セキュリティを確保するため、初期パスワードは変更して下さい。' (To ensure security, please change the initial password.)

A～Dの各タブをクリックし、各種情報の入力または修正を行う

問い合わせ先

内容について：

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ

****@nistep.go.jp

システムについて：

株式会社野村総合研究所（事業受託者）

****@hr2.nistep.go.jp

(参考資料5) 手順書 (英語)

Doctoral Student and Graduate Affiliation Confirmation and Attitude Survey on Career Paths, etc.
Using the Doctoral Human Resources Database

Instruction

1 Login

- Go to: <https://hr.nistep.go.jp>.
- Basic authentication is required before the top page is displayed. Enter the **ID and password for basic authentication**.
 - ✓ The ID and password for basic authentication differ from the ID and password for login (see below)).
 - ✓ The ID and password for basic authentication are indicated in the account notification from your university. Contact your university or the secretariat if you are not sure what they are.
- When the top page is displayed, click "Login for User ID" in the upper right hand corner of the screen, and enter the login ID (or the email address you registered) and the password.
 - ✓ If you do not know or remember your login ID, click "Forgot your Password?" toward the top of the screen and complete the procedure to have your password re-issued.



Click "Login for User ID" in the upper right corner of the top page, and enter the login ID (or the email address you registered) and the password.

2 Activation

- (Proceed to 3 if you have already completed the activation procedures.)
- Follow the instructions on the screen to complete activation (account setup) when logging in for the first time.
 - ✓ After reading the Terms of Use displayed on the screen, enter your email address and click "Agree".
 - ✓ When the URL for activation is sent to the email address entered in the first step above, click on the URL.
 - ✓ Change the initial password.

3 Confirmation of Affiliation

- The following "Confirmation of affiliation" screen will be displayed on the first page following login ([My Portal](#)).
- Click "Change" if entering additional information or modifying existing information, and enter relevant information in the required fields on subsequent screens.

My Portal

Confirmation of affiliation

<Status on November 1, 2015>

Organization	NISTEP
Job rank	Post-doctors, etc. (Post-doctors, etc.)
Scheduled working hours	30 hours or more per week
Employment term	one year or more

On November 1, 2015, is there any change in the above status?

If there is any change in the information displayed on the "Confirmation of affiliation" screen or there is any information missing therefrom, click "Change" and enter the relevant information in the required fields on subsequent screens.

4 Answering the Questionnaire

- The [questionnaire screen](#) will be displayed when you click "No Change" on the "Confirmation of affiliation" screen or click "Change", enter or modify data as needed, and then click "OK". Complete the questionnaire. It will take approximately **15 minutes** to answer the questions.

- ✓ If, despite your best efforts, you are unable to switch to the questionnaire screen after entering or modifying the data as needed, click "No Change" on the "Confirmation of affiliation" screen of My Portal and answer the questionnaire. Upon completion of the questionnaire, click "Edit" on [My Portal](#) page and confirm that the changes you made earlier in the way of data entry are reflected.

My Portal

アンケート調査

Question 1 : あなたは2015年11月1日、どこに住んでいましたか。
On November 1, 2015, where were you living?
***Required**
- Not specified -

Question 2 : その居住地はあなたの母国ですか。
Was the living place your home country?
***Required**
☐ はい - Yes ☐ いいえ - No ☐ 該当しない - Not Applicable

Question 3 : 日本の場合は、都道府県を選択してください。
If you were living in Japan, please select prefecture.
***Required**
- Not specified -

5 Enter or Modify Information

- Upon completion of the questionnaire, the screen will switch to the My Portal page.
- If you have not entered the various information required or need to make changes, click "Edit" to enter or update information as necessary.
- Since the following changes were made to the JGRAD data items as a part of the maintenance work performed from October 29 through November 6, 2015, those who have completed data entry previously are also asked to enter or modify data as needed.
 - [B. Information during doctoral course]: Changes to the options for [Experience as a working adult] and [Currently with a job or on leave of absence]
 - [B. Information during doctoral course]: Changes to the options for [Currently with a job or on leave of absence]
 - [C. Information after graduation]: Addition of the item [Foreign student]
 - [C. Information after graduation]: Addition of the item [Current work]
 - [C. Information after graduation]: Addition of the item [Residence]
 - [C. Information after graduation]: Addition of the item [Scale of organization]
 - [D. Information of Career after graduation]: Addition of the item [Scale of organization]

The screenshot shows the 'My Portal' interface. On the left is a green sidebar with navigation links: 'My Portal', 'Group' (with sub-links 'ALL', 'NISTEP', 'NISTEP UNIV'), and a 'Change language' dropdown set to 'English'. The main content area has a header 'Employment term' with the value 'one year or more'. Below this is a red text prompt: 'On November 1, 2015, is there any change in the above status?' with 'Change' and 'No change' buttons. A red circle highlights an 'Edit' button. Below the 'Edit' button is a 'Resume' section containing the following information:

ID	user001
Login name	Akira Shina
Name of graduate school	The University of Tokyo Graduate Schools for Law
Degree certification date	03/2015
Degree name	Doctor of Law

Click "Edit" on the My Portal screen.

The screenshot shows the 'My Portal' interface with the 'A. Basic information' tab selected. The sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area has a header 'My Portal' with four tabs: 'A. Basic information', 'B. Information during doctoral course', 'C. Information after graduation', and 'D. Information of Career after graduation'. The 'A. Basic information' tab is active. Below the tabs is a section titled 'A. Basic information' with a note: 'Column with "*" is mandatory.' The form contains the following fields:

ID	user001	Gender*	<input checked="" type="radio"/> Male <input type="radio"/> Female
Login name*	Akira Shina	Birth date*	1973 Year 7 Month
User name	Last Name: 椎乙 First Name: 晶	Nationality*	Japan
User name (Katakana)	Last Name: シイタ First Name: アキラ	Password	Click here to change password For security reasons, please change the default password.

Click on each of the tabs A through D and enter or modify the required information as needed.

Contact

Inquiries on the contents:

National Institute of Science and Technology Policy
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
****@nistep.go.jp

Inquiries on the DB system:

Nomura Research Institute, Ltd. (Project Consignee)
****@hr2.nistep.go.jp

(参考資料6) JGRADの登録項目と選択肢等

DB. システム保有情報

IE-No.	フィールド(日本語)	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-6	アクティベーションの有無	0	アクティベート未実施	
		1	アクティベート済み	
IE-7	メールアドレス入力の有無	0	無	
		1	有	
IE-8	最終更新・確認日時			自動取得
IE-9	最終ログイン日時			自動取得
IE-10	登録年度	1900～当年		
IE-11	入学年度	1900～当年		
IE-12	所属機関先ID			学校機関コード
IE-13	学校種別	1	国立大学法人	
		2	公立大学	
		3	私立大学	
IE-14	課程修了年度／退学年度	1900～当年		
IE-15	死亡・不詳	0	アクティブ	
		1	死亡・不詳	
IE-46	課程修了の有無(管理者設定)	1	存続中	
		2	課程修了	
		3	中途退学	

A. 基本情報

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-1	ID	*			変更不可
IE-16	ハンドル	*			記述式
IE-17	氏名				記述式
IE-18	フリガナ				記述式
IE-19	名字				記述式
IE-20	旧姓				記述式
IE-21	旧姓(フリガナ)				記述式
IE-22	メールアドレス	*			記述式
IE-23	メールアドレス2(予備メール)				記述式
IE-24	性別	*	1	男性	
			2	女性	
IE-25	生年月(年)	*	1900～当年		
IE-26	生年月(月)	*	1～12		
IE-27	国籍(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)・国籍		
IE-28	国籍(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)・国籍		
IE-29	国籍(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)・国籍		
IE-30	パスワード	*			記述式

B. 課程在籍時の情報

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-31	課程別	*	1	博士課程(後期)	
			2	博士課程(一貫)	
IE-32	入学年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-33	入学年月(月)	*	1～12		
IE-34	所属大学院・研究科	*			記述式
IE-35	専攻分野				記述式
IE-36	自大学出身	*	1	該当する	
			2	該当しない	
IE-37	社会人経験	*	1	経験有	
			2	無	
IE-38	在職・休職・離職		1	在職	
			2	休職	
			4	離職	
			3	該当しない	
IE-39	指導教員				記述式
IE-40	研究分野(主)(大分類)	*	共通選択肢(大小分類)・研究分野		
IE-41	研究分野(主)(小分類)	*	共通選択肢(大小分類)・研究分野		
IE-42	研究分野(副1)(大分類)		共通選択肢(大小分類)・研究分野		
IE-43	研究分野(副1)(小分類)		共通選択肢(大小分類)・研究分野		
IE-44	研究分野(副2)(大分類)		共通選択肢(大小分類)・研究分野		
IE-45	研究分野(副2)(小分類)		共通選択肢(大小分類)・研究分野		

B. 課程在籍時の情報(学歴)

学歴-学部

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-201	学歴-学歴	**	1	学部	一選択
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	
			4	博士課程(前期)	
			5	博士課程(後期)	
			6	博士課程(一貫)	
			7	その他	
IE-202	学歴-学部-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-203	学歴-学部-入学年月(月)	**	1～12		
IE-204	学歴-学部-卒業年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-205	学歴-学部-卒業年月(月)	**	1～12		
IE-206	学歴-学部-大学・学部・学科	**			記述式
IE-207	学歴-学部-学校種別	**	共通選択肢(単分類)・学校種別		
IE-208	学歴-学部-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-209	学歴-学部-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-210	学歴-学部-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		

学歴-修士課程

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-201	学歴-学歴	**	1	学部	一選択
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	
			4	博士課程(前期)	
			5	博士課程(後期)	
			6	博士課程(一貫)	

			7	その他	
IE-211	学歴-修士課程-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-212	学歴-修士課程-入学年月(月)	**	1～12		
IE-213	学歴-修士課程-修了年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-214	学歴-修士課程-修了年月(月)	**	1～12		
IE-215	学歴-修士課程-大学院-研究科・専攻	**			記述式
IE-216	学歴-修士課程-学校種別	**	共通選択肢(単分類)・学校種別		
IE-217	学歴-修士課程-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-218	学歴-修士課程-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-219	学歴-修士課程-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		

学歴-専門職大学院

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-201	学歴-学歴	**	1	学部	
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	一選択
			4	博士課程(前期)	
			5	博士課程(後期)	
			6	博士課程(一貫)	
			7	その他	
IE-220	学歴-専門職大学院-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-221	学歴-専門職大学院-入学年月(月)	**	1～12		
IE-222	学歴-専門職大学院-修了年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-223	学歴-専門職大学院-修了年月(月)	**	1～12		
IE-224	学歴-専門職大学院-大学院-研究科・専攻	**			記述式
IE-225	学歴-専門職大学院-取得学位	**	1	法務博士(専門職)	
			2	教職修士(専門職)	
			3	経営学修士(専門職)	
			4	会計学修士(専門職)	
			5	その他	
IE-226	学歴-専門職大学院-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-227	学歴-専門職大学院-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-228	学歴-専門職大学院-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		

学歴-博士課程(前期)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-201	学歴-学歴	**	1	学部	
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	
			4	博士課程(前期)	一選択
			5	博士課程(後期)	
			6	博士課程(一貫)	
			7	その他	
IE-229	学歴-博士(前期)-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-230	学歴-博士(前期)-入学年月(月)	**	1～12		
IE-231	学歴-博士(前期)-修了年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-232	学歴-博士(前期)-修了年月(月)	**	1～12		
IE-233	学歴-博士(前期)-大学院-研究科	**			記述式
IE-234	学歴-博士(前期)-専攻	**			記述式
IE-235	学歴-博士(前期)-学校種別	**	共通選択肢(単分類)・学校種別		
IE-236	学歴-博士(前期)-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-237	学歴-博士(前期)-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-238	学歴-博士(前期)-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		

学歴-博士課程(後期)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-201	学歴-学歴	**	1	学部	
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	
			4	博士課程(前期)	
			5	博士課程(後期)	一選択
			6	博士課程(一貫)	
			7	その他	
IE-239	学歴-博士課程(後期)-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-240	学歴-博士課程(後期)-入学年月(月)	**	1～12		
IE-241	学歴-博士課程(後期)-修了年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-242	学歴-博士課程(後期)-修了年月(月)	**	1～12		
IE-243	学歴-博士課程(後期)-大学院-研究科	**			記述式
IE-244	学歴-博士課程(後期)-専攻	**			記述式
IE-245	学歴-博士課程(後期)-学校種別	**	共通選択肢(単分類)・学校種別		
IE-246	学歴-博士課程(後期)-学位取得の有無	**	1	学位取得済	
			2	取得なし	
IE-247	学歴-博士課程(後期)-学位取得年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-248	学歴-博士課程(後期)-学位取得年月(月)	**	1～12		
IE-249	学歴-博士課程(後期)-取得学位	**	共通選択肢(単分類)・取得学位		
IE-250	学歴-博士課程(後期)-取得学位(その他)	**			記述式
IE-251	学歴-博士課程(後期)-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-252	学歴-博士課程(後期)-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		
IE-253	学歴-博士課程(後期)-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)・所在		

学歴-博士課程(一貫)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-227	学歴-専門職大学院-所在(中分類)	**	1	学部	
			2	修士課程	
			3	専門職大学院	
			4	博士課程(前期)	
			5	博士課程(後期)	一選択
			6	博士課程(一貫)	
			7	その他	
IE-254	学歴-博士課程(一貫)-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-255	学歴-博士課程(一貫)-入学年月(月)	**	1～12		
IE-256	学歴-博士課程(一貫)-修了年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-257	学歴-博士課程(一貫)-修了年月(月)	**	1～12		
IE-258	学歴-博士課程(一貫)-大学院-研究科	**			記述式

IE-259	学歴-博士課程(一貫)-専攻	**		記述式
IE-260	学歴-博士課程(一貫)-学校種別	**	共通選択肢(単分類)-学校種別	
IE-261	学歴-博士課程(一貫)-学位取得の有無	**	1 学位取得済 2 取得なし	
IE-262	学歴-博士課程(一貫)-学位取得年月(年)	**	1900～処理日の翌年	
IE-263	学歴-博士課程(一貫)-学位取得年月(月)	**	1～12	
IE-264	学歴-博士課程(一貫)-取得学位	**	共通選択肢(単分類)-取得学位	
IE-265	学歴-博士課程(一貫)-取得学位(その他)	**		記述式
IE-266	学歴-博士課程(一貫)-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-267	学歴-博士課程(一貫)-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-268	学歴-博士課程(一貫)-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在	

学歴-博士課程(その他)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-253	学歴-博士課程(後期)-所在(小分類)	**	1 学部 2 修士課程 3 専門職大学院 4 博士課程(前期) 5 博士課程(後期) 6 博士課程(一貫) 7 その他		備考
IE-269	学歴-その他-入学年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-270	学歴-その他-入学年月(月)	**	1～12		
IE-271	学歴-その他-卒業年月(年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-272	学歴-その他-卒業年月(月)	**	1～12		
IE-273	学歴-その他-学校名	**			記述式
IE-274	学歴-その他-学校種別	**	共通選択肢(単分類)-学校種別		
IE-275	学歴-その他-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-276	学歴-その他-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-277	学歴-その他-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		

B. 雇職在籍時の情報(職歴)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-301	職歴-所属期間(開始年)	**	1900～処理日の翌年		
IE-302	職歴-所属期間(開始月)	**	1～12		
IE-303	職歴-所属期間(終了年)	**	空	1900～処理日の翌年	
IE-304	職歴-所属期間(終了月)	**	空	1～12	
IE-305	職歴-所属機関種別(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-306	職歴-所属機関種別(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-307	職歴-所在(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-308	職歴-所在(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-309	職歴-所在(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-310	職歴-所属機関名	**			記述式
IE-311	職歴-所属部署	**			記述式
IE-312	職歴-職種・職位	**			記述式

C. 経歴修了時の情報

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-47	経歴修了の有無	*	1 在籍中 2 経歴修了 3 中途退学		
IE-48	経歴修了年月/退学年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-49	経歴修了年月/退学年月(月)	*	1～12		
IE-50	学位取得の有無	*	1 有 2 無(満期退学)		
IE-51	学位授与年月(年)	*	1900～処理日の翌年		学位取得の有無が「有」の場合のみ
IE-52	学位授与年月(月)	*	1～12		学位取得の有無が「有」の場合のみ
IE-53	取得学位	*	共通選択肢(単分類)-取得学位		学位取得の有無が「有」の場合のみ
IE-54	取得学位(その他)	*			記述式
IE-55	平均的な滞在時間	*	1 7時間未満 2 7時間以上～14時間未満 3 14時間以上～21時間未満 4 21時間以上～28時間未満 5 28時間以上～35時間未満 6 35時間以上～42時間未満 7 42時間以上～49時間未満 8 49時間以上		
IE-56	平均的な学習時間	*	1 7時間未満 2 7時間以上～14時間未満 3 14時間以上～21時間未満 4 21時間以上～28時間未満 5 28時間以上～35時間未満 6 35時間以上～42時間未満 7 42時間以上～49時間未満 8 49時間以上		
IE-57	TA経験	*	1 経験有 2 無		
IE-58	RA経験	*	1 経験有 2 無		
IE-59	海外研究活動経験	*	1 経験有 2 無		
IE-60	インターンシップ経験	*	1 経験有 2 無		
IE-61	査読付論文数(英語論文)	*	0～20		本
IE-62	査読付論文数(日本語論文)	*	0～20		本
IE-63	国際会議・学会発表(査読付)口頭発表	*	0～20		回
IE-64	国際会議・学会発表(査読付)ポスター発表	*	0～20		回
IE-65	国内会議・学会発表(査読付)口頭発表	*	0～20		回
IE-66	国内会議・学会発表(査読付)ポスター発表	*	0～20		回
IE-67	上記以外の学会・講演会発表 口頭発表	*	0～20		回
IE-68	上記以外の学会・講演会発表 ポスター発表	*	0～20		回
IE-69	出願特許数(海外特許も含みます)	*	0～20		本

IE-70	その他の成果(例: 著書、受賞など)				記述式
IE-71	日本学術振興会の特別研究員	*	1	DC1採用	
			2	DC2採用	
			3	採用なし	
IE-72	留学生	*	1	国費留学生	
			2	私費留学生	
			3	該当なし	
IE-73	学費の免除	*	1	全額免除	
			2	一部免除	
			3	免除なし	
IE-74	日本学生支援機構の奨学金	*	1	第一種奨学金(無利息)	
			2	第二種奨学金(利息付)	
			3	貸与なし	

C. 履修時の情報 (海外研究活動経験)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-401	海外研究活動経験-活動期間	**	1	1か月未満	
			2	1か月以上3か月未満	
			3	3か月以上6か月未満	
			4	6か月以上1年未満	
			5	1年以上	
IE-402	海外研究活動経験-活動先機関種別(大分類)	**	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-403	海外研究活動経験-活動先機関種別(小分類)	**	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-404	海外研究活動経験-活動先地域・国(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-405	海外研究活動経験-活動先地域・国(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-406	海外研究活動経験-活動先地域・国(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-407	海外研究活動経験-活動先機関名	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		記述式

C. 履修時の情報 (インターンシップ経験)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-501	インターンシップ経験-インターンシップ期間	**	1	2週間未満	
			2	2週間以上1か月未満	
			3	1か月以上3か月未満	
			4	3か月以上6か月未満	
			5	6か月以上	
IE-502	インターンシップ経験-インターンシップ先の機関(大分類)	**	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-503	インターンシップ経験-インターンシップ先の機関(小分類)	**	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-504	インターンシップ経験-インターンシップ先の地域・国(大分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-505	インターンシップ経験-インターンシップ先の地域・国(中分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-506	インターンシップ経験-インターンシップ先の地域・国(小分類)	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-507	インターンシップ経験-インターンシップ先の機関名	**	共通選択肢(大中小分類)-所在		記述式

C. 履修時の情報 (進路情報)

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-75	仕事の状況	*	1	おもに仕事	
			2	通学のかたわらに仕事	
			3	家事などのかたわらに仕事	
			4	仕事を休んでいた(育児休業中など)	
			5	仕事を探していた	
			6	通学	
			7	家事など	
			8	その他(高齢者など)	
IE-76	居住地(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-77	居住地(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-78	居住地(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		

就労

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-79	進路情報選択	*	1	就労	一選択
			2	進学	
			3	進学かつ就労	
			4	その他・未定	
IE-80	就労-有職・復職	*	1	有職	
			2	復職	
			3	該当なし	
IE-81	就労-所属開始年月(年)	*	1900~処理日の翌年		
IE-82	就労-所属開始年月(月)	*	1~12		
IE-83	就労-所属先機関種別(大分類)	*	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-84	就労-所属先機関種別(小分類)	*	共通選択肢(大分類)-所属機関種別		
IE-85	就労-所属先機関名	*			記述式
IE-86	就労-所属先機関規模	*	共通選択肢(単分類)-所属先機関規模		
IE-87	就労-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-88	就労-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-89	就労-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-90	就労-職種・職位(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-91	就労-職種・職位(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-92	就労-職種・職位(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-93	就労-役職・職名	*			記述式
IE-94	就労-所定労働時間	*	共通選択肢(単分類)-所定労働時間		
IE-95	就労-雇用期間	*	共通選択肢(単分類)-雇用期間		
IE-96	就労-雇用期間(年)	*	1~10		
IE-97	就労-雇用期間(月)	*	0~11		ヶ月
IE-98	就労-雇用形態	*	共通選択肢(単分類)-雇用形態		
IE-99	就労-雇用形態-最長期間(年)	*	1~10		
IE-100	就労-雇用形態-最長期間(月)	*	0~11		ヶ月
IE-101	就労-産業分類	*	共通選択肢(単分類)-産業分類		
IE-102	就労-職業分類	*	共通選択肢(単分類)-職業分類		

進学

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-79	進路情報選択	*	1	就労	一選択
			2	進学	
			3	進学かつ就労	
			4	その他・未定	

IE-103	進学-進学年月(年)	*	1900～処理日の翌年	
IE-104	進学-進学年月(月)	*	1～12	
IE-105	進学-進学先機関種別	*	共通選択肢(単分類)-進学先機関種別	
IE-106	進学-進学先機関名(学校、学部・研究科等)	*		記述式
IE-107	進学-専攻名	*		記述式
IE-108	進学-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-109	進学-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-110	進学-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在	

進学かつ就職

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-79	進路情報選択	*	1 2 3 4	就労 進学 進学かつ就職 その他・未定	一選択
IE-111	進学かつ就職-進学-進学年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-112	進学かつ就職-進学-進学年月(月)	*	1～12		
IE-113	進学かつ就職-進学-進学先機関種別	*	共通選択肢(単分類)-進学先機関種別		
IE-114	進学かつ就職-進学-進学先機関名(学校、学部・研究科等)	*			記述式
IE-115	進学かつ就職-進学-専攻名	*			記述式
IE-116	進学かつ就職-進学-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-117	進学かつ就職-進学-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-118	進学かつ就職-進学-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-119	進学かつ就職-就職-有職・復職	*	1 2 3	有職 復職 該当なし	
IE-120	進学かつ就職-就職-就職開始年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-121	進学かつ就職-就職-就職開始年月(月)	*	1～12		
IE-122	進学かつ就職-就職-就職先機関種別(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-123	進学かつ就職-就職-就職先機関種別(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-124	進学かつ就職-就職-就職先機関名	*			記述式
IE-125	進学かつ就職-就職-就職先機関規模	*	共通選択肢(単分類)-所属先機関規模		
IE-126	進学かつ就職-就職-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-127	進学かつ就職-就職-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-128	進学かつ就職-就職-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-129	進学かつ就職-就職-職種・職位(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-130	進学かつ就職-就職-職種・職位(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-131	進学かつ就職-就職-職種・職位(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位		
IE-132	進学かつ就職-就職-役職・職名	*			記述式
IE-133	進学かつ就職-就職-所定労働時間	*	共通選択肢(単分類)-所定労働時間		
IE-134	進学かつ就職-就職-雇用期間	*	共通選択肢(単分類)-雇用期間		
IE-135	進学かつ就職-就職-雇用期間(年)	*	1～10		
IE-136	進学かつ就職-就職-雇用期間(月)	*	0～11		ヶ月
IE-137	進学かつ就職-就職-雇用形態	*	共通選択肢(単分類)-雇用形態		
IE-138	進学かつ就職-就職-雇用形態-最長期間(年)	*	1～10		
IE-139	進学かつ就職-就職-雇用形態-最長期間(月)	*	0～11		ヶ月
IE-140	進学かつ就職-就職-産業分類	*	共通選択肢(単分類)-産業分類		
IE-141	進学かつ就職-就職-職業分類	*	共通選択肢(単分類)-職業分類		

その他・未定

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-79	進路情報選択	*	1 2 3 4	就労 進学 進学かつ就職 その他・未定	一選択
IE-142	その他・未定-所属/無所属開始年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-143	その他・未定-所属/無所属開始年月(月)	*	1～12		
IE-144	その他・未定-進路分類	*	共通選択肢(単分類)-進路分類/キャリア分類		
IE-145	その他・未定-所属先機関種別(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-146	その他・未定-所属先機関種別(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-147	その他・未定-所属先機関名(無所属以外)	*			記述式
IE-148	その他・未定-所属先機関規模(無所属以外)	*	共通選択肢(単分類)-所属先機関規模		
IE-149	その他・未定-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-150	その他・未定-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-151	その他・未定-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-152	その他・未定-役職・職名	*			記述式
IE-153	その他・未定-所定労働時間	*	共通選択肢(単分類)-所定労働時間		
IE-154	その他・未定-奨学金・フェローシップ	*	1 2	受給している 受給していない	
IE-155	その他・未定-奨学金・フェローシップ(選択肢)	*	共通選択肢(単分類)-奨学金・フェローシップ(選択肢)		
IE-156	その他・未定-奨学金・フェローシップ(その他)	*			進路分類が「雇用関係のないポスト ドクター等」の場合のみ
IE-157	その他・未定-受給期間	*	1 2	1年以上 1年未満	
IE-158	その他・未定-受給期間(年)	*	1～10		
IE-159	その他・未定-受給期間(月)	*	0～11		

D. 課程修了後のキャリア情報

就労

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-601	キャリア情報-キャリア情報選択	*	1 2 4	就労 進学 その他・未定	一選択
IE-602	キャリア情報-就労-所属期間(開始年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-603	キャリア情報-就労-所属期間(開始月)	*	1～12		
IE-604	キャリア情報-就労-所属期間(終了年)	*	空 1900～処理日の翌年		現在も勤務
IE-605	キャリア情報-就労-所属期間(終了月)	*	空 1～12		現在も勤務
IE-606	キャリア情報-就労-所属先機関種別(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-607	キャリア情報-就労-所属先機関種別(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-608	キャリア情報-就労-所属先機関名	*			記述式
IE-609	キャリア情報-就労-所属先規模	*	共通選択肢(単分類)-所属先機関規模		
IE-610	キャリア情報-就労-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		

IE-611	キャリア情報-就労-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-612	キャリア情報-就労-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在	
IE-613	キャリア情報-就労-職種・職位(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位	
IE-614	キャリア情報-就労-職種・職位(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位	
IE-615	キャリア情報-就労-職種・職位(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-職種・職位	
IE-616	キャリア情報-就労-役職・職名			記述式
IE-617	キャリア情報-就労-所定労働時間	*	共通選択肢(単分類)-所定労働時間	
IE-618	キャリア情報-就労-雇用期間	*	共通選択肢(単分類)-雇用期間	
IE-619	キャリア情報-就労-雇用期間(年)	*	1～10	
IE-620	キャリア情報-就労-雇用期間(月)	*	0～11	ヶ月
IE-621	キャリア情報-就労-雇用形態	*	共通選択肢(単分類)-雇用形態	
IE-622	キャリア情報-就労-雇用形態-最長期間(年)	*	1～10	
IE-623	キャリア情報-就労-雇用形態-最長期間(月)	*	0～11	ヶ月
IE-624	キャリア情報-就労-産業分類	*	共通選択肢(単分類)-産業分類	
IE-625	キャリア情報-就労-職業分類	*	共通選択肢(単分類)-職業分類	

進学

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-601	キャリア情報-キャリア情報選択	*	1 2 4	就労 進学 その他・未定	一選択
IE-626	キャリア情報-進学-入学年月(年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-627	キャリア情報-進学-入学年月(月)	*	1～12		
IE-628	キャリア情報-進学-卒業年月(年)	*	空	-	現在も所属
			1900～処理日の翌年		
IE-629	キャリア情報-進学-卒業年月(月)	*	空	-	現在も所属
			1～12		
IE-630	キャリア情報-進学-進学先機関種別	*	共通選択肢(単分類)-進学先機関種別		
IE-631	キャリア情報-進学-進学先機関名(学校・学部・研究科等)	*			記述式
IE-632	キャリア情報-進学-専攻名	*			記述式
IE-633	キャリア情報-進学-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-634	キャリア情報-進学-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-635	キャリア情報-進学-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		

その他・未定

IE-No.	フィールド(日本語)	必須	選択肢(値)	選択肢(名称)	備考
IE-601	キャリア情報-キャリア情報選択	*	1 2 4	就労 進学 その他・未定	一選択
IE-636	キャリア情報-その他・未定-所属／無所属期間(開始年)	*	1900～処理日の翌年		
IE-637	キャリア情報-その他・未定-所属／無所属期間(開始月)	*	1～12		
IE-638	キャリア情報-その他・未定-所属／無所属期間(終了年)	*	空	-	現在も継続
			1900～処理日の翌年		
IE-639	キャリア情報-その他・未定-所属／無所属期間(終了月)	*	空	-	現在も継続
			1～12		
IE-640	キャリア情報-その他・未定-キャリア分類	*	共通選択肢(単分類)-進路分類／キャリア分類		
IE-641	キャリア情報-その他・未定-所属先機関種別(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-642	キャリア情報-その他・未定-所属先機関種別(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所属機関種別		
IE-643	キャリア情報-その他・未定-所属先機関名(無所属以外)	*			記述式
IE-644	キャリア情報-その他・未定-所属先規模(無所属以外)	*	共通選択肢(単分類)-所属先機関規模		
IE-645	キャリア情報-その他・未定-所在(大分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-646	キャリア情報-その他・未定-所在(中分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-647	キャリア情報-その他・未定-所在(小分類)	*	共通選択肢(大中小分類)-所在		
IE-648	キャリア情報-その他・未定-役職・職名				記述式
IE-649	キャリア情報-その他・未定-所定労働時間	*	共通選択肢(単分類)-所定労働時間		
IE-650	キャリア情報-その他・未定-奨学金・フェローシップ	*	1 2	受給している 受給していない	
IE-651	キャリア情報-その他・未定-奨学金・フェローシップ(選択肢)	*	共通選択肢(単分類)-奨学金・フェローシップ(選択肢)		
IE-652	キャリア情報-その他・未定-奨学金・フェローシップ(その他)				進路分類が「雇用関係のないポスト ドクター等」の場合のみ
IE-653	キャリア情報-その他・未定-受給期間	*	1 2	1年以上 1年未満	
IE-654	キャリア情報-その他・未定-受給期間(年)	*	1～10		
IE-655	キャリア情報-その他・未定-受給期間(月)	*	0～11		

共通選択肢(単分類)

フィールド(日本語)	選択肢(値)	選択肢(名称)
学校種別	1 2 3 4 5 6 7	国立大学法人(国内) 公立大学(国内) 私立大学(国内) その他の教育機関(国内) 国立・公立大学相当(国外) 私立大学相当(国外) その他の教育機関(国外)
取得学位	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21	博士(理学) 博士(物理学) 博士(化学) 博士(生命科学) 博士(数学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(医学) 博士(薬学) 博士(獣医学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(商学) 博士(法学) 博士(文学) 博士(社会学) 博士(教育学) 博士(学術) その他
所属先機関規模	1	10人未満

	2	10人-29人
	3	30人-99人
	4	100人-499人
	5	500人-999人
	6	1,000人以上
所定労働時間	1	週40～30時間程度
	2	週20時間以上30時間未満
	3	週20時間未満
雇用期間	1	雇用期間の定めなし
	2	1年以上
	3	1年未満
雇用形態	1	テニユア・トラック
	2	雇用契約更新あり(テニユア・トラックは除く)
	3	雇用契約更新なし
産業分類	1	農業、林業
	2	漁業
	3	鉱業、採石業、砂利採取業
	4	建設業
	5	製造業 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業
	6	製造業 繊維工業
	7	製造業 印刷・同関連業
	8	製造業 化学工業、石油・石炭製品製造業
	9	製造業 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業
	10	製造業 はん用・生産用・業務用機械器具製造業
	11	製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業
	12	製造業 電気・情報通信機械器具製造業
	13	製造業 輸送用機械器具製造業
	14	製造業 その他の製造業
	15	電気・ガス・熱供給・水道業
	16	情報通信業
	17	運輸業、郵便業
	18	卸売業小売業 卸売業
	19	卸売業小売業 小売業
	20	金融業保険業 金融業
	21	金融業保険業 保険業
	22	不動産業物品賃貸業 不動産取引・賃貸・管理業
	23	不動産業物品賃貸業 物品賃貸業
	24	学術研究専門技術サービス業 学術・研究開発機関
	25	学術研究専門技術サービス業 法務
	26	学術研究専門技術サービス業 その他の専門・技術サービス業
	27	宿泊業、飲食サービス業
	28	生活関連サービス業、娯楽業
	29	教育学習支援業 学校教育
	30	教育学習支援業 その他の教育、学習支援業
	31	医療福祉 医療業、保健衛生
	32	医療福祉 社会保険・社会福祉・介護事業
	33	複合サービス事業
	34	サービス業(他に分類されないもの) 宗教
	35	サービス業(他に分類されないもの) その他のサービス業
	36	公務(他に分類されるものを除く) 国家公務
	37	公務(他に分類されるものを除く) 地方公務
	38	分類できない産業
職業分類	1	専門・技術職 研究者
	2	専門・技術職 農林水産技術者
	3	専門・技術職 製造技術者(開発) 機械
	4	専門・技術職 製造技術者(開発) 電気
	5	専門・技術職 製造技術者(開発) 化学
	6	専門・技術職 製造技術者(開発) その他
	7	専門・技術職 製造技術者(開発除く) 機械
	8	専門・技術職 製造技術者(開発除く) 電気
	9	専門・技術職 製造技術者(開発除く) 化学
	10	専門・技術職 製造技術者(開発除く) その他
	11	専門・技術職 建築土木測量技術者
	12	専門・技術職 情報処理通信技術者
	13	専門・技術職 その他の技術者
	14	専門・技術職 教員 幼稚園
	15	専門・技術職 教員 小学校
	16	専門・技術職 教員 中学校
	17	専門・技術職 教員 高等学校
	18	専門・技術職 教員 中等教育学校
	19	専門・技術職 教員 高等専門学校
	20	専門・技術職 教員 短期大学
	21	専門・技術職 教員 大学
	22	専門・技術職 教員 特別支援学校
	23	専門・技術職 教員 その他
	24	専門・技術職 医師 医師歯科医師
	25	専門・技術職 医師 獣医師
	26	専門・技術職 医師 薬剤師
	27	専門・技術職 保健師助産師看護師
	28	専門・技術職 医療技術者
	29	専門・技術職 その他保健医療従事者 栄養士
	30	専門・技術職 その他保健医療従事者 その他
	31	専門・技術職 美術写真デザイナー音楽舞台
	32	専門・技術職 その他
	33	管理的職業従事者
	34	事務従事者
	35	販売従事者
	36	サービス職業従事者
	37	保安職業従事者
	38	農林業従事者
	39	漁業従事者
	40	生産工程従事者
	41	輸送機械運転従事者
	42	建設採掘従事者
	43	運輸清掃等従事者
	44	分類できない職業

進学先機関種別	1	大学院研究科(国内)
	2	大学学部(国内)
	3	短期大学・本科(国内)
	4	専攻科(国内)
	5	別科(国内)
	6	専修学校・外国の大学等
進路分類／キャリア分類	1	臨床研修医
	2	進学生徒中
	3	就職準備中
	4	雇用関係のないポストドクター等
	5	その他・未定
	6	専業主夫・婦
奨学金・フェローシップ(選択肢)	1	日本学術振興会特別研究員(SPD)
	2	日本学術振興会特別研究員(PD)
	3	日本学術振興会特別研究員(RPD)
	4	日本学術振興会外国人特別研究員
	5	日本学術振興会海外特別研究員
	6	上記以外の奨学金・フェローシップ

共通選択肢(大小分類)

フィールド(日本語)	大分類		小分類	
	選択肢(値)	選択肢(名称)	選択肢(値)	選択肢(名称)
研究分野	1	理学	8	数学
			9	情報科学
			10	物理
			11	化学
			12	生物
			13	地学
			14	その他(分類不能を含む)
			15	機械・船舶
			16	電気・通信
			17	土木・建築
			18	応用化学
			19	応用理学
			20	原子力
			21	材料
	2	工学	22	繊維
			23	航空
			24	経営工学
			25	その他(分類不能を含む)
			26	農学
			27	農芸化学
			28	農業工学
			29	農業経済
			30	林学
			31	林産学
			32	獣医・畜産
			33	水産
			34	その他(分類不能を含む)
	3	農学	35	医学
			36	歯学
			37	薬学
			38	看護
			39	その他(分類不能を含む)
			40	文学
			41	史学
	4	保健	42	哲学
			43	その他(分類不能を含む)
			44	法学・政治
			45	商学・経済
			46	社会学
			47	その他(分類不能を含む)
			48	心理学
	5	人文	49	家政
			50	教育
			51	芸術
			52	その他(分類不能を含む)
			6	国立大学法人(国内)
			7	公立大学(国内)
			8	私立大学(国内)
			9	大学共同利用機関(国内)
	6	社会	10	高専・短大(国内)
			11	国立・公立大学相当(国外)
			12	私立大学相当(国外)
			13	独立行政法人(国内)
			14	国立試験研究機関(国内)
			15	公設試験研究機関(国内)
			16	その他
	7	その他	17	民間企業
			18	起業
			19	自営
			20	その他
			21	医療法人
			22	NPO法人
			23	公益法人
所属機関種別	1	大学等	24	その他
			25	大学以外の教育機関
			26	官公庁
			27	国際機関
			28	その他の機関
			29	無所属
			6	国立大学法人(国内)
			7	公立大学(国内)
			8	私立大学(国内)
			9	大学共同利用機関(国内)
	2	公的研究機関	10	高専・短大(国内)
			11	国立・公立大学相当(国外)
			12	私立大学相当(国外)
			13	独立行政法人(国内)
			14	国立試験研究機関(国内)
			15	公設試験研究機関(国内)
	3	民間企業	16	その他
			17	民間企業
			18	起業
			19	自営
			20	その他
			21	医療法人
	4	非営利団体	22	NPO法人
			23	公益法人
			24	その他
			25	大学以外の教育機関
	5	その他・無所属	26	官公庁
			27	国際機関
			28	その他の機関
			29	無所属

共通選択肢(大中小分類)

フィールド(日本語)	大分類		中分類		小分類	
	選択肢(値)	選択肢(名称)	選択肢(値)	選択肢(名称)	選択肢(値)	選択肢(名称)
国籍/所在	R00	日本	R00	日本	R00	日本
	R10	日本以外	R11	東南アジア	A06	ミャンマー
					A07	タイ
					A08	マレーシア
					A09	シンガポール
					A10	インドネシア
					A11	フィリピン
					A12	北朝鮮
					A13	韓国
					A14	モンゴル
					A15	ベトナム
					A16	中国
					A17	カンボジア
					A19	ラオス
					A20	ブルネイ
					A22	台湾
					A24	東ティモール
			R12	西アジア	B01	パキスタン
					B02	インド
					B03	ネパール
					B04	バングラデシュ
					B05	スリランカ
					B18	ブータン
					B21	モルディブ
			R13	中近東	B19	バーレーン
					B20	オマーン
					C01	イラン
					C02	トルコ
					C04	シリア
					C05	レバノン
					C06	イスラエル
					C07	ヨルダン
					C08	イラク
					C09	クウェート
					C10	サウジアラビア
					C11	アフガニスタン
					C12	アラブ首長国連邦
					C13	イエメン
					C14	カタール
			R14	アフリカ	D01	エジプト
					D02	スーダン
					D03	リビア
					D04	チュニジア
					D05	アルジェリア
					D06	マダガスカル
					D07	ケニア
					D08	タンザニア
					D09	コンゴ民主共和国
					D10	ナイジェリア
					D11	ガーナ
					D12	リベリア
					D13	ガボン
					D14	コンゴ共和国
					D15	カメルーン
					D16	ザンビア
					D17	コートジボワール
					D18	モロッコ
					D19	セネガル
					D20	エチオピア
					D21	ギニア
					D22	ウガンダ
					D23	南アフリカ
					D24	ジンバブエ
					D25	モーリシャス
					D26	マラウイ
					D27	アンゴラ
					D28	マリ
					D29	ルワンダ
					D30	シエラレオネ
					D31	ベナン
					D32	セーシェル
					D33	トーゴ
					D34	モーリタニア
					D35	チャド
					D36	ガンビア
					D37	中央アフリカ
					D38	モザンビーク
					D39	エリトリア
					D40	ソマリア
					D41	ボツワナ
					D42	ブルンジ
					D43	ジブチ
					D44	コモロ
					D45	レソト
					D46	赤道ギニア
					D47	ニジェール
					D48	ナミビア
					D49	ブルキナファソ
					D50	スワジランド
			R15	西ヨーロッパ	C03	キプロス

				E01	アイスランド
				E02	フィンランド
				E03	スウェーデン
				E04	ノルウェー
				E05	デンマーク
				E06	アイルランド
				E07	イギリス
				E08	ベルギー
				E09	ルクセンブルク
				E10	オランダ
				E11	ドイツ
				E12	フランス
				E13	スペイン
				E14	ポルトガル
				E15	イタリア
				E16	マルタ
				E17	ギリシャ
				E18	オーストリア
				E19	スイス
				E21	アンドラ
				E22	リヒテンシュタイン
		R16	東ヨーロッパ	F21	ポーランド
				F23	ハンガリー
				F25	ルーマニア
				F26	ブルガリア
				F27	ロシア連邦
				F28	アルバニア
				F29	ウクライナ
				F30	エストニア
				F31	ウズベキスタン
				F32	カザフスタン
				F33	チェコ
				F34	スロバキア
				F35	ラトビア
				F36	クロアチア
				F37	キルギス
				F38	リトアニア
				F39	ベラルーシ
				F40	トルクメニスタン
				F41	グルジア
				F42	アルメニア
				F43	スロベニア
				F44	アゼルバイジャン
				F45	マケドニア
				F46	タジキスタン
				F47	モルドバ
				F48	ボスニア・ヘルツェゴビナ
				F50	セルビア
				F51	モンテネグロ
		R17	北米	G01	カナダ
				G02	アメリカ
		R18	中米	H01	メキシコ
				H02	グアテマラ
				H03	エルサルバドル
				H04	ニカラグア
				H05	コスタリカ
				H06	キューバ
				H07	ドミニカ共和国
				H18	ホンジュラス
				H19	パナマ
				H21	ハイチ
				H22	トリニダード・トバゴ
				H23	ジャマイカ
				H24	ベリーズ
				H25	セントビンセント・グレナディーン諸島
				H26	バルバドス
				H27	ドミニカ国
				H28	セントルシア
		R19	南米	I08	ブラジル
				I09	パラグアイ
				I10	ウルグアイ
				I11	アルゼンチン
				I12	チリ
				I13	ボリビア
				I14	ペルー
				I15	エクアドル
				I16	コロンビア
				I17	ベネズエラ
				I23	ガイアナ
				I24	スリナム
		R20	大洋州	J01	オーストラリア
				J02	ニュージーランド
				J03	バプアニューギニア
				J04	フィジー
				J05	トンガ
				J06	バヌアツ
				J07	パラオ
				J08	ミクロネシア
				J09	キリバス
				J10	サモア
				J11	ソロモン
				J12	マーシャル
				J14	ツバル
R99	その他・不明	R99	その他・不明	R99	その他・不明

職種・職位	1	研究・開発関連職	1	ポストドクター等	7	ポストドクター等
			2	大学教員	8	助手
					9	助教
					10	講師
					11	准教授
					12	教授
			3	研究・開発者(公的研究機関)	13	研究員相当
					14	主任研究員相当
					15	部・室・グループ長相当
					16	機関の長相当
					17	その他
			4	研究・開発者(民間企業)	18	研究員相当
					19	主任研究員相当
					20	部・室・グループ長相当
					21	機関の長相当
					22	その他
			5	研究・開発者(その他の機関)	23	研究員相当
					24	主任研究員相当
					25	部・室・グループ長相当
					26	機関の長相当
					27	その他
			6	その他の研究・開発関連職	28	派遣型研究・開発者
					29	研究補助者・技能者・技官
					30	その他
	2	非研究・開発関連職	31	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	36	医師
					37	歯科医師
					38	薬剤師
					39	獣医師
			32	専門知識を要する職	40	知的財産関連職
					41	産学連携コーディネーター
					42	リサーチ・アドミニストレーター
					43	科学技術コミュニケーター
					44	その他
			33	公務員	45	職長級
					46	係長級
					47	課長級
					48	部長級
					49	機関の長級
					50	その他
			34	起業・自営	51	起業
					52	自営
			59	教育関係職	60	教員(幼稚園・養護学校・小学校・中学校・高等学校)
					61	その他の教育関係職
			35	その他の非研究・開発関連職	53	職長級
					54	係長級
					55	課長級
					56	部長級
					57	役員級
					58	その他

(参考資料7) 調査票（日本語）

質問1	2015年11月1日、あなたはどこに住んでいましたか。*必須
R00	日本
A06	ミャンマー
A07	タイ
A08	マレーシア
A09	シンガポール
A10	インドネシア
A11	フィリピン
A12	北朝鮮
A13	韓国
A14	モンゴル
A15	ベトナム
A16	中国
A17	カンボジア
A19	ラオス
A20	ブルネイ
A22	台湾
A24	東ティモール
B01	パキスタン
B02	インド
B03	ネパール
B04	バングラデシュ
B05	スリランカ
B18	ブータン
B21	モルディブ
B19	バーレーン
B20	オマーン
C01	イラン
C02	トルコ
C04	シリア
C05	レバノン
C06	イスラエル
C07	ヨルダン
C08	イラク
C09	クウェート
C10	サウジアラビア
C11	アフガニスタン
C12	アラブ首長国連邦
C13	イエメン
C14	カタール
D01	エジプト
D02	スーダン
D03	リビア
D04	チュニジア
D05	アルジェリア
D06	マダガスカル
D07	ケニア
D08	タンザニア
D10	ナイジェリア
D11	ガーナ
D12	リベリア
D13	ガボン
D14	コンゴ共和国
D15	カメルーン
D16	ザンビア
D17	コートジボワール
D18	モロッコ
D19	セネガル
D20	エチオピア
D21	ギニア
D22	ウガンダ
D23	南アフリカ
D24	ジンバブエ
D25	モーリシャス
D26	マラウイ
D27	アンゴラ
D28	マリ
D29	ルワンダ
D30	シエラレオネ
D31	ベナン
D32	セーシェル
D33	トーゴ
D34	モーリタニア
D35	チャド
D36	ガンビア
D37	中央アフリカ
D38	モザンビーク
D39	エリトリア
D40	ソマリア
D41	ボツワナ

D42	ブルンジ
D43	ジブチ
D44	コモロ
D45	レソト
D46	赤道ギニア
D47	ニジェール
D48	ナミビア
D49	ブルキナファソ
D50	スワジランド
C03	キプロス
E01	アイスランド
E02	フィンランド
E03	スウェーデン
E04	ノルウェー
E05	デンマーク
E06	アイルランド
E07	イギリス
E08	ベルギー
E09	ルクセンブルク
E10	オランダ
E11	ドイツ
E12	フランス
E13	スペイン
E14	ポルトガル
E15	イタリア
E16	マルタ
E17	ギリシャ
E18	オーストリア
E19	スイス
E21	アンドラ
E22	リヒテンシュタイン
F21	ポーランド
F23	ハンガリー
F25	ルーマニア
F26	ブルガリア
F27	ロシア連邦
F28	アルバニア
F29	ウクライナ
F30	エストニア
F31	ウズベキスタン
F32	カザフスタン
F33	チェコ
F34	スロバキア
F35	ラトビア
F36	クロアチア
F37	キルギス
F38	リトアニア
F39	ベラルーシ
F40	トルクメニスタン
F41	グルジア
F42	アルメニア
F43	スロベニア
F44	アゼルバイジャン
F45	マケドニア
F46	タジキスタン
F47	モルドバ
F48	ボスニア・ヘルツェゴビナ
F50	セルビア
F51	モンテネグロ
G01	カナダ
G02	アメリカ
H01	メキシコ
H02	グアテマラ
H03	エルサルバドル
H04	ニカラグア
H05	コスタリカ
H06	キューバ
H07	ドミニカ共和国
H18	ホンジュラス
H19	パナマ
H21	ハイチ
H22	トリニダード・トバゴ
H23	ジャマイカ
H24	ベリーズ
H25	セントビンセント・グレナディーン諸島
H26	バルバドス
H27	ドミニカ国
H28	セントルシア
I08	ブラジル
I09	パラグアイ
I10	ウルグアイ

I11	アルゼンチン
I12	チリ
I13	ボリビア
I14	ペルー
I15	エクアドル
I16	コロンビア
I17	ベネズエラ
I23	ガイアナ
I24	スリナム
J01	オーストラリア
J02	ニュージーランド
J03	バファニューギニア
J04	フィジー
J05	トンガ
J06	バヌアツ
J07	パラオ
J08	ミクロネシア
J09	キリバス
J10	サモア
J11	ソロモン
J12	マーシャル
J14	ツバル
R99	その他

質問2	その居住地はあなたの母国ですか。*必須
1	はい
2	いいえ
3	該当しない

質問3	日本の場合は、都道府県を選択してください。
P01	北海道
P02	青森
P03	岩手
P04	宮城
P05	秋田
P06	山形
P07	福島
P08	茨城
P09	栃木
P10	群馬
P11	埼玉
P12	千葉
P13	東京
P14	神奈川
P15	新潟
P16	富山
P17	石川
P18	福井
P19	山梨
P20	長野
P21	岐阜
P22	静岡
P23	愛知
P24	三重
P25	滋賀
P26	京都
P27	大阪
P28	兵庫
P29	奈良
P30	和歌山
P31	鳥取
P32	島根
P33	岡山
P34	広島
P35	山口
P36	徳島
P37	香川
P38	愛媛
P39	高知
P40	福岡
P41	佐賀
P42	長崎
P43	熊本
P44	大分
P45	宮崎
P46	鹿児島
P47	沖縄

質問4	博士課程在籍時の主な研究分野を1つ選択してください。*必須
1	化学

2	材料科学
3	物理学
4	宇宙科学
5	計算機科学
6	数学
7	工学
8	環境・生態学
9	地球科学
10	臨床医学・心理学
11	農業科学
12	植物・動物学
13	生物学・生化学
14	免疫学
15	微生物学
16	分子生物学・遺伝学
17	神経科学・行動
18	薬学・毒理学
19	複合領域
20	経済学・経営学
21	法学・政治
22	社会学
23	人文科学
24	その他

質問5	あなたが博士課程に進学した主な理由は何でしたか。(3つまで複数回答可) *必須
1	研究課題に対する興味
2	専門をさらに深めたい
3	大学の教員や研究者として働きたい
4	国際的な仕事をしたい
5	キャリアの選択肢を広げたい
6	指導教員やアドバイザー等に勧められた
7	奨学金を得られた
8	博士課程プログラムが魅力的であった
9	特定の教員の指導を受けたい
10	博士号を取得したい
11	就職先での昇進や昇給が期待される
12	専門的な人的ネットワークを広げたい
13	就職する時期を先に延ばしたい
14	その他

質問6	(留学生のみ) 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。(3つまで複数回答可)
1	日本社会に興味があり、日本で生活したかった
2	日本の大学等の教育、研究が魅力的と思った
3	地理的に近い
4	興味ある研究分野があった
5	異文化に接したかった
6	日本語・日本文化を勉強したかった
7	日本と関連のある職業に就きたかった
8	奨学金を得られた
9	友人、知人、家族等に勧められた
10	大学間交流等をきっかけとして
11	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合った
12	その他

質問7	博士課程修了後に居住を希望する国・地域を選択してください。(修了者は現時点で居住を希望する国・地域を選択してください。)
99	決めていない
R00	日本
A06	ミャンマー
A07	タイ
A08	マレーシア
A09	シンガポール
A10	インドネシア
A11	フィリピン
A12	北朝鮮
A13	韓国
A14	モンゴル
A15	ベトナム
A16	中国
A17	カンボジア
A19	ラオス
A20	ブルネイ
A22	台湾
A24	東ティモール
B01	パキスタン
B02	インド
B03	ネパール
B04	バングラデシュ
B05	スリランカ
B18	ブータン
B21	モルディブ

B19	バーレーン
B20	オマーン
C01	イラン
C02	トルコ
C04	シリア
C05	レバノン
C06	イスラエル
C07	ヨルダン
C08	イラク
C09	クウェート
C10	サウジアラビア
C11	アフガニスタン
C12	アラブ首長国連邦
C13	イエメン
C14	カタール
D01	エジプト
D02	スーダン
D03	リビア
D04	チュニジア
D05	アルジェリア
D06	マダガスカル
D07	ケニア
D09	コンゴ民主共和国
D10	ナイジェリア
D11	ガーナ
D12	リベリア
D13	ガボン
D14	コンゴ共和国
D15	カメルーン
D16	ザンビア
D17	コートジボワール
D18	モロッコ
D19	セネガル
D20	エチオピア
D21	ギニア
D22	ウガンダ
D23	南アフリカ
D24	ジンバブエ
D25	モーリシャス
D26	マラウイ
D27	アンゴラ
D28	マリ
D29	ルワンダ
D30	シエラレオネ
D31	ベナン
D32	セーシェル
D33	トーゴ
D34	モーリタニア
D35	チャド
D36	ガンビア
D37	中央アフリカ
D38	モザンビーク
D39	エリトリア
D40	ソマリア
D41	ボツワナ
D42	ブルンジ
D43	ジブチ
D44	コモロ
D45	レソト
D46	赤道ギニア
D47	ニジェール
D48	ナミビア
D49	ブルキナファソ
D50	スワジランド
C03	キプロス
E01	アイスランド
E02	フィンランド
E03	スウェーデン
E04	ノルウェー
E05	デンマーク
E06	アイルランド
E07	イギリス
E08	ベルギー
E09	ルクセンブルク
E10	オランダ
E11	ドイツ
E12	フランス
E13	スペイン
E14	ポルトガル
E15	イタリア
E16	マルタ

E17	ギリシャ
E18	オーストリア
E19	スイス
E21	アンドラ
E22	リヒテンシュタイン
F21	ポーランド
F23	ハンガリー
F25	ルーマニア
F26	ブルガリア
F27	ロシア連邦
F28	アルバニア
F29	ウクライナ
F30	エストニア
F31	ウズベキスタン
F32	カザフスタン
F33	チェコ
F34	スロバキア
F35	ラトビア
F36	クロアチア
F37	キルギス
F38	リトアニア
F39	ベラルーシ
F40	トルクメニスタン
F41	グルジア
F42	アルメニア
F43	スロベニア
F44	アゼルバイジャン
F45	マケドニア
F46	タジキスタン
F47	モルドバ
F48	ボスニア・ヘルツェゴビナ
F50	セルビア
F51	モンテネグロ
G01	カナダ
G02	アメリカ
H01	メキシコ
H02	グアテマラ
H03	エルサルバドル
H04	ニカラグア
H05	コスタリカ
H06	キューバ
H07	ドミニカ共和国
H18	ホンジュラス
H19	パナマ
H21	ハイチ
H22	トリニダード・トバゴ
H23	ジャマイカ
H24	ベリーズ
H25	セントビンセント・グレナディーン諸島
H26	バルバドス
H27	ドミニカ国
H28	セントルシア
I08	ブラジル
I09	パラグアイ
I10	ウルグアイ
I11	アルゼンチン
I12	チリ
I13	ボリビア
I14	ペルー
I15	エクアドル
I16	コロンビア
I17	ベネズエラ
I23	ガイアナ
I24	スリナム
J01	オーストラリア
J02	ニュージーランド
J03	バブアニューギニア
J04	フィジー
J05	トンガ
J06	バヌアツ
J07	パラオ
J08	ミクロネシア
J09	キリバス
J10	サモア
J11	ソロモン
J12	マーシャル
J14	ツバル
R99	その他

質問8	その希望居住地はあなたの母国ですか。*必須
-----	-----------------------

1	はい
2	いいえ
3	該当しない

質問9	希望居住地が日本の場合は、都道府県を選択してください。
99	決めていない
P01	北海道
P02	青森
P03	岩手
P04	宮城
P05	秋田
P06	山形
P07	福島
P08	茨城
P09	栃木
P10	群馬
P11	埼玉
P12	千葉
P13	東京
P14	神奈川
P15	新潟
P16	富山
P17	石川
P18	福井
P19	山梨
P20	長野
P21	岐阜
P22	静岡
P23	愛知
P24	三重
P25	滋賀
P26	京都
P27	大阪
P28	兵庫
P29	奈良
P30	和歌山
P31	鳥取
P32	島根
P33	岡山
P34	広島
P35	山口
P36	徳島
P37	香川
P38	愛媛
P39	高知
P40	福岡
P41	佐賀
P42	長崎
P43	熊本
P44	大分
P45	宮崎
P46	鹿児島

質問10	博士課程修了後に希望するキャリアについてお選びください。(修了者は現時点で希望するキャリアについてお答えください。)*
1	アカデミア
2	非アカデミア
3	アカデミア・非アカデミアの両方
4	分からない

質問11	博士課程修了後に希望する職種についてお選びください。(修了者は現時点で希望する職種についてお答えください。)*必須
1	研究開発職
2	非研究開発職
3	研究開発職・非研究開発職の両方
4	分からない

質問12	博士課程修了後に就職を希望する職業を選択してください。(修了者は現時点で希望する職業についてお答えください。)*必須
99	決めていない
1	大学・公的研究機関のポストドクター(短大・高専を含む)
2	大学教員(短大・高専教員を含む)
3	公的研究機関の研究開発者(ポストドクター以外)
4	大学・公的研究機関の研究支援者・補助者(技官など)
5	大学・公的研究機関の上記以外の職(事務など)
6	民間企業・団体の研究開発者
7	民間企業・団体の研究開発者以外の職(コンサルタント)
8	民間企業・団体の研究開発者以外の職(カウンセラー)
9	民間企業・団体の研究開発者以外の職(その他)
10	産学連携コーディネーター
11	リサーチ・アドミニストレーター

12	科学技術コミュニケーター(学芸員、科学記者など)
13	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師
14	経営専門職(公認会計士、税理士など)
15	知的財産関連職(弁理士など)
16	幼稚園・養護学校・小学校・中学校・高等学校の教員
17	国家公務員、地方公務員
18	起業家
19	自営業・フリーランス
20	その他

質問13	現在所属する大学院の博士課程学生であることにどのくらい満足していますか。(修了者は所属していた大学院についてお答えください。) *必須
1	とても満足している
2	まあ満足している
3	どちらともいえない
4	あまり満足していない
5	全く満足していない
6	分からない

質問14	あなたの博士課程プログラムに関する次の項目について選択してください。 A. 教育カリキュラムの質 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問15	B. 教員と大学院生との関係性 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問16	C. 同じプログラムに在籍する学生との共同体意識 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問17	D. 研究スペースや設備 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問18	E. 教員の研究指導の質 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問19	F. 経済的支援の額 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問20	G. キャリア開発支援や進路指導の質 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問21	H. 分野をこえて協働する機会 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない

4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問22	I. グローバル化の度合い *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問23	J. 全般的な博士課程プログラムの質 *必須
1	とても良い
2	まあ良い
3	どちらともいえない
4	あまり良くない
5	全く良くない
6	分からない

質問24	博士課程在籍中、あなたは指導教員にキャリアに関する相談をしましたか。
1	はい
2	いいえ
3	分からない

質問25	次の文章について、あなたはどの程度同意しますか。 A. 博士課程在籍中、私の指導教員はアカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれた。
1	強く同意する
2	ほぼ同意する
3	どちらともいえない
4	あまり同意しない
5	全く同意しない
6	分からない

質問26	B. 博士課程在籍中、私の指導教員は非アカデミアでのキャリア構築について適切なアドバイスをくれた。
1	強く同意する
2	ほぼ同意する
3	どちらともいえない
4	あまり同意しない
5	全く同意しない
6	分からない

質問27	C. 博士課程修了後のキャリアについて不安である。(修了者は現時点についてお答えください。)
1	強く同意する
2	ほぼ同意する
3	どちらともいえない
4	あまり同意しない
5	全く同意しない
6	分からない

質問28	D. (博士課程学生のみ) 私は標準修業年限以内で博士号の学位を取得できそうだ。
1	強く同意する
2	ほぼ同意する
3	どちらともいえない
4	あまり同意しない
5	全く同意しない
6	分からない

質問29	(修了者のみ) あなたは標準修業年限以内で博士号の学位を取得しましたか。
1	はい
2	いいえ
3	該当しない

質問30	博士課程在籍中に身につけたい能力についてお答えください。(修了者は博士課程在籍中に身につけたかった能力についてお答えください。)(3つまで複数回答可) *必須
1	専門知識・専門能力
2	研究遂行能力
3	業務遂行能力
4	問題設定力
5	問題解決力
6	論理的思考力
7	判断力
8	語学力
9	プレゼンテーション力
10	コミュニケーション力
11	意欲・向上心
12	創造性
13	協調性
14	一般教養・知識
15	マネジメント力

16	リーダーシップ
17	その他
18	なし

質問31	博士課程を継続するために利用した給付型資金を全てお選びください。*必須
1	なし
2	博士課程教育リーディングプログラム
3	グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)
4	日本学術振興会特別研究員(DC1, DC2)
5	国費留学生
6	授業料減免措置
7	TA (Teaching Assistant)/RA (Research Assistant)
8	その他

質問32	あなたの年間(2014年11月1日～2015年10月31日まで)の給付型資金の額はどのくらいでしたか。
1	なし
2	1-50万円未満
3	50-100万円未満
4	100-200万円未満
5	200-300万円未満
6	300万以上

質問33	博士課程在籍中にインターンシップの経験はありますか。*必須
1	なし
2	1社・機関
3	2社・機関
4	3社・機関
5	それ以上

質問34	インターンシップの期間に最も近いものを1つお選びください。複数回受けられた場合は、最も期間が長かったものについてお答え
1	3日未満
2	3日以上1週間未満
3	1週間以上2週間未満
4	2週間以上3週間未満
5	3週間以上1ヶ月未満
6	1ヶ月以上3ヶ月未満
7	3ヶ月以上6ヶ月未満
8	6ヶ月以上

質問35	インターンシップの受け入れ企業の業種に該当するものをお選びください。複数回受けられた場合は、最も期間が長かったものについてお答えください。
1	農業、林業
2	漁業
3	鉱業、採石業、砂利採取業
4	建設業
5	製造業(食料品・飲料・たばこ・飼料製造業)
6	製造業(繊維工業)
7	製造業(印刷・同関連業)
8	製造業(化学工業、石油・石炭製品製造業)
9	製造業(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
10	製造業(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
11	製造業(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
12	製造業(電気・情報通信機器器具製造業)
13	製造業(輸送用機械器具製造業)
14	製造業(その他の製造業)
15	電気・ガス・熱供給・水道業
16	情報通信業
17	運輸業、郵便業
18	卸売業、小売業
20	金融業、保険業
22	不動産業、物品賃貸業
24	学術研究専門技術サービス業
27	宿泊業、飲食サービス業
28	生活関連サービス業、娯楽業
29	教育・学習支援業
31	医療・福祉
33	複合サービス事業
38	その他

質問36	インターンシップの受け入れ企業の業種はあなたの研究分野にどの程度関連性がありますか。複数回受けられた場合は、最も期間が長かったものについてお答えください。
1	とても関連する
2	やや関連する
3	関連しない
4	分からない

質問37	博士課程在籍中に、あなた自身は、民間企業との共同研究に携わったことはありますか。*必須
1	ある
2	ない

質問38	あなたが共同研究をされた民間企業について、その業種に該当するものを全てお選びください。
1	農業、林業
2	漁業
3	鉱業、採石業、砂利採取業
4	建設業
5	製造業(食料品・飲料・たばこ・飼料製造業)
6	製造業(繊維工業)
7	製造業(印刷・同関連業)
8	製造業(化学工業、石油・石炭製品製造業)
9	製造業(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
10	製造業(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
11	製造業(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
12	製造業(電気・情報通信機器器具製造業)
13	製造業(輸送用機械器具製造業)
14	製造業(その他の製造業)
15	電気・ガス・熱供給・水道業
16	情報通信業
17	運輸業、郵便業
18	卸売業、小売業
19	金融業、保険業
20	不動産業物品賃貸業
21	学術研究専門技術サービス業
22	宿泊業、飲食サービス業
23	生活関連サービス業、娯楽業
24	教育学習支援業
25	医療福祉
26	複合サービス事業
27	その他

質問39	共同研究をされた民間企業の業種はあなたの研究分野にどの程度関連性がありますか。
1	とても関連する
2	やや関連する
3	関連しない
4	分からない

質問40	(社会人学生・修了者のみ)2015年11月1日、あなたは収入を伴う仕事をしていたか。最も当てはまるものを選んでください。自営業(個人経営の商店や農家など)の手伝いや内職、アルバイトも仕事に含めます。*必須
1	おもに仕事
2	通学のかたわらに仕事
3	家事などのかたわらに仕事
4	仕事を休んでいる
5	仕事を探している
6	通学
7	家事など
8	その他(高齢者など)

質問41	(社会人学生・修了者のみ)その仕事はあなたの博士課程プログラムにどの程度関連性がありますか。
1	とても関連する
2	やや関連する
3	関連しない
4	分からない

質問42	(社会人学生・修了者のみ)2015年11月1日時点のあなたの職業を選択してください。
1	大学・公的研究機関のポストドクター(短大・高専を含む)
2	大学教員(短大・高専教員を含む)
3	公的研究機関の研究開発者(ポストドクター以外)
4	大学・公的研究機関の研究支援者・補助者(技官など)
5	大学・公的研究機関の上記以外の職(事務など)
6	民間企業・団体の研究開発者
7	民間企業・団体の研究開発者以外の職(コンサルタント)
8	民間企業・団体の研究開発者以外の職(カウンセラー)
9	民間企業・団体の研究開発者以外の職(その他)
10	産学連携コーディネーター
11	リサーチ・アドミニストレーター
12	科学技術コミュニケーター(学芸員、科学記者など)
13	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師
14	経営専門職(公認会計士、税理士など)
15	知的財産関連職(弁理士など)
16	幼稚園・養護学校・小学校・中学校・高等学校の教員
17	国家公務員、地方公務員
18	起業家
19	自営業・フリーランス
20	その他

質問43	(社会人学生・修了者のみ)2015年11月1日の週、あなたは何時間収入を伴う仕事をしていたか。
1	週30時間以上
2	週20時間以上30時間未満
3	週20時間未満
4	該当しない

質問44	(社会人学生・修了者のみ)2015年11月1日、あなたはどのような雇用形態にありましたか。
1	任期無
2	任期有(テニュアトラック)
3	12ヶ月以上の任期有(テニュアトラック以外)
4	12ヶ月未満の任期有(テニュアトラック以外)
5	派遣労働者
6	パートタイム(アルバイト含む)
7	自営業／フリーランス
8	起業
9	その他

質問45	(社会人学生・修了者のみ)あなたの年間(2014年11月1日～2015年10月31日まで)の仕事からの収入は、どのくらいでしたか。仕事からの収入は、副業、賞与、臨時収入がある場合はその収入も含めた、税込みの年額でお答えください。
1	収入なし
2	1-50万円未満
3	50-100万円未満
4	100-200万円未満
5	200-300万円未満
6	300-400万円未満
7	400-500万円未満
8	500-600万円未満
9	600-700万円未満
10	700-800万円未満
11	800-1,000万円未満
12	1,000-1,200万円未満
13	1,200-1,500万円未満
14	1,500万円以上

質問46	調査への御協力をいただき、ありがとうございました。本調査に関する御意見がございましたら、どうぞ以下に御記入ください。
------	--

(参考資料8) 調査票（英語）

Question 1	On November 1, 2015, where were you living? *Required
R00	Japan
A06	Myanmar
A07	Thailand
A08	Malaysia
A09	Singapore
A10	Indonesia
A11	the Philippines
A12	North Korea
A13	South Korea
A14	Mongolia
A15	Vietnam
A16	China
A17	Cambodia
A19	Laos
A20	Brunei
A22	Taiwan
A24	East Timor
B01	Pakistan
B02	India
B03	Nepal
B04	Bangladesh
B05	Sri Lanka
B18	Bhutan
B21	Maldives
B19	Bahrain
B20	Oman
C01	Iran
C02	Turkey
C04	Syria
C05	Lebanon
C06	Israel
C07	Jordan
C08	Iraq
C09	Kuwait
C10	Saudi Arabia
C11	Afghanistan
C12	the United Arab Emirates
C13	Yemen
C14	Qatar
D01	Egypt
D02	Sudan
D03	Libya
D04	Tunisia
D05	Algeria
D06	Madagascar
D07	Kenya
D08	Tanzania
D10	Nigeria
D11	Ghana
D12	Liberia
D13	Gabon
D14	Republic of the Congo
D15	Cameroon
D16	Zambia
D17	Cote d'Ivoire
D18	Morocco
D19	Senegal
D20	Ethiopia
D21	Guinea
D22	Uganda
D23	Republic of South Africa
D24	Zimbabwe
D25	Mauritius
D26	Malawi
D27	Angola
D28	Mali
D29	Rwanda
D30	Sierra Leone
D31	Benin
D32	Seychelles
D33	Togo
D34	Mauritania
D35	Chad
D36	Gambia
D37	Central African Republic
D38	Mozambique
D39	Eritrea
D40	Somalia
D41	Botswana

D42	Burundi
D43	Djibouti
D44	the Comoros
D45	Lesotho
D46	Equatorial Guinea
D47	Niger
D48	Namibia
D49	Burkina Faso
D50	Swaziland
C03	Cyprus
E01	Iceland
E02	Finland
E03	Sweden
E04	Norway
E05	Denmark
E06	Ireland
E07	the United Kingdom
E08	Belgium
E09	Luxembourg
E10	the Netherlands
E11	Germany
E12	France
E13	Spain
E14	Portugal
E15	Italy
E16	Malta
E17	Greece
E18	Austria
E19	Switzerland
E21	Andorra
E22	Liechtenstein
F21	Poland
F23	Hungary
F25	Romania
F26	Bulgaria
F27	the Russian Federation
F28	Albania
F29	Ukraine
F30	Estonia
F31	Uzbekistan
F32	Kazakhstan
F33	Czech Republic
F34	Slovak
F35	Latvia
F36	Croatia
F37	Kirghiz
F38	Lithuania
F39	Belarus
F40	Turkmenistan
F41	Georgia
F42	Armenia
F43	Slovenia
F44	Azerbaijan
F45	Macedonia
F46	Tajikistan
F47	Moldova
F48	Bosnia and Herzegovina
F50	Serbia
F51	Montenegro
G01	Canada
G02	the United States
H01	Mexico
H02	Guatemala
H03	El Salvador
H04	Nicaragua
H05	Costa Rica
H06	Cuba
H07	Dominican Republic
H18	Honduras
H19	Panama
H21	Haiti
H22	Trinidad and Tobago
H23	Jamaica
H24	Belize
H25	St Vincent and the Grenadines Islands
H26	Barbados
H27	Commonwealth of Dominica
H28	Saint Lucia
I08	Brazil
I09	Paraguay
I10	Uruguay

I11	Argentina
I12	Chile
I13	Bolivia
I14	Peru
I15	Ecuador
I16	Colombia
I17	Venezuela
I23	Guyana
I24	Suriname
J01	Australia
J02	New Zealand
J03	Papua New Guinea
J04	Fiji
J05	Tonga
J06	Vanuatu
J07	Palau
J08	Micronesia
J09	Kiribati
J10	Samoa Islands
J11	the Solomons
J12	Marshal
J14	Tuvalu
R99	Other

Question 2	Was the living place your home country? *Required
1	Yes
2	No
3	Not Applicable

Question 3	If you were living in Japan, please select prefecture.
P01	Hokkaido
P02	Aomori
P03	Iwate
P04	Miyagi
P05	Akita
P06	Yamagata
P07	Fukushima
P08	Ibaraki
P09	Tochigi
P10	Gunma
P11	Saitama
P12	Chiba
P13	Tokyo
P14	Kanagawa
P15	Niigata
P16	Toyama
P17	Ishikawa
P18	Fukui
P19	Yamanashi
P20	Nagano
P21	Gifu
P22	Shizuoka
P23	Aichi
P24	Mie
P25	Shiga
P26	Kyoto
P27	Osaka
P28	Hyogo
P29	Nara
P30	Wakayama
P31	Tottori
P32	Shimane
P33	Okayama
P34	Hiroshima
P35	Yamaguchi
P36	Tokushima
P37	Kagawa
P38	Ehime
P39	Kochi
P40	Fukuoka
P41	Saga
P42	Nagasaki
P43	Kumamoto
P44	Oita
P45	Miyazaki
P46	Kagoshima
P47	Okinawa

Question 4	Please select your major research field during a doctoral program. *Required
1	Chemistry

E15	Italy
E16	Malta
E17	Greece
E18	Austria
E19	Switzerland
E21	Andorra
E22	Liechtenstein
F21	Poland
F23	Hungary
F25	Romania
F26	Bulgaria
F27	the Russian Federation
F28	Albania
F29	Ukraine
F30	Estonia
F31	Uzbekistan
F32	Kazakhstan
F33	Czech Republic
F34	Slovak
F35	Latvia
F36	Croatia
F37	Kirghiz
F38	Lithuania
F39	Belarus
F40	Turkmenistan
F41	Georgia
F42	Armenia
F43	Slovenia
F44	Azerbaijan
F45	Macedonia
F46	Tajikistan
F47	Moldova
F48	Bosnia and Herzegovina
F50	Serbia
F51	Montenegro
G01	Canada
G02	the United States
H01	Mexico
H02	Guatemala
H03	El Salvador
H04	Nicaragua
H05	Costa Rica
H06	Cuba
H07	Dominican Republic
H18	Honduras
H19	Panama
H21	Haiti
H22	Trinidad and Tobago
H23	Jamaica
H24	Belize
H25	St Vincent and the Grenadines Islands
H26	Barbados
H27	Commonwealth of Dominica
H28	Saint Lucia
I08	Brazil
I09	Paraguay
I10	Uruguay
I11	Argentina
I12	Chile
I13	Bolivia
I14	Peru
I15	Ecuador
I16	Colombia
I17	Venezuela
I23	Guyana
I24	Suriname
J01	Australia
J02	New Zealand
J03	Papua New Guinea
J04	Fiji
J05	Tonga
J06	Vanuatu
J07	Palau
J08	Micronesia
J09	Kiribati
J10	Samoa Islands
J11	the Solomons
J12	Marshal
J14	Tuvalu
R99	Other

Question 8	Is the place your home country? *Required
1	Yes
2	No
3	Not Applicable

Question 9	If the place is Japan, please select prefecture.
99	Not decided yet
P01	Hokkaido
P02	Aomori
P03	Iwate
P04	Miyagi
P05	Akita
P06	Yamagata
P07	Fukushima
P08	Ibaraki
P09	Tochigi
P10	Gunma
P11	Saitama
P12	Chiba
P13	Tokyo
P14	Kanagawa
P15	Niigata
P16	Toyama
P17	Ishikawa
P18	Fukui
P19	Yamanashi
P20	Nagano
P21	Gifu
P22	Shizuoka
P23	Aichi
P24	Mie
P25	Shiga
P26	Kyoto
P27	Osaka
P28	Hyogo
P29	Nara
P30	Wakayama
P31	Tottori
P32	Shimane
P33	Okayama
P34	Hiroshima
P35	Yamaguchi
P36	Tokushima
P37	Kagawa
P38	Ehime
P39	Kochi
P40	Fukuoka
P41	Saga
P42	Nagasaki
P43	Kumamoto
P44	Oita
P45	Miyazaki
P46	Kagoshima

Question 10	Please select the type of career you have in mind after graduation. (To graduates: Please select the type of career you have in mind at the moment.) *Required
1	Academia
2	Outside academia
3	Both Academia and Outside academia
4	Not sure

Question 11	Please select the type of occupation you have in mind after graduation. (To graduates: Please select the type of occupation you have in mind at the moment.) *Required
1	R&D occupation
2	Non-R&D occupation
3	Both R&D and Non-R&D occupation
4	Not sure

Question 12	Please select all the occupations you are willing to take after graduation. (To graduates: Please select all the occupation you are willing to take at the moment.) *Required
99	Not decided yet
1	Postdoctoral fellow at universities or public research institution (incl. junior and technical college)
2	University faculty (incl. junior and technical college)
3	Researcher at public research institution (excl. postdoctoral fellow)
4	Research assistant or supporter at university or public research institution (e.g., technical officer)
5	Occupation at university or public research institution other than those above (e.g., office worker)
6	R&D occupation at a company or organization
7	Non-R&D occupation at a company or other organization (consultant)
8	Non-R&D occupation at a company or other organization (counselor)

9	Non-R&D occupation at a company or other organization (others)
10	Coordinator of industry-academia collaboration
11	Research Administrator
12	Communicator in science and technology (e.g., curator, scientific journalist)
13	Doctor, dentist, veterinarian, or pharmacist
14	Management expert (e.g., certified public accountant, tax accountant)
15	Intellectual property-related occupation (e.g., patent attorney)
16	Teacher at pre-school, school for physically handicapped and mentally retarded children, elementary or secondary school
17	National public officer, local public officer
18	Entrepreneur
19	Self-employed/freelance
20	Other

Question 13	Overall, how satisfied are you being a graduate student at your graduate school? (To graduates: Overall, how satisfied were you being a graduate student at your graduate school?) *Required
1	Very satisfied
2	Somewhat satisfied
3	Neither satisfied nor dissatisfied
4	Somewhat dissatisfied
5	Very dissatisfied
6	Not sure

Question 14	Please rate each of the following aspects of your doctoral program. A. Quality of the graduate curriculum *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 15	B. The relationship between faculty and graduate students *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 16	C. Sense of community with students who entered the program with you *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 17	D. Program space and facilities *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 18	E. Quality of graduate level teaching by faculty *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 19	F. Amount of your financial support *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 20	G. Quality of advising for career development and career guidance *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 21	H. The opportunity to collaborate across disciplines *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 22	I. The level of globalization *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 23	J. Overall program quality *Required
1	Very good
2	Good
3	Fair
4	Poor
5	Very poor
6	Not sure

Question 24	Have you discussed issues related to career development with your advisor during a doctoral program?
1	Yes
2	No
3	Not sure

Question 25	Please rate your level of agreement or disagreement with the following statements. A. I feel comfortable seeking advice from my advisor on career options within academia during a doctoral program.
1	Definitely agree
2	Mostly agree
3	Neither agree nor disagree
4	Mostly disagree
5	Definitely disagree
6	Not sure

Question 26	B. I feel comfortable seeking advice from my advisor on career options outside academia during a doctoral program.
1	Definitely agree
2	Mostly agree
3	Neither agree nor disagree
4	Mostly disagree
5	Definitely disagree
6	Not sure

Question 27	C. I am worried about my career after graduation. (To graduates: I am worried about my career at the moment.)
1	Definitely agree
2	Mostly agree
3	Neither agree nor disagree
4	Mostly disagree
5	Definitely disagree
6	Not sure

Question 28	D. (Doctoral students only) I am confident that I will complete my PhD degree within my institution's expected timescale.
1	Definitely agree
2	Mostly agree
3	Neither agree nor disagree
4	Mostly disagree
5	Definitely disagree
6	Not sure

Question 29	(Graduates only) Did you complete your PhD degree within your institution's expected timescale?
1	Yes
2	No
3	Not applicable

Question 30	Please indicate which of the following abilities/skills you would like to develop during your doctoral program. (To graduates: Please indicate which of the following abilities/skills you wish to have developed during your doctoral program.) (You can give the multiple answers to three.) *Required
1	Special knowledge, Special skills
2	Research skills
3	Job performance
4	Problem setting
5	Problem solving
6	Logical thinking
7	Judgement
8	Foreign language skills

9	Presentation skills
10	Communication skills
11	Motivation and Ambition
12	Creativity
13	Cooperativeness
14	Liberal Arts, General knowledge
15	Management skills
16	Leadership skills
17	Other
18	None

Question 31	Please select all the type of non-refundable funding you used to continue studying in your doctoral program. *Required
1	None
2	Program for Leading Graduate Schools
3	Enhancing Development of Global Entrepreneur Program
4	JSPS research fellow (DC1, DC2)
5	Japanese government (Monbukagakusho: MEXT) scholarship
6	Full or partial tuition remission
7	TA (Teaching Assistant)/RA (Research Assistant)
8	Other

Question 32	Approximately how much non-refundable funding did you receive during the year (November 1, 2014 through October 31, 2015)?
1	None
2	less than 500,000 yen
3	500,000-less than 1 million yen
4	1-less than 2 million yen
5	2-less than 3 million yen
6	more than 3 million yen

Question 33	Did you participate in an internship during a doctoral program? *Required
1	None
2	1 company/organization
3	2 companies/organizations
4	3 companies/organizations
5	4 or more companies/organizations

Question 34	Please choose the option that is closest to the period of your internship at that company. Please answer according to the longest internship if you had several.
1	Less than three days
2	Three days or more, less than one week
3	One week or more, less than two weeks
4	Two weeks or more, less than three weeks
5	Three weeks or more, less than one month
6	One month or more, less than three months
7	Three months or more, less than six months
8	Six months or more

Question 35	Please select the business category of the place where you served your internship. Please answer according to the longest internship if you had several.
1	Agriculture and forestry
2	Fishery
3	Mining and quarrying of stone and gravel
4	Construction
5	Manufacture of food, beverages, tobacco and feed
6	Manufacture of textile mill products
7	Manufacture of printing and allied industries
8	Manufacture of chemical and allied products, petroleum and coal products
9	Manufacture of iron and steel, non-ferrous metals and products
10	Manufacture of general-purpose, production, business oriented machinery
11	Manufacture of electronic parts, devices and electronic circuits
12	Manufacture of electrical machinery, equipment and supplies, information and communication electronics equipment
13	Manufacture of transportation equipment
14	Manufacture of miscellaneous manufacturing industries
15	Electricity, gas, heat supply and water
16	Information and communications
17	Transport and postal activities
18	Wholesale trade and retail trade
20	Finance and insurance
22	Real estate, goods rental and leasing
24	Scientific and development services
27	Accommodations, eating and drinking services
28	Living-related and personal services and amusement services
29	Education, Learning support
31	Medical, Health care, and Welfare
33	Compound Services
38	Other

Question 36	To what extent was the business category of the place where you served your internship related to your research area? Please answer according to the longest internship if you had several.
1	Closely related

2	Somewhat related
3	Not related
4	Not sure

Question 37	Have you ever yourself been involved in joint research with a private corporation as a part of your doctoral program? *Required
1	Yes
2	No

Question 38	Please select all the business categories of the place where you were involved in a joint research.
1	Agriculture and forestry
2	Fishery
3	Mining and quarrying of stone and gravel
4	Construction
5	Manufacture of food, beverages, tobacco and feed
6	Manufacture of textile mill products
7	Manufacture of printing and allied industries
8	Manufacture of chemical and allied products, petroleum and coal products
9	Manufacture of iron and steel, non-ferrous metals and products
10	Manufacture of general-purpose, production, business oriented machinery
11	Manufacture of electronic parts, devices and electronic circuits
12	Manufacture of electrical machinery, equipment and supplies, information and communication electronics equipment
13	Manufacture of transportation equipment
14	Manufacture of miscellaneous manufacturing industries
15	Electricity, gas, heat supply and water
16	Information and communications
17	Transport and postal activities
18	Wholesale trade and retail trade
19	Finance and insurance
20	Real estate, goods rental and leasing
21	Scientific and development services
22	Accommodations, eating and drinking services
23	Living-related and personal services and amusement services
24	Education, Learning support
25	Medical, Health care, and Welfare
26	Compound Services
27	Other

Question 39	To what extent was the business category of the place where you have been involved in a joint research related to your
1	Closely related
2	Somewhat related
3	Not related
4	Not sure

Question 40	(Mature students/ Graduates only) On November 1, 2015, did you have paid employment? Please select the best answer. Employment includes helping with independent businesses (family-owned shops, farmings, etc.), side jobs, and part-time jobs.
1	Mostly work
2	Work on the side while going to school
3	Work on the side while homemaking, etc.
4	On leave from work (on child care leave, etc.)
5	Looking for work
6	Going to school
7	Homemaking, childcare, etc.
8	Other (elderly, etc.)

Question 41	(Mature students/ Graduates only) To what extent was your work on your principal job related to your doctoral program?
1	Closely related
2	Somewhat related
3	Not related
4	Not sure

Question 42	(Mature students/ Graduates only) Please select your occupation on November 1, 2015.
1	Postdoctoral fellow at universities or public research institution (incl. junior and technical college)
2	University faculty (incl. junior and technical college)
3	Researcher at public research institution (excl. postdoctoral fellow)
4	Research assistant or supporter at university or public research institution (e.g., technical officer)
5	Occupation at university or public research institution other than those above (e.g., office worker)
6	R&D occupation at a company or organization
7	Non-R&D occupation at a company or other organization (consultant)
8	Non-R&D occupation at a company or other organization (counselor)
9	Non-R&D occupation at a company or other organization (others)
10	Coordinator of industry-academia collaboration
11	Research Administrator
12	Communicator in science and technology (e.g., curator, scientific journalist)
13	Doctor, dentist, veterinarian, or pharmacist
14	Management expert (e.g., certified public accountant, tax accountant)
15	Intellectual property-related occupation (e.g., patent attorney)
16	Teacher at pre-school, school for physically handicapped and mentally retarded children, elementary or secondary school
17	National public officer, local public officer
18	Entrepreneur

19	Self-employed/freelance
20	Other

Question 43	(Mature students/Graduates only) How many hours did you work during the week of November 1, 2015?
1	30 hours or more per week
2	20 hours or more, less than 30 hours
3	less than 20 hours per week
4	Not applicable

Question 44	(Mature students/Graduates only) On November 1, 2015, which of the following best describes the basis on which you were
1	On a permanent contract
2	On a fixed-term contract (a tenure-track)
3	On a fixed-term contract lasting 12 months or longer (excl. a tenure-track)
4	On a fixed-term contract lasting less than 12 months (excl. a tenure-track)
5	Temporary (dispatched) worker
6	Part-time worker
7	Self-employed/freelance
8	Starting up own business
9	Other

Question 45	(Mature students/Graduates only) Approximately how much labor income did you receive during the year (November 1, 2014 through October 31, 2015)? Please answer with your pretax annual income. Labor income includes side jobs, bonuses, and
1	No income
2	less than 500,000 yen
3	500,000-less than 1 million yen
4	1-less than 2 million yen
5	2-less than 3 million yen
6	3-less than 4 million yen
7	4-less than 5 million yen
8	5-less than 6 million yen
9	6-less than 7 million yen
10	7-less than 8 million yen
11	8-less than 10 million yen
12	10-less than 12 million yen
13	12-less than 15 million yen
14	15 million yen or more

Question 46	Thank you for your participation in this survey. If you have any comments about the survey, please provide them in the space
-------------	--

RESEARCH MATERIAL No.250

博士人材データベース(JGRAD)を用いた
博士課程在籍者・修了者の所属確認と
キャリアパス等に関する意識調査

2016 年 5 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ

〒100-0013

東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階

TEL:03-3581-2395 FAX:03-3503-3996

<http://doi.org/10.15108/rm250>



<http://www.nistep.go.jp>